

収蔵史料目録
13

紀美野町福田 岡本家文書目録

和歌山県立文書館

目次

目次	1
凡例	4
和歌山県下郡市町村区画図	6
解題	7
目録	19
一 総分・組・村関係	
1 定書・達	21
2 願・届・控・請書	31
3 土地	43
4 定免	52
5 年貢・諸掛り	53
6 普請	80
7 蔵庄屋	107
8 戸口	112
9 入用	115
10 救恤	128

11	巡見	133
12	争論	135
13	曖	138
14	村政	149
15	釜瀧村	172
16	寺院	176
17	その他	182
二 筏口銀			
.....			
185			
三 十三神社			
.....			
187			
四 岡本家関係			
1	由緒	193
2	家政・年中行事	196
3	冠婚葬祭	203
4	日記	204
5	文芸・教養	211
a	漢詩・俳諧・和歌等	211

九	その他	328
八	書状	298
七	貸借	279
六	売買	271
五	高野隊関係	266
	d 勘定書	237
	c 万覚帳など	230
	b 勘定帳	224
	a 講・頼母子	216
6	家計	216
	c 典籍	214
	b 手習い	213

凡 例

- 一 本目録は、収蔵史料目録の第13集『紀美野町福田岡本家文書目録』である。
- 一 本目録には、岡本家文書約四〇〇〇点をおさめた。
- 一 本目録では、資料群の内容と構造を考慮して項目を設定し、編成した。
- 一 各項目内の資料の配列順序は、原則として同様事象のものを集め、その中で年月日順とし、年代が明記されているもの、干支・月・日等のみ記されているもの、年代不明のもの順に記載し、同年月日や年代不明の資料については資料番号順とした。なお、年代を推定することができた場合については該当する時期に掲載した。こよりや封紙などで一括された資料は、一括状況を尊重して、年月日順に掲載していない場合がある。
- 一 目録は、原則として資料ごとに資料番号・標題・年月日・作成者・宛名・形態を記載し、必要に応じて備考を付した。
 - ・ 資料番号は整理時に付した番号で、閲覧申請時はこの番号で行う。
 - ・ 標題欄中の【】は編者が一括等に与えた総称で、必要に応じて枝番号により詳細目録を付した。
 - ・ 標題は、原則として原題を採り、原題のみでは内容が類推できない場合については、内容にしたがって（ ）内に補足を加えた。また、原題がない資料については、内容にしたがって（ ）内に記した。
 - ・ 年月日は、原則として資料が作成された年月日とし、推定した場合は（ ）内に記した。
 - ・ 作成者・宛名が多数であり欄内に全員を記入出来ない場合は、原則として適当と思われる名前を記し、それ以外は「ほか○名」とした。
 - ・ 作成者の印がある場合は（印）、花押がある場合は（花）と記した。
 - ・ 形態は次の通り記した。

状 折紙・継紙・切紙などを含む一紙文書

縦帳

横帳

横半帳

冊子

罫紙

葉書

軸装

綴 こより等により複数の文書が綴られたもの

そのほか、必要に応じて封紙、封筒、短冊、函などと記した。

・備考については、特に欄を設けず標題欄中に*を付して記入した。

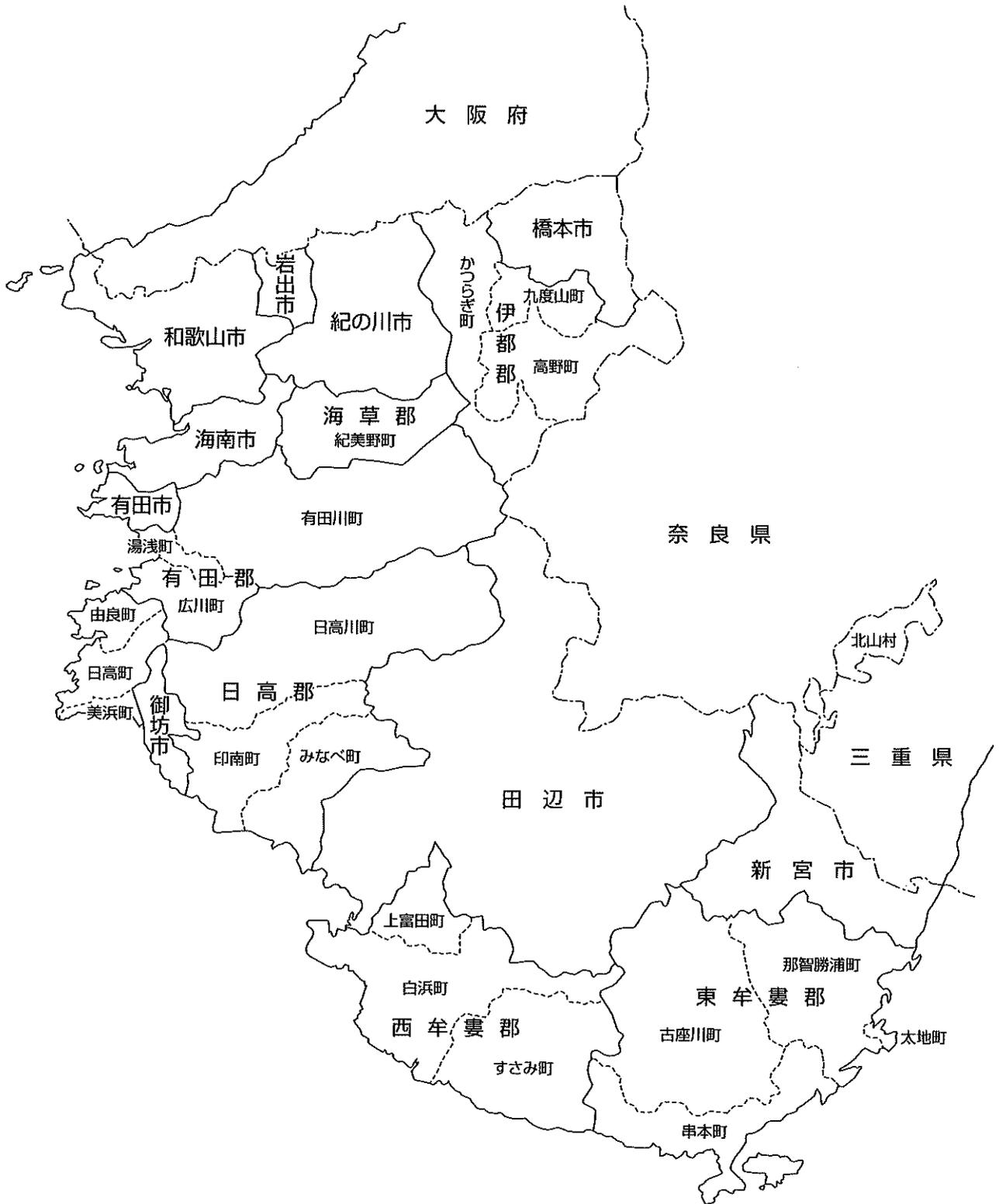
一 本目録においては、一部人名、地名等を除き、原則として常用漢字を使用し、かな文字についても変体かななどはひらがなに改めた。

一 虫損などにより判読できない文字がある場合、字数を確定できるものは字数分を□で表し、字数不明のものは「□」とした。

一 本目録に収録した各資料は、未撮影の一部のものを除き、当文書館においてマイクロフィルム等の複製物による閲覧・複写が可能である。しかし、一部の資料については閲覧できないものもある。

一 本目録では、原本の記載にもとづいて職業・身分などに関する差別偏見を表現する用語をそのまま使用している場合があるが、歴史的事実にもとづく客観的な研究をすすめるためであり、もとより不当な差別を容認するものではない。

和歌山県下郡市町村区画図



岡本家文書解題

一 受入の経緯

紀美野町福田の岡本家文書は約四〇〇〇点を数える文書群で、岡本家が高野山領地士として関わった文書や同家の家政についての文書など、元和十年（一六二四）から昭和初年に至る文書が伝来している。その一部九三〇点は和歌山県指定文化財で、『和歌山県史』にも掲載されている、県下でも著名な文書群の一つといえよう。

現当主の岡本侘氏は、県の教育行政に長らくたずさわられ、地域の歴史や文化財の保存についてもご理解が深く、岡本家文書の利用と保存のために、平成十年（一九九八）当館へ寄託され、その翌年には新たに別の古文書が見つかったことから、追加で寄託された。

二 神野庄福田村について

近世まで

福田村は、現在の海草郡紀美野町に位置している。

紀美野町を流れる、真国川・貴志（神野）川一帯は平安時代には開発が進んでいた地域で、福田村を含む神野庄は、はじめ鳥羽院の荘園として成立、その後京都神護寺の所領となった。神護寺には康治二年（一一四三）の年号をもつ重要文化財『紀伊国神野真国莊絵図』が伝わっており、そのなかに描かれた「栗田村」が現在の福田を指すともいわれている。

鎌倉時代に入ると、神護寺と高野山との間で領有をめぐる争論が起きるが、『高野山御手印縁起』を創作して領有権を獲得した高野山は、神野庄を完全に支配下におくこととなった。

表1 高野山行人領の所領内訳

	内 訳	石 高
学 侶		9,500
行 人	興山寺	580
	六人衆監料	420
	院料・供料・役料	5,500
	奥院料	2,000
	修理料	3,000
	東照宮料	100
	小 計	11,600
聖		200
	合 計	21,300

【かつらぎ町史】通史編 525頁 表13を編集。
修理領は学侶と行人の共同管理地であったが、貢租・夫役の徴収を行人が担当していた。

天正十三年（一五八五）の豊臣秀吉による紀州攻めに対して、高野山側は秀吉の示した帰順条件に従って降伏した。その条件には寺領の支配についても含まれていたことから、『高野山御手印縁起』に記載のない土地は召上げとなる。神野庄は『縁起』記載の旧領であったにも関わらず、このとき高野山領を離れたとみられる。というのも、太閤検地直後の天正十九年（一五九一）十月二十一日に秀吉から一万石（ほかに木食応其分一〇〇〇石）が寄進されたが、このとき神野庄はその内の三六石のみが寺領として認められているからである。その後木食応其の尽力もあって、翌天正二十年（一五九二）八月四日付の朱印状で、神野庄をはじめとした那賀郡内一万石が寄附というかたちで追加して安堵され、以後近世を通じて高野山領であった。

近世

徳川家康によって江戸幕府が開かれると、慶長六年（一六〇一）高野山に対して所領安堵状が、「金剛峯寺衆徒中」と「行人方衆中」に

宛てて与えられた。高野山では、学間をもつばらにする学侶（青巖寺）、寺務を取り扱う行人（惣分・総分ともいう、以下「総分」で統一）、もとは高野聖といわれた聖の三派があり、それぞれ所領と支配がわかれていた。

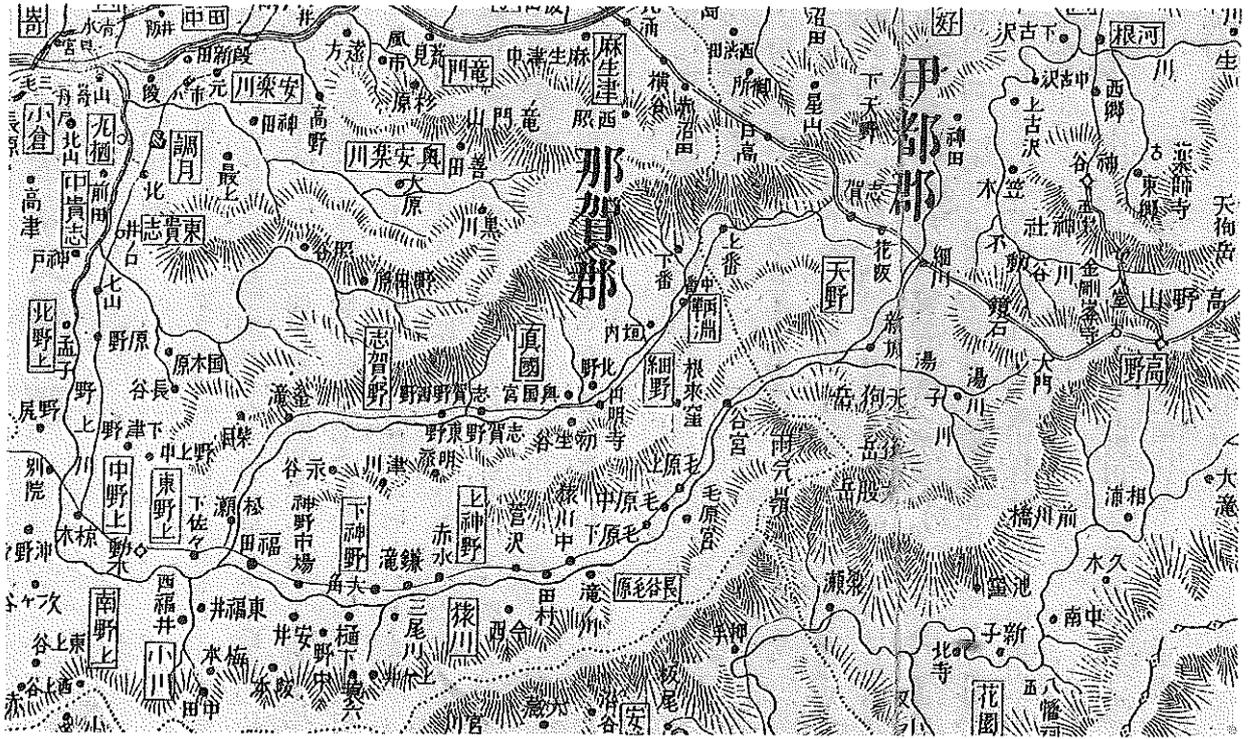


図1 福田村とその周辺 (大日本管轄分地図 和歌山県管内全図、明治36年版)

行人方は高野山寺領二万一三〇〇石のうち一万一六〇〇石を有し(表1)、福田村を含む神野庄二一八四石は行人領に属した。行人方では、数か村を単位とした「組」が設けられ、中世からの神野庄はほぼそのまま引き継がれて神野組となつたと考えられる。

神野組は福田・野中・安井・南畑・永谷・神野市場・津川・樋下・大角・三尾川・箕六・上井・鎌瀧・明添・赤木・高畑・桂瀬の一七村で、支配者側の行政単位とは別に、野中村の字門田を一村とする場合もあつた(図1)。

神野組のほかには、清水・八箇(九度山ともいう)・麻生津・志賀野・小川組と奥院領として友湖・毛原・安楽川(大原・黒川とも)組があつて、清水組では萱野家が大庄屋をつとめていた。岡本家文書と、近年発刊された『紀美野町誌』から、神野組と志賀野組にも大庄屋の存在が確認できたが、岡本家が本庄屋であつた記録は一切みられなかつた。

福田村の石高は『天保郷帳』が二四六石五斗七升、『紀伊統風土記』(以下『統風土記』)も高は同じで家数が六五、人数二七三であつた。『旧高田領取調帳』では二五六石一斗九升七合で、江戸時代を通じてほとんど変化がなかつた。

明治以降

明治二年(一八六九)八月、高野山寺領は堺県の所管に定められ、同三年(一八七〇)四月には二月前に新設されたばかりの五條県へ移管、さらに翌四年(一八七二)十一月には和歌山県へ編入された。この間明治四年一月には、政府から寺社領の上知令が出され、それまで高野山に納入していた年貢を県へ納めるようになっていた。

明治四年九月、大小区制が敷かれ、福田村は当初五條県下において第四大区第七小区と定められたが、和歌山県への編入にもなつて第三大区十一小区となる。しかし、同十二年(一八七九)に大区小区制



写真1 現在の落合橋（松瀬から福田方面）

は廃止、新たに郡区町村編制法にもとづいて区町村が設置された。

郡区町村編制法では、福田・神野市場・安井・南畑・野中・樋下・永谷の七ヶ村で連合し、神野市場村の新谷政左衛門が戸長となつて戸長役場が置かれていた。ところが、明治十五年（一八八二）五月からはじまった、貴志川と真国川の合流地点である落合での架橋工事に端を発し、福田村は連合から分離（写真1、後述）、岡本家の佐太郎が福田村戸長となっている。直後の十一月には郡区町村編制法が改正されたが、福田村は連合から独立したままであった。

明治十七年（一八八四）、小区分制が廃止、福田以下もとの神野組一七村の連合戸長役場が神野市場に設けられ、戸長には赤木村の植田半七郎が就任している。岡本家文書に残る役場からの封筒には、はじめ「那賀郡神野市場村始十七ヶ村連合戸長役場」とあったが、翌年（一八八五）十二月頃には「十六ヶ村連合」となっている。福田村が連合から離れていたのかはよくわからない。

町村制が施行された明治二十二年（一八八九）、福田村は下神野村の大字となる。下神野村は郡区町村編制法での七村に箕六村が加わった範囲であった。

戦後、市町村の規模の合理化を目的として、廃置分合または境界変更を政府は推進、そのため昭和二十六年（一九五一）下神野村などが

それまでの那賀郡から現在の海草郡へ編入された。岡本家の近代文書は、海草郡への変更前のものである。

昭和三十年（一九五五）、下神野村は国吉（昭和二十六年猿川から改称）・上神野・長谷毛原・真国・細野村の一部（昭和三十二年）と合併し、美里町が成立、平成十八年（二〇〇六）西隣の野上町と合わせて紀美野町となり、現在に至る。

三 高野山行人領（総分）について

行人方の支配については、研究が進んでいないこともあって不明な部分も多いが、『続風土記』をもとにまとめておこう。

行人方では、興山寺を筆頭に所属寺院を上通・中通・下通にわけ、上通三十箇院を集議と称し、支配をおこなっていた。集議の上首で法会などの導師を掌る法眼、前法眼の前官、所司法橋二名のほか、集議のなかから衆監六員（人）が選ばれ、うち二員は江戸詰めであった。それ以外に沙汰が十員、年預二、葛城正先達と大峯正先達が各一、御修理代官六員があり、毎月五・十一・二十五日の式日ごとに衆監を補助して上山山下の諸沙汰を預かった、とある。

興山寺の職掌としては、鑑守一、支配三、記録者二員が集議中より勤め、地方支配じかたに関する役職として、鑑事（奏者）、衆牒・銀・蔵奉行と蔵副奉行の各一員と地方奉行二員がおかれていた。これらの役は中・下通りから勤め、鑑事は上山山下の万事を執達、衆牒は宗旨改を担当、修理領と興山寺領の年貢銀・年貢米を収納しその出納を管理する役が銀奉行と蔵奉行であった。地方奉行は領内の池川普請及び勧農等に携わっていた。清水代官は興山寺領及び衆監領の代官で、伊都郡清水組の地を支配し、毛見勧農等をおこなったとされる。

御修理方は学侶・行人の共同支配地であったが、実質的に行人側が

支配しており、ここにも大奉行・地方奉行・修理奉行などの役職が
かかれていた。

高野山寺領は紀州藩とは異なり、幕府寺社奉行の管轄であったため、
訴訟ごとで山内では裁定がおりない場合、江戸へ下向する必要がある。

岡本家文書や本稿では行人・総分・興山寺の三つを、高野山行人領
もしくは役職などを指す言葉として使うことがあるが、興山寺は寺号
として使う場合もある。

四 岡本家について

由緒書および系図によると、嘉吉年中（一四四一〜四四）に伊勢若
木谷城主（現三重県津市）であった別所彦二郎満祐が福田村へ来住し、
数代経た天正年中（一五七三〜九二）新兵衛の代に岡本と改姓、信長
による高野攻めでは、新兵衛が麻生津口にて織田信孝の攻め手を防ぎ、
木食上人から感状がくだされたという。

大坂夏の陣では大坂城に籠城し、新兵衛は討死した。新兵衛没後の
岡本家は由緒によって微妙に異なるが、とにかくその後も家名は無事
相続され、興山寺から「(神野) 十七ヶ村触頭」と「南郷向々諸取^{あつかい}」
を申付けられた、とある（資料番号ク19）。「南郷」とは、行人方の
領地が紀ノ川沿いの村々（川筋）と南部（南郷）にわけて使われた用
語とみられる。その領域の別は不明であるが、岡本家は福田村に限
らず、神野組や藩領も含めた周辺の地域と幅広い交流があった。

岡本家は、興山寺から地士という格式を許されていた。紀州藩にも
地士制度があつて、『南紀徳川史』にその変遷が説かれているが、寺
領と紀州藩の地士ではその支配・指揮系統が異なり、寺領における地
士と大庄屋・庄屋あるいは胡乱改（制道方ともいう）との職掌分担、
苗字帯刀以外に認められた特権など、詳しいことはまだよくわかって

いない。福田村には他に紀州
藩六十者（地士）の河野家と
寺領の地士田尻家があつた。

安永五年（一七七六）の一
揆の発端となった家として、
岡本家はよく知られている。
『和歌山県史』近世史料四収
録の中橋家文書「高野寺領百
姓強訴実録」によると、岡本
家の忠太夫（十六代宗内隆重）
が、興山寺に対して検地をす
すめ、その褒美として永々
三十石を願っていたという。

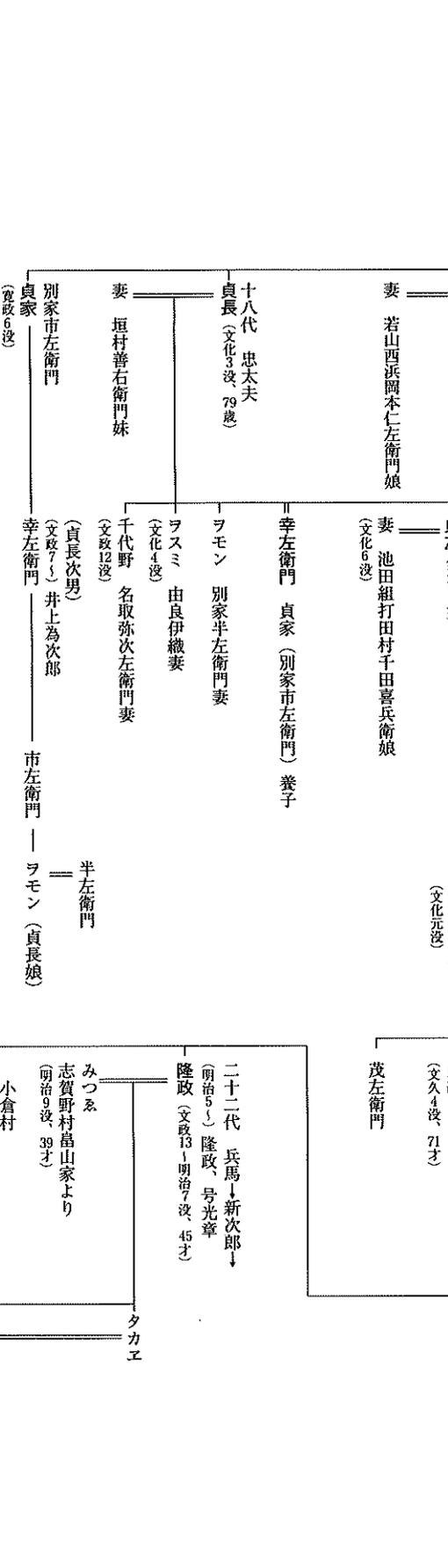
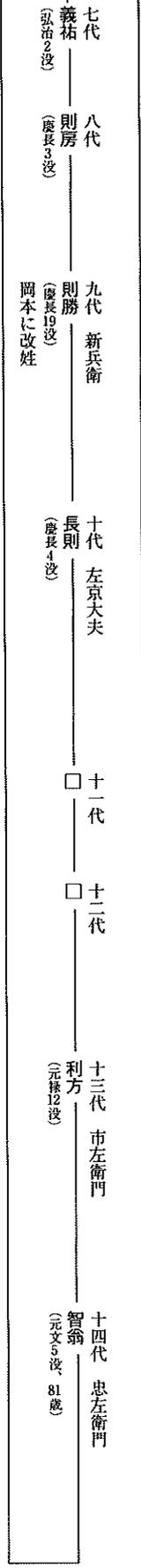
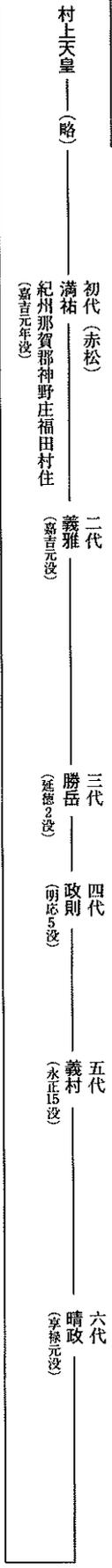
そのため、まず福田村田地に字を付け帳面を差し出し、同村在住で
紀州藩六十人者（地士）であつた河野左近（一之助）所持の田地から
竿入れを始めようとしたところ、河野の検地拒否の情報が近隣へ伝わ
り、検地による年貢の増徴を恐れた南郷の有力者らが岡本宅を打ち壊
すに及んだ。このとき差出した帳面の控とみられるのが、資料番号イ
294であるが、後年反故紙として再利用しようとしたらしく、表紙と
一丁目、途中にも落丁のあることが惜しまれる。ここに記された村高
は、米大豆合わせて二四八石九斗六升一合であった。

この勢いに乗じて、行人領の人々だけでなく学侶領の住民からも高野
山に対し年貢の減免要求をおこなったことから、紀州藩をも巻き込ん
だ一揆に発展した。岡本家や福田村はこれに参加しなかったため、褒
賞として銀七枚が与えられたが（写真2）、高野山側は幕府寺社奉行
に訴え、一揆に参加した人々は刑に処せられた。



写真2 安永一揆時の褒賞（ス-116-2）

岡本家系図



*岡本氏系図、由緒書、「万代日並記」などをもとに作成



写真3 「紀州家中系譜並に親類書書上げ」
名取弥次左衛門（資料番号 10482）

宗内隆重の跡を継いだのが貞長で、弟に市左衛門があった。市左衛門は長年の功勞により、寛政四年（一七九二）苗字帯刀を許され（スー67）、地士として別家をたて、文化五年（一八〇八）跡継ぎに貞長の次男幸左衛門を養子としている。

幸左衛門は文政五、六年頃（一八二二、二三）庄屋となるが、同七年

年（一八一三）十月から一年半ほど江戸に滞在したようである。天保四年（一八三三）以降、蔵庄屋や福田村の庄屋を勤めた。貞継の子、隆政は文久元年（一八六一）から翌年にかけて福田村庄屋となり、文久三年（一八六三）の天誅組の乱では、高野山上で警備にあたった。隆政には男子がなかったため、佐太郎が明治八年（一八七五）に婿入りして家督を継ぎ、明治十五年（一八八二）福田村戸長に就任、福田村用係などを経て、明治二十五年（一八九二）下神野村会議員、同二十七年（一八九四）には学務委員、さらに翌年下神野村助役といった要職を歴任した。

五 文書の保存状態と指定文化財、文書群の整理方法について

所蔵者からの聞き取りによれば、岡本家文書は同家の蔵の二階にあったつづらの中に収納されていて、当館へ寄託される前に、和歌山大学などによって調査が行われたとのことであった。おそらくこの頃、ブリキの衣装箱三箱に帳面や一紙文書などの形態や内容・年代順により大まかにわけて収納されたのであろう。これらは昭和五十二年（一九七七）に一部が県の指定文化財となり、同五十八年（一九八三）発行の和歌山県教育委員会による『和歌山県古文書目録1』に掲載されている。

平成十一年には、木箱等に入った文書が新たに発見され、調査の結果、平成十三年（二〇〇一）に前回指定分と合わせて九三〇点が改めて県指定文化財となったが、この時書状や明治以降の文書などは指定文化財の対象とならなかったために、目録化が見送られた。

そのため、本目録では指定文化財を含め、未採録であった岡本家文書全点について整理をおこなった。文書群には、これまでの調査によって、県史編纂時に使われた番号、県教育委員会の調査時に付けられた

（二八二四）病氣のため退役した。しかし実のところは病氣でなく、借財がかさんだことから表向きには国領（紀州藩領）へ出奔したとされたようだ。『統風土記』の旧家井上為次郎の項で、「当家は岡本新次郎の別家なり故ありて改氏とす」とあつて、確かに文書群中に「（福田村）庄屋岡本為次郎」と書かれたものが一点だけ存在する（スー129）。井上為次郎が庄屋役を仰せ付けられたのは、文政七年で天保五年（一八三四）までその職にあった。「故」というのは借財の件を指し、岡本幸左衛門が落着後井上為次郎と改氏したのであろう。

本家では、貞長の長男が貞之で、「万代日並記」を書き始めたのがこの人である。文化三年（一八〇六）父貞長の死後忠太夫を名乗った。貞之の妹に紀州藩士名取弥次左衛門の妻となつた千代野がいる（写真3）。

貞之には長男藤太郎がいたが、藤太郎は享和四年（一八〇四）に死去、新二郎貞継が跡を襲った。貞継は、江戸詰の役僧に従つて文化十

番号、文化財指定のための通し番号、と三つの資料番号が存在していた。当館での目録化にあたっては、未整理の文書にも番号を与える必要があったことから、文書館独自の資料番号をつけることとした。

資料番号は、まず収納容器別に箱番号を与え、文書一点ずつに親番号を付与した。一括文書などで必要があれば親番号のあとに枝番号以下を付けている。閲覧・利用の際には、この資料番号を用いて出納を行う。

目録では、指定文化財とそうでないものについて、文書一点ずつに識別可能なよう、しるしをつけるなどすることも考えたが、指定品が箱ごとに若い番号のものからまとまっていることと、目録の見やすさを優先させたことから、一点ずつの記載はしていない。そのため、箱番号ごとに収納された文書の資料番号(件数)と指定文化財の番号を以下に記しておく。

箱番号	収納容器	資料番号	指定文化財の資料番号
ア	衣装箱	一〇一六四	一〇一六四
イ	衣装箱	一〇一一六	一〇二一七、 (一〇七七は欠番) 二二〇〇〇三二四、 三二六、三二七
ウ	衣装箱	一〇七〇二	一〇三〇三
エ	木箱	一〇一一五	一〇一六
オ	木箱	一〇二四	一〇二四
カ	木箱	一〇三六	一〇三六
キ	木箱	一〇六三	一〇一一
ク	木箱(一部)	一〇五三	一〇一〇、 一六〇五二

ケ	箱なし	一〇一〇	一〇一〇
コ	木箱	一〇三八	
サ	箱なし	一〇四八八	
シ	箱なし	一〇七七九	
ス	箱なし	一〇二八三	

収納容器については、伝来の経緯や過去におこなわれた調査履歴を知るうえからも有用であると考え、木箱には適切な処置をおこなったのち、元通りに文書を収納し保存している。収納容器が特になかったものは、文書館で中性紙箱を用意し、移し替えた。

繰り返しになるが、岡本家文書は昭和五十年代から平成十年に文書館で寄託を受け入れられるまでの約二十年間に、複数の機関により整理・調査がおこなわれているため、蔵での保管場所などが正確に伝わっていない。現在ではこうした情報までを記録し、提供するのが一般的であるが、当時は資料保存に対する考えが十分ではなかったか、度重なる調査のあいだに失われてしまったのかもしれない。文書の収納状況から、ア・イ・ウ箱の文書については、当初の保管状況をとどめていないと思われるが、エ箱以降については原状を概ね維持していると考えられる。

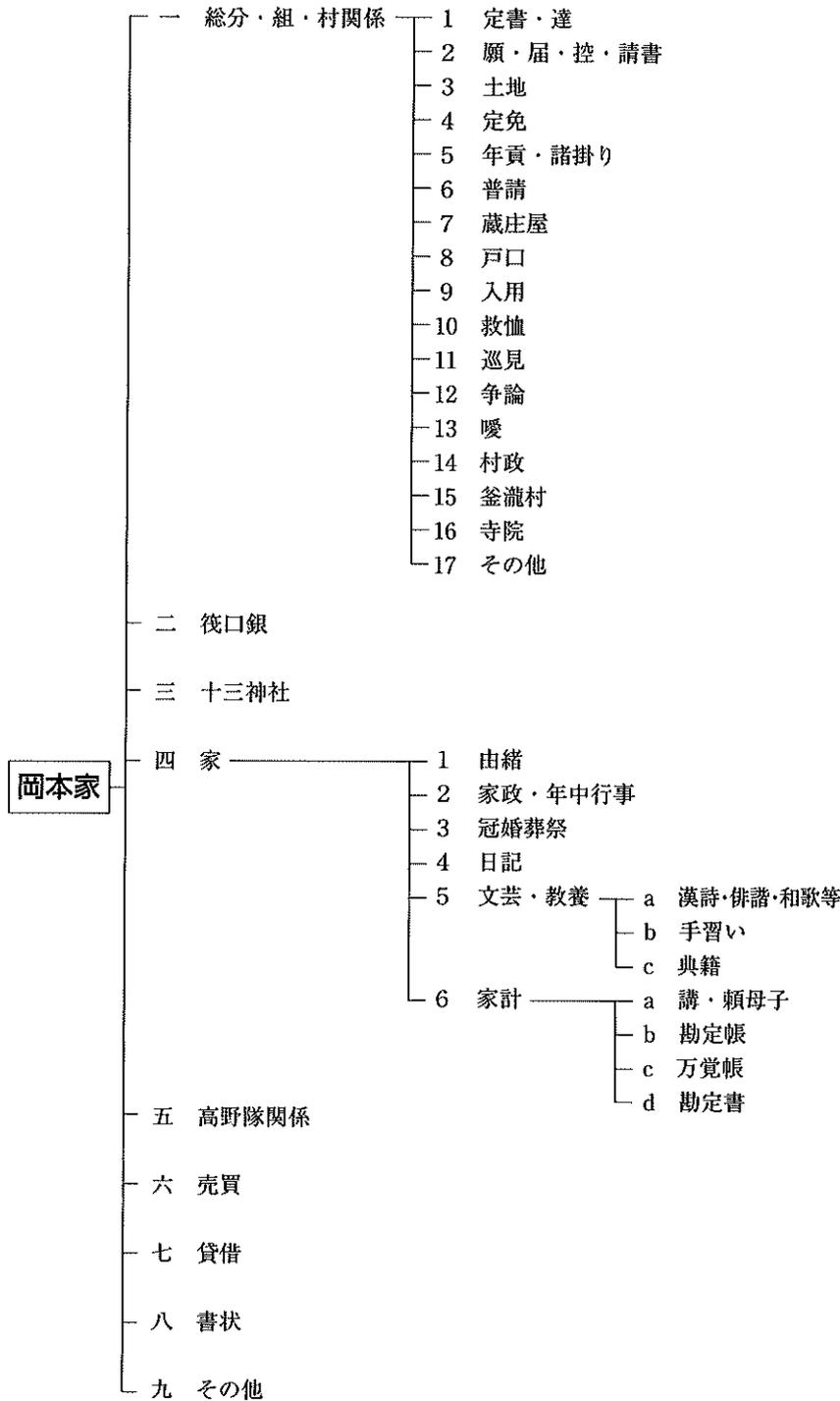
保存状態は、木箱に入っていたものは良好であったが、ア箱の「万代日並記」とウ箱の勘定帳は特に虫食いが多く、一冊のなかで数丁だけ展開できなかつたものもあれば、全丁が固着してしまっているものもあったことから、目録の備考欄にその旨を記載し、無理に開くと文書が損なわれる恐れがあったものについては、マイクロフィルムによる撮影をおこなっていないことをおことわりしておく。

六 目録編成と各項目の概要

岡本家には近世初期の文書も伝来していたと想像されるが、安永の一揆時に家宅が打ち潰されたためか、それ以前の文書はほとんど伝わっていない。文書群中には、元和十年（一六二四）行人領で地詰が行われた際に作成された「紀州那賀郡神野之内赤木村水帳」（ア―85）があるが、大半は十八世紀以降のもので、近世と近代がおよそ半分ずつで構成されている。

さきほど、「四 岡本家について」で述べたように、岡本家は地士

であり、興山寺から紛争の仲介や裁定、行人領内でおこなわれる土木普請の割付など村や組を越えて行人領全体に関わる仕事を任されることが多かったが、一時的に村の庄屋や蔵庄屋を勤めたこともあった。行人領における地士と大庄屋・庄屋あるいは胡乱改（制道方）との職掌分担もはっきりしないことから、役職による分類は行わず、文書の内容によって適当な項目を設け、そのなかで差出・宛名によってまとめ、それぞれ年月日順に並べた。



岡本家文書目録の編成

一 総分・組・村関係

岡本家が携わった地方じかたに関する文書を集めた。

1 定書・達 幕府からの法令、明治時代の布告類など。「徳川公務要書全」(ク-4)・「徳川家御仕置録全」(ク-5)の写がある。

興山寺からの達は、内容によって各項目へ振り分けたものもある。

2 願・届・控・請書 興山寺や近代の行政機関等に提出した願書や届け書を入れた。田尻氏との貸借に関する一件や『紀伊統風土記』と『紀伊名所図会』の控えをまとめて入れている。

3 土地 元和十年の赤木村水帳、安永五年の福田村検地帳のほか、明治期の地価算定に関するもの。

4 定免 明和から天保にかけて貞長の弟市左衛門と、新二郎貞継が庄屋を勤めた頃が中心で、一揆直前の安永四年(一七七五)のものもある。

5 年貢・諸掛り 年貢の割付や収納に関わるものを集めた。文化六年(一八〇九)に興山寺で火災が発生した時の見舞帳のほか、明治時代の村の共有地の地租や各種税金の領収書など。

6 普請 高野山寺領では貢租のほかに用水普請などの夫役が課せられ、これらを負担する者を「公事家(屋)」といった。岡本家ではこうした普請の際に必要な人夫や一部を銀で負担する「二歩銀」の割付や徴収、工事の宰領をおこなった。普請の範囲をみると、神野組はもちろん、紀ノ川筋の八箇組・麻生津組、奥院領にも一部及んでいる。

7 蔵庄屋 新二郎貞継が蔵庄屋(掛)であった時の文書を中心に集めた。

8 戸口 岡本家では一時期庄屋を勤めたが、宗門改帳などは残っておらず、明治期の送籍証や寄留届などが殆どである。近世の宮座

に関する資料二点(イ-181・イ-215)をここへ入れた。

9 入用 入用割についての文書で、神野組全体にかかるものと福田村に関わるものがある。

10 救恤 旱魃による凶作や諸色高値、あるいは難渋のため米や金銭の下げ渡しを要求した願書など。

11 巡見 延享三年(一七四六)、天明八年(一七八八)、天保九年(一八三八)に派遣された巡見使に関する資料のほか、「大殿様」つまり隠居した八代藩主重倫による高野山登山に関わるものと、明治四年(一八七一)鷲尾隆聚五條県知事による巡覧の資料を入れた。

12 争論 『和歌山県史』近世史料四に掲載の「神野福田村出入裁許書」(ウ-1)のほか、文化六年(一八〇九)の野上組溝口村(紀州藩領)大庄屋山本又次郎との一件がある。

明治十五年(一八八二)五月、貴志川と真国川の合流地点で福田村の西端にあたる落合に架橋することが決定し、戸長新谷政左衛門を中心に工事の計画が進められた。しかし、岡本佐太郎ら福田村の住民らは計画の内容に異議を唱え、その建設は福田村の村請とすることになっている。おそらくこれを機に、同年九月頃福田村は連合村から分離し、選挙の結果佐太郎が戸長となった(シ-358ほか)。

13 喫 岡本家では興山寺から仲裁役をしばしば任されている。由緒で「南郷向々諸取喫」といつているが、組だけでなく寺領を越えてその任にあたった。文化十一年(一八一四)『統風土記』の編纂を契機に、志賀野組と神野組永谷村とで起こった入会山(八十子山・ロクロシ山)の山論内済取喫状と、文政九年(一八二七)紀州藩領野上組柴目村と志賀野組による鷲谷山の境争論に関する一

連の資料がある。これらについては『野上町誌』上巻を参照のこと。
14 村政 村政に類する近世から近代の文書を集めた。近代では五條
県・学校・衛生委員・選挙や民権運動に関する資料をまとめた。

15 釜瀧村 文政二年(一八一九)志賀野組釜瀧村で薬師堂御用銀に
ついて平方と座方で出入りがあった(カー11)ので、事態收拾を
図るために貞之が兼帯庄屋を任されたのであろう。同四年か五年
(一八二二、二二)に釜瀧村善右衛門に庄屋役を譲っている(イ
883)。ほかに天保五年(一八三四)におこなわれた金剛寺護摩堂
の普請に関するものを入れた。ここでは文書に従って「釜瀧」と
した。

16 寺院 興山寺の儀式などに関する文書や、福田村内にある愛宕山
延命寺の本堂再建を目的とした勸進帳のほか、神野市場の満福寺、
野中の神宮寺にあった仏像などを記した「霊仏霊宝等御改牒」(ア
137)がある。

17 その他 紀州藩主徳川宗直から井沢弥惣兵衛宛とされる「(年始
の嘉儀入来に対する礼状)」(ウ1303)を入れたが、岡本家に伝来
した経緯については不明。

二 筏口銀 岡本家では享和二年(一八〇二)から天保四年(一八三三)
にかけて、神野川(貴志川)を流す材木に対し二歩口銀を徴収して
紀州藩の岩出役所へ納めていた。徴収した金銭を記した帳面がある。

三 十三神社 紀美野町野中にある十三神社は、神野庄の氏神であっ
た。遷宮に岡本家が奉行として携わった文書や、元治元年(一八六四)
の大々神楽に関する文書を入れた。岡本家文書と現存する棟札から
明らかとなった遷宮・修復の年は以下の通りである。

貞享二年(一六八五)、元禄十六年(一七〇三)、
元文二年(一七三七)、安永二年(一七七三)、
寛政七年(一七九五)、文化四年(一八〇七)、
文化八年(一八一)、文政七年(一八二四)、
弘化四年(一八四七)、明治二十七年(一八九四)、
大正十一年(一九二二)、昭和二十四年(一九四九)、
同四十二年(一九六七)、同四十四年(一九六九)

四 家 岡本家のイエに関する文書を集めた。

1 由緒 岡本家の由緒と系図であるが、明治三年(一八七〇)に五
條県へ提出した由緒書(ク19)は、高野隊の項へ入れているの
でそちらも参照されたい。安永の一揆時の褒賞と貸借証文、貞長
の弟市左衛門にはじまる家の文書もここへ入れた。

2 家政 文化八年(一八一)の家普請や農事に関する文書、信仰
や年中行事に関わるものなど。家普請については「万代日並記」
から日々の作業や雇人の詳細がわかる。

3 冠婚葬祭 香箋帳や嫁入時の目録・書状等を集めた。

4 日記 貞之が天明六年(一七八六)に筆を起こして以降、貞継・
隆政らによって文久三年(一八六三)まで書き継がれた「万代
日並記」七六冊があつて(弘化五/嘉永元年と嘉永六年の二年分
が欠)、日記には、日々の農作業・家事を中心に年中行事や高野
山・地域住人とのやりとりなどが簡潔に記されている。弘化三
年(一八四六)の雷火による和歌山城焼失や文久三年(一八六三)
の天誅組の乱の記録もあるが、ここでは嘉永七年(一八五四)に
起こった東南海地震の記事を掲載しておく(ア170、句読点並列
点と傍線を適宜つけた)。

(表紙)

「嘉永七寅年正月吉祥日」

万代日並記

岡本兵馬

5文化

おさき勝手、姉さま縫物。

a 漢詩・俳諧・和歌等 隆政は号「光章」といい和歌を詠んでいた。
b 手習い 手習いやその手本など。

c 典籍 『和歌山県史』近世史料四に収録の「天保世直口説」(ア
—80)を入れた。

6家計 岡本家の家計についての文書を集めた。

a 講・頼母子 講と頼母子に関する文書を集めた。「万代日並記」
文政五年(一八二二)から天保十二年(一八四一)にも、講の
あった日付と落札者名が書き出されている。

b 勘定帳 天明三年(一七八三)からの帳面が残っているが、古
いものほど虫食いが多く、三四点については開くこともできず、
そのためマイクロフィルムによる撮影もできなかった。

貞長の娘千代野は紀州藩士名取弥次左衛門の妻となっていた
が、弥次左衛門は文化八年(一八一二)不審の品があったとし
て大御番を召放たれ小普請入りとなっている。収入のなくなっ
た夫婦に対して貸し出された銀の覚帳などがある。

c 万覚帳など こちらも三五点ほどは一部、また全丁撮影できな
かったものがある。

d 勘定書 近世・近代の勘定書や請求書・領収書を入れた。

五

高野隊関係 高野隊は慶応三年(一八六七)に行人領の地士らに
よって結成された草莽隊で、戊辰戦争時には仁和寺宮嘉彰(のち
小松宮彰仁)親王を守衛し、最前線の地であった庄内藩関川村で
の戦闘に従軍した。隆政は高野隊に参加したが、出兵前に帰郷し

(十一月)

一 同四日

親父・母さま同断。おさき勝手、拙者今日八ツ時帰宅。

大地しん

万次郎・角助山行、元糸取。今日四ツ時

合大地しん。保太郎田人寄合、大野義兵衛方ニ参る。

大地しん

一 同五日

親父・母さま同断。拙者田人寄合、米集め参る。

保太郎・万次郎・角助山行、元糸取、姉遊候。

おさき勝手。

一 同六日

親父・母さま同断。拙者今日番頭目見ニ付持居候。

地しん

箕六村岡田才次郎、跡目村藤代八、跡見仕候。おさき

勝手、保太郎内仕、万次郎・角助米搗、元糸取、

姉さま遊候。

一 同七日

親父・母さま同断。拙者・保太郎・万次郎間打、

地しん

昼から内仕事、元糸取、おさき勝手、姉遊候。

今日迄地しん都合大三ツ、小数不知。

一 同八日

親父様・母さま内見廻し。拙者若山表、杉

谷平右衛門方、将又垣村新平方江先達而

嫁世話致呉候間、礼謝申出候。次ニ前田善助

三軒者地震見舞かてら参る。若山地震殊

之外大破損、浜向者つ浪ニ而人数多死、吹上

瓦町家潰込ニ見請申候。今日も少地震四ツ五ツ。

保太郎・万次郎・元間打、角助供ニ参る。

ている。戊辰戦争後に甥にあたる小倉村湯川儀右衛門の長男忠造（のち佐太郎）を代わりに兵部省へ入れており、京都の伏見や河東の練兵場から送られてきた書状がある。明治三年（一八七〇）には佐太郎の除隊歎願が始められ、遅くとも明治五年（一八七二）兵部省の廃止までに帰郷したと考えられる。以後、士族への編入と禄の給与などを求めた運動が明治二十八年（一八九五）頃まで続けられた。

六 売買 岡本家が当事者となった売買証文のほか、地士あるいは庄屋として請人になったもの、直接岡本家とは関わりのないようなものも、内容が売買であったものはここへ入れた。

七 貸借 売買と同様、貸借に関するものを集めた。

八 書状 各項へ分類されなかった書状を集めた。差出・宛名によってまとめて月日順にならべたが、「忠太夫」は少なくとも貞長・貞之・貞継が名乗っているの、注意が必要である。

九 その他 本紙と離れた封紙や白紙、断簡など。

十 参考文献等

- 『和歌山県史』近世史料四、近世、近代
『和歌山県の地名』、『紀美野町誌』、『野上町誌』、『那賀郡誌』、『橋本市史』、『かつらぎ町史』、『粉河町史』、『那賀町史』、『和歌山市史』、『南紀徳川史』第二冊・第十一冊
和歌山県教育委員会『和歌山県古文書目録Ⅰ』紀の川流域古文書調

査報告（Ⅰ）一九八三年

和歌山県立博物館 特別展『中世の村をあるく—紀美野町の歴史と文化—』二〇一一年

藤本清二郎『近世高野寺領成立史に関する覚書』『紀州経済史文化史研究所紀要』第8号 和歌山大学紀州経済史文化史研究所
一九八八年

和歌山井堰研究会『紀ノ川流域堤防井堰等遺跡調査報告書Ⅰ（橋本市・伊都郡編）』二〇〇二年

重要文化財建造物保存技術協会「重要文化財十三神社本殿他二棟修理工事報告書」一九七二年

小田康徳『近代和歌山の歴史的研究 中央集権化の地域と人間』清文堂 一九九九年

砂川佳子『岡本家文書の紹介』（『万代日並記』）『和歌山県立文書館だより』35号 二〇一二年

同「維新を駆け抜けた高野隊」同36号 二〇一三年
同「十三神社の遷宮と祭礼—岡本家文書から—」

「十三神社の境内地返還とつくられた証拠資料」同38号 二〇一三年

本目録の作成にあたり、次の方々のご協力を賜りました。記して御礼申し上げます。

岡本 信氏（岡本家全般について）

美野隆男氏・氏子中様（十三神社宮司、十三神社の祭礼等について）
坂本亮太氏（和歌山県立博物館、神野庄について）

* 解題・目録 砂川佳子

紀美野町福田 岡本家文書目録

一 総分・組・村関係

1 定書・達

イ-974	キ-1	ア-110	イ-183	ス-133	ア-88	ア-91	イ-165	資料番号
〔寺社奉行より仰せ渡され触につき達〕 * 固着のため撮影不可部分あり	御遺状御宝蔵入百箇条写 完 * 虫損あり	覚（酉ノ正月より厳しく儉約につき） * 端裏書「御検約 万事御停止」 * 急度相守、付箋あり	就切支丹宗門御改一札 * 封紙上書「岡本様 六部一札下書之通出来仕候ニ仍テ御差上申候」	覚（人夫代割合に新高場所をいれるよう和談につき） * 九度山・寺尾・黒川に新高が多いが彼是申すため	亥之年米大御収納御廻文写し * 上納規則	被仰渡御書附（享保年間の郡奉行からの達の写）	定条々（未進方、夫錢、勘定、年貢など） * 『和歌山県史』近世史料四に掲載	
寛政9年巳12月	（寛政7乙卯年10月）	天明8戊申年12月27日	天明8年申3月	宝暦11辛巳年11月25日	宝暦5年8月25日	延享3年寅7月	享保17壬子年10月6日	年月日
興山寺役人覚成院	（酒井定泰）	惣分役人 和光院	河野新平（花）	組惣代保田彦八、常右衛門、川村惣代清五郎、善七、平右衛門、柳沢志左衛門、門、清左衛門、志野組、門、麻生津四ヶ村惣代、右衛門、山崎村惣代、右衛門、寺尾村惣代、林、門、新四郎、弥五郎、六、惣代、兄井村嘉八、教良寺村、門、新四郎、弥五郎、六、	福田村庄屋役人	池田組黒山弥四郎	衆評	作成者
岡本忠太夫			御奉行所	院（印） 金蔵院（印） 蓮華定院（印） 瑞光院（印）				宛名
封紙包状	堅帳	状	封紙包状	状	堅帳	堅帳	状	形態

イ-889	ス-66 -6	ス-66 -5	イ-487	ス-28	ス-27	ス-26	ク-4	ス-13	ア-163 -2	ア-163 -1	ス-209 -2	ウ-362	イ-1044
覚（正月御年礼は相違なく勤めるよう達） *病気の者は届けること	口達（御進発につき150兩上納すべく達）	れにつき） 御口達（酒井若狭守殿じかに口述をもつて御用途金仰せ渡されにつき）	長州征罰写（長州征伐につき書面の通り参集するよう達の写）	諸株免許名前帳 *裏表紙「総分役所」	諸株免許定書 *写本 表紙「小川組 志賀野組取締役附」、「請取申真加銀之事」 鑑札掛り愛染院（印）↓高畑村太兵衛あて挟込文書あり	諸株免許定書 *写本、表紙「小川組 志賀野組取締役附」、下紙あり	徳川公務要書全 *写本	文政十二丑年嘉永二酉年取締写（諸株免許につき） *触達（諸株免札名前改めにつき）興山寺役者密藏院↓村々庄屋中の写しあり	〔御室宮様登山につき日限附の通夫を用意するよう巡達〕	覚（御室宮様参詣登山につき） *封紙上書「天保十五甲辰年十月日 御宮様登山仕候事 岡本兵写之 達書写之」	〔雨請立願を聞届け衣類莊嚴は儉約するよう差紙〕 *ス-209のこよりに挟込	覚（人別改につき雛型通り調べ当月中に届けるよう） *雛型あり	当月十九日於大坂放火及乱妨候徒党之もの共人相書（大坂町与力大塩平八郎以下五名）
卯10月	慶応元乙丑年閏5月日	慶応元乙丑年閏5月	元治元年子9月日	文久2壬戌年9月	文久2壬戌年閏8月	文久2壬戌年閏8月	嘉永3戌年4月日	（嘉永2）酉9月日	天保15甲辰年10月9日	（天保15甲辰年10月日）	（天保13）7月21日	（天保11）5月6日	（天保8）酉2月
	惣分役所	総分役所	本多美濃守、松平丹波守、内藤備後守	神野組取締役福田村岡本兵馬、市場村儀八	総分役所（印）	総分役所（印）	岡本兵馬写之（印）	神野組			総分役者代禪那院	総分役者青龍院	
	神野庄中		紀伊中納言								岡本忠太夫		
状	状	状	状	堅帳	堅中本	堅中本	堅中本	堅帳	状	封紙包状	封紙包状	状	状

イ-669-2	イ-803	イ-905	イ-850	ス-6-2	ス-6-1	ウ-512	イ-790-2	イ-790-1	ウ-650	ス-191	イ-834	ウ-29	イ-1060
〔非人番方囲いについて然るべく取計らうよう達〕	〔志賀野庄松瀬村の内風呂垣内の者へ達を守らせるよう書状〕	覚（惣寺領内追払五件） *写しカ	〔津川村先庄屋より諸帳面等引渡すよう依頼と下組椎山株主につき家主出来するよう達〕	廻状（鑑札御渡ししの株々印形持参にて呼出状） *ス-6-1-1を写し小川・志賀野方面の株持ちの者へまわしたもの	廻状（鑑札御渡ししの株々印形持参にて呼出状） *ス-6-1-1・2紙綴りにて一括、封紙上書「廻章」	覚（福田村の非人番を南郷非人番小頭へ申付） *神野組以外回覧済み	口上（風土記絵図の事で村中会合のところ腹痛につき取計らい願） *表書「岡本様 かわのより」	覚（絵図調につき役人下向のため人足三人山へ詰めるよう達） *封紙上書「差紙 神野福田村岡本忠太夫殿」興山寺役人明慶院 赤木より福田迄持参済	〔七太夫は病気たりとも役所へ罷り出るよう達〕	御触達（天誅組への参加を禁止した紀州藩の触の写し） *廻状	①公儀より御触書三通） ①仏壇神具改めさせるよう申付け②菜種買問屋并在々買次の者相止につき触③切金騒目金通用滞りにつき達	覚（巡見之節覚条々） *写しカ	覚（先年転法輪院新開場所免定の所このたび福田村草刈場所に申し渡し） *写しカ
4月14日	4月8日	3月25日	3月5日	2月23日		正月25日	20日	正月17日	正月3日	亥9月	①申8月②8月③8月、和光院からの日付は10月	申5月29日	申5月25日
惣分役人亀井善之右衛門	中性院	興山寺役人自覚院	興山寺役人自覚院	総分役人河野孝治郎	総分役人河野幸治郎	総分役人保田右近	河野兵部	北川頼母	総分役者代青龍院	総分役者光明院	惣分役人 and 和光院	興山寺役人 and 和光院	唯心院、大円院、正覚院
岡本新次郎	岡本忠太夫		岡本忠太夫		福田 由兵衛、小野清太郎、弥兵衛、久左衛門	毛原組、神野組、志賀野組、小川組、各政道方中	岡本	福田村庄屋	福田村岡本新次郎	志賀野組、村々庄屋中	南郷村々庄屋役人中		岡本忠太夫
状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙貼付状	状	状	封紙包状	封紙包状	豎帳	状	豎帳	状

イ-746	イ-968	イ-848 -2	イ-1071	イ-742	ア-99	イ-919	ウ-607	イ-818	イ-812	イ-851	イ-309	イ-976	イ-827
〔橋本町にて火付した盗賊乙吉と申もの見付次第召捕るよう長吉へ申し聞かすよう書状〕	〔胡乱改役願の通退役申し渡し跡役赤木村善兵衛へ申付けるにつき差紙〕	〔公儀より吹き直しの巻朱判の通用を滞らせないよう触〕	〔福田村に居住する真国宮村寅藏は御尋のものにつき召捕登山するよう差紙〕	〔津川村に入込んだ人を見付次第召し捕えるよう申付る書状〕 *封紙は忠太夫から亀井宛ての封紙の反故紙	覚（御衆監中支配組替につき支配別村名書付） *上部破損	覚（京都朝日の宮修覆働化と申す入込人はすぐさま他領境に送り出すよう触）*尚々書に13日に毛原上村で忠太夫が働化の者に遭遇した旨あり	覚（官寺焼失のため冥加差上物の名前帳面差出置きにつき達）	〔上井村神主佐渡谷赦免開戸仰付けられにつき〕	〔大角村利助親佐藏博奕催しと上井村佐渡博奕宿致し不届きにつき達〕	〔弥兵衛新株取立并大角村栄左衛門明家株相続につき達〕 *イ-851、853まで紙綴り一括	〔疫病流行につき触書写〕 *享保18年12月の望月三英・丹羽正伯差出の写	覚（南郷筋材木板のほか米桑など銭の筋がないかお尋ね） *固着のため撮影不可部分あり	〔宗旨改の座席につき宗旨奉行方より記録通申入れ達〕
7月24日	7月17日	7月12日	7月5日	6月28日	6月25日	6月16日朝出し	6月12日	5月21日	5月12日	5月11日	4月	4月29日	卯月25日
門 興山寺役人亀井善之右衛	惣分役人覚成院	総分役人舎那院	惣分役人覚成院	門 興山寺役人亀井善之右衛	総分役者青龍院	惣分役人北川頼母	興山寺役人自覚院	惣分役者中性院	総分役人中性院	長寿院		興山寺役人覚成院	宗旨改奉行前福院
岡本忠太夫	岡本忠左衛門		福田村庄屋	岡本忠太夫	神野組、小川組、志賀野組、庄屋中	神野組村々庄屋中	岡本忠左衛門、柳沢空之助	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎		岡本忠左衛門	岡本忠太夫
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状

イ-1047	イ-672	イ-327	ア-53 -2	イ-886	イ-858	ア-108	ウ-542	ウ-393	エ-109	イ-745	シ-568	イ-1050	イ-977
御口上(無宿の者は村役人平方役人立会追ひ払うよう) *下書き	〔身分不応の借財により村方一体の難渋とならないよう一札〕	〔儉約につき公儀触〕	九月二日儉約寄合覚	〔庄中勘定の節河野へ礼物差出すよう達〕 *承応4年に庄中へ申渡、宝暦10年に神野庄惣代へ一札差出	〔領分の者へ儉約の旨仰せ渡すよう達〕	覚(相続人の外に子を持つ者は分家するよう達) *18ヶ村に廻状	〔新米他領へ売出は不届につき村々役人共呼立通達の旨書状〕	覚(年貢上納が済まないうちは米大豆を寺他領売捌・売買しないよう達)	〔市場村難渋人の借用は相応にするよう達〕	〔他領のものを止宿させないよう村役人へ申付けるよう触〕	〔御講掛兩院其元へ下向につき達〕	覚(興山寺焼失につき再建の砌諸木は私に伐採しないよう申渡)	〔例年宗旨登りの節止宿している聖方へ入用渡すべく達〕 *固着のため撮影不可部分あり
				12月18日	12月3日	11月21日	11月8日	閏10月16日	10月23日	10月14日	10月朔日	9月19日	8月5日
		(惣分役者青龍院)		惣分役者中性院	惣分役人中性院	惣分役者龍華院	惣分役者龍華院	総分役者青龍院	持宝院	総分役人亀井善之右衛門	総分役者青龍院	興山寺役人自覚院	惣分役人和光院
				岡本忠太夫		毛原組、神野組、小川組、志かの組、村々庄屋中	岡本忠太夫	神野組十七ヶ村庄屋役人中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫		神野庄村々庄屋役人
状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

シ-384	サ-110	ウ-270	シ-720	シ-350	サ-457	サ-450	サ-455	ス-207	シ-180	シ-133	ク-5	エ-107	ウ-435
布第四十二号 (山林原野等地租改正につき)	国税金収入并帳簿類進達期限表	〔旅人宿営業廃止につき通達〕	〔地租改正につき達〕 *刷物、朱筆にて「乙第百七十号号」	申渡 (失火條により懲役20日の収賄金を申付) *「和歌山県」用箋	〔別紙布告至急廻達につき〕 *別紙はサ-456カ、朱筆にて「明治六年八月廿日着」・「質入証文規則」	〔八月三日例会・印し売捌きにつき通達〕 *サ-449の雛型含む、朱筆にて「明治六年十月廿五夕着」	〔太政官布告〕 *162・141・155号	〔越米なりがたく若山表より小川組へ触れるよう仰せ付けにつき〕 *下書き	覚 (大破の普請所ならびに居宅流失等追々用捨につき廻達) *裏面にも書込あり	庄定 (近年悪作打続につき諸検約の事) *下書き、固着のため撮影不可部分あり	徳川家御仕置録全	〔此度吹替につき慶長金位の通函替同様の割合に致すよう書状〕 *松平伊豆守による幕府触	〔触留カ〕 *下部欠
明治16年7月4日	明治16年6月	明治15年6月6日	明治8年3月	明治8年3月19日	日 (明治6年) 8月18	明治6年7月20日	明治6年5月						
和歌山県令神山郡廉	大藏省租税局	戸長役場	和歌山県令神山郡廉	(福田村) 戸長	副戸長中西光三郎	副区長中西光三郎	太政大臣三條実美、和歌山県令北島秀朝		総分役者光明院	庄役人中		総分役者代青龍院	
				第三大区十一小区那賀郡福田村河上与七母小フジ	岡本隆政				神野組				
綴	冊子	状	豎帳	罫紙	状	罫紙豎帳	豎帳	状	状	状	和本	状	状

サ-35	サ-51	サ-45	シ-284	シ-297	サ-42	シ-275	シ-274	シ-40	サ-324	サ-347	シ-442	ウ-252	シ-432
〔営業者巡視につき至急営業届を出すよう通知〕 *封筒は反古紙、封緘に「野村」朱印	〔天皇皇后御結婚祝儀のため当日休業するようにつき〕	〔新規商業税を納付するよう本人へ通達依頼〕	〔その大字において牛疫を隠弊の風聞につき取調依頼〕	〔地所建物船舶を所有するもの取調べ当所へ差出すよう依頼状〕	〔徴兵参事員選挙につき通達〕	議案第八号 明治廿二年度地方税中戸数割税ヲ賦課スベキ各戸等級課額村会議按	議按第七号 明治廿二年度地方税中工業税ヲ賦課スベキ各戸ノ等級課額村会議按 *等級表を合綴	兵第一一三号 (徴兵参事員選挙立会の節実印持参を申し送り) *朱筆あり	庶務第九百拾一号 (原籍を送時に愛知県下渥美郡より弁償金督促につき) *朱筆にて訂正あり、写し	〔福田村営業人名および税額等明記した帳面を至急送付依頼につき〕	〔太政官布告第50号古物商取締条例施行につき〕	那兵丑第20号 (予備軍并后備軍服役中心得)	〔願書進達につき〕 *朱筆にて明治十六年十二月四日付和歌山県令松本鼎、採用試験不合格の旨記載あり
日 (明治) 27年3月16	日 (明治) 27年3月2	明治26年11月26日	日 (明治) 26年9月18	日 (明治) 26年4月20	明治25年12月6日	(明治22)	(明治22)	明治22年5月11日	明治18年12月26日	日 (明治) 17年7月17	明治16年12月28日	明治16年10月3日	明治16年8月2日
下神野村役場	下神野村役場 (印)	下神野村役場	下神野村役場	下神野村役場	下神野村役場 (印)			曾和第二科長 (印)	庶務係印	戸長役場 (印・植田)	太政大臣三条実美、内務卿山形有朋	那賀郡役所兵事係 (印)	那賀郡長松山管吾
福田惣代岡本佐太郎	大字福田岡本惣代	大字福田惣代岡本佐太郎	大字福田岡本委員	福田惣代中	大字福田岡本佐太郎			岡本佐太郎	戸長役場 神野市場村外十六カ村	岡本佐太郎		福田村各戸長役場中、瓦谷善五郎	
封筒入状	封筒入状	状	状	状	状	野紙綴	野紙綴	野紙	野紙	封筒入状	野帳	綴	野紙

サ- 320	サ- 319	サ- 318	サ- 317	サ- 316	シ- 694	サ- 412	シ- 331	サ- 315	シ- 333	シ- 318	サ- 182	サ- 95	サ- 36
和歌山県告示 * 56・58・61号	那賀郡告示 * 53・57号	和歌山県令 * 16・20号	〔別紙本県布令回送につき掲示〕 * 別紙はサ- 316カ	〔布告類廻送につき〕 * 郡告示47・51号、県告示49・52号、県令15号	〔和歌山県告示・県令・那賀郡告示〕 * 県告示39・48、県令13・14、郡告示41・39号	〔威海衛略占領につき戦敏捷祝いとして1日休業致したく通知〕 * 封筒は反故紙	〔菓子製造営業業者の売上金高を取調べ役場へ提出するよう依頼状〕 * 封筒反故紙	記〔布告類順次廻送につき〕 * 県令43・46号、県告示100・148号、郡告示53・55・59号	諭達〔日清開戦につき〕 * 印刷物	〔商業者等証書印税検査につき伝達〕	〔那賀郡告示・和歌山県令〕 * 告示第41号、県令第38・25・26（後欠）号	〔諸営業者集会につき神野市場小学校へ出頭するよう通達〕	〔営業届出の件につき印行携帯し役場へ出頭するよう通達願〕 * 封筒は反古紙
明治28年6月	明治28年5月	明治28年5月	日（明治）28年5月25	明治28年5月23日	明治28年4月	日（明治）28年2月7	明治28年1月4日	月15日（表紙）明治27年10	明治27年8月7日	日（明治）27年7月26	明治27年5月	日（明治）27年3月17	日（明治）27年3月16
和歌山県知事沖守固	那賀郡長小山漸	和歌山県知事沖守固	下神野村役場（印：河野）	那賀郡長小山漸、和歌山県知事沖守固	和歌山県知事沖守固、那賀郡長小山漸	下神野村役場（印）	下神野村役場（印）	（表紙）下神野村役場（印）	高野山大本山金剛峯寺	下神野村役場	那賀郡長小山漸、和歌山県知事沖守固	下神野村役場	下神野村役場
			神野市場惣代指田力松、永谷惣代前中儀八、福田惣代岡本佐太郎			福田惣代岡本佐太郎	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	福田 各惣代 大字神野市場、永谷	高野山末各寺院一般	郎 大字福田惣代岡本佐太郎		郎 大字福田惣代岡本佐太郎	大字福田惣代岡本佐太郎
綴	綴	綴	状	綴	綴	封筒入状	封筒入状	綴	状	状	綴	罪紙	封筒入状

サ-461	サ-13	ウ-290	シ-658	シ-718	サ-97	シ-695	シ-71	シ-35	サ-96	シ-492	サ-85
〔印紙売捌きにつき〕 *1〜2丁目欠、刷り物	那賀郡農工商ヲ併セタル節年会規則 *朱筆あり	神野村々会議事規則	〔角谷峯吉有害鳥獸殺滅免許鑑札交付につき〕	株式会社和歌山県農工銀行定款 *印刷物	〔和歌山県令・告示〕 *県令9〜11号、告示4・7〜13号	〔和歌山県令・告示〕 *県令50号、県告示133〜146号、封筒上書「回章 大字神野市場 永谷 福田」〔那賀郡下神野村役場〕	回章（和歌山県令・告示） *封筒反故紙、県令49号、告示125〜132号	回章（和歌山県令・告示） *県令47・48号、告示111〜124号	和歌山県告示 *88〜93号	回章（和歌山県令・告示） *封筒上書「回章 神野市場 永谷 福田」、県令32〜35号、告示79〜81号	〔那賀郡告示・和歌山県令〕 *告示63〜68号、県令22〜24号
			11月4日	明治31年1月7日	明治29年〜	明治28年12月〜	明治28年11月	明治28年11月〜	明治28年9月〜	明治28年8月〜	明治28年7月〜
			下神野村役場	株式会社和歌山県農工銀行設立委員長小野徳太郎	和歌山県知事沖守固	和歌山県知事沖守固	那賀郡下神野村役場	那賀郡下神野村役場	和歌山県知事沖守固	和歌山県知事沖守固	那賀郡長小山漸、和歌山県知事沖守固
			岡本惣代	（認可）大蔵大臣伯爵松方正義			神野市場、永谷、福田	大字神野市場、永谷、福田			
綴	罫紙綴	罫帳	状	冊子	綴	封筒入綴	封筒入綴	封筒入綴	綴	封筒入状	綴

イ-163	ア-104	ア-103	イ-735	イ-732	イ-730	イ-729	イ-726	イ-725	イ-733	イ-724-2	イ-724-1	ク-44	イ-737
乍恐奉願上候口上覚（前庄屋不正につき訴願） *封紙上書「上神野庄津川村」、写し	内済（津川・樋下・大角三ヶ村宗旨代判引導無く頼合の儀につき差縫一件写）	乍恐奉願口上（御上様へ預けていた地士株の相続願） *打田村庄屋政右衛門↓稲垣円三郎、数見角右衛門↓鈴木理兵衛	乍恐奉願上口上（田尻平左衛門書付へ印形せず延引につき）	田尻高（米2斗7升5合、大豆1斗2升5合）	乍恐奉願上口上覚（田尻平左衛門并判形人等急々返済させるよう願） *下書き	田尻平左衛門りかし節（寛政十年から文化八年利銀書上） *イ-725と同内容、但し文化6年のみ相違あり	乍恐奉願上口上（田尻平左衛門書附通り渡さず難渋につき） *下書き	田尻平左衛門かし覚（寛政十年から文化八年利銀書上）	乍恐奉願上候口上（平左衛門立会いを延引し甚だ迷惑につき）	〔銀子が済めば本証文并田地山差し戻しにつき帰り手形〕 *イ-724-1の下書き	帰手形之事（銀子が返済されれば本証文并田地山差し戻しにつき） *封紙上書「田尻り覚書附入」	乍恐奉願上口上覚（田尻平左衛門借銀返済につき） *ク-45と関連	乍恐奉願上口上覚（田尻平左衛門并判形人等急々返済させるよう願） *イ-734の下書き
日	日	文化8年未12月							5月24日		文化8年未6月日	文化8年未3月	文化8年未3月
市門神野津川村惣代栄治、庄屋弥	津川村庄屋常八判、鎌瀧村惣代右衛門判	田仲組打田村□□千					岡本忠太夫				手形主岡本忠太夫、年寄為二郎、和介、庄や久蔵	岡本忠太夫	岡本忠太夫
興山寺様御役人明慶院		稲垣円三郎									田尻平左衛門	興山寺様御役人自覚院	興山寺様御役人自覚院
封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

イ-562	ア-79	ア-101	ウ-185 -1	イ-404	イ-162	エ-72	エ-6	イ-190	ア-86	イ-283	エ-112	イ-1025	イ-158
標数(神野組各村軒数書上)	御通筋領内村々高免人数家数并御案内記	差入申一紙之事(上納米他領へ売買につき)	当村方諸式之控	口書(差上げた印形は高野山小田原大坂屋伊右衛門の実印に相違ない請書)	乍恐奉願上口上覚(徳三郎難渋につき新左衛門後家に返済するよう願) *封紙上書「上大角村芳蔵」	〔小川梅本村健次郎一件〕①高祖様御忌につき赦免を願う書状下書き②乍恐奉願上覚(堅次郎老母病氣につき帰参願)③乍恐奉願上口上(健次郎差構のため西福井村に住居のところが帰村願) *エ-6とは異なる	乍恐奉願上口上(梅本村健次郎不調法のところが帰村願) *下書き	乍恐奉願口上(帰村御赦免願) *端裏書「小川梅本村健次郎帰村願控」	御廻文之留記	差入申一札之事(扇ヶ原と申す所拝領御願いにつき)	①乍恐内存ヲ以奉伺上候口上(長左衛門森株を有田郡山保田組堀川村次八へ相統願たくにつき)②「津川村森株相統勘弁につき未進米上納させるよう書状」 *①封紙上書「上津川村」	御届奉申上候(明添村久右衛門小入用銀等上納につき) *端裏書「文政九戌年十二月廿四日 明添村久右衛門筋 御届」	乍恐奉御願申上口上覚(離縁につき吟味願) *封紙上書「上南谷自性院長屋家根屋重蔵」
天保11子年4月	天保9戌年	天保7年申10月日	天保6未正月日	天保5午年11月日	天保5年2月	①2月10日②午2月③なし	天保5午年2月25日	天保5年2月25日	日	天保4癸巳年	①文政10年亥7月日②8月5日	(文政9) 12月24日	文政3辰年8月日
		願イ惣代清吉、定次郎	福田村庄屋岡本新次郎	庄二郎(印)	大角村願人芳蔵(印)年寄文治郎(印)庄屋田中喜兵衛(印)	①岡本新次郎②梅本村一家惣代幸左衛門③なし	小川梅本一家惣代、福田村岡本新次郎	小川梅本村一家惣代幸左衛門、福田村岡本新次郎	岡本新次郎	梅本村長兵衛ほか9名〔奥書〕庄屋神野組福田村岡本新次郎	①神野組津川村長左衛門類熊市(印)庄屋榮次(印)②持宝院	岡本新次郎	南谷自性院長屋頼人家根や重蔵印、同院長屋五人組惣代多右衛門印
		村方御役人衆		御兩人	興山寺様御役人長寿院	①保田右近②③なし	興山寺様御役人長寿院	興山寺様御役人長寿院		同村兵次郎	①興山寺様御役人持宝院②岡本忠太夫	持宝院	興山寺御役人中性院、〔奥印〕自性院(印)
状	横半帳	状	豎帳	状	封紙包状	状	状	状	豎帳	状	封紙包状	状	封紙包状

ア-41 -9	イ-496	シ-761	エ-69	イ-1003	シ-197	シ-739	シ-741	ウ-417	イ-566	ス-136	ア-94	ス-14	ウ-180
〔津河村下垣内株林右衛門出奔につき家財書上〕	廻状(学侶方年預より触達をもつて誘込があつても差構え致さぬよう申入れ)	御届奉申上候(山東組木就光左衛門が野中村領で木を伐採したので国領へ掛け合うよう願)	口上(盗人勇助身を捨て川にて病死につき) *封紙上書「神野福田村ニ而 岡本新次郎様 急用書 猿川夕茂左衛門」	覚 四月十八日上井村要蔵取しまり申渡方村方覚并親類中覚申届	〔近年家内共病気につき収納方不納旁にて取計いの程願上げ〕	〔封紙〕 *中身欠、シ-741の封紙カ	〔安井村栄蔵難渋につき差紙の認めを願う書状〕	御届(神社建物書上)	乍恐奉御届申上口上(観音寺覚住行末相知れ申さずにつき御届) *貸銀に関する書付あり	乍恐奉願上口上(病気につき弟茂八郎へ家督相続願) *封紙上書「上 小川梅本村永尾政次郎」	諸公事批判申渡(市場村伊左衛門差纏一件)	箕六村才次郎株諸払方調へ帳(20ヶ年賦無支分返納の願)	乍恐奉願申上口上(松瀬村溝路字水神普請出入につき)
	10月23日	6月9日	5月9日夜七ツ半 ころ認	4月28日	2月9日	12月14日	亥12月14日	酉6月日	子9月	文久3亥歳6月日	嘉永4亥年8月日	嘉永元申年11月	天保15壬辰年9月
	岡本兵馬、西山定右衛門	野中村利右衛門(印) 岡本忠太夫(印)	茂左衛門		釜瀧村庄屋由兵衛	安井村庄屋嘉左衛門	安井村庄屋嘉左衛門	福田村庄屋岡本新二郎	神野福田村観音寺且那惣代新介、庄屋岡本忠太夫	小川梅本村永尾政次郎、親類岡本兵馬	衆評	岡本忠太夫	松瀬村田人惣代勇蔵(印) 庄屋清助(印)
	中(神野組) 村々庄屋役人	惣分御役人中光明院	兄様	親類中	神野福田村御役人衆中	御惣分様御役人中、□院様御代官	福田村岡本忠太夫	興山寺様御役人三学院		御惣分様御役人光明院	治兵衛、太兵衛、伊兵衛、徳治郎、新治郎、孫兵衛、儀八、吉兵衛、伊左衛門、村総代	御惣分様御役人中	御惣分様禪那院
状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	堅帳	堅帳	状

ウ-173	ア-120	ア-117	ス-232	シ-757	サ-228	サ-227	サ-180	サ-161	エ-45	エ-41	ウ-698 -8	ウ-602	ウ-600
風土記	風土記控	風土記控 *上帳通り	〔神野・小川組取調方人名書付〕	南畑村儀右衛門親類割	差入置済書一札之事（一樽をもって誤り申上げても聞入くたされずにつき） *下書き	差入置済書一札之事（奉公人嘉七につき） *下書き	天誅生捕之事 *取扱注意	覚（天誅組一件につき） *写しカ、綴じ紐はずれ状態悪い	乍恐奉願上口上（拝借金返納が覚束ないため山林差上につき） *下書き	〔封紙〕 *中身なし、封紙上書「願書」	覚（喜市追い払いにつき下書き）	惣介申口（博奕仕り難洪につき主人所持の品を盗み取りほかの盗人手引きの次第） *下書き	指上申一札覚（孫左衛門吟味の結果手錠の旨承知につき） *下書き
日 文化10癸酉年霜月	日 文化10癸酉年11月	日 文化10癸酉年霜月											
神野庄福田邑	神野庄上井村	神野庄福田邑				惣右衛門				岡本新次郎	庄右衛門		一家共惣代誰、村惣代、年寄、庄や
						村方御役人衆							
堅帳	堅帳	堅帳	状	状	状	状	横帳	状	状	封紙	状	状	状

サ-480	サ-472	イ-271	イ-270	エ-42	エ-18	ウ-172	ウ-45	イ-900	ア-119	ア-118	イ-717	ウ-178	イ-778
牛馬書上(赤木村を除く神野組16ヶ村) *表紙朱筆にて「書上扣」、各村の年寄庄屋の連印あり	上(当庄17ヶ村には売薬人1人もいない旨の届) *表紙朱筆にて「書上扣」	上(威鉄砲赦免願につき村別人名書上) *表紙朱筆にて「威鉄砲御聞落」、3月25日聞届の付せんあり	乍恐奉願上口上控(砲発廃止につき威鉄砲御免願)	口上(若山より名所図絵改につきお知らせ)	御国名所図絵御掛役人中順在之節取扱之事(加納兵部外都合三人巡在につき) *端裏書「神野組へ」、岡本新次郎は役人滞留中に宿所へ見舞にいくこと	名所図絵 (トマ) *神野庄17ヶ村	名所旧跡由緒書上仕用帳控(雛型)	神野庄福田村(福田村道路、所在寺院堂宇書上)	風土記 *帳尻に「福田村庄屋弥市郎、岡本忠太夫、田尻平左衛門(印)」	風土記 *下書	(風土記調方役人造用割方を明添村へは掛けないよう申達)	風土記附絵図解 福田村四方町間帳	(風土記諸入用高割に致し庄中一統へ通達するよう書状) *固着のため撮影不可部分あり
明治5壬申年5月	明治5年壬申4月	明治5年申3月	明治5年壬申3月	9月4日	7月25日						極月5日	文化12乙亥年12月	(文化10年) 閏11月15日
野上組神野庄	(那賀郡野上組神野十七ヶ村)惣代岡本良兵衛	組惣代永谷村惣代永谷村年寄南定右衛門(印)赤木村庄屋植田半七郎(印)	(那賀郡神野十七ヶ村庄屋カ)、神野惣代	森山甚太夫		神野組			神野庄福田村	神野庄福田村	興山寺役人自覚院	神野庄福田村附	惣分役者自覚院
郷御役所	郷御役所	伊都御出張御役所	伊都御出張御役所	神野村役人中	福田村						福田村岡本忠太夫、庄惣代津川村善兵衛		岡本忠太夫
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	状	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	封紙包状	堅帳	封紙包状

ウ-297	サ-330	サ-304	ウ-228	ウ-224	シ-719	ウ-300	サ-449	サ-469	サ-25	サ-23	サ-415	サ-414	サ-26
〔高畑野中両村山地争論の費用残金につきお答え〕 *下書き、裏に「中野儀太郎、戸長新谷政左衛門」、「那賀郡長菅沼政経殿」	戸主換願（次男同苗菊之助へ家督相続につき） *朱筆にて5月6日開届の書付あり	〔営業鑑札お下げ願につき〕 *2通あり、①販物商、3月18日開届と②小売商但行商鑑札附7月9日確認	第三大区九小区川南村々より祠掌免職願につき答尽 *綴紐切れ	貢米石代相場之義二付伺	大本山論裁決控（松瀬村の内字大本山争論につき） *判決は原告の所有と認める	陸奥宗光田租改正建議写	記（印紙売捌につき） *朱筆あり	神野十七ヶ村庄屋年寄名前印鑑記 *表紙朱筆にて「書上扣」	十一区役場へ差出書控（新二郎から隆政へ改名願い6月14日聞き届けほか） *朱筆あり	〔野中村鐵先荒・河欠落破損につき見分願ほか〕 *朱筆にて「明治五壬申年十一月六日十区役所へ出ス二通」	控（福田・市場・南島・野中・安井村内寺院本山・境内坪敷・檀家軒数および福田村他府県寄留人居書） *表紙朱書「壬申十月十五日届出十一区役所へ」 〔野中・安井控誓度寺二有〕	野中村諸記類扣	鉄砲名前帳（和銃・びすとる所持者につき）
明治12	明治12年5月3日	①明治11年2月28日 ②明治14年7月1日	明治9年5月	明治9年2月7日	明治8年12月2日	明治8年6月	明治6年7月31日	明治6年壬申4月 日	明治5年申11月29日 日	明治5壬申年11月6日出之	壬申10月15日	明治5壬申年8月 日	明治5年6月 日
	那賀郡福田村中林吉右衛門（印）右一類滝上吉松（印）	①第三大区十一小区福田村平民岩根伊之助（印） ②那賀郡福田村根伊之助（印） ③那賀郡福田村根伊之助（印） ④那賀郡福田村根伊之助（印） ⑤那賀郡福田村根伊之助（印） ⑥那賀郡福田村根伊之助（印） ⑦那賀郡福田村根伊之助（印） ⑧那賀郡福田村根伊之助（印） ⑨那賀郡福田村根伊之助（印） ⑩那賀郡福田村根伊之助（印） ⑪那賀郡福田村根伊之助（印） ⑫那賀郡福田村根伊之助（印） ⑬那賀郡福田村根伊之助（印） ⑭那賀郡福田村根伊之助（印） ⑮那賀郡福田村根伊之助（印） ⑯那賀郡福田村根伊之助（印） ⑰那賀郡福田村根伊之助（印） ⑱那賀郡福田村根伊之助（印） ⑲那賀郡福田村根伊之助（印） ⑳那賀郡福田村根伊之助（印） ㉑那賀郡福田村根伊之助（印） ㉒那賀郡福田村根伊之助（印） ㉓那賀郡福田村根伊之助（印） ㉔那賀郡福田村根伊之助（印） ㉕那賀郡福田村根伊之助（印） ㉖那賀郡福田村根伊之助（印） ㉗那賀郡福田村根伊之助（印） ㉘那賀郡福田村根伊之助（印） ㉙那賀郡福田村根伊之助（印） ㉚那賀郡福田村根伊之助（印） ㉛那賀郡福田村根伊之助（印） ㉜那賀郡福田村根伊之助（印） ㉝那賀郡福田村根伊之助（印） ㉞那賀郡福田村根伊之助（印） ㉟那賀郡福田村根伊之助（印） ㊱那賀郡福田村根伊之助（印） ㊲那賀郡福田村根伊之助（印） ㊳那賀郡福田村根伊之助（印） ㊴那賀郡福田村根伊之助（印） ㊵那賀郡福田村根伊之助（印） ㊶那賀郡福田村根伊之助（印） ㊷那賀郡福田村根伊之助（印） ㊸那賀郡福田村根伊之助（印） ㊹那賀郡福田村根伊之助（印） ㊺那賀郡福田村根伊之助（印） ㊻那賀郡福田村根伊之助（印） ㊼那賀郡福田村根伊之助（印） ㊽那賀郡福田村根伊之助（印） ㊾那賀郡福田村根伊之助（印） ㊿那賀郡福田村根伊之助（印）	第三大区二小区中山村庄 右衛門長男平民児玉仲児	第三大区九小区下三毛村九頭社祠掌兼務訓導福田右平		売捌人岡本隆政		岡本隆政ほか	岡本隆政 村代宮本勇（印）副戸長	第三大区十一小区副戸長 岡本隆政	大東市左衛門、惣代 喜市郎（印） 庄屋浦中	野中村	
	那賀郡市場村戸長新谷政左衛門	①和歌山県令神山郡廉 ②那賀郡長北長左衛門		若山県令神山郡廉			租税御課	郷御役所	和歌山県御庁		和歌山県御庁		
罫紙	罫紙	罫紙	罫綴	罫綴	罫帳	罫綴	状	罫帳	罫紙罫帳	罫帳	罫帳	罫帳	罫帳

ウ-264	ウ-263	ウ-262	ウ-222	ウ-220	ウ-219	ウ-221	ウ-254	ウ-244	ウ-253	ウ-256	ウ-250	ウ-284	ウ-285
認定書再与願(旅籠屋認定書は盗み取られたため再与願)	記(小売営業御免願) *菓子、果物、青物、酒類	廃業願(家事都合につき旅籠屋廃業願)	履歴明細書 *下書き、朱筆による訂正あり	医師願(福田村田尻久之丞志願につき)	医師願(福田村田尻久之丞志願につき)	医師願(福田村田尻久之丞志願につき)	②手続書(飼牛斃亡のため七山村助右衛門へ売却に付上申)③斃丑御届ケ(飼牛斃死のため七山村助右衛門へ売却につき届)	〔役場文書一綴〕①営業税不納ノ儀につき答申②那賀郡福田村井筋総掛ノ反別及内訳反別取調書	予審終結言渡書(被告タル窃盗事件免訴) *「明治16年6月19日和歌山軽罪裁判所於テ写ス」	伺(河川鮎并鯿漁業組合規則の認可願) *鮎漁業組合取締規約書第1〜12条まであり	分署長据置之儀二付具申	筆生見込上申(戸長役場筆生は井上為次郎が適任として御届) *朱筆にて3月23日付認可の奥書あり	盗難御届ケ(老貫目衡につき)
明治16年12月21日	明治16年12月9日	明治16年12月9日		明治16年11月23日	明治16年11月23日	明治16年11月22日	③明治16年10月30日 ②明治16年10月17日 ②明治16年9月14日	①明治16年9月9日 ②明治16年9月14日	明治16年6月19日	明治16年5月15日	明治16年4月2日	明治16年3月10日	(明治)16年1月13日
福田村岡崎平助(印)	福田村岡崎平助(印)惣 代人角谷忠右衛門(印) 戸長岡本佐太郎	福田村岡崎平助、戸長岡本佐太郎	福田村田尻久之丞	門 円明寺村戸長 門武左衛門	福田村田尻久之丞(印) 戸長岡本佐太郎(印)	円明寺村惣代堂前友平	②福田村油谷梅吉③福田村飼主 野崎吉右衛門 七山村牛買主 右衛門、衛生委員河野秀貞	①那賀郡福田村戸長岡本佐太郎②戸長岡本佐太郎	福田村平民西田忠助、妻チカノ、西田半兵衛妻キヌ	旧十一小区鮎漁業人惣代那賀郡赤木村植田利太郎ほか九名、戸長植田半七郎、中家茂兵衛、野村勉、岡本佐太郎		戸長岡本佐太郎(印)	福田村平民岡本茂左衛門
那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾		和歌山県令松本鼎	和歌山県令松本鼎	戸長 門武左衛門	③動木分署 ②和歌山県令神山郡廉	①那賀郡長松山管吾②那賀郡役所土木係	予審判事補山本実義、書記貴志雄之助			那賀郡長松山管吾	動木分署
罫紙	罫紙	罫紙	状	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙綴	罫紙綴	罫紙	罫紙綴	罫紙	罫紙	罫紙

サ-427	サ-447	サ-20	サ-9	サ-431	サ-6	ウ-279	ウ-276 -②	ウ-276 -①	ウ-280	ウ-275	ウ-260	サ-353	サ-306
盗難届(初4石5斗程盗み取られにつき)	手続書(賊放火につき) *下書	自家用料醤油製造御届 *那賀郡福田村20家の製造石高、家内の人員、一人の割宛など	角力興行願(木戸銭ほか金銭等申し受けなくにつき) *朱筆にて認可の書付あり	弾買願(鉄砲弾薬免許商出来重太郎より弾買受けたきにつき) *4通あり	軍用鉄砲譲受渡願(洋製ヒストル吉挺、和銃玉目十匁吉挺) *4月7日付松本県差出の「此免手形ハ該品授受済速ニ返納スヘシ」とする写しを合綴	地券書換御猶予願(夫死亡し譲受人未定につき)	〔当郡内に証券印紙検査を受ける帳簿は無いことを御届〕	〔洪水の際漂流した木材の拾い賃金仲裁につき差出〕	原籍調 *3名分、生年月日・婚姻・子・生所ほか	〔抵当公費入札につき比較表を添え回送〕 *綴紐切れ	改名願(難型)	①戸主換願(養子同苗辰之助へ家督につき届) ②〔西上堪職なる者戸主換別紙届書につき〕	家督相続済月日記 *永谷村譲渡人西岡源兵衛、譲受人西岡佐之助
明治19年10月30日	明治19年9月17日	明治19年1月1日	明治18年11月28日	明治18年3月25日	明治18年3月25日、 〔奥印〕31日	明治17年5月8日	明治17年5月8日	明治17年5月5日	明治17年5月4日	明治17年5月4日	明治16	①明治16年12月27日 ②明治17年2月8日	明治16年12月27日
岡本佐太郎		製造人惣代岡本茂左衛門(印) 角谷忠右衛門(印) 岡本佐太郎(印)	那賀郡福田村興行人係り 恒右衛門(印) 同係り岡本佐太郎(印)	岡本佐太郎(印) 戸長植田半七郎(印)	那賀郡福田村譲渡人岡本隆政(印) 譲受人岡本佐太郎(印) 戸長植田半七郎(印) 〔奥印〕那賀郡長松山管吾(印)	福田村亡榮次郎妻梶谷トミエ(印) 戸長岡本佐太郎(印)	福田村戸長岡本佐太郎(印)	福田村戸長岡本佐太郎(印)	福田村戸長岡本佐太郎	福田村戸長役場(印)		①那賀郡福田村西上堪職(印) ②湯川文太郎	永谷村惣代
和歌山県知事松本鼎		那賀郡神野市場村外十六ヶ村戸長植田半七郎	動木分署長	和歌山県令松本鼎	和歌山県令松本鼎	那賀郡長松山管吾	証券印税検査員	動木分署長警部補代理 巡查田中榮三郎	動木分署	和歌山県治安裁判所		①那賀郡長松山管吾 ②岡本佐太郎	福田村戸長役場
罫紙	罫紙	罫紙綴	罫紙	罫紙綴	罫紙綴	罫紙	罫紙	罫紙綴	罫紙綴	罫紙綴	罫紙綴	封筒入罫紙	罫紙

シ-588	サ-244	サ-403	サ-445	サ-441	サ-444	サ-402	サ-442	サ-311	サ-8	サ-17	サ-425	サ-429	サ-406
(第十種商業都合により廃業願いにつき)	鉄砲持名前(旧御県庁へ差上の者につき)	栗石採取御願(田地修復のため貴志川筋河川において栗石採取致したく)	工業届(2等工業油製造新規営みにつき) *控	(従軍者遺族届出につき報告)	車両売買届(大六以下荷車売買につき) *朱筆にて「明治三拾年度前半期分税金納済」	(煙草小売営業願・煙草仕入鑑札下附願) *鑑札下附願は役場控	飲食店営業税御免除願 *6月5日付那賀郡役所より返付につき下げ紙あり	①「小林武八殿公売地所地券御請求につき」②「牛疫に罹った牝牛又は撲殺および汚穢物焼捨・掘埋等場所を当役場へ申出につき」③記(皇大神宮初穂取集につき) *封筒は反故紙	村有財産処分方法につき上申	地券紛失二付御下付願 *後欠カ	弾買願(鉄砲弾薬免許商出来重太郎より弾買うけたきにつき) *同文二通あり	有害鳥獸銃殺免許鑑札御下附願(17名分の玉目、所持人住所氏名ほか書上) *三通あり	国民兵異動御届(白谷峯吉廃嫡し原籍へ復籍につき)
3月16日	申3月22日	明治30年10月12日	明治30年7月7日	明治30年7月21日	明治30年6月	明治30年6月15日	明治30年5月17日	明治25年7月1日②明治25年12月2日③明治25年12月6日	明治22年3月10日	明治20年9月	明治20年2月	(明治19年頃)	明治19年月日
河野圭三郎	高畑村庄屋太兵衛	池田広吉(印) 村長河野秀貞(印) 下神野村長印	那賀郡下神野村大字福田角谷忠右衛門、村長河野秀貞	下神野村役場	那賀郡下神野村大字福田車両買受人北谷岩吉(印)	和歌山県下那賀郡下神野村大字市場前定次郎(印)	那賀郡下神野村大字神野市場土井伝兵衛(印) 村長河野秀貞(印)	①奈古佐兵衛(印) ②③下神野役場(印)	那賀郡福田村平民平見クスエ、証人平見平次郎	岡本佐太郎			那賀郡福田村平民農戸主白谷ヒサノ
惣代	当組戸長御所 (マ)	那賀郡判事久保田貫一	那賀郡長小山漸	那賀郡役所	那賀郡長小山漸	大阪税務管理局長山形修人	那賀郡長小山漸	①福田村戸長役場②③大字福田惣代	和歌山県知事松本鼎		和歌山県知事松本鼎		那賀郡福田村戸長植田半七郎
状	状	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙綴	罫紙	封筒入状	罫紙	罫紙	罫紙	状	罫紙

サ-5	エ-15	ウ-296	ウ-283	ウ-255	ウ-248	ウ-243	ウ-242	ウ-241	ウ-240	ウ-234	シ-448	シ-641	サ-349
〔寺院什物差出につき雛型〕	〔営業認可御届願につき雛型〕	手続書（斃牛売捌の始末御尋問につき上申） *岡本佐太郎宅の飼牛、佐太郎疾病出養で留守	〔福田村鉄砲所持人書上〕 *岡本隆政以下13名	斃牛御届（雛型）	左大臣従二位臣島津久光建白 *写し、朱筆あり	戸籍訂正願（久之丞と旧名を記載したため本名正哲へ訂正願） *下書き	戸籍訂正願（本姓中岡林右衛門のため） *下書き	復姓願（累代の野村へ復姓のため別紙証憑を添え歎願） *下書き	改名願（養子新一郎と名唱え私も信一郎と唱えるため） *下書き	家出御届（雛型） *裏に福田村戸長岡本佐太郎から那賀郡長松山管吾宛の煙草栽培に関する届の下書有り	〔借入金額返却のため登記取消請求につき〕	〔弾買願書式につき雛型〕	〔弾買願・伊勢講中村耕地売買願書につき〕 *全文赤インク、2通入り
										年号月日	11月15日	9月3日	3月25日
		西長蔵					中林右衛門、岡本佐太郎	本人何ノ誰、戸長何ノ誰	本人何ノ誰、戸長何ノ誰	本人何ノ誰、戸長何ノ誰	野村勉	湯川平次郎	野村勉
		和歌山県令神山郡廉					那賀郡長松山管吾	那賀郡長北長左衛門	那賀郡長北長左衛門	郡長宛	岡本	県下 那賀郡福田村 岡本佐太郎	井上為次郎
罫紙	状	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙罫綴	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	状	封筒入状	封筒入状

ウ-11	ウ-38	ウ-168 -1	ウ-167	ウ-39	ウ-48	ウ-26	ア-85
池所御改帳 *固着のため撮影不可部分あり、下部破損	池普請御改帳	〔田畑屋敷高明細帳〕	涌関池出溝路帳	新開并荒起改帳	学侶方高付水帳 *奥書「享保二十乙卯年九月 為記録岸村弥兵衛写之」	行人方郷帳高付 *写し	紀州那賀郡神野之内赤木村水帳
明和9年辰正月日	宝暦11年巳2月日	寛延3庚午歳3月日	寛延3年午3月	享保17年子10月日	元禄9年丑8月日	元禄9年丑8月日	元和10甲子卯月24日
福田村年寄喜兵衛(印) 庄や市左衛門(印)	福田村年寄多右衛門(印) 庄屋九兵衛(印)	福田村年寄伊右衛門(印) 庄屋平八(印)	福田村庄屋平八、同年寄 伊右衛門(印)	福田村庄屋役人	学侶方惣代親王院	学侶方惣代親王院	
興山寺様御役人中	興山寺様御役人中	興山寺様御役人	興山寺様御役人	惣分新開改奉行			
豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳

3 土地

シ-249	サ-487	サ-486	サ-245	サ-102
改名御願(雛型)	盗歎之届(岡本隆政にて盗み取った品につき)	〔紛失の雨天傘を取替るよう願〕 *サ-487の続き	〔大角村持威鉄砲名前書上げ〕	〔砲術熟練の者へ鳥獣殺滅方依頼につき〕 *裏に「地所売買地券書換願」の下書きあり
年月日				
何那何村大字何々何番地 戸主姓名印右養子何某		農山本締右衛門 (第一大区九ノ小区重根村)		
郡長宛				
状	罫紙	罫紙	状	罫紙

ア-148	ア-116	ア-115	ウ-570	ア-157	ア-151	ア-127	ア-126	ウ-171	ア-125	イ-671	ウ-49	イ-298	イ-294
御改池床溝路先荒用捨筋年貢藪御留山株々覚帳	三軒之御高名寄写し覚帳 *忠太夫・幸左衛門・喜七の三軒	御改二附先荒溝路池床年限帳	口上覚（福田村永谷村立合のところ松林にされ難儀につき）	藪御改之帳	山林御改帳	御改藪帳	山林御改帳	新高場所御用捨帳 *安永一揆後の状況あり	溝池床御改帳 *下部破損	〔村数合103村高書上〕 *13501石6斗5升9合6夕、福田村247石5斗1升6合 （寛政11年2月28日写）	御改二付先荒溝路池床年限 *固着のため撮影不可部分あり	乍恐奉願口上覚（当立毛悪虫多くわき出ているため見分願）	〔福田村検地帳〕 *米大豆高合248石9斗6升1合、綴じ糸はずれ、落丁あり
文化10酉年	文化10年酉3月日	文化10酉年2月日	文化9年申極月10日	文化4年卯3月日	文化4年卯3月日	文化4年卯3月日	文化4年卯3月日	文化3年寅12月日	文化3歳寅2月日	（寛政11年2月28日写）	寛政元年酉2月28日	天明4年辰8月日	安永5年申6月日
神野福田村	岡本忠太夫	神野福田村	福田村庄屋久蔵	神野庄福田村	神野庄福田村	神野庄福田村	神野庄福田村	岡本氏控	神野庄福田村			神野福田村惣代弥助（印） 庄や弥一郎（印）	福田村村惣代半太夫、同年寄善兵衛、同庄や市左衛門
大奉行、地方奉行			永谷村庄屋									興山寺様御役人 和光院	興山寺様御役人中
堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	状	堅帳

ア-142	カ-22	ア-141	ア-140	ア-139	ア-135	ア-134	ア-138	ア-132	ア-143	イ-278-2	イ-278-1	ア-145	ウ-544
田畑荒所留山留藪御改帳 *表紙・裏表紙のみマイク撮影	志賀野大涌路松瀬村字東嶽損所積り帳	田畑荒所留山留藪御改帳扣	田畑荒所留山留藪御改帳扣	田畑荒所留山留藪御改帳扣	田畑荒所留山留藪御改帳	田畑荒所留山留藪御改帳	池川涌関井手路帳	池床溝路御高反畝御留山式ヶ所あらため帳	東三拾三石悪所御用捨帳扣	(此所より奥は書残しにつき) *貼紙脱落カ	村々甘蔗作り高砂糖作高書付(雛型)	紀州寺領那賀郡神野組庄上帳(村高のうち甘蔗植付の田畑が少しもないことを指上) *15ヶ村庄屋印あり	神野庄中之内高所山林之外野山之分柴草苧株印形帳 *控
文政13寅年3月日	文政7申年9月	文政3年辰2月日	文政3年辰2月日	文政3年辰2月日	文政3歳辰2月日	文政3年辰2月日	文政2年卯10月日	文政2卯10月日	文政2年卯6月日		文政2卯年2月	文政2年卯2月日	文化12乙亥年4月9日
神野庄福田村年寄為藏 (印) 弥惣次(印) 源四郎 (印) 庄屋為次郎(印)	地方奉行尊勝院(印)	神野福田村年寄和助、政吉、円次、庄屋伝藏	神野庄福田村年寄和助、政吉、円次、庄屋伝藏	神野庄福田村惣代久兵衛、年寄為治郎、為助、庄屋伝藏	惣代久兵衛、年寄為次郎、為助、庄屋伝藏	年寄和助、政吉、円治、庄屋伝藏	神野庄福田村役人和助 (印) 円次(印) 庄屋伝藏	神野福田村岡本忠太夫控				紀州寺領那賀郡神野庄役人中	高畑、大角、桂瀬、赤木、鎌瀬、明添印、三尾川、筑六、上井、南畑、野中、門田、安井、福田、市場、樋ノ下、永谷、津川村、庄屋連印、岡本忠太夫印
大奉行西方院、地方奉行光三院		大御奉行惠光院、地方御奉行千藏院	大御奉行惠光院、地方御奉行千藏院	大御奉行惠光院、地方御奉行千藏院	大御奉行惠光院、地方奉行千藏院	大御奉行惠光院、地方奉行千藏院	御惣分役人中					勘定所	御総分御役人北川頼母、望月嘉八、辻茂之進
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	掛紙堅帳

サ-232	ウ-631	ウ-668	ウ-36	ウ-41	ウ-183	ス-180	ウ-44	ウ-17	ウ-7-2	ウ-7-1	ウ-4	イ-202	ス-137
〔郡惣代衆より反別帳持参の節に番帳・水帳を持参するよう書状〕	〔荒所見分のため人足を詰めるよう書状〕	覚(草刈場所不自由にて福田村中草刈場所につき)	福田村大涌諸池下御高反畝調帳	田畑荒所留山留藪御改帳	御検地帳写シ(伊都郡大野村) *兄井村望月嘉次郎が持参したものを写したものの、表紙に「慶長6年8月13日・元禄10年丑3月・正徳2年辰極月」とあり	村方米溝床同久荒同池床 大久荒見附御用捨調らへ帳	村方見附新高帳	田地并山林譲渡シ帳	〔絵図〕 *ウ-7-1に挟み込み、「峯ヨリ90間」とあり	田地山林質入聞届帳	見付新高帳	乍恐奉願口上覚(小川梅本村忠左衛門より譲り受けた田地見分願) *封紙上書「上小川中田村観蔵寺義品」	見附新田新畑調らへ下帳
5月16日	2月19日	申5月25日	安政2卯年3月日	天保11子年2月日	天保9戌年9月朔日	天保7申年8月17日	天保6未箱月日 ^(箱)	天保6未年正月日		天保6未年正月日	天保5年午箱月日 ^(箱)	天保4癸巳年正月日	天保3辰3月12日
神野組惣代市場村庄助、福田村源右衛門	六町院、舎那院	唯心院、大円院、正覚院	岡本兵馬	神野福田村年寄権次郎、慶次郎(印)半次郎(印)、庄屋岡本忠太夫(印)	岡本忠太夫	番附帳御調らへ役人望月嘉八郎	庄屋新次郎	福田村庄屋方控		福田村役所	庄屋井上為次郎	預主小川中田村観蔵寺義品、同庄梅本村惣代兵藏、同村年寄兵次郎、同村上蔵庄屋岡本新次郎	神野福田村役人中
福田村岡本御氏	神野福田村庄屋	岡本忠太夫										興山寺様御役人長寿院	
状	状	状	竖帳	竖帳	竖帳	横帳	竖帳	竖帳	状	竖帳	竖帳	封紙包状	横帳

シ-671 -1	サ-143	キ-11	シ-715	サ-466	サ-64	サ-27	ス-139	ス-94	ス-90	サ-22	ウ-317	ウ-34	ウ-28
記(旧十一小区山林原野等村等原按調査中日当につき) *封筒上書朱筆にて「金三円三拾銭在中」	(山林原野村等原按調査委員名伝達につき) *全文朱筆、3月8日付「天第6号」の写しあり	植木証之事(両者所有の嶺上境に松植直しにつき) *封紙上書「差入証証 志賀西郡村 應地峯源造」	山反別野帳(字落合・沢・垣内ほか) *3帳合綴、付紙・朱筆あり	除地ヶ所坪数取調書上帳(福田村・野中村) *朱筆にて訂正あり、綴じ紐はずれ	念樋山林度世帳 *朱筆あり	本田畑年季荒地引帳(野中村前利兵衛ほか八名所持の荒ヶ所 畝高取調べ) *朱筆あり	(津川村番附帳)	乍恐奉願上口上(大借のため褒美としていただいた西田山を 差上げたきにつき)	(高等改につき安永9年改めの番附帳をもって引合につき) *検地改めは致すまじくこと	記(池掛り反別高および道通り調子書)	(大谷池等大水につき大破損のため見分願) *破損	(久荒、川成ほか高書上帳) *固着のため撮影不可部分あり	河野田尻免許高覚帳
明治14年8月5日	日 (明治) 14年5月10	日 明治14年巳4月24	日 明治10年丑旧12月	明治7年4月	明治5年12月11日	明治5年6月							
(印) 神ノ下七ヶ村戸長役場	戸長役場	志賀西野村本人應地峯源 造(印)	福田村立会人谷口忠左衛門、梶 谷常三郎、馬止清兵衛、予城幸 助、井上為次郎、古坂芳兵衛	第三大区十一小区福田村 惣代、野中村惣代		副戸長岡本隆政				安井 弥左衛門			
郎 原按調査委員岡本佐太	岡本佐太郎	神野福田村岡本氏								福田村岡本御氏			
封筒入紙	罫紙綴	状	横帳	状	横帳	縦帳	横帳	状	状	縦帳	状	縦帳	縦帳

シ-104	サ-40	シ-211	サ-356	シ-642	シ-529	サ-178	シ-278	サ-84	サ-111	シ-489	サ-411	シ-711	キ-22
山野反金取調表(地番・等級・反別・地価・坪当金・町金) *付け紙あり	(別紙土地台帳名前更正願につき) *別紙11月21日付和歌山県知事沖守固(印)の開届けあり	(字東出の道筋所々破損のため営繕依頼)	記(地価更訂につき)	(土地台帳に属する書類差出しにつき)	(土地台帳調整を至急着手するよう達) *表書「岡田佐太郎殿 戸長役場 至急」	変換地入費割帳	(別紙天第28号公告中地所へ畝挽建設方依頼) *天第貳拾八号(印刷物)合綴、朱筆あり	変換地取調帳 *朱筆あり	地券(那賀郡福田村字落合)	小作約定証書ノ事	那賀郡福田村山野ノ内誤謬地反別地価減額表(雛型) *地主惣代より松本鼎あて反別面積土地種別書上を合綴	山林原野地価地租盛出帳 *朱筆あり	約定書(地所差入につき)
明治27年3月調査	明治26年11月2日	20日(明治)26年旧3月	明治20年9月14日	明治19年7月22日	日(明治)19年7月19日	明治19年6月	日(明治)19年5月13日	明治19年第2月	明治18年2月28日	明治18年1月	明治17年11月	明治17年第8月	明治17年6月19日
大字福田	下神野村役場	大字永谷惣代田中平兵衛	戸長役場(印・小壺)	神野市場村外十六ヶ村戸長役場	戸長役場(印)	福田村	神野市場村外十六ヶ村戸長役場(印)	福田村	和歌山県	那賀郡垣内村本人中垣内岩次郎証人久保島右衛門衛門	地主何之誰、戸長植田半七郎	福田村	福田村池田幸次郎頼母子箱惣代池田峰樟(印)
	岡本惣代	大字福田惣代岡本佐太郎	岡本佐太郎	福田村用係	岡本佐太郎		福田村用掛		主柳沢広	紀伊国那賀郡松瀬村持四郎	和歌山県令松本鼎		戸長役場
罫紙縦帳	綴	封筒入状	状	罫紙	状	横帳	綴	横半帳	状	状	罫紙綴	横帳	状

サ-55	サ-41	ウ-298	シ-323	サ-303	サ-378	サ-435	シ-289	サ-366	シ-463	シ-78-4	サ-49	サ-48	サ-50
〔野山の件につき別紙にて決議を知らせる書状〕 *サ-41と関連カ	〔福田字共有山分割願届〕 *秘密人名表 下坂楠松 予城幸助、谷口忠左衛門、馬止由太郎、河上与七、西田半兵衛、豊屋治兵衛、河合太助、井上為二郎、南忠左衛門	答申（一郡連合村等原按調査費用各小区限り支弁につき） *旧各小区の反別と掛り金額あり	〔土地名寄帳改正につき事務従事依頼〕 *封筒反故紙	〔山野村等合議会につき出頭するよう通達〕	〔山林地価調整につきこの使いへお渡しくださるようにつき〕 *封筒上書「福田村 惣代中 直丁」、裏面「那賀郡神野市場村始十七カ村連合 戸長役場」	〔小林武八へ売地券請求につき同人より送達の旨を知らせる葉書〕 *全文朱筆	〔山野地租改正および早害による賦課金当役場へ送附依頼〕	〔地押につき地主惣代2名参集のうち1名は貴許か返事を依頼につき〕	〔山林原野等級表は役場へ備置くだされたきにつき〕	記（地所書入・送籍証ほか代金書上）	〔山野改正等級調査は至急調整し差出すようにつき〕	〔山林原野反金取調につき直ちに出頭依頼〕	〔荒地は安井浦中春松の地所につき〕
			10月3日	7月27日	7月24日	7月4日	5月23日	5月2日午後2時	4月24日	2月26日	2月17日	2月11日	1月12日
河野	あもかもちくぞ味噌無茶 苦茶員河野圭三郎		野村勉	植田半七郎（印）	戸長役場（印）	黒江五銭社赤古佐兵衛	野村戸長（印）	野村勉	吉村久七	判屋音蔵カ	野村戸長	下神野村役場	野村
岡本	字掌握権利者岡本君閣 下二呈ス		岡本佐太郎	野村勉、岡本佐太郎	福田村用係	那賀郡福田村戸長役場	岡本戸長	岡本佐太郎	岡本	上	岡本惣代	岡本惣代	岡本
罫紙	罫紙	罫紙縦綴	封筒入状	罫紙	封筒入状	葉書	罫紙	罫紙	状	状	状	状	状

イ-225 -4	イ-225 -3	イ-225 -2	ス-33	イ-133
覚 (米代金受取につき)	受取申米代銀之内	覚 (不足貸銀高)	天野夫柴切夫割帳	寺領造用帳
		*イ-225 1~5まで一括	*2通、 堅帳はずれカ	
日 (宝曆3) 西12月2	日 (宝曆3) 西11月11	日 (宝曆3) 西11月3	寛延3 午11月23日	日 延享4 年卯2月4
銀奉行自性院 (印)	銀奉行自性院 (印)	銀方	寺領中	
福田村庄屋	福田村庄屋	福田村役人		
状	状	状	状	横帳

5 年貢・諸掛り

シ-361	シ-768	ス-81	ス-80	ス-79	ス-122	ス-78	ス-114
子之米免定	辰歳免定	子之年免定	亥之年免定	戌之年免定	酉之年免定	申之年免定	未之年免定
*破損のため開披不可	*固着のため撮影不可部分あり	*端裏書「天保十一庚子年」	*端裏書「天保十己亥年」	*端裏書「天保九戌戌年」	*端裏書「天保八丁酉年」	*端裏書「天保七丙申年」	*端裏書「天保六乙未年」
	天保15 辰年11月	天保11 庚子年11月	天保10 己亥年11月	天保9 戌戌年11月	天保8 丁酉年11月	天保7 申年11月	天保6 乙未年11月
	総分 (印)	総分 (印)	総分 (印)	総分 (印)	総分 (印)	総分 (印)	総分 (印)
		福田村	神野福田村	神野福田村	神野福田村	神野福田村	神野福田村
状	状	状	状	状	状	状	状

イ-960 -2	ア-122	イ-904 -14	イ-904 -13	ア-154	イ-904 -12	イ-904 -2	ウ-120	イ-167	ス-120	ス-116 -1	ウ-111	ウ-50	イ-225 -5
〔神野組新高につき勘定書付〕 *元高2050石4斗4升8合に新高26石2斗2升6合で合計3貫706匁5分5厘	官寺様御書継写(五年間の定免・定式夫料銀株書)	請取申半納銀之事	半納銀請取手形事	桂瀬村四損銀年賦筋不足帳	受取申柴半之物之事	受取申冥加銀之事	出火につき高野登り人足帳	乍恐奉願上口上(来る6月まで年貢延引願)	申渡(普請并柴伐夫天野夫等の正人夫免許につき) *封紙上書「申渡」、ス-116-1と同文	申渡(普請并柴伐夫天野夫等の正人夫免許につき) *清水組万石筋の分は1人前凡10工程に准じ同様に免許	当座覚帳 *状態不良、撮影は一部のみ	丑之生米大豆上納年内皆済帳	受取申米代金之事
文政元寅11月25日	日 文化15年寅正月吉	文化14丑2月21日	日 文化13子年10月10	文化13子3月28日	文化11戌2月23日	文化9申12月19日	文化6巳7月26日	文化2年丑3月日	日 享和4甲子正月8	日 享和4甲子正月8	享和2年戌11月日	寛政5年丑12月日	日 (宝曆3) 酉12月6
		興山寺納所(印)	興山寺納所(印)		興山寺納所(印)	銀奉行福智院(印)	神野庄	(印) 神野組役人惣代市郎(印) 市場村善兵衛	衆評	衆評	忠太夫	小川中田村庄や嘉兵衛(印) 惣代伊左衛門(印) 岡本忠太夫(印)	銀奉行自性院(印)
寺領中(印)		神野組庄屋中	神野組庄屋中		大角村庄屋	岡本忠太夫		興山寺様御役人覚成院				興山寺様御役人中	福田庄屋
状	堅帳	状	状	堅帳	状	状	横半帳	状	封紙包状	状	横半帳	堅帳	状

シ-528	イ-995	カ-25	イ-994 -1	ウ-674	ウ-642 -1	ス-174	ア-153	イ-906 -1	イ-906 -2	イ-957	イ-960 -1	イ-952	イ-960 -3
覚(天保三年収納の値段)	受取申柴代半納銀之事	申暮御未進帳(小川庄梅本村)	請取申柴代半納銀之事	覚(金銀受取につき)	請取申半納銀之事	草かり場所株々覚帳扣	草かり場所株々覚帳	覚(差引不足分受取につき) *後欠カ	受取申柴代半納銀之事	請取申柴代未納銀之事	請取申毛原上村古屋舗屋敷開地普請二付井手路人夫并式歩銀之事	請取申藪銀之事 *持夫料共皆済	(神野組棟割書付) *1軒につき7匁8分7厘、265軒
25日 (天保3年) 閏11月	文政10亥10月8日	文政8酉年7月日	日 文政6未年 2月26日	11日 文政4辛巳年11月	日 文政4巳年2月29日	文政3年辰2月日	文政3年辰2月日		文政2己卯年9月	日 文政2卯年2月27日	文政元年寅12月	日 文政元寅年極月19日	文政元寅11月25日
惣分役者長寿院	興山寺納所(印)	村惣代儀右衛門(印)庄屋勘太夫 (印)	興山寺納所(印)	明眼院役人	興山寺納所(印)	神野庄福田村年寄和助、 政吉、円治、庄屋伝蔵	神野庄福田村年寄和助、 政吉、円次、庄屋伝蔵	興山寺納所	興山寺納所(印)	興山寺納所(印)	地方奉行中性院(印)	銀奉行舎那院(印)	
村々庄屋中	安井村庄屋	興山寺様御役人持宝院	三尾川村庄屋	神野福田村岡本忠太夫	野中村庄屋	大御奉行恵光院、地方 奉行千蔵院	大奉行恵光院、地方御 奉行千蔵院		神野組庄屋中	神野組安井村庄屋	神野組役人中	神野組庄屋中	寺領中(印)
状	状	豎帳	状	状	封紙包状	豎帳	豎帳	状	状	状	状	状	状

イ-160	ウ-52	ウ-558	ウ-15	ウ-214	イ-280	ウ-5	ウ-654-3	ウ-654-2	ウ-654-4	ウ-654-1	ウ-9	イ-279	ウ-40
乍恐奉願上口上(未進銀を上納したいため銀八貫目拝借した願)	申之米大豆御未進上帳控 *破損あり	申ノ暮四損受取之通	生米大豆附立上帳控	乍恐奉願上口上(凶作のため未進銀支分利銀用捨願)	未暮御未進上納通	未之米大豆御未進上帳控	(差引勘定につき)	受取申紺屋免札料之事	覚(年賦支分勘定につき)	未暮四損受取通 *ウ-654-1、4まで折込一括	生米大豆附立上帳控	已暮米大未進銀受取通	已之米大豆御未進上帳控 *鼠害あり
天保8酉年12月日	天保8酉年2月日	天保7申年12月	天保7申年10月日	天保7申年9月日	天保7申年6月	天保7申年2月日		天保7申年12月19日	未12月19日	天保6未年12月	天保6未年10月日	天保5甲午年6月	天保5午年2月日
(印) 神野庄福田村惣代二左衛門兵衛 (印) 庄屋岡本忠太夫(印)	(印) 神野福田村惣代左衛門(印) 年寄定右衛門(印)七太夫(印) 庄屋岡本新次郎(印)	銀奉行自性院(印)	(印) 神野福田村惣代七太夫 (印) 庄屋岡本新次郎(印)	福田村惣代七太夫(印) 年寄茂左衛門(印)庄屋 岡本新次郎(印)	福田村	(印) 神野福田村惣代庄助 年寄万藏(印)茂左衛門 (印) 庄屋岡本新次郎		銀奉行自性院(印)		銀奉行自性院(印)	神野福田村惣代庄介(印) 庄屋岡本新二郎(印)	福田村庄屋	(印) 神野福田村惣代佐五郎 年寄清吉(印)庄助 (印) 庄屋井上為次郎(印)
惣分役人青龍院	金光院様御代官、興山 寺様御役人中	福田村	興山寺様御役人中、赤 松院様御代官	興山寺様御役人三学院		赤松院様御代官、興山 寺様御役人中		取次岡本新次郎		福田村	興山寺様御役人中、赤 松院様御代官	安養院下代(印)	安養院様御代官、興山 寺様御役人中
状	豎帳	状	豎帳	状	横半帳	豎帳	状	状	状	状	豎帳	横半帳	豎帳

イ-1034-2	イ-1034-1	イ-694	ウ-546	ウ-21	ウ-22	ウ-592	ウ-6	イ-313	ウ-547	ウ-562	ウ-25	ウ-19	ウ-641
覚（儀兵衛分未進銀割付） *端裏書「十二月廿七日 上ヶ井村ヨリ」	差入（上井村儀兵衛未進のため割賦の銀子を承知し請印仕りにつき） *イ-1034-1、4まで封紙一括	子年未進銀通 *皆済	請取申丑暮薪料銀之事	神野庄紙舟株并楮しらへ帳	生米大豆附立上帳控	受取申柴代銀納之事	生米大豆附立上帳控 *上部破損	〔敷請処上納銀請合下帳〕	戌暮御未進御通 *皆済	受取申數銀之事	生米大豆附立上帳控	酉之米大豆御未進上帳控	酉暮四損銀受取之通
12月27日	天保13寅2月日	天保12丑年	天保12丑年12月	天保12丑極月朔日	天保12丑年11月日	天保12丑年10月20日	天保11子年10月日	天保11庚子年3月	天保10亥年6月	天保9戌年12月19日	天保9戌年10月日	天保9戌年2月日	天保8酉年12月
		大円院代官（印）	銀奉行聖徳院（印）	岡本忠太夫	福田村惣代武兵衛（印） 庄屋岡本忠太夫（印）	興山寺納所（印）	福田村惣代為次郎（印） 庄屋岡本忠太夫（印）	福田村庄屋忠太夫	大円院下代	銀奉行自性院（印）	神野福田村惣代為二郎 （印）庄屋岡本忠太夫（印）	神野福田村惣代定右衛門 （印）年寄次助（印）徳兵衛 （印）庄屋岡本忠太夫（印）	銀奉行自性院（印）
	岡本忠太夫	福田村	神野組	御惣分様役人中	勝院様御代官 御惣分様御役人中、最	神野福田村庄屋	御惣分様御役人中、 □院様御代官	大奉行□□院、地方御 奉行明観院	福田村	神野組	御惣分様御役人中、大 円院様御代官	大円院様御代官、御惣 分様御役人中	福田村
状	封紙包状	状	状	豎帳	豎帳	状	豎帳	状	状	状	豎帳	豎帳	状

ス-18	ス-46	ス-226	ス-3	ス-206	ス-228	ウ-33	ウ-158	ウ-31	ウ-32 -2	ウ-32 -1	ス-193	イ-1034 -3	イ-1034 -4
献上納名前扣（今般御進発につき庄・寺社掛り金額書上） <small>*表紙に冥加金上納の雛型文書が挟込、神野組17ヶ村庄屋の署名捺印あり</small>	覚（献上金所請につき） <small>*封紙上書「領標」</small>	〔受取申請諸役銀之事〕 <small>*柴・藪・夫料・四損・石高掛りなど5通</small>	諸株免許名前帳	覚（米代銀納請取）	午暮米大取納手形受取事	御上納請合一札 <small>*表紙・1丁目のみ撮影</small>	勘定帳（福田村米・大豆・代銀につき）	丑年御収納御請合帳	〔錢書付〕	御未進帳（上井村）	神野組人足帳（壇上諸伽藍焼失のため遣わした人足の村別名前書上）	上井村山本株之事（儀兵衛親類名前と未進銀高書上） <small>*儀兵衛株は利助へ仰せ付け</small>	〔儀兵衛出奔につき親類へ割付けた未進銀を上納するよう差紙〕
日	慶応元乙丑年閏5月18日	文久2戊辰年12月19日ほか	文久2壬戌年9月	日 (文久2) 閏8月15日	日 安政6未年正月6日	日 安政2卯年9月	日 安政2年卯3月	日 嘉永6癸丑年10月		日 嘉永元歳申10月	日 天保14年癸卯閏9月3日		日 正月8日
神野組	神野組 身院（印）	福藏院（印）ほか	小川組志賀野組取締役松瀬村柳沢奎之允	長福院納所（印）	三宝院代官所（印）	神野庄福田惣代年寄伴左衛門（印）藤藏（印）儀右衛門（印）庄屋文次郎（印）	兵衛次郎（印）庄屋文次郎（印）	善五郎代源之右衛門（印）年寄屋権次郎（印）奥書（印）田尻誠之助 岡本兵馬 河野左近		庄屋半藏（印）			総分役者青龍院
巴陵院	神野庄鎌瀧村円福寺文身院	神野組庄屋中、福田村庄屋ほか		岡本兵馬	福田村庄屋	三宝院様御代官	御代官	三宝院様御代官		御惣分御役人舎那院			神野組福田村岡本忠太夫
豎帳	封紙包状	状	豎帳	状	状	豎帳	豎帳	豎帳	状	豎帳	横帳	状	状

イ-685 -1	イ-904 -11	ウ-663	ス-259	ス-258	イ-833	ス-192	ウ-541	ス-213	イ-580	ス-60	ス-51	ス-35	ス-66 -2
受取申午弁済指夫代之事	受取申米代半納銀之事	覚(銭を此ものへ渡すようにつき)	受取申竹銀之事	請取申諸株冥伽金之事	覚(御夫料、大除時御上納につき) *ハケ組、麻生津組、友瀧組、大原黒□、志賀野組、小川組、神野組、毛原組、変色あり、虫損	〔柴伐銀納并半納銀不納につき上納するよう申付ける差紙〕 *「是迄上納口数覚」として村別口数書上あり	覚(夫料判賃ほか差引勘定につき) *取扱注意	①②③覚(献金受取につき)	請取申諸株冥伽金銀之事	領標(此度御進発につき上納金5両) *封紙上書「領標」	領標(此度御進発につき上納金174両3歩) *封紙上書「領標」付紙「神野組中」	領標(此度御進発上納金につき) *封紙上書「領標」付紙「儀八」、裏に幸太郎地土相統についての書込みあり	口達(御進発献金15両を上納するようにつき) *封紙上書「口達 岡本兵馬」
午12月19日	午10月26日	午3月25日	辰12月19日	辰12月19日	辰霜月25日	卯4月	丑12月19日	25日①丑12月25日③丑11月②丑19日	子正月6日	日慶応元乙丑年11月	日慶応元乙丑年11月	25日慶応元乙丑年8月	丑閏5月日
正塔院(印)	興山寺納所(印)	地方奉行大聖院(印)	総分掛り中(印)	総分掛り中(印)	寺領中	興山寺納所	銀奉行所	福蔵院(印)①銀奉行処(印)②銀奉行	銀奉行福蔵院(印)	総分役所(印)	総分役所(印)	衆評(印)	惣分役所
神野組中	神野組庄や中	岡本忠太夫	神野組中	岡本兵馬	銀御奉行舎那院	神野組庄屋中	神野組庄屋中	①②③岡本兵馬	神野組、小川組	鎌瀧村円福寺	神野組中	市場村 儀八	岡本兵馬
状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

ウ-563	イ-442	ウ-646	ウ-645	イ-922	ウ-700-2	ウ-700-1	ウ-411	ウ-669	イ-904-6	ス-276	イ-736	エ-20	イ-685-2
未進通 *皆済	覚（御用の節預り金のものにつき名前書上）	覚（四損高ほか差引勘定につき） *端裏書「福田村」	覚（四損高ほか差引勘定につき）	〔申年未進銀当17日迄に上納するよう書状〕	箕六村御普請用米勘定	覚（毛原行・福井用の米につき）	〔其組々より例年の噌茶漬大根割附村々より銀納仕るよう書状〕	覚（銀受取も袋書き違いつき請取書引替）	覚（繩17荷寄進につき受取）	〔請取申拝借銀之事ほか〕 *13通、紙紐一括	覚（麻生津普請夫代惣分代り請取につき）	請取申柴代銀納之事 *福田村10口分	請取申午夫料銀之事
巳亥 ^カ 9月5日	亥3月15日	戌12月	戌12月	戌12月13日	戌4月19日	4月9日	酉10月6日	申7月5日	申 ^カ 3月20日	未極月ほか	未3月25日	未3月21日	午12月19日
大円院下代	福田村庄屋岡本忠太夫 （印）	銀奉行自性院	銀奉行所	金光院代官	地方奉行明慶院	地方奉行明慶院	興山寺納所	赤松院納所	興山寺再建役所（印）	銀奉行正藏院（印） 行宝瓶院（印）ほか 銀奉	正徳院（印）	興山寺納所（印）	銀奉行正塔院（印）
福田村	御惣分役人衆中	福田村	福田村	福田村庄屋	市場村庄や	岡本氏		岡本新次郎	神野組中	岡本忠太夫、市左衛門	神野組役人中		神野組中
横帳	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状

イ-677	イ-1038	ス-214	イ-868	イ-983	エ-17	イ-772	イ-863	イ-577	イ-440	イ-806	サ-77	サ-81	ウ-496
〔米2石を村惣代の者へ渡すよう書状〕 *月8歩の利足を加え9月限で代銀を上納	〔柴代半納銀滞りにつき納めるよう書状〕 *延引に及ぶようなら催促人を差遣わすので心得るよう	覚(村別割附銀額差遣わしにつき)	〔柴伐り銀早々上納するよう差紙〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔桂瀬村拝借年賦と米の返上滞りにつき取立るよう頼む差紙〕	覚(福田村10口分差引勘定につき)	〔其組中にて柴伐夫1人半不足のため早々差登すよう書状〕	〔当春柴伐銀早々上納するよう書状〕	覚(柴伐廻達受取につき)	覚(村預り米のうち割付分を役所へ差出すよう達)	〔惠光院千藏院人足都合12人当15日晚両院へ詰めるよう達〕 *封紙上書「差紙 福田村岡本忠太夫殿」中性院 辰二月十五日御巡在御用筋	〔去る申年未進銀利銀共取立し登山するよう達〕	〔神野組諸株免札へ早々上納するよう達〕	覚(飾物筋下銀勘定預りにつき)
6月20日	6月19日	4月晦日	4月5日	3月25日	3月21日	3月8日	3月5日	2月26日	2月19日	2月5日	正月24日	正月19日	亥12月30日
惣分役者代青龍院	興山寺納所	奉行	興山寺納処	惣分役人明慶院	興山寺納所(印)	興山寺納所	興山寺納所	興山寺納所	惣分役者青龍院	惣分役者中性院	金光院代官(印)	銀奉行聖徳院	銀奉行福寿院(印)
岡本新二郎	神野組庄屋中		神野組庄屋中	岡本忠太夫	福田村	神野組庄屋中	神野庄中庄屋中	福田村庄屋	村々庄屋中、神野組米座中	岡本忠太夫	福田村庄屋	岡本忠太夫	神野組役人中
状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

イ-748	イ-1036	イ-740-2	イ-740-1	シ-395	ウ-355	イ-874	イ-982	ウ-357	イ-876	エ-9	ウ-543	イ-1037	ウ-636
〔年貢収納につき書状〕 *封紙は反故紙利用	〔其村未進半納につき催促人市場村へ立越すよう申し達〕	〔里収納の儀につき庄内へは平等に納めさせるよう書状〕	〔当暮里収納米につき収納できる蔵があるか問合せる達〕 *福田・市場岡村、三尾川・赤木・鎌瀧の往来筋	〔去戌年暮の未進ならびに申年分の通を持参するよう書状〕	〔未進銀不納につき厳しく取立早々上納するよう差紙〕	〔不足があるため取立てて登すよう差紙〕	〔御用の金銀につき渡した仮手形と引替に本手形をもたせる旨申入〕	〔四損銀を早々取立上納するよう差紙〕	〔未進銀残らず上納するよう差紙〕	〔柴伐代銀不納につき書状〕 *下部破損大	〔未進銀取立のうえ来る8日迄に上納するよう達〕	〔未進銀不納につき催促人差向け篤と申し聞かすよう取計らいにつき〕	〔村方未進銀を半上納でもするよう達〕
10月10日	9月27日	9月25日	9月25日	9月23日	9月3日	8月25日	7月24日	7月13日	7月12日	7月2日	7月2日	6月26日	6月20日
亀井善之右衛門	大円院下代	亀井善之右衛門	惣分役人亀井善之右衛門	金光院代官	大円院代官	興山寺納所	惣分役者大聖院	銀奉行聖徳院	長福院代官	興山寺□□納□ _(所)	赤松院代官所(印)	大円院代官	金光院代官(印)
岡本忠太夫	福田村庄屋	岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野福田村庄屋	福田村庄屋	神野組庄屋中	神野福田村岡本忠太夫、市左衛門	福田村庄屋	福田村庄や役人	神野組	福田村庄屋所	福田村庄屋	福田村庄屋
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

イ-592	エ-111	イ-1031-2	イ-1031-1	ウ-579	イ-675	イ-904-18	イ-1010	エ-40	ウ-453	イ-805	ウ-690	イ-1058	イ-752
覚（其宅へ預け置き野中村生米を利右衛門へ差上すよう依頼）	〔明添村久右衛門村方小入用未進につき書状〕	〔別紙廻文市場村へ差越すべきにつき〕	〔上納米が大過分の未進にならないよう達〕	〔津川村林右衛門出奔につき未進銀・株相続をとりおこなうよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	御差紙写し（卯の御夫料銀・米方勘定書上）	覚（米2石駄賃につき）	〔小川庄中田村源藏未進銀捌方につき取り計らうよう達〕	〔徳兵衛収納相違につき聞き糺の上延寿院へ返事するよう書状〕	〔来る11日免定頂戴につき書状〕	覚（収納改めとして霜月3日より木下宇右衛門下向につき其旨村々へ通達） *神野組鎌瀧村から始める	〔金子を拙院方へ差登らせるよう取り計らいを頼む書状〕	〔当暮上納米の内何程おさめたいか届書を差登すよう達〕	〔収納が済めば改めたうえ収納切り紙を渡す旨達〕
12月21日	12月20日	12月15日	12月15日	12月6日	極月3日	11月17日	11月11日	11月8日	11月6日	10月25日	10月16日	10月16日	10月16日
善蔵院	惣分役者持宝院		大円院代官	中性院		中性院役人	持宝院	安養院代官	総分役者青龍院	興山寺役人中性院	宝瓶院	持宝院	総分役人亀井善之右衛門
岡本忠太夫	岡本新次郎	福田村庄屋	福田村庄屋、市場村庄屋	岡本忠太夫		岡本氏	岡本忠太夫	福田村庄屋為次郎	福田村岡本忠太夫	川組庄屋 神野組福田村庄屋、小	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠太夫
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

ウ-13	イ-131	イ-157	ア-95	ス-66 -4	ス-66 -3	シ-139	ウ-653	ウ-619 -1	ウ-574	ウ-35	ウ-644	イ-1108	ウ-643
神野桂瀬村御未進不納ニ付吟味帳	高割指出シ元帳 *固着のため撮影不可部分あり	〔高割元帳〕 *固着のため撮影不可部分あり	惣寺領御免定元高帳	〔人名書上〕	覚(神野庄寺院・土居・水落・神戸上納金額書上)	一札(御上納請合) *裏面にも書込あり	午暮四損受取通	〔相場金につき〕	〔組中難渋につき取替払にいたし拙地自坊へ持参するよう書状〕 *2通入り、1通は虫損のため開披不可	興山寺様焼失につき御見廻上長 <small>(ママ)</small> (見舞金献納)	覚(銀受取につき)	〔桂瀬村上納銀不納につき庄屋を吟味するよう頼む書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔米大豆甚だ不納につき取調べて帳面を登すよう書状〕
享和3年亥12月日	明和元年極月26日	宝暦10年辰霜月□□	日 延享4丁卯歳3月								12月27日	12月25日	12月23日
桂瀬村年寄善藏、庄や幸右衛門	寺領中					光明院	銀奉行延寿院(印)		〔長方カ〕 □□奉行千蔵院 友瀨下 番大西組字奥谷新池夫		銀奉行所	恵光院代官	大円院下代官
							福田村		岡本忠太夫		福田村庄屋	岡本忠左衛門	福田村庄屋
堅帳	横帳	横帳	堅帳	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	堅帳	状	状	状

イ-121	エ-30	イ-154	イ-153	イ-152	イ-95 -1	エ-115	ス-25	イ-959	イ-1030	イ-951	カ-18	イ-714 -4	カ-30
高割元帳 * (高7342石9斗4升4合2夕4才)	〔棟高掛り差引勘定につき〕	〔高割り元帳〕 * 固着のため撮影不可部分あり	〔高割指出し元帳〕 * 固着のため撮影不可部分あり	〔高割指出し元帳〕 * 152、157まで一括、固着のため撮影不可部分あり	①覚(大角村栄左衛門未進銀の内受取) ②覚(小川中田栄次郎よりの出銀受取)	〔合わせて四所につき覚〕 * 前欠	米大豆上納改帳(上納皆済につき) * 表紙「小川庄 梅本村 上蔵役人」	請取申里収納米之事 * 8通	請取申里収納米之事 * 55通	請取申里収納米之事 * 31通	御年貢上納覚帳	御用捨割(福田・市場・樋下・三尾川・大角村ノ29石9斗9升8合6夕)	御上納帳 * 人別石高書上
日 天保8酉年11月25	天保7申7月5日	□□ ^(天保) 5午年	午	25日 (天保) 5午年霜月	①天保5午年7月13日 ②午7月13日	日 天保5年午4月16	日 天保4年巳ノ8月	文政9戊11月18日	文政9年11月17日 ノ20日	文政9年戊11月17日 ノ20日	文政4年巳2月日	文化12亥9月12日	文化3年霜月吉日
寺領中		寺領中箱本大原黒川村	寺領中箱本大原黒川村	寺領中箱本大原黒川村	①岡本新二郎(角印) ②大角村庄屋代重右衛門(印)	新庄村年寄清次郎(印) 庄屋岩蔵(印)	梅本村惣代兵蔵、年寄柳左衛門(印)	岡本新次郎(印)	岡本新次郎(印)	岡本新治良(印)	志賀野組東野村		桂瀬村庄屋幸右衛門(印) 年寄庄助(印)
箱本神野組	庄役人中				①小川中田村栄治郎 ②岡本新二郎	岡本新次郎		三尾河村嘉蔵ほか	小河新庄村藤二郎ほか	市場村栄助ほか			岡本忠太夫
横帳	状	横帳	横帳	横帳	状	状	豎帳	綴	綴	綴	豎帳	状	豎帳

シ-141	イ-907	イ-1079	イ-334	イ-619	イ-997	イ-596	ウ-311	イ-155	イ-147	ス-47	イ-135-2	イ-135-1	ウ-23
状) 〔安井村善左衛門に割付られた銘々は拙宅へ上納致すよう廻〕	口上(割付寄合の儀は近日の内見合わせる旨廻文)	覚(小川新庄村米大豆高) *固着のため撮影不可部分あり	覚(銀請取)	覚(銀預りにつき) *抹消済	おほへ(代銀受取につき)	覚(勘定につき) *抹消済	請取申銀子之事(当庄中より例歳物成の筋受取)	高割元帳 *固着のため撮影不可部分あり	高割り元帳 *固着のため撮影不可部分あり	献金集扣 *神野組17ヶ村と神宮寺・土居・水落・神戸	高割指出シ元帳 *固着のため撮影不可部分あり	高割元帳 *固着のため撮影不可部分あり	御夫料御高覚帳(小野村、福井村、坂本村、梅本村、中田村、新庄村)
12月18日	5月18日	5月16日	4月20日	亥12月	戌10月29日	申12月	未7月12日	辰年霜月□□	明治2巳年1月□□日	慶応元丑7月27日	日 嘉永3年戌11月25日	日 嘉永3年戌11月25日	天保11子年極月日
岡本忠太夫	釜滝村ヨリ	小川新庄村庄屋半十郎	安井村	赤木村庄屋酒屋(印)	岡本新二郎	動木田中庄屋善右衛門	河野左近(印)	寺領中	箱本麻生□□ <small>(津世)</small>	庄役人中	箱本小川組	寺領中箱本小川組	小川新庄村庄屋
松瀬村、西ノ村、東之村、 原村、西ノ村、東之村、 村々庄屋衆中	国木原村、西野村、東野村、 村々御役人中	御役人岡本忠左衛門	岡本新次郎	(赤木村)庄屋角兵衛	小河組役人衆中	岡本御氏	当邑庄屋新次郎						
状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳

ウ-2	ウ-60	ウ-43	ウ-59	ウ-58	イ-143	ウ-161 -2	ウ-161 -1	ウ-57	イ-66	ウ-56	ウ-160	イ-141	ウ-55
子之徳盛帳	亥之徳盛帳	□ ^(戌之) □暮四損割附帳 *上部破損	酉之徳盛帳	申の徳盛帳	申之暮蔵下出作高割物打帳	(人別勘定書付)	未之御未進せり出し覚帳	未の徳盛帳	未之暮蔵下出作高割惣打帳	午の徳盛帳	午の御未進せり出し覚帳	午暮蔵下出作高割物打帳	巳之徳盛帳 *本文糊付け箇所あり
天保12丑6月11日	天保11子6月12日	天保9年12月7日	日 天保9 戌年 6月9	日 天保8 酉年 6月14	天保7年極月8日		日 天保7 申年 6月4	日 天保7 申年 6月4	天保6年極月12日	天保6 未年 6月日	日 天保6 未年 6月14	天保5年極月12日	天保5 午年 6月
福田村庄屋許	福田村庄屋許	福田村役所	福田村庄屋所	福田村庄屋岡本新次郎	福田村役所		福田村庄屋岡本新次郎	福田村庄屋岡本新次郎	福田村役所	神野福田村庄屋岡本新次郎	福田村庄屋岡本新次郎	庄屋井上為二郎	神野福田村庄屋井上為次郎
		神宮寺											
豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	横帳	状	横帳	豎帳	横帳	豎帳	横帳	横帳	豎帳

ス-91	ス-115	ア-89	ウ-649	イ-1022	ア-114	ア-111	オ-4	イ-839	イ-605	エ-11	ス-140	イ-606	イ-607
乍恐奉差上口上(私酒株90石のところ20石酒造につき)	乍恐奉差上覚(酒造高90石のところ20石のためお尋につき)	酒造石数桶道具改極印入印形帳(控)	奉差上一札覚(造酒市左衛門株吟味につき由来)	奉差上一札覚(杉右衛門株にて市左衛門造酒仕り吟味につき由来申上) *付紙に「訴えずに元禄年中の株としておく」とあり	奉差上一札覚(吟味につき市左衛門酒株由来申上)	奉差上一札覚(市左衛門株造酒吟味につき)	〔福田村徳兵衛酒株譲り渡につき〕	〔河野分・田尻分越高米書付〕	受取申金三歩(清左衛門未進)	〔福田村棟高割付差引勘定につき〕	戌歳収納手形請取控	請取申手形之事(米4石9斗・大豆8斗)	請取申収納手形之事(市場村掛入忠太夫ほか)
享和3年亥3月日	享和3年亥正月日	天明8戊申年11月	日(天明6カ)午11月	天明6年午10月日	天明6年10月	天明6年午10月日	享保15年戌正月日			酉7月5日	文久2	安政2年12月7日	嘉永7寅年12月10日
神野庄福田村百姓市左衛門、庄や弥一郎	神野庄福田村百姓市左衛門(印)庄や弥一郎(印)	惣分改役人		福田村惣代佐市(印)年寄秀八(印)庄や弥一郎	神野庄福田村惣代佐市(印)年寄秀八(印)庄や弥一郎	神野庄福田村惣代佐市(印)年寄秀八(印)庄や弥一郎	福田村平左衛門		庄屋文次郎(印)		庄屋許	庄屋文次郎(印)	庄屋文次郎(印)
興山寺様御役人覚成院	興山寺様御役人覚成院			興山寺御役人中	興山寺様御役人中	興山寺様御役人中	安井村藤兵衛		岡本	庄役人中		岡本氏	岡本氏
状	状	堅帳	状	状	状	状	状	状	状	状	横帳	状	状

シ-730	イ-312	イ-311	ウ-483	イ-985	ス-65	ウ-597	イ-1051	イ-300	ウ-608	イ-179	ス-160	ウ-168-2	ウ-599
〔追放申し付け彦右衛門の旧冬上納米につき書状〕	覚（御用米差送り状）	覚（御用米差送り状）	〔兵藏に指引勘定のうえ目録を渡すよう願一札〕 *前欠	〔普請・蔵米ほか金銀受渡につき〕 *イ-985から1000はこより一括、12通折込一括	酒や株御高覚書（米、大豆実徳高書上）	〔酒造米高覚〕 *90石の内戊の年20石仕る	奉差上一札（成年造酒高届の雛型） *封紙上書「酒屋筋」	乍恐奉願口上覚（作間稼棒手商人造酒入用米借用につき） *固着のため撮影不可部分あり	覚（酒造米は定例通り酒造するよう申し渡しにつき）	〔三分一通のほか酒造しないよう触書〕 *下部破損	〔酒屋株難渋につき成慶院へ書付渡したくお願いする書状〕 *高野山より地士株が下げられることを記す	〔鎌瀧村楠治郎へ酒造株御免につき造酒仲間へ達〕 *惣分役人知足院から市場村松下善兵衛あて許容の旨写しあり	奉差上口上覚（90石のうち30石造酒仕りにつき） *下書き
亥8月22日	酉卯月16日	酉4月朔日	嘉永5年子3月	文政6〜8年					11月5日	10月朔日	4月15日	3月日	享和―
総分役人長谷川数馬	中勝助役人（印）	中勝助役人（印）	所むら勘三郎後家いわ、親類惣代源藏、組頭□□	（いろいろあり）		神野福田村百姓市左衛門			興山寺役人覚成院	惣分役人光院	市左衛門	松下善兵衛	神野福田村―
岡本忠太夫	岡本御氏御役人衆中	岡本御氏御役人中		（いろいろあり）							岡本新二郎	福田村酒屋岡本幸左衛門、安井村酒屋健治郎、箕六村酒屋常右衛門、三尾川村酒屋勇助、右衛門、赤木村酒屋武兵衛	同村庄屋中
状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状

ウ-373	ウ-365	ウ-336	ウ-333	ウ-301	ウ-163	イ-891	イ-687	イ-658	イ-636	イ-599	イ-565	イ-533	イ-434
〔人別銀高書付〕	〔人別銀書付〕	〔四損銀勘定書付〕	覚（銀有高勘定）	〔貢租石代金未納につき申上書〕	〔御未進せり出し覚帳〕 *表紙と本文前半欠・綴じ紐破損	〔上納定徳ほか石高勘定書上〕 *前後欠	〔差引勘定書上〕*人別銀を合計したのち過引、四損引、未進など差引	〔子年から巳年まで高割代金支払覚〕	〔柴切代銀取集につき名前書上〕 *合点あり	〔主人家来代銀書上〕	覚（番地別米高書上）	未進筋銀（人別書付）	〔米大御年貢につき〕 *両面記入
*前後欠	*後欠												
状	状	状	状	罫紙縦綴	横帳	状	状	状	状	状	状	状	状

シ-551 -9	ク-3	エ-78	エ-55	エ-50	エ-37	エ-23	エ-21	ウ-590	ウ-548	ウ-406	ウ-397	ウ-385
証(証印税金受取につき)	田畑宅地収獲盛出シ法取出シ帳	(人別米高書付)	(人別銀書付)	(人別米請取) *3通、もとは横帳カ	(免定メ高192石5斗8升6合につき差引勘定) *裏にも書付あり	(番附帳のメ高につき)	(久蔵後家未進米高ほか書付) *裏にも書付あり	(人足名前書上)	(上納米書上差引勘定につき) *表紙欠	覚(未進銀を和吉親類割につき)	覚(米・大豆・銀を合わせ差引勘定につき)	(上納金差引勘定につき)
明治13年1月24日	明治9年9月改											
那賀郡神野市場村戸長役場(印)	立会人念樋梶谷常三郎、落合馬止清兵衛、板橋谷口忠左衛門、予城幸助、井上為次郎、村代古坂芳兵衛、副戸長田中喜八郎、戸長田淵駒之助											
福田村井上綱二郎												
状	豎帳	状	状	状	状	状	状	綴	横帳	状	状	状

シ-295	シ-709-2	シ-709-1	サ-374	シ-57	シ-392	サ-458	シ-551-18	シ-551-19	シ-652	サ-94	シ-634	シ-418	サ-314
〔地租上納・公売費につき確認を依頼する書状〕 *袖に朱筆にて「変換地之儀ニ付明朝御出頭相成度候」	記(不足金があるため人名取調のこと) *シ-709-1に挟込	十八年度田租取立帳 *朱筆あり	記(赤松平助の17年度地税は小生より納税につき)	記(15・16年度地方税等不足分)	記(16年度公儲金取立依頼)	記(地租掛り地方税第一期受取につき)	〔明治16年度田方畑地租受取差引勘定につき〕	記(明治16年度田方畑方地租代金につき)	記(二月分役場経費領受証書回送あるべきにつき) *印刷物、朱筆あり	記(明治16年下半期営業税納付につき)	〔明治16年分爲替にて上納につき〕 *印刷物、下書きカ	記(明治16年分地券証印税那賀郡福田村分上納につき) *朱筆にて訂正あり、大蔵省爲替方三井銀行へ預け上納	〔納税につき一括〕 *公儲金、宅地税、キシ川筋鮎漁業税、地券書換証印税につき大蔵省爲替方の5通
日(明治) 19年3月31		明治18年第12月	日(明治) 18年4月9	(明治) 17年旧12月	日(明治) 17年11月2	(明治) 17年7月	日(明治) 17年4月24	日 明治17年旧3月29	明治17年2月13日	明治17年1月31日	(明治16年)	明治16年	(明治16・17年)
戸長役場(印)		福田村	岡本忠	岡本	戸長役場(印)	福田村惣代		永谷村八人組惣代向林伊左衛門	那賀郡役所会計係(印)	那賀郡福田村戸長岡本佐太郎(印)		那賀郡福田村戸長岡本佐太郎(印・抹消)	那賀郡福田村戸長岡本佐太郎(印)
用係御中			植田戸長	坂口才助	福田村用係	中西喜兵衛		福田村戸長役場	福田村初ヶ村戸長役場	那賀郡役所租税係		那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾ほか
状	状	横帳	罫紙	状	罫紙	状	罫紙	状	状	罫紙綴	状	罫紙綴	罫紙綴

シ-372	シ-108	シ-255	サ-39	シ-447	サ-58	シ-241	シ-84	シ-90	シ-599	シ-246	シ-371	サ-335	サ-325
〔地所売買の費用・不納の村費を平野より支弁の旨につき出頭 依頼状〕 *シ-345 関連カ	令書 (明治26年度後半期地方税地租割税領収につき) *10 通あり	〔明治26年度第二期村税他領収につき〕 *16 通あり、印刷物	明治廿六年度後半期分地方税地租割税徴収表 *朱筆あり	〔新規の者は日付の通り上納するようにつき〕 *前欠	廿六年度前半期分地方税地租割村税廿五年度地租割追加不納者 *11 通あり、印刷物	〔領収書折込一括〕 *11 通あり、印刷物	〔地方税戸数割税賦課につき戸主氏名取調べ差出すよう依頼状〕 *封筒は反故紙を利用	〔田租五期分未納につき納めるよう依頼状〕	〔明治25年度地租割税徴税・伝令書〕	〔明治25年度地租等領収書折込一括〕 *13 通あり、印刷物	〔本年7月前割不足分を取りまとめるよう依頼状〕	〔地租第一期分伝令書配布方につき〕	証 (18年分地租受取につき) *刷り物
15日 (明治27年カ) 9月	明治27年6月1日	明治27年2月23日	(明治26年)	明治26年5月17日	日 (明治) 26年4月28日	明治26年4月25日	明治26年3月29日	日 (明治) 26年3月28日	明治25年12月29日	明治25年11月25日	日 (明治) 19年12月30日	日 (明治) 19年8月20日	明治19年4月18日
戸長役場 (印)	那賀郡下神野村収入役芝崎房之助 (印)	下神野村収入役芝崎房之助 (印)	大字福田	下神野村役場 (印)	下神野村役場 (印)	那賀郡下神野村収入役芝崎房之助 (印)	下神野村役場	下神野村役場	(徴税) 那賀郡下神野村村長野村勉 (印) (伝令書) 那賀郡下神野村収入役芝崎房之助	那賀郡下神野村収入役芝崎房之助 (印)	戸長役場 (印)	戸長役場	那賀郡神野市場村戸長役場 (印)
岡本佐太郎	岩戸平兵衛ほか9名	延命寺檀中、元福田村中、観音寺ほか		惣代岡本佐太郎	大字福田惣代	元福田村中、延命寺、延命寺檀中ほか	大字福田惣代岡本佐太郎、議員角谷忠右衛門	大字福田惣代岡本佐太郎	元福田村中	観音寺、延命寺、元福田村中ほか	岡本佐太郎	福田村用使	西岡佐之助
状	綴	状	罫紙	状	罫紙	状	封筒入罫紙	状	状	状	状	罫紙	状

シ- 635	シ- 188	シ- 190	シ- 696	サ- 376	シ- 464 -②	サ- 114	サ- 46	サ- 213	サ- 401	サ- 184	サ- 329	シ- 345	シ- 326
〔地租延納願許可ならず上納するよう通知〕	〔本年度第一期戸数割税各戸の等級姓名及び賦課の歩合等お尋ね〕	〔金子請取証頂戴つかまつりたく依頼〕	四月十六日送り金扣 *不納者、岡本氏分の書上あり、朱筆	〔地租御免願につき尊夫至急当役場へお出でいただきたい旨の書状〕	〔営業税等旧年内に納めたく回答〕	〔入足代金勘定書上〕	〔田租必ず納付するよう通知依頼〕	〔谷口君の不足分地租50円を取りまとめるよう依頼状〕 *封筒反古紙、「那賀郡東野上村役場」用箋、同日付佐太郎から山田宛ての谷口君不足地価につき書状を同封	〔営業税課税につき29年度納付の地方税額取調べ依頼〕	領受証（奥院壇場営繕費領受につき）	明治廿八年度前半期分国税不納調（牛馬売買税・車税不納につき通牒）	徴税伝令書・領収証書（明治27年度第2期分地租） *印刷物、領収証書の差出は下神野村収入役 松下芳太郎	廿七年度後半期分諸税不納表 *支払者は朱線にて抹消
7月11日	4月28日	4月24日	4月16日	2月3日	1月24日	迄 1月21日～2月中	1月13日	日 （明治）30年9月25	明治30年5月16日	明治28年4月11日	明治28年1月31日	明治27年11月15日	明治27年10月31日 午前調
戸長役場（印：植田）	野村	永谷村八人組惣代向林伊左衛門	福田村	野村勉	市場村戸長（印：野村）		下神野村役場	山田章	下神野役場（印：抹消）	高野山金剛峯寺教議所 （印：坂本）	下神野村役場	下神野村村長野村勉（印）	
福田村惣代	岡本	福田村戸長役場	戸長役場御中	岡本様御内室	福田村戸長		岡本惣代	岡本佐太郎	岩出税務署	下神野村大字福田区中	太郎 大字福田村惣代岡本佐太郎	平野八重菊	
状	状	状	横綴	状	状	綴	状	摺入罫紙	罫紙	状	罫紙	状	罫紙綴

6 普請

イ-180	ス-263	ス-170	ス-165	シ-643	シ-633	シ-558	シ-557	シ-551 -35	シ-550	シ-509	シ-501	シ-344
乍恐奉願上口上覚(福田・松瀬にかかる大湯が大水で破損のため普請願)	〔村夫せん・人別米大豆高書上〕	〔年貢上納目録〕	御上金扣(179両内訳)	記(16年度下半季夫銭、19年度土木費ほか書上)	〔為替にて上納につき〕 *印刷物、未記入2通あり	記(七蔵様夫銭につき)	記(人別賦課金書上) *二名分	〔福田村田畑地租書上〕	〔地方税・夫銭・田方地租未納人ほか名前金額書上〕 *朱筆あり	〔福田村9年分と10年より17年迄地租金勘定につき〕	記(十一小区地租帳及地価に関する諸帳簿につき)	未納人名控(山入費、早害費につき)
宝暦11年巳正月日												
福田村田人惣代林太夫、松瀬村田人惣代半太夫、福田村庄や弥左衛門						御村方						
興山寺様御役人中												
状	状	状	状	状	状	状	状	状	綴	状	罫紙	状

イ-807 -2	イ-196	イ-191	イ-904 -3	イ-904 -8	イ-904 -7	イ-904 -4	イ-199	イ-174	イ-1033	イ-204	イ-1069	イ-177	イ-205
御普請人夫手形之事 *神野組十七ヶ村	乍恐奉願上口上(早損につき杉谷池普請願)	乍恐奉願上口上(早損につき杉谷池普請願)	請取申野中村亀池普請人普請式歩銀之事	請取申神野三尾川村伊勢谷池御普請人足之事	請取申神野三尾川村伊勢谷池普請式歩銀之事	請取申野中村亀池御普請式歩銀之事	乍恐奉願上口上(杉谷池普請願)	乍恐奉願上口上(杉谷と申す処へ小池をつくりたく見分願)	(神野三尾川村いせ谷池堤普請岡本忠太夫様へ引渡し請負一札) *下書き	乍恐奉願上口上(柳谷池破損につき見分と普請願)	(三谷浦大溝詰所の普請人夫を割付るよう書状)	乍恐奉願口上(松瀬・福田にかかる大湯破損のため普請願)	井関並水門水遠下積り覚(普請に入用人足とその内訳)
日 文化13子年7月10	文化12年戊子正月日 (マ)	文化9年酉 (マ)	日 文化9申年11月19	文化8未霜月5日	文化8未霜月5日	4日 (文化8年)未11月	文化6巳年正月日	文化6年巳正月日	文化3寅年11月	享和4年子正月日	日 (享和3)閏正月4	享和2年戊子正月日	宝暦11年巳2月
奉行正法院(印)	神野福田村田人惣代清兵衛、庄や久蔵	神野庄福田村田人惣代清兵衛、庄屋久蔵	地方奉行正徳院(印)	地方奉行智恩院(印)	普請奉行智恩院(印)	地方奉行正徳院(印)	神野福田村田人惣代清兵衛、庄や弥一郎	神野福田村田人惣代清兵衛、庄や弥市郎	尾張知多郡古本村治助、同郡富貴村利右衛門、請入	神野福田村田人惣代藤八、庄や弥一郎	惣分地方奉行舎那院	両村田人惣代和助、福田村庄や弥一郎	福田村田人惣代林太夫、松瀬村田人惣代半太夫、福田村庄や九兵衛
	興山寺様御役人明慶院	興山寺様御役人自覚院	神野組庄屋中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野組	興山寺様御役人自覚院	興山寺様御役人自覚院	持宝院	興山寺様御役人覚成院	岡本忠左衛門	興山寺様御役人覚成院	御奉行住心院
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

イ-987-3	イ-987-2	イ-987-1	ア-131	イ-342	イ-783-3-2	イ-783-3-1	イ-783-2	イ-783-1	イ-829-2	イ-829-1	イ-786	ア-150	イ-288
受取申神野組三尾川大角両村所々御普請夫之事	志賀野東野村大涌溝路并同釜瀧村川端水嶋普請出夫切手之事 (式歩銀)	志賀野東野村大涌溝路并同釜瀧村川端水嶋普請出夫切手之事 (生夫)	神野三尾川村寺ノ井手御普請積帳	覚(人夫代引合につき)	請取申神野桂瀬村夫代銀之事	請取申桂瀬村夫銀之事	覚(永谷村田前池普請夫米を利右衛門へ渡すべきにつき)	覚(桂瀬村字下井手関并涌路等普請夫米を尾張利右衛門に渡すべきにつき) *イ783:1~5まで一括	乍恐奉願口上覚(上井村字横鴻の龍神海道大雨にて潰込につき見分願)	(上井村より別紙願書の通其元見分し書面を差登すよう達) *封紙破損取扱注意	覚(九度山村上古曾部池普請につき人足割付) *尾張利右衛門へ仰せ付け	神野福田村御普請所積帳	池谷池御普請牒
30日 文政13寅年閏3月	日 文政12丑年4月20	日 文政12丑年4月20	文政12丑年3月	23日 文政10亥年閏6月	文政10亥4月25日	文政10亥4月25日	日 (文政10)亥3月24	日 (文政10)亥3月18	文政9年戌4月	4月21日	文政8酉3月	文政7申年4月	日 文政7年申4月13
地方奉行光三院(印)	地方奉行三学院(印)	地方奉行三学院(印)	地方奉行三学院(印)	神野庄役人中	尾張利右衛門(印)	尾張利右衛門(印)	地方奉行光三院(印)	支配方恵光院役人(印)	神野組上井村惣代弁藏 (印)同村庄屋半藏(印)	持宝院	地方奉行尊勝院(印)	尾張利右衛門(印)	奉行
神野組勤	神野組勤	神野組勤		地方御奉行光三院	岡本新二郎	岡本新二郎	岡本新次郎	神野市場村庄屋、福田村岡本新次郎	興山寺様御役人持宝院	岡本新次郎	岡本新次郎		
状	状	状	堅帳	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	堅帳	横帳

イ-299	ウ-591	イ-216	ス-16	ウ-415	イ-275-2	イ-275-1	エ-67	ウ-499	エ-1	イ-277	ス-11	イ-949	イ-988
請願) 乍恐奉願上口上(福田村字岩谷池所々破損につき見分の上普	受取申夫料銀之事	覚(夫料銀組別上納額につき) *紙背「□□麻生津間江野善五郎」割印有	神野箕六村所々普請積帳	覚(人夫110工)	受取申伊勢谷池普請式歩銀之事	神野三尾川村伊勢谷池普請申渡し帳(一二之樋つまり候につき底樋にて水通すよう仮普請総入用)	請取申三谷村大川端御普請夫之事 *固着のため撮影不可部分あり	人足舐(今西涌路普請につき)	神野市場村観音池普請仕訳帳 *挟込文書あり	神野福田村普請所仕様帳	南畑村下沢井手普請積帳	友測下番和田村琵琶谷池普請出夫切手之事 *固着のため撮影不可部分あり	受取申毛原上村古色涌所々御普請夫之事
天保10亥年11月	日 天保9戌年12月19	日 天保9戌年11月25	天保9戌年4月	天保8酉年	日 天保8酉年6月20	天保8酉年6月	日 天保7申年7月5	日 天保7年申4月2	天保6未年3月	天保6未年3月	天保5午年3月	日 文政13寅年霜月8	30日 文政13寅年閏3月
岡本忠太夫(印)	田人惣代金左衛門(印) 村惣代権次郎(印) 庄屋	寺領中	地方奉行真城院(印)	金藏院納所(印)	銀奉行自性院(印)	地方奉行榮照院(印)	地方奉行榮照院(印)	地方奉行真藏院	地方奉行榮照院(印)	地方奉行榮照院(印)	地方奉行三学院(印)	地方奉行三学院(印)	地方奉行光三院(印)
御惣分様御役人青龍院	神野組	銀奉行自性院		皮張村庄屋	三尾川村庄屋	神野組勤		村々庄屋、桂瀬村					神野組勤
状	状	状	豎帳	状	状	豎帳	状	状	豎帳	豎帳	豎帳	状	状

イ-904 -10	イ-904 -1	イ-817	イ-808	イ-609	ス-2	ス-227	ス-275 -5	ス-275 -7	イ-474	イ-612	ウ-545	ス-275 -6	ス-141
請取申兄井村大川端普請人夫之事	覚(人夫360人)	(三谷大川端普請人夫式歩銀持参申付る書状)	(三谷涌両水門普請人夫割付の通差出すよう達) *端裏書「神野」末尾に人夫600人120匁を100人づつ6日詰で勤めるよう覚	請取申三谷村三ヶ涌空谷水門樋取替御普請夫銀之事	請取申兄井三谷両村大川除御普請夫之事	(請取申普請夫・式歩銀之事) *2通	鎌瀧村御普請仕様帳	神野樋下村普請仕様帳	請取申三谷村大川端御普請夫之事	覚(上井村林谷筋古溝井手普請につき)	請取申丑暮夫料銀之事	神野箕六村所々普請積帳	神野福田村所々普請積帳
丑4月15日	丑4月15日	子7月3日	子4月	嘉永7寅年5月20日	嘉永6丑年9月13日	嘉永6丑年5月7日	嘉永6癸丑年2月	弘化5申年3月	弘化4未年7月28日	弘化3午年8月	天保12丑年12月	天保12丑年3月	天保11癸子年3月
地方奉行中性院(印)	地方奉行中性院役人	地方奉行中性院	地方奉行中性院	惣分地方奉行舎那院(印)	総分地方奉行舎那院(印)	総分地方奉行舎那院(印)	惣分地方奉行舎那院(印)	地方奉行長寿院(印)	地方奉行阿叉院(印)	総分役者禪那院(印)	銀奉行聖徳院(印)	地方奉行真城院(印)	地方奉行明眼院(印)
神野組庄屋中	神野組庄屋中	神野福田村岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	神野組役人中	神野組中勤	神野庄屋役人中			神野組	神野組庄屋中	神野組		
状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	豎帳	豎帳	状	状	状	豎帳	豎帳

イ-910	ウ-677	ウ-617	ウ-659	ウ-618	イ-602	ウ-623	ウ-628	ス-225 -②	イ-948 -3	イ-948 -2	ウ-621	ス-275 -4	イ-563
覚（人夫500人工、式歩銀500目につき村別内訳）	志賀野夫（差引残り銀受取につき）	〔人夫代の内2貫目または1貫800目を持参するよう達する書状〕 *封紙上書「桂瀬村々」	覚（神野桂瀬三ヶ村涌関普請人夫割と巳八月の神野所々洪水の普請は銀夫につき）	覚（志賀野東野村井関涌并溝路普請につき割付）	請取申式歩銀之事	覚（麻生津村所々普請人夫につき日割）	覚（今西樋、三谷涌普請につき） *今西樋の奉行が千蔵院、三谷樋が明眼院	御用人夫手形之事 *25通、「明治2巳正月3日」含む	請取申式歩銀之事（麻生津組所々普請につき）	請取申人足之事（麻生津組所々普請用夫につき）	覚（友洲中番土木谷池普請人夫日割）	〔人夫代金受取につき〕 *3通	人足蝕（三谷村大川端破損所普請につき）
午6月18日	午3月27日	午3月17日	午3月2日	午2月24日	午正月29日	巳11月	巳4月21日	辰11月11日〜巳2月15日	辰6月17日	辰6月17日	丑9月17日	朔日 丑5月7日、6月	丑4月
岡本忠太夫	地方奉行大聖院（印）	地方奉行大聖院	地方奉行大聖院（印）	銀奉行大聖院（印）	銀奉行常喜院（印）	地方奉行明眼院（印）	奉行千蔵院、明眼院	総分役人（印）年預坊役人（印）興山寺役人（印）	地方奉行大智院（印）	地方奉行大智院（印）	地方奉行明眼院（印）	地方舎那院（印）	地方奉行明慶院
地方御奉行千蔵院	忠太夫	神野組岡本忠太夫	神野組村々庄屋中	岡本忠太夫	福田村庄屋	神野組庄屋中	神野組岡本忠太夫	野中村三人、南畑村三人、御代川村米蔵ほか	神野組中	神野組中	神野組村々庄屋中	岡本忠太夫ほか	神野組
状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	綴	状	状	封紙包状	状	状

イ-768	イ-785	イ-1088	イ-1070	イ-1008	ウ-390	ス-225 ①	イ-870	ウ-619 -2	イ-1095 -3	イ-1095 -2	イ-1095 -1	イ-1102	イ-1103
〔①鎌瀧村井手路普請を尾張利右衛門へ申付につき人足割致すよ う書状②覚(人足60人式歩銀ともその庄において勤めにつき)〕	〔三谷村三ヶ村涌関普請につき割付書を差し出すよう書状〕	覚(庄中割合式歩銀を庄屋中へ達し間違ひ無く持参するよう)	〔大角村菖蒲池普請人夫につき庄屋弥一郎へ申し聞かすよう書 状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔市場・安井村で普請につき人足を神野組で勤めるよう達〕 *尾張利右衛門方へ役夫仰せ付け	〔神野組普請夫銭取集め不足の時は追つての普請にするよう書 状〕	覚(年預坊御用人夫につき)	覚(井手路普請人足につき)	〔普請は大関のため生夫は子供にはあぶないことを達する書 状〕	覚(津川村勘定書付)	覚(九度山村大川除浚御普請人足・式歩銀につき) *イ1095-1の別紙	覚(津川分勘定不足につき)	〔涌路重置普請人夫は銀で上納持参するよう差紙〕 *封紙のみ撮影	〔兄井村大川端普請につき人足勤めるよう差紙〕 *封紙のみ撮影
3月24日	3月20日	3月10日	3月9日	3月8日	3月5日	3月2日	3月2日	3月1日		い ^(ぎ) 10月20日	10月20日	亥10月9日	亥8月16日
興福院	地方奉行尊勝院	志賀野普請所舎那院	惣分地方奉行舎那院	持宝院	(毛原より) 真城院	総分役人(印)	地方奉行興福院	地方奉行大聖院		地方奉行正徳院(印)	正徳院	性院 (兄井村二而) 地方奉行中	(兄井村二而) 地方奉行普 請中性院
岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本新次郎	神野福田岡本忠太夫	神野組庄屋中	岡本忠太夫	岡本忠太夫			岡本忠太夫	神野福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫、神野組庄 屋中
封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状

イ-929 -2	イ-947 -1	イ-931	イ-463	ス-154	ウ-612	イ-743	ウ-611	イ-802	イ-1093	ウ-700 -5	エ-59	イ-809	イ-1087
〔麻生津中村脇ノ田開普請につき割付書を差出すよう差紙〕	覚（川筋南口にて数ヶ所の普請につき庄中へ割付いたすようにつき） *イ-947-1・2封紙一括	〔今西涌溝路普請人夫近村にて遣いたく達〕	〔普請夫最早相止め早々勘定するよう達〕	〔宰領井ノ上へ任せるにつき貴意を得たく書状〕	覚（三谷三ヶ村大川涌堰并溝路等普請人夫割触） *異筆による紙片あり	〔津川村永谷村両村の日別壺工をたずねる書状〕	〔毛原小西村土居涌宮村尊坊涌ほか普請につき割付る書状〕 *端裏書「神野組」	〔兄井村大川堤普請人足割付どおり差出すよう達〕	覚（鎌滝村小坪池、大角村上下井手路、三谷涌井手路、其組へ割付につき） *端裏書「神野」	箕六村御普請人夫	人足触（麻生津組字池之内新池普請につき） *2通、大角村への割付額の書付あり	*端裏書「神野」、人夫600人（式歩銀）120匁4月3日より8日カ迄勤めるよう覚あり	〔三谷村普請・兄井村出人夫割付の書付を持参するよう書状〕
4月21日	4月16日	4月15日	4月12日	4月11日	4月11日	4月10日	4月9日	4月8日	4月3日	4月1日	3月29日	3月29日	3月28日出
地方奉行尊勝院	千蔵院	地方奉行延寿院	従福井村真城院	善宝院	地方奉行千大聖院（印）	興山寺役人亀井善之右衛門	奉行千蔵院	地方奉行中性院	地方奉行中性院	明慶院	地方奉行榮照院	地方奉行中性院	三谷村普請所舎那院
岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本新次郎	福田岡本忠太夫	岡本兵馬	神野組村々庄屋	岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本氏	村々庄屋中	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫
状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状

イ-948-5	イ-1074	ウ-614-1	ウ-613	ウ-609	ウ-700-4	イ-944-2	イ-944-1	ウ-662	イ-1086	イ-750	イ-669-1	イ-1085	イ-970
〔急普請につき代銀を持参するよう組下庄屋中へ指図を依頼する書状〕	〔水乱のため麻生津横谷村狐尾池破損し普請につき割付〕 *固着のため撮影不可部分あり	覚（出水のため大川涌堰破損につき夫代にて差登すよう達） *封紙に尚々書あり	〔三谷村涌堰普請人夫当月18日迄に持参するよう書状〕	〔人夫代750人分をこの使いへ御渡しくださるよう頼む書状〕	〔小川三谷普請人夫代此の方と相違につき書状〕	覚（神野組式分銀受取につき）	〔三尾川大角両村井手路火急の普請につき書状〕 *イ-944-1・2封紙一括	覚（両郷所々普請人夫の内追触）	〔人足割付の内三カ村不足のため其元より申し通すよう頼む書状〕	〔上井村大潰の普請飯米は市場村蔵米よりお下げにつき書状〕	〔上六ヶ村人夫に間違いがある旨書状〕	覚（人足割付）	〔小川福井村川口涌普請につき庄中へ割付けるよう書状〕
5月29日	5月28日	5月23日	5月11日	5月8日	5月4日	閏4月18日	閏4月17日	4月27日	4月27日	4月25日	4月25日	4月23日	4月22日
地方奉行大智院	惣分地方奉行舎那院	地方奉行大聖院（印）	大聖院役人	地方奉行大聖院	明慶院	千蔵院（印）	地方御奉行千蔵院	地方奉行千蔵院	惣分役人舎那院	持宝院	延寿院	三谷村普請所舎那院	地方役人舎那院
岡本忠太夫	神野庄屋中、岡本忠左衛門	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本新次郎	神野組庄屋中	岡本忠太夫
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状

イ-1049	イ-836-2	イ-836-1	イ-1073	ウ-661	イ-945	ウ-629	イ-948-1	イ-810	ウ-627	イ-1101	イ-1100	イ-1075	イ-948-6
〔九度山村大川除御普請人夫・式歩銀急々取り計らうよう達〕	追而書（庄中残らず収集め錢歩等の勘定致すよう）	〔九度山村川端堤人足割付のところ銀夫に成り収集勘定するよう書状〕 *封紙は反故紙利用	覚（兄井村大川端普請につき割付）	覚（兄井村大川端普請につき割付）	覚（九度山村安田嶋浦大川除御普請につき達） *端裏書「神野組」	〔九度山村大川端破損所普請につき割触〕	覚（人足・式歩銀割付につき） *イ-948-1〜5封紙一括	〔兄井村大川堤御普請人夫割付のとおり差出し式歩銀は勝手にいたすべく書状〕	〔三谷村人夫を初穂としてこの者へ目録を渡すよう頼む書状〕 *端裏書「神野岡本氏」	〔麻生津狐尾池涌関普請につき人足・式歩銀割付〕 *封紙のみ撮影	〔麻生津大端普請につき庄中へ割付毛原組へ差紙を届けるよう頼む書状〕 *封紙のみ撮影	〔麻生津狐尾池普請延引につき追って達するにつき書状〕	追啓（小川組へも同様にするよう差図を頼むにつき）
7月3日		7月3日	7月朔日	6月25日	6月22日	6月20日	6月17日	6月13日	6月9日	6月9日認	6月6日	5月晦日	29日
地方奉行正徳院		御普請奉行正法院	地方奉行中性院	奉行千蔵院	地方御奉行千蔵院	奉行千蔵院	大智院	地方奉行中性院	地方役大聖院	地方奉行舎那院、六町院	麻生津ヨリ舎那院	地方奉行舎那院	大智院
岡本忠太夫		岡本忠太夫	神野組庄屋中	村々庄屋中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠左衛門、神野庄各庄屋中	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本氏
封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状

イ-1014	イ-929-1	ウ-679	イ-1064	イ-711-2	イ-711-1	ウ-626	ウ-696-2	ウ-637	イ-1089	イ-503	イ-815	ウ-672	イ-807-1
受取申夫銀之事	〔普請の銀夫は組内一緒に集め持参するよう申し入れる書状〕 *イ-929-1〜3まで一括	覚(三尾川村池床替普請につき人足割付)	〔神野組の人足割付書を早々つかわされるべく書状〕	〔銀夫の株々村々より一緒に集め当所普請終次第樋下市場へ来るよう書状〕	〔福井村御所涌井川口池御普請の組内割付書を差出すよう達する書状〕	〔夫銀を落手したので請取書を差上げる旨の書状〕	〔普請人夫平均しにつき夫銀集めるよう頼む書状〕	〔三尾川村池普請の宰領を其元に頼む書状〕	〔三樋樋洪水につき破損し普請を雇人足にて済ませたので二歩銀持参するよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔上井村龍神道潰落につき普請いたすべく書状〕	〔兄井村御普請人夫割付どおり勤め歛持参させるよう達〕 *人夫600人式歩銀120匁12日より13日まで200人づつ	覚(兄井村川端御普請追夫につき割付)	覚(人夫620人代勘定受取につき) *イ807-1〜4まで封紙一括、封紙上書「切手式枚 岡本氏殿 中性院役人」
9月22日	9月21日	9月15日	9月15日		閏8月12日	8月28日	8月26日	8月25日	8月10日	8月8日	8月7日	8月6日	7月10日
恵光院役人(印)	尊勝院	持宝院	治兵衛宅二而持宝院		地方奉行尊勝院	尊勝院	尊勝院	持宝院	地方奉行中性院	総分役者代青龍院	地方奉行中性院	奉行千蔵院	正法院
岡本新次郎	岡本新治郎	岡本忠太夫	岡本忠太夫		岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠左衛門	岡本忠太夫	福田村岡本新次郎	神野組庄屋中	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫
状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状

イ- 946	ウ- 695	ウ- 622	イ- 1097	ウ- 625	イ- 1091	ウ- 694	イ- 767 - 1	ウ- 601	イ- 1107	イ- 841	ウ- 693	イ- 1096	イ- 1072
〔市場村池池普請につき割付を庄中へ触れるよう達〕	〔農業等に差支え出夫迷惑のところ触下へ心添えくださるよう頼む書状〕 *封紙「今九度山村」	覚（毛原上村古屋浦関替并日樋路普請につき庄中へ割触）	〔麻生津茶屋谷堤普請人足成丈銀歩にて上納するよう頼む書状〕 *封紙のみ撮影	〔九度山村池普請につき銀夫ではなく四、五百人程夫を出すよう頼む書状〕	覚（夫代勘定請取下されにつき）	〔九度山村大尾池普請人夫の割付書を差し出すよう書状〕	〔市場村関近普請は尾張利右衛門が請負うので人足は夫代にて集めるよう達〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔人夫3工詰割附につき村別書上げ〕	〔三谷村大川普請延引につき其元より庄中へ達するよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔夫銀受取につき切手御落手くださるよう書状〕 *イ- 841、847は紙継り一括	〔池川普請人夫を平均につき組中へ割付する旨の書状〕	〔其村柳谷池普請につき下向の為人足五人詰めるよう書状〕	追信（十月九日吉日故普請始の祝儀をするよう）
霜月3日	11月朔日	10月21日	10月21日	10月20日	10月20日	10月15日	10月15日	10月12日	10月10日	10月9日	9月29日	9月29日	9月29日
千蔵院	尊勝院	奉行千蔵院	麻生津表二而持宝院	尊勝院	中性院	地方奉行尊勝院（印）	惣分役者舎那院	岡本忠左衛門	惣分役人舎那院	尊勝院	地方奉行智恩院	奉行六町院	奉行六町院
岡本忠太夫	岡本新重郎 （マ）	神野組岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野組岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村岡本新治郎	御奉行舎那院	岡本忠左衛門	岡本新次郎	神野組庄屋中	神野福田村庄屋	福田村庄屋
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状

イ-467	イ-504	イ-65	イ-64	ウ-182 -1	オ-19	イ-161	ウ-700 -7	ウ-696 -1	ウ-658	ウ-614 -2	ウ-500	イ-1111	イ-1104
夫銭割方覚（棟掛り高掛り共入用は旧例勤めにつき）	覚（河野・田尻夫銭高が過分にみえるため書取） *端裏書「文政九戌年極月十四日 河野夫銭高覚」	戌之冬夫銭割付帳 *固着のため撮影不可部分あり	酉乃冬夫銭割附帳	河野田尻銭高覚帳	夫銭打之帳 *表紙「延享元年子八月於神宮寺写之」、「寛政元年酉七月五日寄合之節写シ用ル」	伊勢谷池山之事（池普請の節岡本忠太夫執成にて村方一統承知につき） *封紙上書「伊勢谷池山之事 三尾川村」	右庄別割触（箕六普請の節相済につき）	覚（市場村下井手他人夫割付）	野中村庄蔵田側普請人夫之事	書添（夫代は其組初穂登しにつき）	〔人夫買直しにつき村別割付〕 *後欠	覚（麻生津大堤普請につき人足割付） *封紙のみ撮影	〔造用筋は何事も御願しない旨を知らせる書状〕 *封紙のみ撮影
文政10亥7月6日	文政9戌年12月14日	文政9年極月6日	文政8年極月6日	文化9年申極月10日	文化3丙寅年12月日	文化3丙寅年11月日							
	河野兵部	宿新蔵、庄屋為次良	宿兵助、庄屋為二郎		神野庄中	三尾川村年寄惣右衛門、忠右衛門、同村庄屋新助			大聖院（印）		地方奉行真蔵院	麻生津分舎那院	地方奉行中性院
									神野組役人中		村 桂瀬村、高畑村、赤木	神野組庄屋中	神野福田村岡本忠太夫
状	状	横帳	横帳	竖帳	竖帳	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状

イ-129	イ-123	イ-142	イ-124	イ-122	イ-128	イ-127	イ-126	エ-68	イ-125	ウ-165	ウ-164	イ-265	イ-263
子乃夏夫錢割附元帳	亥之冬夫錢割附元帳	亥之夏夫錢割附元帳	戌之冬夫錢割附元帳	戌之夏夫錢割附元帳	酉之冬夫錢割附元帳	酉之夏夫錢割附元帳	申乃冬夫錢割附元帳	請取申麻生津并三谷村御普請夫之事 * 固着のため撮影不可部分あり	申ノ夏夫錢割付元帳	「」夫錢割付元帳	未之夏夫錢割付帳	念樋池御普請人足万控	庄普請諸式入用帳
天保11 7月6日	天保10	天保10亥7月6日	(天保9カ)	天保9 7月6日	天保8年極月6日	天保8年7月6日	天保7申年極月6日	天保7申年9月日	天保7年7月6日	「」年7月6日 (天保6カ)	天保6未年7月6日	天保2卯年10月22日 日より	文政13年寅正月吉 祥日
宿栄三郎、庄屋岡本忠太夫	やと庄兵衛、庄屋岡本忠太夫	宿房藏、庄屋忠太夫	やと儀兵衛、庄屋岡本忠太夫	やと兵助、庄屋岡本忠太夫	やと次助、庄屋岡本忠太夫	やと、庄屋岡本新一郎	やと半次郎、庄屋岡本新次郎	麻生津桜井庄兵衛(印)	やと為藏、庄屋岡本新次郎	宿良助、庄屋岡本新次郎	宿良助、庄屋岡本新一郎	宰領岡本新次郎	役人岡本新次郎
								神野組御役人衆中					
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

イ-436	ウ-506	イ-521	イ-530	イ-531	エ-3	ウ-488	ウ-182 -3	イ-555	イ-614	ス-56	ス-182	イ-144	イ-145
覚(人夫代銀につき)	おほへ(人足代) *裏にも書付あり	覚(人足代につき)	請取申三谷涌堰出夫手引之事	覚(銀受取につき)	巳ノ夏夫錢割付帳念樋通 *裏表紙欠	(工数書上)	覚(河野田尻夫せん書付)	覚(夫錢勘定)	覚(夫錢銀受取)	御普請人夫割付帳	神野組并九度山村五ヶ所御普請入用夫請取	丑之夏夫錢割附元帳	子年冬夫錢割附元帳
戌12月日	酉9月3日	未極月日	午5月15日	午5月4日	巳	辰極月	丑7月	子7月16日	安政4巳7月10日 集メ	嘉永6丑歳5月日	嘉永5子年5月26日	天保12年7月6日	天保11
村藏兵へ	鎌瀧村庄屋	福田 七太夫	三谷樋夫頭弥三郎(印)	三谷樋夫頭弥三郎(印)	宿弥市郎		岡本忠太夫	岡本より	熊次郎	岡本忠太夫	地方奉行長寿院(印)	宿武兵衛、庄屋岡本忠太夫	宿兵次郎、庄屋岡本忠太夫
岡本氏	□□役人	神宮寺	神野岡本御氏	神野組御役人中		福田岡本御氏	河野□部 <small>(兵)</small>	御奉行	岡本御氏		神野組庄屋中		
状	状	状	状	状	横帳	状	状	状	状	横帳	状	横帳	横帳

ウ-492	ウ-369	エ-54	ウ-368	サ-296	ウ-360	イ-865	イ-328	イ-645	イ-445	イ-661	イ-346	イ-385	イ-438
覚 (日別工数書上)	覚 (三谷夫代銀受取)	覚 (夫代式歩銀受取につき)	覚 (人夫代より頼母子懸銀ほかを引き勘定)	覚 (福田・津河村普請につき掛金)	おぼへ (人足代引合につき)	〔当村五実瀬浦普請を銀納ではなく生夫にて勤めたく願う書状〕	〔夫代渡しにつき覚〕	覚 (生夫代錢割付)	〔三谷筋代掛銀を霜月比まで延すよう願う書状〕	〔人名書付〕	覚 (三谷夫代差上につき目録差引願)	覚 (志賀野組人夫代)	覚 (七太夫・神宮寺人夫代銀)
7月11日	7月2日	6月10日	6月2日	5月10日	閏4月13日	4月14日	4月13日	2月5日集メ	正月27日	正月22日	亥8月3日	亥4月16日	戌極月暮出し
岡本幸左衛門	三尾川村庄屋	永谷村々	津川村庄屋	庄役人	岡本忠太夫	友瀨下番(和田村)庄屋 勘左衛門	為二郎		亀次郎		赤木村庄屋	岡本新二郎	
庄屋役人中		岡本新次郎	岡本新次郎		高畑村庄屋	岡本忠左衛門	岡本新次郎		岡本忠太夫		岡本新次郎	尾張利右衛門	岡本
状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状

イ-340	ア-41-4	ア-36-5	ア-36-3	ア-17-3	ウ-477	イ-634	ウ-508	イ-939	ウ-498	ウ-460	イ-936-1	ス-202	ウ-423
〔夫代受取につき〕	〔庄蔵62工代金につき〕	〔人足書付〕	〔人足代銀書付〕	〔人夫書付カ〕	覚〔人夫代銀〕	〔夫代割付を受取くださるよう覚〕 *後欠	覚〔人夫代銀受取難型〕	〔平均しした夫代に相違があるため取計らいを頼む書状〕	覚〔菓子代ほか勘定〕	愛宕普請工数覚〔太兵衛・儀三郎・太右衛門の工数代銀につき〕	〔川関大ならし夫代錢につき勘定を改めていただくよう書状〕 *イ-936-1・2封紙一括	請取申夫銀之事	覚〔8月13日切人夫15工につき〕
					12月15日	11月20日	11月15日	11月9日	11月6日	11月4日	10月18日	9月11日	8月3日
					岡本兵馬	□□		間江野善次郎	尾張伊良	南畑太兵衛	堀源左衛門	岡本忠大夫(印)	上井村市右衛門(印)
				忠左衛門	善光院	岡本御氏	岡本忠大夫	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠大夫	岡本新四郎 (ママ)	赤木村庄屋	
状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状

イ-537	イ-520	イ-515	イ-494	イ-478	イ-431	イ-398	イ-386	イ-379	イ-362	イ-360	イ-351	イ-345	イ-344
〔人足名前書上〕	覚（人足代受取）	覚（供夫代銀につき）	〔兄井村川端普請につき村別割付銀書上〕 *18ヶ村（神野組+門田村）	覚（人別銀勘定書付）	夫錢預銀（人別金額書付）	〔人名書付〕 *裏にも書付あり	覚（人夫代）	〔生夫1301人内訳〕	口演（准楼門造立の間助勢していただくよう願） *固着のため撮影不可部分あり、イ-360と同文	口演（准楼門造立の間助勢していただくよう願） *イ-362の下書カ	覚（東ノ村二歩銀生夫代銀）	覚（夫代につき）	覚（人夫銀差引勘定）
	箕六村庄屋才次郎（印）								「」世話人惣代源内、庄屋吉右衛門	高畑医しや倅安兵衛	東ノ村庄屋		
	岡本										御普請柱瀬村		
状	状	状	状	状	状	状	状	状	豎帳	状	状	状	状

シ-178	シ-164	シ-25	シ-16	シ-10	シ-1	サ-300	サ-284	サ-283	サ-174	エ-90	エ-88	エ-73 -1	エ-66
〔工数につき米高書付〕	〔人名書付〕	〔新右衛門人足代銀につき〕	〔人名書付〕	覚(日別人足名前書上)	覚(人足代銀)	覚(生夫代銀・金を兄井村甚助方へ持参につき)	覚(萬福寺株夫錢・10人半工つはしかけにつき)	覚(人夫1工半程につき)	覚(村別人足代金書上) *2通あり	〔人名書付〕	覚(人夫代銀につき) *裏にも書付あり	〔人夫代受取勘定につき〕 *こよりで一括、21通	覚(人夫代銀人別書付) *挟み込み文書に米高書付あり
					弁助			喜兵衛				(いろいろあり)	
		岡本			岡本新次郎							(いろいろあり)	
状	状	状	状	状	状	状	状	状	横綴	状	状	状	状

シ-115	シ-257	シ-717	シ-250	サ-399	シ-243	シ-247	シ-585	サ-130	ス-275 -2	シ-743	シ-740	シ-343	シ-245
記(益夫銭受取につき) *2綴あり	証(庄夫銭差引金請取につき)	明治廿六年度益夫銭賦課帳	記(竜神街道人夫賃受取につき)	明治廿五年度益夫銭賦課簿 *(明治廿五年七月等級別金額)および (人別等級書上)を括り付け	証(25年后半期庄夫銭受取につき)	記(大井修繕入費差引勘定につき)	記(宅地手入人夫代金渡しにつき)	記(明治十年分夫銭受取ほか) *一部墨書、他はすべて朱書	(普請人夫入用につき一括) *16通	廿二日覚(日別人夫名前書付)	人数控(五人の村・名前書付)	諸払(庄夫銭、修繕費ほか)	[封筒] *中身欠、上書「庄夫料切符在中」
10日 (明治) 27年旧7月	日 (明治) 27年1月22日	(明治26年)	明治26年4月8日	(明治25年度)	13日 (明治) 25年旧12月	日 (明治) 25年旧8月	3日 (明治) 21年旧11月	明治10年12月21日					
福田惣代岡本(印)	野村戸長	惣代岡本佐太郎	福田宮田楠松(印)	惣代角谷忠右衛門	(印) 神野市場惣代大西槌楠	井守角谷(印)	角谷(印)	古坂芳兵衛	(いろいろあり)				
山本まつゑほか四名	岡本惣代		福田惣代岡本佐太郎		大字福田惣代	岡本佐太郎	岡本	福田村河野	(いろいろあり)				福田字惣代
綴	状	横帳	状	横帳	状	状	状	状	状・揃入状	状	状	状	封筒

7 蔵庄屋

ウ-140	ウ-143	イ-935	ウ-142	ウ-139 -2	ウ-139 -1
神野市場村御蔵収納請 ^(取帳) □	市場村御蔵収納米牒	差入申米手形之事(市場郷蔵収納米預りにつき)	神野市場村御蔵収納請取牒	(大工・手間につき書付)	神野市場村御蔵収納請取牒
*状態不良、撮影は一部のみ					*破損あり
文政7甲申年11月	日 文政7年申11月9	文政7年11月7日	日 文政6癸未年12月		文政6癸未年12月
総分役□	岡本新次郎	高畑村庄屋為右衛門(印)	岡本新次郎		総分役人
	御総分御役人中	市場郷蔵御役人中	興山寺様御役人		
横帳	豎帳	状	豎帳	状	横帳

シ-313	シ-117	シ-314	シ-311	サ-135	シ-713	シ-116
記(益夫銭受取につき)	記(庄夫銭・修繕費夫々支払方御依頼)	記(益夫銭受取につき)	記(益夫銭受取につき)	記(27年冬庄夫銭領収につき)	明治廿七年度益夫銭賦課帳	証(庄夫銭・氏神修繕費請取)
*3通あり		*4通あり	*4通あり			*朱筆で訂正あり
旧7月23日	旧7月12日	旧7月10日	旧7月10日	明治28年1月11日	(明治27年)	日(明治)27年8月12
福田惣代岡本(印)	福田惣代岡本	福田惣代岡本(印)	福田惣代岡本(印)	神野市場大西植楠(印)	惣代岡本佐太郎	下神野村役場(印:野村)
新谷常八、橋本栄太夫、橋本光太郎	下神野村役場	恩地友市、木村宗七、西田キクエ、岩根コマノ	戸ヲリエ、重根惣兵衛	森宗太郎、小西由松、岩戸ヲリエ	大字福田惣代岡本佐太郎	大字福田 岡本惣代
綴	状	綴	状	罫紙	横帳	状

イ-601	ウ-589	ウ-210	ス-95	ウ-421	イ-291	イ-261	ア-102	ア-129-2	ア-129-1	イ-989	ウ-144	ウ-141	イ-994-2
〔市場御蔵収納米覚〕	請取申里収納米事 *4通	乍恐奉願上口上(小川梅本村13名難渋のため蔵米10石拝借願)	奉拝借米之事(難渋につき市場村御蔵米拝借願) *下書き	覚(当村請負普請夫米受納につき)	神野庄市場村御蔵収納米受取帳	神野市場村御蔵収納受取帳	覚(神野市場村御蔵収納米日限割付) *神野組9ヶ村・梅本・中田・新庄村	市場村御蔵収納米帳	市場村御蔵里収納調らへ帳	覚(残米残らず市場村吉兵衛方へ渡すよう)	市場村御蔵収納米上帳 *破損あり	神野市場村御蔵収納請取帳 *固着のため撮影不可部分あり	市場村御蔵納米之事
日入 安政4巳年11月25	日 天保12丑年11月6	日 天保5午年2月17	日 天保4巳年3月日	日 文政12丑年4月	日 文政11子年11月吉	日 文政10亥年11月吉	日 文政10亥年11月朔	日 文政9年戌11月日	日 文政9年戌11月日	日 文政9年戌年8月27	日 文政8酉年11月日	日 文政8酉年11月	日 文政8酉年11月
	(印) 御蔵掛り岡本茂左衛門	岡本新次郎(印)	小川村梅本村上蔵弥兵衛、 忠左衛門、年寄兵藏、神 野庄福田村岡本新次郎	(印) 志賀野東野村庄屋丈助	岡本新次郎	惣分興山寺役人	御蔵役人	岡本新次良	岡本新次郎	恵光院納所(印)	岡本新次郎	総分役人	惣分勘定所(印)
	福田村利兵衛ほか4名	興山寺様御役人長寿院	御惣分御役中	市場村御蔵御役人中	惣分興山寺御蔵役人		村々庄屋中	御総分御役人中		岡本新次郎	御総分御役人中		神野高畑村
状	綴	状	状	状	横帳	横帳	状	堅帳	堅帳	状	堅帳	横帳	状

イ-996	イ-934-4	イ-933	ウ-561	ウ-568	イ-934-1	イ-934-2	イ-610	イ-766	イ-756-3	シ-524	イ-1006	ス-82	ス-117
覚(米1駄を毛原上村庄屋柳蔵方へ送り給うにつき)	覚(福田村大涌普請のため夫米市場村蔵米から岡本へ渡しにつき) つき	覚(市場村蔵米三尾川新左衛門落札につき払い、福田村大涌普請夫米の残りにつき) *封紙上書「市場村蔵米切手」	覚(米差送りにつき請取くださるようにつき) *4斗入りを4俵	覚(米差送りにつき請取くださるようにつき) *4斗入りを13俵	覚(市場村蔵米三尾川新左衛門へ払い) *イ-934-1より5まで封紙一括、上書「目録」	覚(市場村津川庄関普請夫米を利左衛門へ渡すにつき)	覚(市場村御蔵有米の日割を渡し残米を知らせるようにつき)	(市場村御蔵米三尾川村新左衛門へ残米残らず渡すよう達)	覚(夫米用に市場村蔵米を尾張利右衛門へ渡しにつき)	覚(米十八俵受取につき)	覚(普請夫米を此切手をもって渡しにつき)	御預申里収納米之事 *端裏書「拾五石三升四合三夕才 岡本兵馬」	預り申御収納米之事 *駄賃米と合わせて11石6斗7升4合5夕
戊4月4日	酉10月25日	酉8月24日	酉4月朔日	酉3月27日	酉3月22日	申11月29日	申7月6日	申5月25日	申4月6日	午11月27日	子3月9日	文久2戊年11月20日	文久元辛酉年11月22日
地方奉行明光院(印)	支配方恵光院役人(印)	恵光院役人(印)	中勝助役人(印)	中勝助役人(印)	惣分支配恵光院役人(印)	惣分役者舎那院(印)	惣分役人加藤直之進	惣分役人舎那院	惣分役者舎那院(印)	新店留八(印)	惣分役人加藤直之進(印)	福田村庄屋岡本兵馬(印)	福田村庄屋岡本兵馬(印)
岡本忠太夫	岡本新次郎、市場村庄屋	岡本新次郎、市場村庄屋	岡本御氏御役人中	福田村岡本御氏御役所	岡本新次郎、市場村庄屋	市場村御蔵掛り	神野市場村御蔵懸	岡本新次郎、市場村庄屋吉兵衛	岡本新治郎、市場村庄屋	岡本新次郎	御蔵掛中	市場御蔵掛り長福院	御蔵御掛り長福院様御役人中
状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状

イ-929 -3	エ-16	イ-788	イ-934 -3	イ-755	イ-704	ウ-691	ウ-702	ウ-699	ウ-701	イ-992	イ-781	イ-775	イ-777
〔市場村蔵米10石を三尾川新左衛門へ渡し外20石は8月中旬にて入札するよう書状〕	〔市場村蔵米渡すよう書状〕	〔市場村蔵米20石を三尾川新左衛門へ払うよう書状〕	市場村御蔵米覚（米引合のうえ勘定につき）	〔尾張利右衛門へ御蔵米10石渡すよう達〕	〔市場村御蔵米入札延引につき加藤丞之進へ米渡すよう達〕	〔市場村御蔵米立会にて渡し代銀当月中に差上させるよう差紙〕	〔蔵米を3石2斗送るよう取り計らいを頼む書状〕	〔蔵米1駄この者へ渡すよう頼む書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔箕六村溝路普請につき蔵米1駄渡すよう書状〕	覚（市場村御蔵米を其許と同村庄屋が立会渡すよう達）	〔市場村御蔵収納米の内2石を尾張利右衛門へ立会い渡すよう達〕	〔市場村庄屋吉兵衛が蔵米拝借願のため立会にて渡すよう達〕	〔市場村蔵米のうち30石を76匁替えて払い渡し手形は岡本で預かるよう書状〕
7月2日	6月25日	6月20日	6月3日	5月12日	4月20日	4月12日	4月9日	4月4日	4月2日	4月朔日	2月21日	2月13日	戊5月11日
恵光院役人（印）	惣分役者三学院	恵光院役人	岡本新次郎	惣分役者舎那院（印）	惣分役者龍華院	総分役者持宝院	地方奉行明慶院	地方奉行明慶院	地方奉行明慶院	惣分役者持宝院	持宝院	興山寺役人	岡本新次郎、市場村庄屋
屋 岡本新次郎、市場村庄	岡本新次郎	屋 岡本新次郎、市場村庄	御支配中	岡本新治郎	屋 岡本新次郎、市場村庄	岡本新次郎、市場村庄 屋吉兵衛	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本新次郎	屋 岡本新次郎、市場村庄	岡本新次郎	持宝院
封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

8 戸口

ス-144-1	ス-144	ウ-51	イ-259	ア-144	ア-77	イ-215	ア-36-2	イ-847
〔別紙下書2通につき御願する書状〕 *ス144-3が別紙	〔幸七送り一札〕	人別御改帳 *破損あり	人別集牒	神野組庄屋年寄人数調らへ帳	五人組改帳 *構成員のみ記載	相尋ニ付口上書（京助義官講筋目につき講中におひかえくださるよう申入れ）	指上申一札之事（私親病死につき宗旨請合願）	奉差上宗旨証文之事（雛型） *袖に「厚紙調上包同紙」
7月18日		日 天保5甲午年5月	文政7年申4月日	文政6年未8月日	文政6未年8日	文化13年2月22日	日 文化12亥年2月8	文化元甲子8月
門徒□衆幸七		福田村年寄佐五郎、庄屋井上為次郎	神野庄役人中	神野組庄惣代三尾川村庄屋甚右衛門、津川村庄屋栄次		神野組福田村源左衛門、同庄同村庄屋（記載なし）	毛原宮村新三郎	
岡本御出家		興山寺様御役人中		興山寺様御役人舎那院		西山村御宮講中	延命寺	宗旨御改御奉行真藏院
状		豎帳	横帳	豎帳	横帳	状	状	状

ウ-420	イ-657	イ-765	イ-773
覚（米受取差引勘定につき）	覚（収納米につき） *50石は蔵入、30石は鎌瀬・赤木・桂瀬各村の庄屋元へ預り	〔市場村御蔵納米の内30石幸左衛門に渡すよう書状〕	〔市場村御蔵収納米の切手引替のため拙宅へ持参するよう達〕 *回文
		12月18日	12月8日
		惣分役者舎那院	岡本新治郎
		市場村御蔵米預り岡本新次郎、市場村庄屋	梅本、中田、新村庄庄屋中
状	状	封紙包状	封紙包状

サ-242	ウ-337	イ-307	イ-181	サ-419	サ-87	ウ-585	ス-144-7	ス-144-6	ス-144-5	ス-144-4-2	ス-144-4-1	ス-144-3	ス-144-2
〔送籍につき〕 *天保8年生、年35才	〔大角村、小川中田村栄左衛門家内訳〕	〔送り一札〕 *封紙上書「送り一札紀州海土郡田津原村」、固着のため撮影不可部分あり	奉指入一札之事（兵五郎源左衛門の家兄弟につき宮座講中控なくだされるよう一札） *封紙上書「口上書福田村南弥左衛門」、後欠	〔奉公人嘉蔵はその村で帳外の様子も召抱えたい旨の書状〕	〔ふさと親類は拙宅へ罷り出るようにつき書状〕 *ふさの宗門手形についての別紙あり	〔福田村忠右衛門倅久兵衛を日方浦六右衛門後家養子に望む書状〕	寺送り一札之事（幸七同居厄介にまいりたく）	送り一札之事（幸七同居厄介にまいりたく）	〔岡本茂左衛門倅幸七の送り一札を遣わすよう願う書状下書き〕 *別紙を貼たし宗旨帳面相違なき旨奥印の雛型あり	申送り候事（百姓角右衛門弟植之助宗旨は浄土宗宝珠寺檀那につき）	一札之事（弟植之助と申す者岡本友三郎方へ字に差遣し） *封紙上書「上 大野 角右衛門」	〔申し送り・一札につき下書き〕 *ス144-4の下書、2通あり	宗旨改送り一札之事（角右衛門弟幸七岡本友三郎方へ養子につき） *封紙上書「宗旨改送り巻通」
（明治4年）				極月12日	9月朔日	未3月11日	慶応2年寅7月	慶応2年寅7月	正月25日	丑11月	元治元年子正月	丑11月	慶応第1丑10月
			神野庄福田村源左衛門	毛原下村弥助	下佐々村庄屋安右衛門	橋爪庄次郎（印）	高野寺領神野福田村延命寺印	高野寺領神野福田村庄屋井上八助印、肝煎誰印		海士郡大野中村庄屋宗次郎（印）	海士郡日方組大野中村本人覚右衛門（印）	庄屋井上八助	海士郡大ノ中村宝珠寺（印）
				福田村御庄屋岡本新次郎	福田村年番御役人衆中	岡本忠太夫	名草郡太田村玄通寺	本町三丁目年寄衆中		岡本友三郎	高野寺領福田村庄屋井上八助	本町五丁目年寄衆中	地領神野福田村十輪寺御知事所
状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状

シ-328	サ-59	シ-79	サ-141	シ-226	サ-34	サ-60	シ-52	サ-73	シ-428 -①	ウ-291	サ-485	サ-483	サ-251
〔転居届2通へ捨印の上差出願〕	〔河野圭三郎妻入籍一件につき役場へ出頭するよう伝達依頼〕	〔5名のもの寄留届を至急届出るよう書状〕 *別紙「寄留届」の雛型あり	寄留人官費字費証保之事	〔小生養娘ゆきゑ御地へ寄留につき〕 *「身元受書」同封	〔田尻安次郎住居の地を取調べ願ひ〕	〔高田岩吉方へ同居寄留につきお届〕	〔実家と離縁の上実家から送籍証取り扱うよう書状〕	送籍証（別所よし枝結婚のため） *印刷物、印は朱筆にて抹消	明治十五年度下半年分那賀郡福田村戸数人口及ヒ現在夫婦数取調書 *「明治十五年度下半年分那賀郡福田村衛生出納統計取調書」と合綴	〔第三大区十一小区戸籍関係綴〕 *綴紐切れ	〔福田村へ送籍につき〕 *3通あり	離縁之願（私三男圭三郎婿養子のところ離縁につき） *2通あり、うち1通は印なし	〔鍛冶や送籍につき請書お渡し下されたきにつき〕
10月31日	10月21日	5月15日	明治27年9月	日（明治）27年9月18日	日（明治）27年3月18日	明治25年4月日	明治17年4月25日	明治16年6月15日	明治16年1月31日	明治7〜14年	明治7年8月	明治7年7月27日	日（明治5）申2月27日
下神野村役場	野村戸長	下神野村役場	北源右衛門、証保人予城幸助（印）	有田郡安諦村大字杉野原戸主西田播右衛門（印）	下神野村役場	坂部奎之助、寄留主高田岩吉（印）家主和歌山市東田中町三好常忠	蓑谷政之助	戸長岡本佐太郎（印）	戸長岡本佐太郎（印）		第三大区十一小区福田村副戸長井上為次郎、戸長岡本隆政	第三大区十一小区福田村河野安作歌（印）副戸長井上為次郎（印）戸長岡本隆政（印）	高畑村庄屋武西太兵衛
岡本惣代	岡本惣代	福田岡本惣代	福田字	那賀郡下神野村大字福田北谷岩吉	福田惣代岡本佐太郎	和歌山市長長屋喜弥太	戸長岡本佐太郎	那賀郡長山村戸長	那賀郡長松山管吾	（第三大区十一小区戸長中ほか）	第一大区九ノ小区重根村戸長中、坂本村正副戸長		当組戸長御役所岡本新次郎
状	状	状	罫紙	封筒入紙・罫紙	状	罫紙	罫紙	状	罫紙綴	罫紙綴	状・罫紙	罫紙	状

ア-27 -2	ア-26 -4	ア-26 -2	ア-17 -2	ア-15 -3	ア-15 -2
丑ノ小入用仕出し	寅ノ小入用仕出し	〔小入用仕出し〕	酉ノ小入用仕出し	未ノ小入用仕出し	午ノ小入用仕出し
日 (文化3) 寅正月28	(文化2年)	(文化2年)	日 (享和2) 戌正月28	日 (寛政12) 申正月28	日 (寛政11) 未正月28
状	状	状	状	状	状

9 入用

シ-638	シ-486	シ-83	シ-53	サ-407	イ-846	サ-331
請状一札之事 *奉公人請状の下書き、「第三天区九小区大垣内村」	証(送籍証受取編入につき) *六通、未使用	証(送籍証受取につき雛型) *破損あり	〔那賀郡下佐々村田淵昇名札〕 *裏面鉛筆にて「田測知秋廿五年二ヶ月」	第七小区番号録(人名書上) *五條県、上部破損	〔他村へ住居しているものの居所と名前書上〕	〔徴兵検査につき廃嫡分籍の上私一身のみ送籍するよう願う書状〕 *東京鎮台へ入隊したいが長男のため
						11月24日
	和歌山県下 郡 村 戸 長役場	和歌山県下 郡 村 戸 長役場				角谷熊吉
	郡 村 戸長役場	郡 村 戸長役場				岡本佐太郎
状	状	状	状	罫紙縦帳	状	状

ア-38 -3	ア-123	ア-156	シ-252	サ-312	サ-313	ス-278	ス-277	ス-205	シ-563	シ-24	シ-7	サ-298
覚（上帳・高野初尾麦ほか代金受取下されにつき）	風土記掛り御役人宿賄入用帳 *買物覚、借用物覚、飯料	村方年中入用方覚帳	記（共有持山の入用金惣高の半額領収につき）	記（新谷楠松本年徴兵検査所へ出頭旅費につき） *印刷物	〔明治11年南畑野中兩村山地争論費用につき〕 *虫損	〔村別小前払金額書付・古道具控帳など〕 *28通、紙紐一括、高野山からの達の触状あり	〔村別割付金額書付・人足代金・書状など〕 *38通、紙紐一括、政道方大家八左衛門から旧冬一揆の節の米諸入用についての書状含む	覚（仕舞度屋茶代等代金年々極）	〔人足3人ほか入用書付〕	〔大工作料につき代銀〕 *9月5・6日分	覚（酒・蕎麦・肴吸物ほか代銀につき）	〔奉行雑用ほか勘定書付〕
日 （文化14）丑7月11	文化10癸酉11月	文化10年酉3月日	26年 ^{（マ）} 27日	明治17年5月27日	明治12年10月							
庄やより	神野福田邑	神野福田村岡本忠太夫	大字永谷惣代坂中宗右衛門（印）	那賀郡役所會計係（印）	別所宇左衛門、馬止清兵衛、岡本茂左衛門、前谷武右衛門、西上藤兵衛、大野角左衛門、岡本佐太郎、谷口忠左衛門、井戸谷惣兵衛、福田村用係り古坂芳兵衛	（いろいろあり）	（いろいろあり）			定右衛門	茶屋重平	
		興山寺様御役人自覚院	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	場 福田村初ヶ村戸長役		（いろいろあり）	（いろいろあり）			福田入	神野組御役人中	
状	堅帳	堅帳	罫紙	状	罫紙堅帳	状	状	状	状	状	状	状

シ-276 -3	サ-290	イ-1040-1	イ-595	イ-550	ス-178	イ-545	イ-534	ス-48	サ-170	ウ-16	ウ-8	ウ-18	イ-723
記(紙代金につき) *シ276-1に括り付け	(入用につき覚) *横帳二冊と一紙文書(とじはずれ)を合綴	覚(酒・さかな代銀書上) *虫損	仕切覚(茶二半代銀につき) *印「近頃紛敷惣多□□付増印仕ス」 「土州 御用紙渡 七助 伊野村」あり	(過料受取覚)	をほべ(はん・酒代金) <small>(カ)</small>	覚(平蔵他人夫酒代)	覚(萬蔵株、奉行雑用ほか代銀)	奥院寄附扣	よろす遣帳	戌之村方小入用割附帳控 *50名に割付	申之村方小入用割附帳 *57名に割付	巳之村方小入用割方帳 *57名に割付	覚(宗旨・夫割ほか高野登り人足入用)
旧3月2日	22日①3月29日②(5月③未5月20日	3月25日	3月5日	2月6日	丑6月21日	子7月日	子7月6日	文久2戊年11月日	安政2年卯3月吉日	天保10亥2月日	天保8酉2月日	天保5年午2月日	文政8年酉8月より行
新忠	なし①野中村弁市郎(印)②なし③市場村庄屋太兵衛	梶屋黒吉	紙や新兵衛	田中庄兵衛	村店内	安い酒屋	茶屋	岡本兵馬	神野庄福田村	神野福田村惣代定右衛門(印) 年寄七太夫(印)庄屋岡本新次郎(印) 神野福田村惣代為治郎(印) 年寄良介(印)庄屋岡本忠太夫(印)	神野福田村惣代清吉(印) 年寄左五郎(印)庄屋井上為次良(印)		
ふく田岡本	なし①イチバ庄屋太兵衛②なし③庄御役人衆中	福田村旦那	福田 庄左衛門	福田村庄屋中	御役人	福田村岡本新次郎	村方			興山寺様御役人中	興山寺様御役人中	興山寺様御役人中	
状	綴	状	状	状	状	状	状	横帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	状

シ-551 -23	シ-551 -24	サ-408	シ-571	シ-273	サ-418	サ-301	サ-266	サ-183	エ-81	エ-33	ウ-308	イ-1040-2	イ-638
証(役場印代領受につき) *印刷物	記(10月分役場経費到着につき) *印刷物、第九七〇号	明治12年度分協議費出入予算概計 *鉛筆書あり、等級別負担金額および等級別人名表	[宗旨登り小夫賃書付]	[「」万鑑札取「」用] *入用金の記載、上部破損	[21人分会所料・酒代・触人夫差引勘定につき] *2通あり	おぼへ(番組割・高野山夫銀上につき)	覚(寺務所廻状持廻りちんほか入用につき) *朱筆あり	[人足平均村別差引勘定につき] *二冊合綴、状態悪い	[念樋・東之番につき銀書付]	[ねんひ・東の二口につき勘定書付]	覚(夫銭・村入用勘定書上)	十津川行(二所茶代・宿料書上)	村方役人掛合筋雑用(人別勘定書上)
明治15年12月12日	明治15年12月5日	(明治12年度)											
三那賀郡役所会計係(印)	中野郡役所会計係(印)												
福田村戸長役場	福田村初カ村戸長役場	和歌山県令神山郡廉											
状	状	罰紙縦帳	状	横帳	状	状	状	横綴	状	状	状	状	状

シ-595-2	シ-595-1	シ-597	シ-551-14	シ-419	サ-72	シ-551-27	シ-551-12	シ-422	シ-551-31	シ-551-26	シ-78-3	ウ-289	シ-551-25
記(7・8月分役場経費到着につき) *印刷物、2通あり	証(16年度中約東郵便税受取につき) *印刷物、「三木」朱印あり	記(戸長年俸渡不足につき)	証(新聞代郵税共領受につき) *印刷物、1171号より1218号まで	証(山林原野村等編成につき福田村分受取) *「和歌山県那賀郡役所」用箋	(6月分役場経費到着につき) *印刷物	記(徴兵本検査所へ出張旅費として受取につき)	記(徴兵本検査所へ出張旅費として受取につき)	記(山林原野村等編製入費前割金受取につき) *「和歌山県那賀郡役所」用箋	記(1月分役場経費お渡しにつき) *「会計係」、「西口」の印あり	記(12月分役場経費到着につき) *印刷物、第一三〇一号	記(旧連合七ヶ村協議費・衛生委員給料・種痘費等賦課金につき) *写し、綴紐切れ	(旧連合七ヶ村経費等負担金額通達) *写し、綴紐切れ	記(11月分役場経費到着につき) *印刷物、役場印章代領受証書を同封カ
明治16年8月29日	明治16年8月25日	明治16年7月14日	明治16年7月8日	明治16年7月7日	明治16年6月22日	日(明治)16年6月15日	日(明治)16年6月15日	明治16年4月28日	明治16年1月12日	明治15年12月23日	明治15年12月19日	明治15年12月19日	明治15年12月12日
那賀郡役所会計係(印)三木(印)那賀郡役所会計係(印)	那賀郡長松山管吾(印)	那賀郡役所会計係(印)中野(印)那賀郡役所会計係(印)	奎文社(印)	右全曾和震十郎(印)那賀郡書記兼山林原野改租顧問人松浦稽享(印)	中野(印)那賀郡役所会計係(印)	福田村仲千之助(印)	福田村澤徳五郎(印)	那賀郡書記兼山林原野顧問人曾和震十郎(印)	那賀郡福田村戸長岡本佐太郎(印)	那賀郡役所会計係(印)三木(印)那賀郡役所会計係(印)	神野市場村初六ヶ村戸長役場(印)	神野市場村初六ヶ村戸長役場	那賀郡役所会計係(印)中野(印)那賀郡役所会計係(印)
福田村初カ村戸長役場	福田村	福田村初カ村戸長役場	岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎	福田村初ヶ村戸長役場	戸長岡本佐太郎	戸長岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎	那賀郡長松山管吾	福田村初カ村戸長役場	福田村	各惣代	福田村初カ村戸長役場
状	状	状	状	罫紙	状	状	状	罫紙	状	状	罫紙	縦綴	状

サ-69	シ-551-32	シ-62	シ-551-33	シ-551-20	シ-551-28	サ-341	サ-488	シ-551-16	サ-433	シ-551-11	シ-551-10	シ-596	ウ-268
明治十七年六月約束郵便物発数表	記(徴兵本検査所へ出張旅費として受取)	(旧小区負担金賦課につき16年分補貸延納等租額を通知するよう照会状)	記(明治16年早害諸願費お請につき)	証(新聞代領受につき) *印刷物、1372号より1443号まで	記(明治16年度山野林等調査に係る諸費支払につき)	記(戸谷新右衛門君社再建寄附金受取につき)	(明治15・16年度福田村経費勘定帳) *明治15年10月16日〜12月、明治16年1月〜3月	記(岩手警察署新築費寄付金領収につき) *印刷物	(戸谷新右衛門記念碑建設寄附金名録をお知らせ下さされたく依頼の葉書)	記(代不足につき)	証(新聞代領受につき) *印刷物、1219号より1242号まで	記(9月分〜12月分役場経費到着につき) *印刷物、4通あり	(旧区内に関する諸費賦課につき出会の照会)
(明治17年6月)	明治17年6月12日	日(明治)17年5月4日	明治17年4月24日	明治17年3月27日	明治17年1月19日	明治17年1月19日	明治16年	明治16年11月14日	明治16年10月	日(明治16カ)9月27日	明治16年9月27日	明治16年9月25日 12月18日	明治16年9月3日
	那賀郡福田村新谷楠松親 新谷佐兵衛(印)	野村戸長	西福井村吉村久七(印)	奎文社(印)	掛り赤木村戸長役場(印) 植田(印) 始十ヶ村戸長役場	世話方伊都郡馬場村畑庄 兵衛(印)	福田村戸長岡本佐太郎 (印)	那賀郡役所庶務係(印)	紀州伊都郡南馬場村義人戸谷君記念 碑建設係中(印) (印) (印) (印) (印) (印)	奎文社	奎文社(印)	那賀郡役所会計係(印) 三木、中野(印) 役所会計係(印)	戸長植田半七郎(印)
福田村戸長役場	戸長岡本佐太郎	岡本戸長	岡本戸長	岡本佐太郎	福田村戸長役場	那賀郡福田村戸長岡本 佐太郎	那賀郡長松山管吾	福田村戸長役場	那賀郡福田村岡本佐太 郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	福田村初カ村戸長役 場	戸長野村勉(印)、岡本 佐太郎
状	状	状	状	状	罫紙	状	罫紙縦帳	状	葉書	状	状	状	罫紙

シ-253 -2	シ-242	シ-248	シ-240	シ-466	シ-368	サ-68	シ-276 -2	シ-267	サ-172	サ-31	シ-551 -17	サ-129	シ-551 -34
〔宗内費并布教費・学校入用ほか領収につき〕 *9通、領収書4通綴含む	証(25年下半期齋米并宗内費落掌につき) *シ-242〜シ-244まで折込一括	記(神宮初穂および暦代領収につき)	記(公有地掛り代金領収につき) *2通	記(明治24年から25年分田租領受につき)	記(両大神宮献酬寄附金預りにつき)	記(戸長役場・種痘諸費につき) *朱筆、挟込あり	記(半紙・筆ほか代金につき) *シ-276-1に括り付け	名寄入費帳 *朱筆にて訂正あり	十八年七月村費不足戸長へ投入 *朱筆で受取日を加筆	村用惣掛り工并二入用惣勘定帳	記(山野林等評定に関する諸費・旱害に関する費用領受につき)	〔旱害日当ほか受取につき〕 *固着のため撮影不可部分あり	記(衛生委員給料ならびに種痘諸費等負担金領受につき)
(明治25〜26年)	第25年旧12月23日	明治25年12月16日	明治25年旧7月10日、旧12月10日	明治25年5月25日	(明治)19年8月19日	明治19年8月4日	(明治)19年旧6月8日	明治19年1月11日	(明治)18年10月	明治18年10月	(明治)17年11月26日	(明治)17年7月25日	明治17年7月10日
観音寺	津川阿弥陀寺(印)	下神野村役場(印)	松(印)	当村大字安井総代田中近	戸長役場(印)・和歌山県那賀郡神野市場村始メ村戸長役場章	神野市場村外十六ヶ村戸長役場(印)	井戸屋	福田村	河野(印)	惣代河野氏	神ノ市場村戸長役場(印)	井上為次郎(印)	野村勉(印)
岡本佐太郎	福田惣代岡本佐太郎	大字福田惣代	衛門、岡本佐太郎	大字福田岡本佐太郎	福田村	福田村	岡本御氏				福田村戸長	岡本氏	岡本佐太郎
綴	状	状	状	状	状	状	状	横帳	横綴	横帳	状	状	状

サ-137	サ-148	サ-132	シ-280	シ-279 -1	シ-346	シ-321	シ-225	シ-714	サ-421	サ-150	シ-307	シ-282	シ-482
〔明治25年熊野沖遭難漁民救恤として寄贈につき〕 *「和歌山県」用箋、印刷	記〔高野山大法会の勧発寄付金領収につき〕	証〔兵員召集応命者へ餞別金寄附領収につき〕 *印刷物	〔領収書一括〕 *9通あり、油代・寺掛入、予備兵召集応命者へ餞別金賦課金ほか	〔領収書一括〕 *9通あり、福田・永谷共有山入用費ほか	記〔27年度后半季大字費につき〕	〔昨日送付した高割は南畑行と入違いにつき伝達を願う書状〕	請票〔本年両期残金・学校補助費落手につき〕	明治廿六年度旱害二付入費賦課帳	証〔明治26年度税領収につき〕	〔明治24年震災被害者救恤につき〕 *印刷物	〔津川行入用につき勘定〕	〔領収書一括〕 *20通あり、延命寺・観音寺宗内費、地租、訓導俸給ほか	〔惣代給料支払につきお尋ね〕
明治28年7月1日	明治28年1月12日	明治28年1月11日	明治27年頃	明治27年頃	日 (明治27) 旧10月21日	明治27年9月4日	日 明治27年旧7月12日	明治27年第6月	明治27年3月4日	明治27年2月20日	(明治26年頃)	明治26年頃	明治26年9月11日
和歌山県	下神野村役場(印)	下神野村有志惣代松下芳太郎(印)	下神野村有志惣代松下芳太郎(印)ほか	下神野村有志惣代松下芳太郎(印)ほか 畷傍榎原教会本院、出雲大社教会所 和歌山県伊都郡志村出張所広田徳次郎、大字永谷坂本宗右衛門ほか	福田惣代岡本	下神野村役場	宗内代儀員小野文弥(印)	大字福田	下神野村収入役芝崎房之助(印)	岐阜県知事正五位曾我部道夫(印)		阿弥陀寺、安井惣代西古家政次郎、下神野村収入役芝崎房之助(印)ほか	下神野村収入役芝崎房之助
和歌山県那賀郡福田有志	大字ふく田惣代岡本佐太郎	大字福田惣代岡本佐太郎	字用係り岡本ほか	福田字惣代岡本佐太郎ほか	森山おしか	岡本惣代	福田惣代岡本佐太郎		大字福田森宗太郎	和歌山県那賀郡下神野村大字福田		福田惣代、大字福田、元福田村中ほか	大字福田惣代岡本佐太郎
紙	状	状	紙綴	綴	状	状	状	横帳	状	状	状	綴	状

サ-460	サ-139	シ-431	サ-439	シ-37	シ-256	シ-453	シ-404	シ-559	シ-430	イ-651	サ-154	サ-133	サ-157
〔等級別戸数割・夫銭金額書上げ〕	記（炭代金書上）	〔皇大神宮大麻頒布につき初穂金額をしらせてくれるよう願う書状〕	〔大麻頒布初穂料収集めくたされたく葉書〕	〔惣代給料は角谷氏へ御尋ねの上領受証へ納印返送していただくよう書状〕	証（伊勢初穂料領受につき）	千鳥道造り（夫銭勘定）	〔他県で死亡した者の葬費等を送金するよう伝達依頼〕	記（酒ほか代金につき）	〔山野原按に係る前割金を郡役所へ直納ありたく照会〕	覚（籠携箱老荷代銀請取につき）	区会設立ニ付雑費扣帳	証（明治28年度教育費福田村分領収につき） *印刷物	記（種油・石炭油代金につき）
		20日	12月30日	12月18日	11月25日	旧8月27日初め	7月25日	7月13日	6月23日	3月27日	明治28年8月	明治28年8月25日	10日（明治）28年旧7月
	角谷峰吉	粉川神官教会所ニ而岸上 正作（印）	神宮粉川分教会所使岸上 正作	芝崎	下神野村助役松下千治郎 （印）		下神野村役場	木村	赤木役場（印）那賀郡赤 木村始十ヶ村戸長役場	永田屋毛兵衛（印）	福田区	下神野収入役松下芳太郎 （印）	（印）コウノ馬止フクダ
	村	岡本戸長	岡本佐太郎	岡本佐太郎	大字福田岡本惣代		岡本惣代	御村方、岡本	福田村戸長岡本佐太郎	神谷軽助		大字福田岡本佐太郎	字福田
罫紙	状	状	葉書	状	状	状	状	状	罫紙	状	罫紙摺帳	状	状

ア-133	ア-149	カ-21	カ-32	イ-903
神野庄中御用捨米上帳 *三尾川・野中・市場・大角・上井・赤木・南畑・津河・高畑・永谷・福田・鎌瀧村庄屋の連印あり	庄中早魃調らへ帳扣	早魃御願帳 *①「毛不付」・「早魃所」村別石高と②各寺院配下別に見分願	新蔵難渋株取立仕法帳	〔寛政十一年九月十一日早損所下見分につき〕 *写し
文政6年未11月日	日 文政6年未9月27	月日 ①②文政6未年6	文化14歳丑2月	寛政11年3月14日
神野組惣代岡本新次郎	岡本新次郎	兵衛 ①②神野組庄惣代三尾川村庄屋勘右衛門、津川村庄屋栄次、高畑村庄屋吉	神野庄三尾川村椎木谷組新蔵、〔奥印〕庄屋、年寄、椎木谷組親、組惣代	株主忠内、村役人二人、庄屋弥一郎、岡本忠左衛門
総分役人、興山寺役人	御役人舎那院	官、赤松院様御代官	院様御代官、安養院様御代官、興山寺様御役人舎那院、成慶院様御代官、金光院様御代官、金蔵院様御代官、来迎院様御代官	御奉行金蔵院、天主院御惣分様御役人中、地方御奉行所
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状

10 救恤

ス-248	シ-594	シ-551-36	シ-462	シ-443	シ-438	シ-398
岡本氏（入用銀につき）	〔福田村山野原按費第二回前割金額書上げ〕	記（早害に係る費用賦課金につき）	記（夫銭・戸数地方税・野山入費ほか勘定書上） *両面に書込あり	〔人別金銭書上〕	記（ぶせん・掛ば代につき割当人名書上）	〔営業更正願・惣代の久料送 ^{マモ} つてくださるよう願う書状〕
						営業惣代高畑村森田
						福田村戸長岡本佐太郎
状	状	罫紙	状	状	状	状

イ-878	イ-764	イ-193	イ-934 -5	イ-136	ウ-47	ウ-53	ウ-3	イ-175	イ-140	イ-139	イ-269	ア-146 -1	ア-152
〔市場村より出火にて焼失の軒数と名前を登すよう差紙〕	〔市場村類焼のものともへ蔵米を割付の通配分するよう達〕	乍恐奉願上口上(未進銀拝借願) *端裏書「酉八月五日 福田村たか銀六貫百五拾目拝借願」	事 当月九日之夜出火ニ逢候市場村焼下之ものともへ被下御米之	野中村下調方万覚帳(家内人数・所持石高・借銀書上)	御総分拝借并御山内四ヶ所借用共年賦返納受合帳 *固着のため撮影不可部分あり	村中難波につき借財改帳	村中難波ニ付借財改帳	乍恐奉願上口上(麦作凶作につき飯料お下げくださるよう願)	御上様従扶助米頂戴之人数上帳扣	御用捨帳(米穀高直にて大難波の年柄につき)	三株難波につき諸事書上帳	神野組上井村円蔵株調へ帳	神野市場村難波株調らへ帳
正月21日	正月19日	(酉8月5日)	申正月19日	弘化3丙午年	弘化2乙巳年12月	弘化2年乙巳4月	天保16 ^(マ) 年辰極月日	天保8酉年7月	天保8酉年2月日	日 天保7申年11月25	天保4歳巳正月日	文政11子年4月日	日 文政9年戌10月28
惣分役者自覚院	惣分役者舎那院	難波人物代庄兵衛(印)権次郎 (印)福田村惣代徳兵衛(印) 年寄次助(印)庄屋岡本新次郎(印)	総分役者	野中村	野中村惣代利右衛門、年寄徳藏、庄屋幸左衛門	野中村惣代利右衛門、年寄徳藏、庄屋幸左衛門	神野福田村惣代次助(印)庄屋岡本新次郎(印)	福田村庄屋岡本新次郎		神野組大角村新左衛門	岡本新次郎	岡本忠太夫	
岡本忠太夫	岡本新次郎、市場村庄屋	興山寺様御役人三学院	岡本新次郎		御総分様御役人中	御総分様御役人中	興山寺様御役人三学院			御代官本大院	興山寺様御役人中	興山寺様御役人中	
封紙包状	封紙包状	状	状	横帳	豎帳	豎帳	豎帳	状	横帳	横帳	豎帳	豎帳	豎帳

ア-100	ス-242	ス-237	ス-34	ウ-37	イ-1023	イ-458	イ-284	イ-406	イ-663	イ-713	イ-683	イ-761
願) 奉差上御請一札之事 (大凶作につき救米お下げくださるよう *封紙上書「救倉請誓書 神野組」	覚 (救民方祠堂銀年賦取立につき廻文) *ス-237と同文、別紙村継状あり	覚 (救民方祠堂銀年賦取立につき廻文) *ス-242と同文、別紙村継状あり	乍恐奉差上口上 (飢饉人中取調につき雛型)	御改帳 (野中村借用銀改帳)	奉差上一札之事 (村方困窮につき米大豆共八歩通年内上納仰 せ付けられ請合一札) *下書き	(福田邑救合難渡人書上)	(小川梅本村難渡人9人の者へ米4石拜借願)	(救民方年賦筋につき円福寺迄お出でくださるよう書状)	覚 (救倉米代銀) *2石9斗7升7合3勺が139匁1分	(上井村円蔵株難渡にて田畑作荒があるため其元へ見分願)	状) (桂瀬村源蔵ほか四人株難渡につき勘弁していただくよう書 状)	(市場村焼下のものもより小屋掛など用木頂戴したい旨願出 につき達)
25日								12月朔日	11月16日	4月5日	3月4日	2月5日
(神野組中庄屋連印)、西 山定右衛門、岡本兵馬	旧総分救民方掛り中	旧総分救民方掛り中	三役人		三尾川村椎木谷組、寺役、 上出組、前畑組、中西組、 小西浦組、井上組、清太 郎 (以上惣代連名)、年寄 休助、庄屋甚右衛門			掛り両院	岡本兵馬	竜花院	岡本忠太夫	惣分役者舎那院
西明院	村々庄屋中	村々庄屋中	総宰庁御役人		御総分御役人中			柳沢、岡本氏	改革御掛中	岡本新次郎	興山寺御役人「」	岡本新次郎
封紙包状	状	封紙貼付状	豎帳	豎帳	状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状

サ-115	サ-33	ウ-229	サ-451	サ-463	ウ-286	シ-437	シ-653	サ-464	ウ-274	サ-116	ウ-251	サ-21
〔備荒儲蓄金借用につき〕 *「備荒儲蓄金借用書」と「内訳別冊（所有地の反別・地価・地租など）」が一組	食料下附金賦課簿	記（森下徳兵衛恤救のため金子御渡願）	客年早害ニ罹リ候者食料及種穀料ノ給与ヲ受ケザルモノ、人名及戸数割金額取調書 *「証」、「十六年度第二期地稅割税金免除ヲ受クヘキ村計額取調書」、「食料及種穀料下付人名取調表」を合綴	記（早害につき食料拝受）	記（早害につき食料受取）	〔食料下付出願につき布達〕 *人第1187・1188号にて不許可2名と下げ渡し人11名を通知	記（食料領受証書回送につき） *印刷物	記（早害につき種穀料受取）	恤救願（祖父慢性胃弱・両親死亡につき） *徳兵衛の4月7日付診断書（主治医田尻円次郎、奥印郡医河野秀貞）あり	荒地免租願一筆限取調帳 *明治17年9月22日付租税免除、松本鼎の署名・印・荒地略図（彩色）あり	〔別紙熟閱の上猿川中家戸長中へ送付願〕 *郡長宛「種穀料下附願」の雛型あり	〔救荒願につき〕 *請願書、地租総額、委任状、地稅免租願等合綴
明治17年11月1日	明治17年第6月	明治17年6月24日	明治17年6月9日	明治17年6月3日	明治17年6月3日	明治17年5月14日	明治17年5月11日	明治17年5月6日	明治17年4月10日	明治16年12月	明治16年11月22日	明治16年10月17日 ほか
福田村田尻円次郎ほか3名〔奥印〕戸長植田半七郎（印）	福田村	福田村戸長岡本佐太郎（印）	戸長岡本佐太郎（印）	那賀郡福田村川上与七（印）西川菊松（印）平見平次郎（印）ほか8名	福田村川上与七（印）ほか10名	那賀郡長松山管吾	那賀郡役所会計係（印）	那賀郡福田村平見平次郎（印）川上与七（印）西田鶴吉（印）ほか7名	森下徳兵衛（印）福田村平民隣保池田峯権（印）平民同井上綱太郎（印）戸長岡本佐太郎（印）	那賀郡福田村地主土取次兵衛（印）地主木村弥之助（印）戸長岡本佐太郎（印）	神ノ市場村戸長役場（印）	（出願人）城根弥左衛門（印）加藤忠兵衛（印）東嘉左衛門（印）池田峯楠（印）ほか13名
那賀郡長松山管吾		那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾	那賀郡長松山管吾	福田村戸長役場	福田村初ヶ村戸長役場		和歌山県令松本鼎	和歌山県令松本鼎	福田村戸長役場	
状	横帳	状	罫紙綴	綴	綴	罫紙綴	状	綴	綴	罫紙縦帳	罫紙縦綴	罫紙綴

サ-352	シ-187	サ-63	サ-62	シ-663	サ-61	シ-49	シ-385	サ-377	シ-393	サ-404	シ-469	シ-75	サ-82
〔早害に罹り地稅補助貸与出願等につき〕	〔被害畑地及食料給与願の者実地検査につきお知らせ〕	〔取消一件につき相談したい旨の書状〕	〔地租補助の出願取消者と面談したく出張依頼〕	〔早損一件につき県庁より巡視官を派せられにつき書状〕	〔地租補助出願一件につき参会の通達〕	〔干害出願一件につき名寄帳及び出願人名の交付を願う書状〕	〔早損でも免租出願は見合せくだされたい旨の書状〕	〔早害一件につき至急お出でいただきたい旨の書状〕 *サ-376と関連	〔恤救願の件につき出頭すべきよう伝達を願う書状〕 *封筒は反故紙	〔食料及種穀料給与願ほか書類一括〕 *6名分	〔上下神野村外の窮民は一切救与せざるにつき〕	十六年旱災地租貸与金十九年度分相当返納金徴収表 *「勉」の朱印あり、欄外朱筆にて「上納ノ節此表持参スル事」	〔明治十六年旱害補貸証書類につき〕 *封筒は反故紙
10月31日	10月29日夜	10月22日	10月21日	「」年10月20日	10月17日夕	9月22日	8月21日	2月2日	日 (明治) 27年8月4日	明治26年9月20日	明治25年10月25日	(明治19年)	明治18年4月23日
戸長野村勉	野村戸長	野村勉	野村戸長	和歌山区十二番丁高橋鉄一郎	下神野村役場	野村	神ノ市場役場	野村戸長	野村戸長	戸主澤芳之助、川口文左衛門、油谷梅吉、澤芳之助、大平金兵衛、予城幸助、村長野村勉(印・抹消)	下神野村長野村勉(印)		神野村市場村外拾六ヶ村戸長役場(印)
福田村戸長岡本佐太郎	岡本惣代	岡本	岡本惣代	岡本佐太郎	大字福田岡本惣代	岡本	福田村役場	岡本戸長	岡本惣代	那賀郡長小山漸	郎 大字福田惣代岡本佐太郎		福田邨旱害証書調査掛
状	状	状	状	封筒入状	状	状	状	状	封筒入状	罫紙綴	罫紙	状	封筒入状

イ-714 -3	エ-79	イ-897	イ-753	ウ-24	ア-93	イ-264	ア-87	ウ-12	イ-220	イ-120
差函（来る25日三軒茶屋にて御先払惣案内出合の筈につき達）	〔巡見使到着につき高野山の様子を知らせる書状〕 *封紙上書「正金様 無用事 文章房々」	覚（巡在のため道行の村々人足差割につき） *雨天気の場合は日割が違ってくる旨も廻達するよう尚々書	〔大巡在につき人足恵光院様用都合8人遣わすよう書状〕 *封紙上書「辰二月八日御巡在御用」	廻文（御巡見につき写し置くもの） *先払に岡本茂左衛門、惣御案内に岡本忠太夫	御巡見ニ付心得之扣 *寺領御案内岡本忠太夫、望月嘉八郎、堀貞三郎	御奉行毎日献立之控	大順在之節入用献立覚帳 *大御奉行西方院様・地方御奉行光三院様、挟込あり	御巡見様御用人夫上帳 *神野庄市場村、福田村、赤木村	〔大殿様一行宿割当帳〕	御順見様臨時夫帳
6月21日	5月2日	2月18日	2月8日	天保9戊辰年4月吉日	天保9戊辰年4月吉日	日より 天保2卯年10月20日	日 文政13寅年3月17日	天明8年申8月吉日	安永4未6月3日	日 延享3年寅4月15日
惣分役人 和光院	本寺院随中 二而文章	地方奉行 正徳院	亀井善之右衛門		岡本氏	料理方	福田村御本陣 岡本新次郎	市場村庄や、福田村庄や 弥一郎、赤木村庄や半右衛門		寺領中
衛門 岡本忠太夫、同名忠左	忠住	村々庄屋中	岡本忠太夫					興山寺様御役人中		
状	状	状	封紙包状	豎帳	横半帳	横帳	豎帳	豎帳	横帳	横帳

11 巡見

エ-27	シ-659
難洪人数覚（13名家内人数書上）	〔地租補助出願書類等整理事業につき出仕を願う書状〕
	11月4日
	野村
	岡本
状	状

エ-19	ウ-566	イ-998	ア-84	ス-159	ス-153	ア-97	ス-198	イ-1114	イ-688	イ-963	イ-964	イ-961-2	イ-961-1
〔惣案内、先払ほか名前書上〕 *先払に北長左衛門	御案内記覚 *各所間の里数、高野山寺数、天野社御普請料ほか	〔土井様能登様年寄公用人名前書上〕	寺領惣御案内御先払勤方心得記 *控、御巡見御三頭山本・三宅・市岡様	〔大殿様御成の節に下し置かれる銀子を拙宅へ受取にくるよう回状〕 *端裏書「福田」	〔大殿様御成の節に下し置かれる銀子につき猿川と松峯へ届けよう依頼の書状〕	覚（御巡見につき御用人夫の割方勘定をするため登山するよう回文） *興山寺役人 和光院が10月朔日に3通の回文を發行	〔大殿様遠立につき御供・休所・下宿勤筋へ書状を遣わすよう願う書状〕	〔大殿様お成りにつき案内の村役人名前書上〕 *惣御案内は岡本忠太夫、固着のため撮影不可部分あり	〔大殿様御成の節地土そのほか御供勤めるよう人名書付〕 *差出大橋忠太夫、中嶋平右衛門から伊藤八右衛門宛の書状写しなどを含む	〔大殿様御成の節入用人足につき〕 *固着のため撮影不可部分あり、虫損甚大取扱注意	〔大殿様御供の節寺領内より小野村迄の里数調べよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	去ル丑八月遠在御成二付（御供相勤めに付） *金100疋、去ル辰5月の節の金200疋もあり	〔大殿様御供を勤めたお金を渡すので拙宅へお出でになられるよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり、イ961-1・2封紙一括
				極月9日	極月9日	10月10日	9月26日	9月2日夜	閏7月晦日	7月9日	7月8日		7月7日
				山本喜兵衛	山本喜兵衛	神宮寺	山本喜兵衛	福田村役人		山本喜兵衛	山本喜兵衛		山本喜兵衛
				福田、市場、樋下、箕六、上ヶ井、大角、鎌瀧、赤木、高畑、桂瀬、村々庄屋衆中	岡本市左衛門	村々御役人衆中	岡本市左衛門	猿川御役人衆中		岡本忠太夫	岡本忠太夫		岡本忠太夫
状	横半帳	状	堅帳	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

12 争論

ウ-10 -④	ウ-10 -③	ウ-10 -②	ウ-10 -①	ウ-1
乍恐奉願口上	乍恐返答書	乍恐以書付奉願上候	乍恐以書付御訴訟申上候 *「和歌山県史 近世史料四」に掲載、相手に宗内ほか7名	神野福田村出入裁許書 *写し、「和歌山県史」近世史料四に掲載
享保17年10月日	子3月	日 享保17年子12月2	日 享保17年子12月2	子10月6日
神野福田村伴七	福田村庄屋伴七、年寄治左衛門、忠兵衛、村惣代文右衛門	野庄高野山行人方領分神	紀州高野山行人方領分神	衆評
興山寺様御役人円光院	興山寺様御役人円光院	寺社御奉行所	寺社御奉行所	
				豎帳

シ-270	シ-271	シ-269	エ-63	エ-46	エ-36	エ-34	エ-32
五条縣出張役森久中岩兩人雜費扣 *朱筆あり、鼠害	普請所見分雜費扣 *鼠害	鷹尾殿五條縣知事様御巡覽諸入用扣 *全丁抹消済、紙繕に徵発人夫名前書上を括り付け、朱筆あり、鼠害	覚（寺領惣御案内ほか名前書付） *固着のため撮影不可部分あり	〔山本・三宅・市岡様巡見につき入用控〕 *2通	〔巡見につき平人足書付〕	〔案内につき入用品書付〕	〔巡見につき行列〕
日夕迄 明治4辛未6月20	明治4辛未6月11日夕迄 明治4辛未6月13日昼迄	明治4辛未正月22日8ツ時迄夜御泊り23日4ツ時御立迄					
福田村役人所			岡本忠太夫				
		郷割御衆中					
横帳	横帳	横帳	状	状	状	状	状

シ-667	ウ-293	ウ-225	イ-693	イ-917	イ-914	イ-916	イ-913	イ-915	イ-912	イ-918	イ-911	イ-707	ア-78
約定書（落合橋架設に補助人夫60名差出につき）	約定証（落合橋架設の補費として50円受納下されたきにつき） *写し	紀伊国那賀郡龍神街道福田松瀬兩村立合落合橋架設目論見帖 *写し、下げ紙あり神山郡廉による認可は6月23日	〔野上川に洪を流し鮎取につき洪水井水掛り田地へ入ったため稲毛生立悪く難儀につき自今これなきよう書状〕*端裏書「控」	〔洪流しにつき草案通り認め書面を差遣わし返事があれば申し出るよう書状〕	〔洪流しにつき何年中いづれより仰出された御制禁か確認するよう書状〕	〔洪流し一件いまだ御巻もなく達しにさし支えにつき書状〕	〔洪流し一件いまだ御巻もなく達しに差支えにつき書状〕 *イ-916の写しカ	〔洪流しの儀につき差急ぎ又々御意を得たく書状〕	〔洪流しの儀につき御巻紙面にて此者へ申し越すよう書状〕 *イ-915の写しカ	〔志賀野庄より洪を流し鮎取につき貴所で取り扱うよう御意を得たく書状〕 *イ-911、919はこより一括、イ-918の写しカ	〔志賀野庄より洪を流し鮎取につき貴所で取り扱うよう御意を得たく書状〕	〔洪流しにつき此方より若山表へ追って返答するので承知するよう達〕	〔紀州高野領福田村伴七公儀へ差上書付写〕 *表紙「江戸濱 吉四郎」
明治15年8月4日	明治15年8月4日	明治15年5月	6月23日	6月20日	6月14日	6月13日	6月13日	6月9日	6月9日	6月4日	6月4日	2月25日	丑7月5日
福田村惣代馬止清兵衛、松瀬村惣代森下浅次郎		等外一等出仕立石弥太郎印、同三等出仕小林正友印	岡本忠太夫	興山寺役人自覚院	岡本忠太夫	山本又次郎	山本又次郎	山本又次郎	山本又次郎	山本又次郎	山本又次郎	興山寺役人自覚院	伴七印
新谷政左衛門		和歌山県令神山郡廉印	山本又次郎	岡本忠太夫	山本又次郎	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	福田村岡本忠太夫	寺社御奉行所
状	状	豎帳	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	豎帳

ウ-265	ウ-230	シ-76	シ-773	シ-455 -③	シ-644	ウ-226	シ-488	サ-430	サ-321	シ-551 -30	サ-3	ウ-292	ウ-287
落合道路新開畠山氏上地之記	為取換約定書（落合橋架設につき）*鉛筆書きで「土木條規」あり	〔落合橋に係る書類過般惣て送達につき書状〕	〔落合架橋検査下附金につき願書取計い願〕	〔落合橋の儀につき入来願〕	〔龍神街道字大野別所宇左衛門地通欠崩築立につき〕 *朱筆にて「明治十九年度第三百三十号、拾九年七月三十日限 竣工 所受」	落合架橋受負一件二付歎願（戸長新谷政左衛門一己の独断のため）	〔那賀郡福田村内龍神街道々路修繕費につき〕 *明治十七年六月十五日付「工事竣成御届ケ」あり	紀伊国那賀郡福田村内龍神街道々路修繕目論見帳 *控、下げ紙と和歌山県令松本鼎の認可あり	記（落合架橋に関する書類目論見帳写受取）	記（落合架橋用金四分通り切符にて受取につき）	〔①落合架橋所事一件二付歎願②新谷政左衛門応接ノ概略〕	〔落合架橋は村受に成り調印致し置くにつき〕	落合架橋所受一件二付歎願（戸長新谷政左衛門の独断にて着手のため） *「新谷政左衛門へ応接ノ概略」で材料の買入直段と引渡しについて交渉の結果、出願した旨を記す
		11月20日 ^カ	10月22日	8月21日	（明治19年）	明治17年7月20日	明治17年5月22日	明治16年11月日	日（明治）16年9月31	明治15年12月18日	なし ①明治15年8月②	明治15年8月	明治15年8月
紀伊梶川深撰	市場村戸長新谷政左衛門	神の市場新谷政左衛門	神の市場村新谷政左衛門	植田		福田村井上為次郎、予城幸助、岡本茂左衛門、岡本佐太郎、馬止清兵衛	那賀郡福田村戸長岡本佐太郎	（印）戸長岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎	（印） 神野市場村新谷政左衛門	①那賀郡福田村井上為次郎、岡本佐太郎②井上為次郎、岡本佐太郎		福田村井上為次郎、岡本佐太郎
		福田村戸長岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎	岡本		和歌山県令神山郡廉	那賀郡長松山管吾	外三等出仕小林正友印	旧戸長新谷政左衛門	岡本佐太郎			
状	豎綴	封筒入罫紙	罫紙	状	状	罫紙豎綴	罫紙綴	罫紙綴	罫紙	状	罫紙綴	状	豎帳

ア-82	ア-81	コ-24	コ-28	ア-83	イ-150-2	イ-150-1	コ-35	カ-31	シ-82	ウ-299	ウ-278
為取替一札之事(柴目村領鷺谷山四至和済につき写) *「野上町誌」上巻54頁と同文	国領柴目村寺領国木原村鷺谷山一見二付書状之うつし *書状5通の写し、柴目村・国木原村の庄屋年寄の往復2通 と寺中幸右衛門・山中喜兵衛、岡本忠太夫との往復3通	(このたび和済につき元形通り荒れ起し致すようにつき)	為取替一札之事(柴目領鷺谷山四至につき) *控	鷺谷山一件和済取暖出勤録仮控	(争論につき入用銀書付)	志賀野鷺谷山争論筋牒	取替一札之事 *端裏書「宝永八年中 鷺谷山争論一件取暖為取替一札写し」	志賀野庄中と神野庄永谷村と山論内済取暖状 *控	記(落合架橋筋本行の残金分下げ渡しにつき)	新谷政左衛門江応接ノ概略(落合橋工業・材料引渡し不決につき出願) *ウ-287と同内容、下書きカ	約定書(落合架橋が落成に至るまで委任につき) *福田村之印二ヶ所、岡本の印七ヶ所あり
文政11年子正月	文政10丁亥年12月11日	戌8月3日	文政9戌年7月	文政9戌年7月		文政9年戌6月日	宝永8辛卯4月	文化12乙亥年3月			
岡本新次郎	福田村岡本新次郎		人山本喜兵衛、寺本幸左衛門、岡本忠太夫、問江野善次郎、 【奥書】地方奉行明光院			南郷岡本氏	山本喜兵衛印、田尻平左衛門印、柳沢左左衛門印	惣分役人北川頼母印、辻民之進印、 【奥印】永谷村惣代繁八郎、 年寄代喜兵衛印、同村庄屋専次郎、 判七印、松瀬村庄屋兵左衛門印、釜龍村庄屋善右衛門印、国木原村庄屋西野村庄屋義左衛門印、証明入岡本忠太夫印、絵師西岡教馬印	新谷政左衛門		
			釜瀧村年寄喜左衛門、東之村、 年寄源太夫、庄屋丈助、 村年寄儀左衛門庄屋源次、 か5名、柴目村庄屋源中				野上庄柴目村庄屋孫助印、 肝煎利太夫印、孫六郎印、 孫九郎印、九右衛門印、 次右衛門印、志賀野庄中		福田村戸長岡本佐太郎		
堅帳	堅帳	状	状	堅帳	状	横帳	状	堅帳	罫紙	堅綴	罫紙

13 暖

コ-22 -1	ス-59	コ-1	コ-12	コ-6 -2	コ-6 -1	イ- 1056	コ-26	コ-8	コ-5	コ-19	コ-34	コ-15	コ-2
〔鷲谷山松木伐払を和済取計らいにつき書状〕	〔志賀野山論につき20日参上を知らせる書状〕	〔山論筋和済のため柴目村庄屋平左衛門方へ出会を依頼する書状〕	〔鷲谷山論所一件につき柴目村庄屋平左衛門宅へ出会を依頼する書状〕	〔鷲谷山論所一件和済につき柴目村行を伝える返書〕 *封紙「従堂上組」	〔出会人所労につき本快次第案内をお知らせする書状〕	〔国木原村の者共荒起しにつき和談整えるよう支配所へ窺う書状〕	〔母病氣私齒痛のためほかの役人へ仰せ付けられるよう願う書状〕 *コ-3と関連	〔内談致したく明日出会の同意を得る書状〕	〔21日に城跡へ出会できるか確認する書状〕	〔国木原村の者ども国と寺領の傍示松26本伐採につき見分立会を願う書状〕	覚（書状1通請取につき）	〔国領柴目村寺領国木原村傍示松の木につき書状〕 *控、固着のため撮影不可部分あり	〔草案を送るので間違いなければ山本喜兵衛方に遣わすよう達〕
7月22日	7月16日	7月6日	7月5日	7月5日	7月5日	3月19日	3月4日	2月25日	2月18日	2月15日	2月8日	2月8日	2月7日
衛 寺中幸左衛門、山本喜兵	望月嘉へ	衛 寺中幸左衛門、山本喜兵	衛 寺中幸左衛門、山本喜兵	岡本忠太夫	衛 寺中幸左衛門、山本喜兵	岡本忠太夫	麻生津間江野善次郎	岡本忠太夫	岡本忠太夫	門 山本喜兵衛、寺中幸左衛	山本喜兵衛	岡本忠太夫	龍華院代持宝院
岡本忠太夫	福田村御役人中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	兵衛 寺中幸左衛門、山本喜	岡本忠太夫	衛門 山本喜兵衛、寺中幸左	持宝院	兵衛 寺中幸左衛門、山本喜	衛門 山本喜兵衛、寺中幸左	岡本忠太夫	岡本忠太夫	衛門 山本喜兵衛、寺中幸左	岡本忠太夫
封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状

コ-23	コ-4-2	コ-4-1	コ-36	コ-18-2	コ-18-1	コ-10-2	コ-10-1	コ-25	コ-32-2	コ-32-1	コ-29	コ-22-3	コ-22-2
〔取替書調印のところ御引取につき書状〕 *コ-4-1の下書き	〔取替書調印につき沙汰次第出会するよう報せる書状〕	〔取替書調印のところ御引取につき書状〕 *抹消済み	覚書一通(鷺谷山にて松木生立せ場所につき) *写し	〔高野山からの使いが帰ってきたため面談したい旨の書状〕	〔高野山からの沙汰がないか返答を必ずいただけるよう書状〕	〔高野山への伺達延引を詫げる書状〕 *下書きカ	〔取替一札につき高野山から沙汰があれば報せるよう頼む書状〕	〔取替書一札草案通り認め若山へ差出につき書状〕	〔鷺谷山松木切払いにつき釜瀧村喜左衛門方へ入来するよう願う書状〕	〔鷺谷山和済の出会いは柴目村孫六方へお出で下さるよう頼む書状〕 *コ-22-3の下書き	〔取替書の草稿は高野山役席へ伺取りたくにつき〕	〔取替書の草稿は高野山役席へ伺取りたくにつき〕	〔論所の松木伐方高野山から沙汰なく延引を窺う書状〕 *端裏書「七月廿二日九ツ半頃着仕候」
8月2日	8月2日	8月2日	7月	7月29日	7月29日	7月29日	7月29日	7月28日	7月23日	7月23日			7月22日
郎 岡本新次郎、 岡本新次郎、 間江野善次	衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛	郎 岡本新次郎、 間江野善次		山本喜兵衛	門 山本喜兵衛、 寺中幸左衛門		門 山本喜兵衛、 寺中幸左衛門	郎 間江野善次郎、 岡本新次郎	岡本忠太夫	衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛			岡本忠太夫
兵衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛	次郎 岡本新次郎、 間江野善次郎	兵衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛		岡本新次郎	次郎 岡本新次郎、 間江野善次郎		次郎 岡本新次郎、 間江野善次郎	兵衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛	兵衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛	岡本忠太夫			兵衛 寺中幸左衛門、 山本喜兵衛
状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状

ス-142 -3-1	ス-142 -4	ス-142 -2	ス-142 -6	ス-142 -5	ス-142	シ-735	ウ-179	イ-838 -1	イ-838 -2	イ-866 -1	イ-480	コ-37	コ-27
〔弥五郎方へ行き和濟致すよう達する書状〕 *ス-142-3-2と帯封一括	覚 (返済元利金目録)	乍恐奉願上口上 (別紙証文の通銀子貸渡すも返済滞りにつき) *元庄屋権次郎奥ノ院に請居候由の下げ紙付	借用申銀子之事 *写し、600目を申4月切	借用申銀子之事 *写し、1貫300目を申11月切	【封紙一括】 *封紙上書「上」	〔南畑村義右衛門一件につき下向を願う書状〕	津川村吉助市場村伝蔵一札之控 (不法打擲につき)	〔大角村幸左衛門同村新次郎と申す馬士へ手形相渡さずにつき取り計らうよう達〕 *イ-838-1・2一括	乍恐奉願上口上 (大角村新次郎と申す馬士手形渡さずにつき吟味願) *固着のため撮影不可部分あり、封紙上書「上 大角村幸左衛門」	〔樋下村善福寺無住宗旨代判差纏一件今度度治まるよう取計らうよう達〕 *イ-908と関連	〔毛原宮村山論筋につき書状〕	〔志賀野組鷺谷山一件国木原村と国領柴目村組駈合筋につき〕 *駈合の日付・入用費書付	口上手控 (これまで地頭所より若山表へ駈合はなく穏やかに治まるようにつき) *下書き
4月6日	戌3月日	文久2年戌3月	弘化4年末5月	弘化4年末5月		26日夜 (嘉永5年) 閏2月	8日 文政11戊子年8月	11月12日	日 文政10亥年霜月11日	日 (文化10年) 10月8日	4月29日		
総分役人坂中周蔵	福田邑	野上組下佐々村佐々本弥五郎 (印)	福田村惣代庄兵衛印、年寄弥助印、庄屋権次郎印	福田村惣代安兵衛印、年寄茂左衛門、庄屋権次郎	総分役人坂中周蔵	岡本兵馬	岡本忠太夫、松下善兵衛	持宝院	(印) 庄屋惣治郎 (印) 願主神野大角村幸左衛門	正覚院代官	岡本新二郎		
福田村庄屋岡本兵馬	野上下佐々村佐々本弥五郎		佐々本弥五郎	佐々本弥五郎	福田村庄屋岡本兵馬	長寿院	興山寺様御役人龍華院	岡本新次郎	持宝院	岡本忠太夫	岡本卜斎		
状	横帳	状	状	状	封紙	状	豎帳	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状

イ-826	イ-710-3	イ-710-2	イ-710-1	イ-706	イ-779	ウ-577	ウ-604	ウ-484	イ-942	イ-973	イ-821	ス-142-1	ス-142-3-2
〔三尾川村弥助大角村政八と彼是につき取扱を頼む達〕	〔永谷村吉助代清助は証文通り750目でなければ得心しない故返事〕 *端裏書「扣」	〔750目のうち家屋敷相応の値段である500目にし7月まで延引するよう願〕	〔永谷村吉助と市場村弥左衛門の銀子返済を内済するよう達〕	〔津川村三人の悴共へ誤一札を此方へ差登すよう達〕	〔津川村の者共大角村伊作の家が火事などと呼立て迷惑致したため親を呼寄せ取扱うよう達〕 *15才以下の悴共には一札を申付けるに及ばず	〔市場村庄屋と立会のもと吉助方の内済を依頼する書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔小川新庄村より聞札の上国領掛合等取り計らうよう達〕	〔差縫れの件大角村庄屋にて差捌の上皆済するようにつき差紙〕	〔大角村嘉七出奔につき株相続早々申付けるよう達〕 *イ-942、947一括	〔六郡修行者の越中高岡油屋和助の納経を取り戻すよう取り計らいを頼む書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔志賀野庄西野村へ東之村より入作の入用等につき双方治るよう依頼〕	〔国領下佐々村佐々本弥五郎より借用の銀子返済滞りにつき和濟させるよう書状〕	乍内々別啓(河野氏と相談の上弥五郎と駈け合うよう)
4月13日	4月23日		4月12日	4月12日	4月5日	4月4日	3月25日	2月14日	正月18日	正月13日	正月9日	9月15日	卯月6日
金藏院代官	岡本忠太夫		興山寺役人自覚院	興山寺役人自覚院	興山寺役人自覚院	実相院下代	惣分役者龍華院	安養院下代(印)	総分役者長寿院	興山寺役者自覚院	惣分役者中性院	総分役人坂中周藏	
岡本忠左衛門	自覚院		岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村庄屋	
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

イ-981-1	イ-972	イ-1109	イ-762	イ-1067	イ-1062	イ-1061	イ-681-2	イ-681-1	イ-969-2	イ-969-1	イ-800	イ-797	イ-798
〔新庄村半十郎出奔につき急度答申付ける旨の書状〕 *イ-969と関連	覚(三尾川村元庄屋共と小百姓共彼是有り和融内済にて承知印形差出につき) *騒動に及んだため科分等今日仰せ渡す	〔三尾川村両人のもの各落着申し渡すにつき書状〕 *封紙のみ撮影、イ-1061と関連カ	〔永谷村榮三郎并重蔵が津川村文之進を打擲致掛けにつき取治め方を頼む書状〕	〔双方帳面を符合させたが申し立てる筋がなかったので差登した帳面を戻すにつき〕 *イ-1061の返答	覚(三尾川村小西浦組未進銀高・預帳面につき) *イ-1061の別紙	覚(三尾川村先年より年賦拝借等其元で調べ書付を差登すよう達)	〔庄中惣代と三ヶ村寺庄屋を呼出し和証が済んだ旨を伝える書状〕 *貼紙「差紙 惣分役者自覚院 神野庄福田村岡本忠太夫殿」	〔樋下村善福寺の宗旨印形につき仕来り通り申し渡すよう書状〕 *貼紙「差紙 惣分役者自覚院 神野庄福田村岡本忠太夫殿」	小川新庄村半重郎跡式(未進銀合計と親類・村方負担割付)	〔新庄村半重郎未進銀のため一札申付け其元へ取置くよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔鎌瀧村庄屋役人并掛合の内に病人がでたので四五日延引願う書状〕	口書よね、長左衛門(私方へ貰い受重蔵につき長右衛門を以て内々届は覚無きにつき) *下書き、付紙あり	〔御役所表への日延の願書を認め此ものへ渡すよう頼む書状〕
9月20日	9月5日	9月2日	9月2日	8月26日	8月19日	8月19日	8月10日	8月8日		8月5日		8月10日	8月7日夜
最勝院納所	和光院	惣分役人 和光院	舎那院	惣分役人 和光院		惣分役人 和光院	岡本忠太夫	惣分役者 自覚院		興山寺役人 覚成院	岡本忠太夫		かま瀧庄屋 左太夫
岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村 岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫		岡本忠太夫	自覚院	岡本忠太夫		岡本忠左衛門	興山寺		岡本忠太夫
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状

ウ-575	イ-744	ウ-540	イ-758	イ-780	イ-932	ウ-667	イ-680	イ-1007	イ-699	イ-909	ス-230	ス-229	イ-981-2
〔上ヶ井村和助・宗助争論につき書状〕 *開披不可	〔要蔵悴定次郎不孝の由其方へ呼寄せ申聞せるよう書状〕	〔福田村嘉兵衛ほか狼藉につき内済の入用銀早々差出すよう達〕	〔明添村差纏の一件村両三人のもの不承知につきいざれ召し寄せ吟味につき挨拶〕 *封紙は反故紙を利用	〔津川村百姓大助村方と不和にて年内に片付かなければ来正月8日召出すよう書状〕	〔市場村嘉蔵の妻の取計らいにつき書状〕	〔御修理下貴志井之口村周蔵一件につき内済を依頼する書状〕	〔野中村利右衛門と相手方を其元へ呼寄せ正路に取計らうよう書状〕 *双方納得しない場合は利右衛門と市場村惣代・庄屋が詰めるよう申付	〔大角・明添・津川村より別紙の通願書差出につき取計らうよう達〕 *別紙なし	〔上井村和助娘つね縁附の処病気につき里にて内済致すよう書状〕 *イ-699〜705までこより一括	〔当村しも立退せ済にてお知らせする書状〕 *借家主と仁兵衛で立ち退かせ、イ-837-1・2と関連	〔本家利右衛門大病につき貴公様登山するよう頼む書状〕	〔周旋の義に付自身が登山できない場合は岡本氏を差向けるよう書状〕 *封紙上書「鎌瀧村西山定右衛門緊急用書」ウラ 〔野山蓮徳院より九月廿五日四ツ時出〕	御請合一札(半十郎跡式役義の内請合銀の割前につき)
		12月14日	12月14日	12月7日	12月4日	11月14日	11月12日	11月11日	11月4日	10月28日	9月25日夜	9月25日	
来迎院下代	興山寺役人亀井善之右衛門	惣分役者持宝院	舎那院	惣分役人自覚院	金地院	御修理方地方奉行東善院	興山寺役人明慶院	持宝院	成慶院代官	岡本忠太夫	西山定右衛門	蓮徳院	庄屋平兵衛、年寄弥太郎、村惣代富右衛門
福田村岡本忠太夫、市場村庄屋	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎	自覚院	福田村岡本兵馬	鎌瀧村西山定右衛門	
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状

ウ-698-10	ウ-698-9	ウ-698-11	ウ-698-2	ウ-698-3	ウ-698-1	ウ-598	イ-1055	イ-1054	イ-684	ウ-580	ウ-572	ウ-678	ア-96	
〔友七一件は内済したことを伝える書状〕	〔人名書上〕	〔友七に遣わした金子を村方より出すよう相談している旨を伝える書状〕	指上申一札之事 (私悴乱酒につき)	口上 (友七は止宿人で願書など致すつもりはなきにつき) *固着のため撮影不可部分あり	〔若者名前書上〕 *封紙一括、上書「友七一儀筋」	差入申一札 (盗賊の上盗人を引込みにつき内済) *下書き	差入申一札 (盗人引込み不埒のところ内分に済まされ以後慎むにつき) *イ-1054と同、忠左衛門宛内済願と忠左衛門から覚成院宛書状あり	差入申一札 (盗人引込み不埒のところ内分に済まされ以後慎むにつき) *下書き	〔惣助の儀は伊兵衛に駈合せせるので心得られるよう書状〕	口上 (惣助義丈助方の取計らいは私方申上げていないにつき)	口上書 (みのつろ村惣助釜瀧村条助方へ奉公に参りにつき) *ウ-602関連	御請合一札覚 (博奕宿仕りにつき誤り)	御請合一札覚 (農作業をしなかったため誤一札)	
		10月4日	文化7午年9月9日	9月26日	日夜 (文化7) 午8月24日	寛政11己未年3月	寛政11年未3月	寛政11年未3月	3月10日	3月6日	寛政11年未3月6日	寛政9年巳12月	寛政9年巳3月日	
		岡本市左衛門	福田村友七印、一家惣代為介印	長谷宮村岡元や万助		真国庄養津路村惣助	志賀庄養津路村惣助、一家惣代久兵衛 右衛門、奥書「養津路村惣助請人武人養津路村伊兵衛、宮村喜左衛門」	釜瀧村条助		養つろ村旧里元定吉 (印) 一家惣代久兵衛 (印)	(印)同庄宮村一左衛門 (印)	上井村本人宿松兵衛、平蔵、利兵衛、大之助、庄や源治 寄大之助	本人孫左衛門 (印) 世倅清左衛門 (印) 一家惣代善内 (印) 庄屋条助 (印)	岡本忠太夫
		岡本忠太夫	河野左近	福田村岡本忠左衛門		釜瀧村条助	釜瀧村条助	釜瀧村条助		岡元忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠太夫	岡本忠太夫	
状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	

ス-246	イ-967	ウ-651-3	イ-966	ウ-651-1	ウ-651-2	キ-15	ア-98	イ-1082	ア-112	ウ-181	イ-1012	ア-130	イ-304
〔中・高塚両家和融につき高塚氏へ光来の日を答えてくださるよう願う書状〕	楠右衛門申口（七山村源七から買った木綿代銀につき） *固着のため撮影不可部分あり	〔楠右衛門・源七へ金2歩づつ申付ける旨承知につき書状〕	〔七山村源七と国木原村楠右衛門懸合につき書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔七山村源七と国木原村楠右衛門金子差纏れにつき取計らいを依頼する書状〕	〔源七から楠右衛門へ支払った壹両がにせ金であったので取り扱うよう書状〕	〔当村常右衛門久二郎差纏れにつき取計らいを依頼する書状〕	楠右衛門申口（木綿代銀争論につき）	〔市兵衛夫婦吟味中違乱申上げまじく印形指上につき雛型〕	差入申一札之事（酒に酔無調法の段お詫び）	中津川村の差入申一札之控（譲り田地につき出入）	明添村久右衛門不埒につき廿二日召寄候人数覚 *端裏書「文政九戌十二月廿二日 明添村久右衛門 一儀」 日	内済被仰付候覚書控 *暖の日付と内容の覚書	誤一札之事（道具等隠し取り不埒の義につき一札）
2月26日		2月16日	2月16日	2月14日	2月2日	正月17日	巳2月	子6月	文政13年寅2月	文政12丑年5月日	（文政9戌12月22日）	文政3年辰正月日	文化9年申11月
（従安楽川）磯七郎右衛門		森田惣助	岡本忠太夫	森田惣助	森田惣助	畠山ヨリ		村方誰印、同、同	神野庄福田村市左衛門（印） 長次郎（印）為蔵（印）掃部 〔奥書〕岡本新次郎（印）	①本人中津川村権右衛門 ②本人中津川村両蔵		岡本忠太夫	国領小野田村嘉左衛門（印） あいさつ人勝蔵（印） 神野庄為之助（印）
岡本兵馬		岡本忠太夫	森田惣助	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本		岡本忠太夫	釜瀧村金剛寺御輪番東 光院	①新庄村庄屋役人御衆 中②なし			岡本新次郎
封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	豎帳	状	豎帳	状

ス-157	ウ-583	ア-47 -4	ウ-433	サ-259	シ-747	シ-746	エ-83	ウ-42 -1	ス-138	イ-130	ア-128	ア-158	イ-892
〔村番跡役の吹拳 <small>(巻)</small> を頼む書状〕	〔福井村安養寺へ無宿源介入込此方にて吟味につき願書の返信〕 *ウ-624と関連	覚(八拾八歳以上存命のもの名前書付を出すよう廻文)	〔盲人共往来一札は請ないことを知らせる書状〕 *達しの写しあり	覚(廻章到着し猿川組へ送るにつき)	覚(年賦証文改替につき元銀株・惣代年寄名前書付) *シ-746の人物と同じ	〔弘化四年から嘉永二年に至る村惣代年寄人名書付〕 *シ-747と関連	〔虚無僧取締証文〕 ①虚無僧取締証文②虚無僧取締留場証文 *封紙上書一若山中之嶋中程二而四ツ辻日高屋善兵衛借家二而京明暗寺出張所 役僧瑠應覆位〔 暗寺(印) 役僧瑠應覆位(印)(花)	博奕過料雑用覚帳	庄雨請踊歌楯物狂言笠揃覚帳留記 *帳尻に雨請をおこなう旨の届の写しあり	雨請踊歌立物覚帳	覚帳(福田村永谷村市場村御廻り・番割廻り) *頭廻は文政元年〜文政三年まで、番割廻りは天明七年〜文政三年まで	市場永谷出火万覚帳 *公事家の軒数あり	往来一札之事(武州江戸北八丁堀亀町代官屋敷勤潮と申僧諸国神社仏閣拜礼につき一札)
正月11日	正月8日	正月2日	酉8月6日	未正月21日8ツ時	(嘉永3戊10月)	(嘉永2年極月)	①天保8丁酉7月 ②天保4巳年6月3日	天保4巳年6月3日	文政4年7月28日	文政4年7月28日	文化14丑11月6日 書	文化11年戌正月15日	享和2年戌3月
西山定右衛門	森田惣助	惣分役者持宝院	梅本村庄屋源七郎	高畑村庄屋多兵衛			①京大仏虚無僧本寺靈山明暗寺(印) 役僧瑠應覆位(印)(花) ②京大仏虚無僧本寺靈山明暗寺(印) 役僧瑠應覆位(印)(花)		岡本新次郎控			神野福田村岡本忠太夫	同国四ツ谷真言宗和尚院印
岡本兵馬	岡本忠太夫	毛原、神野、小川、志賀野、村々庄屋中	上井村庄屋権左衛門	福田村岡本御氏			①御役人衆中②大庄屋御役所						御関所御役人衆中并縁村御役人中
状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	竖帳	横帳	横帳	竖帳	竖帳	状

ウ-310	ア-38 -2	イ-861	シ-389	イ-877	ウ-582	イ-741	ス-40	ウ-624	ウ-584	ス-211	イ-556	イ-553	イ-930
〔過月御触達の通兩院御役人龍生院・弥勤院下向につき廻状〕	〔中性院様指紙請取につき〕	〔公事訴訟寄合等の日別銭など取るか村方へ聞き糺すよう書状〕	〔今度御用につき拙宅へ来足を願う廻状〕	〔其村方良藏定吉兩人と同道にて新庄村庄屋方へ入来するよう書状〕	〔盜賊体胡乱者屋敷の風聞につき召捕ため力添えを願う書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔博奕体の者がいるため忍目附だすよう仰せ付けられた旨知らせる書状〕	〔明日岡本様方へ三ツ五升四合指送りにつき書状〕	〔無宿源介は御領の作法に勝手次第取り計らうよう書状〕	〔岡本源右衛門殿方より下拙方迄御届に付書状〕	〔別封壹通御届を願う書状〕 *別封なし、ス198と関連カ	覚(為藏婦參、田尻氏奥判の一件若山へ參る間留守につき御頼み)	口上(其村吉兵衛・茂吉に御用につき召喚状)	〔西浜御殿前にて乱心体であった高畑村の女を帰村させる旨の書状〕 *イ-930、イ-941は紙綴り一括、山本宛河口吉郎右衛門の書状写しあり
4月16日	4月9日	4月5日	4月3日	4月2日	3月28日	3月14日	3月13日	2月28日	2月16日	2月11日	2月4日 ^(カ)	2月4日	正月25日
岡本兵馬	福井村庄屋(印)	興山寺役人亀井善之右衛門	岡本兵馬	岡本新次郎	沼野政右衛門、前嶋秀右衛門、同藤左衛門	興山寺役人亀井善之右衛門	延命寺二而河野左近	森田惣助	山本喜兵衛	山本嘉兵衛	河野	受取方役人田中庄兵衛	山本進之助
永谷村、津川村ほか 8ヶ村庄屋、役人、地 士中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	田中喜兵衛、水落貞勝、坂本村上田、大野玄助、堀権之進、岡柳本良兵衛、西山定右衛門	中津河村庄屋与助	岡本忠太夫、同忠左衛門	福田村岡本忠太夫	村役人衆中	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本一左衛門	岡本氏	福田村庄屋	岡本忠太夫
状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状

ス-53	イ-444	ス-244	イ-759	ウ-655	ウ-42-5	ウ-683	ウ-42-6	イ-1035-2	イ-1035-1	ウ-685	ウ-692	ス-283	イ-470
口演(学侶方よりの役人ではないものが入込につき愚書にてお知らせ) *別紙「触達 総宰序役人 毛原組上村役人 右者学侶方より之上八封」	〔非人番亀二郎は御用を申付けても一言の返答もないため相談〕	〔残る神野組小川組六ヶ村志賀野組五ヶ村へ廻達し会合を依頼する書状〕	〔安井村豊七株相続人なく難渋の趣につき捌方〕	〔箕六村庄屋才次郎病死につき不納銀取り調べるよう頼む書状〕	おぼへ(金、銭受取につき)	〔友淵一件につき光臨を待つ書状〕 *ウ-692と関連	覚(銀割分につき)	〔其村庄助周介兩人へ尋ねたい旨があるため取計らいくださるよう書状〕	口上(書状が来たので)苦勞くださるようにつき *イ-1035-1・2封紙一括 封紙上書「神野福田村庄屋許 書状早々 左々条口請所 宮田持次郎」	〔御場境にて洪流しにつき下佐々村太左衛門と面談申し請けたく書状〕	〔友淵一件のほか筋目算筆相応のもの世話致すにつき〕 *ウ-683と関連	〔当組寺原村宗三郎不埒のところお世話になり挨拶状〕 *封紙上書「岡本兵馬様 用々 湯子儀左衛門」	〔相談があるため村惣代年寄は印形を持参するよう廻状〕
10月20日	10月12日	10月7日9ツ過認	9月17日	9月11日	6月22日	6月19日	6月12日	6月10日	6月10日	6月5日	5月16日	5月10日	4月19日
高畑村庄屋多兵衛	制道方役人大家八左衛門	鎌瀧村円福寺二而蓮徳院	惣分役者舎那院	正覚院納処(印)	松下善兵衛	川筋 □山庄助	松下善左衛門	山中筑後守内田中文助	田伏坂本坊、上山徳嶋坊	庄助	左衛門 (従山保田組清水) 湯子伝	岡本兵馬	岡本兵馬
福田村岡本兵馬	岡本兵馬	福田村岡本兵馬	神野福田村岡本新次郎	岡本忠太夫	福田村庄屋	福田村岡本新次郎	福田村庄屋	福田村庄屋許	岡本忠七	新次郎	岡本兵馬	永谷、津川、樋下、野中、安井庄屋	
封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状

シ-185	シ-176	シ-168	シ-138	シ-137	サ-482	サ-265	ウ-46	ウ-42 -4	ウ-42 -3	ウ-42 -2	イ-1013	イ-559	シ-136
〔夥しき番国役の別条ないことを尋ねる書状〕 *虫損あり、シ-168と関連	御用出勤覚（廻状触、高野登り人足ほか） *裏面にも書込あり	〔夥しき番国役の別条ないことを尋ねる書状〕 *裏面に和歌書付	順村（神野組村々へ順廻） *シ-137の村名を一部抹消、あとにシ-136と同文あり、後欠	順村（神野組村々へ順廻） *永谷・津川・明添・高畑・桂瀬・赤木・鎌瀧・三尾川・大角・樋下・上井・箕六・南島・安井・野中・市場・福田	〔庄会所へ出頭すべきにつき廻状〕 *朱筆あり	〔18ヶ村廻状につき〕 *門田村あり	〔大塩平八郎風聞書〕	おぼへ（過料割付）	博奕造用之覚	過料銀筋	〔神野・猿川入合の地面岡の観音堂は両庄の持と相定めにつき〕 *尚々書部分のみ、宝永五年に相談し桂瀬村に書替取紙があり	〔正保二年岡本河野村方「」証文奥印致しにつき〕 *断簡	〔小前の者共召寄せ片付けるところ延引につき〕
													10月日
					岡本兵馬								岡本忠太夫
					永谷、津川、明添ほか 神野組村々								村々庄屋中
状	状	状	状	状	豎帳	状	豎帳	状	状	状	状	状	状

シ-272	シ-266	サ-285	サ-253	イ-411	サ-250	エ-2	サ-481	サ-471	サ-478	サ-477	サ-479	イ-410
〔高野登り五條行ほか入用につき〕 *五條県、上部破損	〔庚午損地小前帳雛型〕 *五條県	福田村井上出工・村方出工（宗旨認め、五條行ほか入用銀につき） *五條県	〔村々実地反別高・屋敷高・反別等至急差出すよう順達〕 *五條県、〔着七月十四日七ツ時〕とあり	〔別紙雛型の通り五條県役所へ差出すよう達〕 *五條県	覚（布告ほか到着し次組へ送るにつき） *五條県	〔十津川郷長井村伝次郎寄留につき綴〕 *五條県、 豎帳4冊を合綴	御普請箇所附帳（雛型、五條県役所より布告につき廻状の写し） *五條県、表紙朱筆にて「明治四未年十月四日四ツ時着同日九ツ時猿川へ送る」	〔出頭すべく廻状〕 *五條県、控	〔上ヶ井・大角・鎌瀧・明添・赤木村村高書上〕 *五條県、5通、朱筆・貼紙あり、「未七月廿五日差上写し」	〔五條県庁より寺院境内の立木取調につき〕 *五條県、樋下、明添、箕六、桂瀬、上井、南畑、高畑、市場、鎌瀧、村名なし、津川、福田、三尾川	〔租税金納の分和歌山県通用銭紙幣をもって金札引替につき〕 *五條県	〔七日から当県管轄になった旨を知らせる布告〕 *五條県、写し
	何月幾日		7月12日出	6月20日	壬申3月12日暮六ツ参	明治4辛未年12月18日	明治4年10月4日	辛未9月2日	明治4年未7月日	明治4年5月3日	明治3年10月27日	庚午5月28日
	役人印		五條県詰惣代	寺務役所両役者	高畑村庄屋太兵衛（印）	赤木村庄屋半七郎（印）第四大区第七小区副長武西太兵衛、田中喜兵衛、戸長岡本新二郎		五條県庁	（各村百姓惣代、年寄、庄屋）	（各村年寄、庄屋）	五條県会所二而那賀郡諸惣代 長谷組宮村柳生重三郎年寄 貴志組井ノ口村中西光三郎	五條県庁
	五條県御役所		紀州那賀郡村々役人中	神野組拾七ヶ村内福田村岡本兵馬、小川組五ヶ村内川五ヶ村内宮村、川村幸右衛門、細野庄四郷村清右衛門、野田原村武右衛門、真国庄内長谷村小薮佐五郎	第七小区戸長所岡本新次郎	高野御出張役所、戸籍御役所	村々庄屋役人中	岡本忠三ほか7名	五條県御役所	庄役人中、龍燈寺会計局、福田村岡本兵馬	五條県御役所	
横帳	豎帳	状	状	状	状	豎綴	豎帳	豎帳	豎帳	綴	豎帳	状

サ-177	サ-350	シ-65	ウ-281	シ-358	シ-553 -2	シ-427	シ-484	シ-426	シ-353	シ-435	ウ-302	サ-484	サ-476
諸帳面取調簿	〔別紙西田半兵衛に係る公売の受書を差越されたきにつき〕 *別紙に金額と内訳あり	〔願書尠通不足につき取計らいを依頼する旨の書状〕	記〔戸籍簿等引渡書類〕 *綴紐切れ	〔従前の連合分離のため事務諸帳簿等引渡しの旨書状〕 *封筒上書「福田村戸長 岡本佐太郎様 親展」 「那賀郡神野市場村始六ヶヶ村連合戸長役場」	〔操人形興行は所轄警察署または分署届出るよう成規につき〕	〔戸長選挙投票開査につき郡庁へ出頭するよう伝達状〕	那庶丑第二百五十六号〔戸長公撰投票につき開査のため出頭の照会〕	〔戸長選挙投票につき三名以上惣代として参座するよう伝達状〕	〔井戸谷惣兵衛ほか印形持参し戸長役場へ出頭するよう通知依頼〕	〔別紙来着につき回送取計らいにつき〕 *全文朱筆、別紙なし	貢米石代相場ノ義ニ付再伺 *写し	内〔毛原宮村副戸長病氣につき跡役公撰入札につき〕	三等川繕宮願〔貴志川筋出水の節破損につき〕
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
明治16年旧2月13	(明治) 16年1月20	(明治) 15年12月15	明治15年10月25日	(明治) 15年10月23	(明治) 15年10月6	(明治) 15年9月3	明治15年9月2日	(明治) 15年8月23 日午四時	明治15年7月31日	(明治) 14年3月15	明治9年2月21日	(明治) 7年8月3	明治7年4月27日
取調立合人古坂芳兵衛、井上為治郎、岡本佐太郎、馬止清兵衛、予城幸助	戸長役場(印)	野村勉	福田村旧戸長新谷政左衛門(印)	神野市場村初六ヶヶ村戸長新谷政左衛門	神ノ下七ヶヶ村戸長役場	戸長役場	那賀郡役所庶務係	戸長役場	福田村戸長役場	戸長役場	児玉仲兒	第三大区十一ノ小区副区長中西光三郎	井守年番(第三大区十一小区福田村・林消)土取吉兵衛、副戸長井上為次郎、戸長岡本隆政
	岡本佐太郎	岡本	福田村戸長岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎	福田村惣代中	福田村惣代中	福田村戸長役場	福田村惣代中	福田村用係	岡本佐太郎			和歌山県権令神山郡廉
横帳	封筒入状	封筒入罫紙	罫紙綴	封筒入罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	状	罫綴	罫紙	状

シ-63	シ-551 -37	シ-619	サ-437	シ-776	サ-118	シ-357	サ-117	ウ-249	ウ-269	サ-434	サ-339	シ-423	サ-71
〔明治15年達第362号取扱順布達野村氏に御伺につき通知する書状〕 *全文朱筆	記〔福田村小林武八旧所有地所公費入札代金上納につき〕	記〔種穀料領受証書回送するようにつき〕	〔動木部古物商副惣代人河合太助へ内達につき照会する葉書〕	〔封筒〕 *中身なし、17通	〔早害の件につき粉川村観乙寺内へ参集の旨伝報につき〕	〔兵事一件につき出張を願う書状〕 *「戸長役場」用箋	〔領収証金額の差違は前納がないためとする回答〕 *朱筆にて不納の工業税は免除になる旨記載あり	〔福田村西田半兵衛地所につき〕 *裏に書込みあり	〔国民軍編入者および徴兵等諸名簿を写取り回送するよう照会〕	〔岡端平助へ係る訴訟事件につき尋ねる葉書〕	〔山岳委員巡回日当前給金・貴村連合分離について役場器具分配につき〕	〔別紙巡査据置の具申書に調印されたきにつき〕 *別紙なし	〔犯罪者についておはなしもうしたい旨の書状〕
日 (明治) 17年5月28日	明治17年5月13日	明治17年4月28日	明治17年4月8日	日 (明治) 17年4月5日	日 (明治) 16年10月21日 日 后5時	日 (明治) 16年10月4日	日 (明治) 16年9月17日	明治16年8月	日 (明治) 16年8月24日	明治16年7月2日	日 (明治) 16年4月20日	日 (明治) 16年4月12日	明治16年3月14日
芝崎	那賀郡福田村戸長岡本佐太郎(印)	那賀郡役所会計係(印)	自下佐々村古物商副惣代前田應助	(いろいろあり)	神野市場村役場	野村勉	堀郡書記(印)	福田村平民平野八重兵衛	神ノ市場役場	和歌山区元寺町五丁目大久保鶴吉	神野市場村野村戸長	戸長野村勉(印)	郡書記吉村徳
岡本	和歌山治安裁判所	福田村初カ村戸長役場	本郡福田村戸長役場	岡本佐太郎、福田村惣代	福田村役場	岡本佐太郎	福田村岡本戸長	那賀郡長松山管吾	福田村役場	那賀郡福田村戸長役場	福田村岡本戸長	戸長岡本佐太郎	岡本佐太郎
状	罫紙	状	葉書	封筒	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙縦綴	状	葉書	罫紙	罫紙	封筒入状

サ-420	サ-18	シ-66-2	シ-66-1	シ-451	シ-455-②	シ-455-⑤	シ-570	シ-551-3	シ-551-5	ウ-282	サ-379	サ-438
〔封筒〕 *中身なし、反故紙	〔連合村会開設のため村会議員中一名出席するようにつき〕	紙縹 (18年度前半期分村夫錢帳お貸しくだされたきにつき)	紙縹 (18年度上半期分戸数税割帳お渡しくだされたきにつき)	〔第百貳拾六国立銀行、第百八国立銀行期限につき〕	〔福田村補貸精算上につき関係書類を携え出席依頼〕	〔今日の内に出頭依頼〕	〔後備軍故瓦谷善五郎の病死は陸軍駐在へ届出がないかお尋ね〕 *封筒上書「福田村 戸長役場 岡本佐太郎 (貼紙下朱筆にて「惣代中」) 殿 急 (朱印)」、「ウラ」那賀郡神野市場村始六 (朱筆抹消) 十七 (朱筆) ケ村連合戸長役場	証 (地券書換証印税金受取につき) *シ-551-37と関連	記 (書籍類、椅子仕送につき受取)	記 (戸籍簿等引渡書類)	①記 (衛生委員給料および春季種痘諸費につき) ②〔新置役場の事務受渡のため満福寺へ出席くださるよう通知〕 ③〔新任戸長へ旧事務引継につき市場村満福寺にて各村惣代集会につき通牒〕 *封筒上書「福田村 旧戸長役場御中、裏「那賀郡 神野市場村始六カ村連合 旧戸長役場」朱筆あり	〔至急古物商免許鑑札願い出るよう依頼する葉書〕
出 明治19年7月23日	(明治) 19年5月2日 日 6時	(明治) 19年旧正月 22日	(明治) 19年旧正月 22日	(明治17年頃)	(明治) 17年9月28日	(明治) 17年9月6日	(明治) 17年7月31日	明治17年7月12日	明治17年7月11日	明治17年7月11日	7月5日 ①明治17年7月9日 ②17年7月8日 ③明治17年 后六時	明治17年6月26日
	戸長役場 (印)	河野安作歌	河野安作歌		戸長役場 (印)	戸長役場 (印)	戸長役場 (印)	那賀郡神野市場村戸長役場 (印:植田)	福田村戸長植田半七郎 (印)	福田村旧戸長岡本佐太郎	旧戸長役場 (印:野村)	動木部内古物商副惣代
神野市場村外十六ヶ村 戸長役場福田村用掛	福田村用係岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎		岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	田中彦八郎、小林武八 兩人	旧戸長岡本佐太郎	福田村戸長植田半七郎	田村旧戸長	本郡福田村戸長役場
封筒	野紙	状	状	状	状	野紙	封筒入野紙	状	野紙	野紙綴	封筒入野紙	葉書

シ-347	シ-337	シ-303	シ-390	シ-212	シ-446	シ-775	シ-298	シ-29	シ-470 -②	シ-470 -①	シ-32	サ-7	シ-367
誓約書（貸家につき村税・伝染病条々） *ほとんど（印）あり	〔徴発馬匠員数表調製方通知につき〕	〔兵員慰撫・赤十字社入会等の件につき参考依頼〕	〔西田忠助死体引取りほか五件の処分を依頼する書状〕 *シ-394 関連	〔第四回内国勸業博覧会出品出願者の氏名品物等通知依頼〕	〔那賀郡役所において炭50俵買入につき営業者へ伝達依頼〕	〔入札につき伝達依頼〕 *前欠	〔鮎漁業者集会のため通知依頼状〕 *12名の名前書上	〔当郡役所使用炭投票につき通知依頼〕 *封筒は反故紙、岡本茂左衛門、古坂久蔵、岡本平兵衛ほか同業者に知らせる	漁者遭難義捐金募集広告 *印刷物、「広告寄送 和歌山久保町為森新三郎」	〔郡役所より義捐金募集につき送付依頼〕 *折込一括	〔役所使用の炭入札につき営業者への例示依頼〕 *封筒は反故紙	〔明治25年度予算および23年度村税精算等村会開催につき〕	〔山本孫右衛門養子政楠徴兵相当につき聞取り依頼〕
明治27年9月4日	明治27年9月4日	日 (明治) 27年8月19日	日 (明治) 27年6月26日	(明治27) 4月25日	明治26年12月3日	明治26年5月6日	日 (明治) 26年4月20日	明治26年3月25日	明治26年1月	明治26年1月27日	明治26年1月19日	明治25年3月15日	日 (明治) 19年9月17日
大字福田貸家持油谷兵右衛門、落合鶴松(印)井戸谷惣兵衛(印)ほか23名	下神野村役場(印)	野村惣	野村戸長(印)	野村戸長	下神野村役場(印)	下神野村役場(印)	下神野村役場	下神野村役場(印)	発起者紀伊水産会、第四十三国立銀行ほか	下神野村役場(印)	下神野村役場(印)	下神野村長野村惣	戸長役場(印)和歌山県那賀郡神野市場村及十六ヶ村戸長役場
那賀郡下神野村大字福田惣代	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	岡本佐太郎、河野学一郎、角谷忠右衛門、井戸谷惣兵衛、岡本茂左衛門	岡本惣代	岡本惣代	大字福田岡本惣代	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	福田惣代中	惣代岡本佐太郎		大字福田惣代	福田惣代	下神野村会議員岡本佐太郎	福田村岡本用係
罫紙	状	状	状	封筒入状	状	状	状	封筒入罫紙	状	罫紙	封筒入状	罫紙	状

サ-357	サ-215	サ-443	サ-24	シ-648	シ-511	シ-101-1	シ-405-②	シ-405-①	シ-405	シ-327	シ-312	サ-164	シ-106
〔中西郡長を接待して懇親会・発起人会の際出席いただきたい旨の書状〕 *サ-396の中身カ	〔郡制実施の期も近づいたので長田観音寺で会同催したく書状〕	〔藩の品評会人員取調べ目録配布につき〕	〔例年の通り大麻暦頒布のとりはからいを頼む書状〕 *「神宮前本部 和歌山出張所」用箋	〔当村々会議員および大字惣代の臨時相談会につき書状〕 *封筒に阪中宗右衛門・河野秀貞への宛名あり	〔明日は当県々会議員および大字惣代相談会につき出席依頼〕 *封筒裏「大字水谷大字神野市場二而 坂中宗右衛門、大字神野市場 松下芳太郎」	征清記念標建設趣意書 *印刷物、シ-101-2と合綴	〔別紙告示式葉を掲示するよう依頼状〕 *別紙なし	〔本人不在につき貴君に取計らいを願う書状〕 *本人は神官の集会のため和歌山へ出頭	【封筒一括】	〔捷戦を祝するため休業とするか意見をうかがう書状〕 *朱筆あり	〔有害鳥獣殺滅免許、県会議員選挙、地租納期延引、本村収入役及学務委員当選者披露につき〕	証（陸軍恤兵部へ寄贈の靴下160足代金領収につき）	〔軍隊用品トシテ靴下壱千足を陸軍恤兵部へ寄贈につき〕 *「寄贈品申出書」の写しと「陸軍々需品寄贈者人名」合綴
1月10日	明治30年8月12日	明治30年6月11日	日 (明治) 28年11月19日	日 (明治) 28年10月13日	日 (明治) 28年10月13日	明治28年9月	明治28年3月8日	3月8日		日 (明治27年) 11月1日	明治27年9月17日	明治27年9月7日	明治27年9月6日
吉村博	中西光三郎、千田軍之助、田端健三、津村紀陵、中谷彦次郎、曾和震十郎	下神野村役場	和歌山屋形町式丁目神宮前出張所派出員和田孝治(印)	下神野村役場(印)	坂中宗右衛門(印) 松下芳太郎(印)	発起人石井忠亮ほか85名	下神野村役場(印)	宮本つね	下神野村役場	野村勉	下神野村役場(印・野村)	野村勉(印)	野村勉
岡本佐太郎	岡本佐太郎	那賀郡役所	下神野村役場	当村助役岡本佐太郎	岡本佐太郎		福田惣代岡本佐太郎	岡本	大字福田惣代岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	大字福田岡本佐太郎様 外有志諸君御中
状	封筒入紙	罫紙	罫紙	封筒入状	封筒入状	罫帳	状	罫紙	封筒	状	綴	状	罫紙綴

シ-454	シ-510	ウ-434	シ-505	シ-531	シ-473	サ-394	シ-661	シ-80	シ-406 -②	シ-96	サ-398	シ-500	シ-317
〔証書印紙用方調査につき照会〕	〔地所建家所持者に別紙へ印鑑捺捺させ送付するよう依頼〕 *別紙なし	〔神野谷奥にて仕出しの桧につき御状頂戴したい旨の書状〕	明治二十一年十月三日紀陽新聞より抜粋（海部郡湊今福両村 連合役場内山戸長より県知事へ伺司令）	〔医師の仮証書を拝借したい旨の書状〕	〔お申越の布達につき再度知らせるよう依頼状〕 *当役場12年以來の布告布達等その種目ごとに区別し数年分一綴	記（使いにお渡しくださるようにつき） *前欠	記（賦課金書上げ）	〔委任状調印済の分をお渡しくださるよう依頼状〕 *岩出へ直接送ってもよいが本日午後10時迄に送付のこと	〔諸営業者は惣代方へ出頭するよう報知につき照会状〕	〔度量衡法実施以前より使用の度量衡器検定につき取調べ依頼〕 *中身なし、封筒上書「大急」「公用」朱筆	〔3小区内の村惣代名を田測徳に尋問につき触達するよう書状〕	〔献品靴下の運送料新調箱代を寄贈者より徴収くだされたい旨の書状〕	
5月7日	5月5日	4月24日	4月22日	4月18日	4月3日	旧3月27日	3月29日	3月8日	3月5日	3月3日	3月3日	2月16日	1月25日
野村戸長	下神野村役場	木地屋善之右衛門	学（河野学一郎カ）	吉田	野村	動木村山本林右衛門（印）	岡本	動木事務所	下神野村役場	野村戸長（印）	那賀郡神野市場村始六カ村 連合戸長役場戸長野村勉	（野村）勉	
岡本戸長	大字福田 惣代中	湯川嘉十郎、湯川源左 衛門	尊大人	岡本	岡本	福田むらおかもと	阪部才助	岡本河野両人	惣代	岡本惣代	福田村戸長役場	岡本	
状	状	状	罫紙	罫紙	状	状	状	状	状	状	封筒	罫紙	状

シ-455 -④	イ-462	シ-516	シ-39	シ-455 -①	シ-109	シ-429	シ-114	シ-342	シ-94	シ-402	シ-394	サ-467	シ-425
〔補貸筋関係の書類を携帯し出頭するようにつき〕	〔別紙御布告2通入につき廻状〕 *別紙なし	〔鳥獸除獲免許人の員数取調べのうへ出頭するよう伝達依頼〕	〔辞令書下付につき本人へ交付し受書を出すよう伝達依頼〕	〔経費勘定帳訂正し認替のうへ差出依頼〕 *①～⑤まで封筒一括	〔寄贈品提出一件につき好結果と他の景況を知らせる書状〕 *シ-106と関連	〔送籍証・墓地調査帳・戸長選挙・地券書換につき照会〕	〔日清事件献納品等の相談のため来臨願〕	〔日清戦につき靴下150足調達する旨を報知〕	〔真国利助へ尋問につき印形携帯して出頭するよう伝達依頼〕	〔恩地鶴吉を以て代人として齋米を持参させる旨書状〕 *封筒は反故紙	〔刑を執行中のところ疾病治療中に死亡したため諸親類の者へ伝達依頼〕	〔封紙〕 *中身なし	〔学事上につき拙者旅宿へ出頭していただきたく照会状〕 *旅宿は河野市場柑木良平
9月17日	9月15日	9月7日	9月7日	8月15日	8月13日	8月12日	8月10日	旧7月14日	7月26日	旧6月晦日	6月23日	6月14日	5月17日
戸長役場(印)	岡本兵馬	下神野村役場	下神野村役場	ケ村連合) 戸長役場	野村勉	戸長役場	野村勉	岡本	戸長役場	河野圭三郎(印)	下神野村役場	副戸長	古村郡書記
福田村用係	村々庄屋衆中	岡本惣代	岡本惣代	岡本佐太郎	河野学一郎、岡本佐太郎、角谷忠右衛門、井戸谷惣兵衛	福田村惣代	大宇福田、岡本佐太郎、角谷忠右衛門、井戸谷惣兵衛、河野学一郎	野村勉	福田村用係	惣代岡本	岡本惣代	岡本隆政	福田村戸長
状	状	状	状	封筒入状	封筒入状	罫紙	罫紙	罫紙	状	罫紙	封筒入状	封紙	封筒入状

シ-253-1	シ-217	シ-120	シ-107	シ-101-2	シ-36	サ-230	サ-52	シ-324	サ-422	サ-373	シ-656	シ-287	シ-513
〔人足呼出状〕 *6通、シ-253-1と合綴	〔金額姓名書上〕 *160足の靴下寄附カ、シ-106と関連	〔封筒〕 *中身なし、上書「金七円三拾式銭在中」	開票点数調査簿（当撰者 井戸谷惣兵衛）	征清軍記念建設寄附名簿	〔那賀郡役所炭講求を投票につき〕 *後欠	覚（第三大区第三小区戸長副長につき） *戸長西郷村中林糸右衛門、副長下古沢村惣右衛門	〔封筒〕 *中身欠	〔近衛歩兵に入営者を見送りにつき十三神社境内へ参集奨誘依頼〕 *封筒上書「福田 岡本惣代中」「那賀郡下神野村役場」	〔村に関する書類引渡しにつき出頭できるか照会〕	〔議定のため貴君と戸長で郡役所へ出頭くださるべく書状〕	〔耕地障害物取除け一件につき茂左衛門へ面談いたしたく伝達依頼〕	〔地方税徴収等の件につき出張を願う書状〕	〔召集応募の為廃業の手続きと諸費掛物も免除依頼〕 *「台湾之戦争」とあり
								11月19日	10月25日	10月25日	10月21日	10月13日	10月1日発
〔「野村」の朱印あり〕		福田惣代岡本佐太郎	書記竹田左京、撰掾長岡本佐太郎、立会人井上為次郎、中家荒松、落合国松、新家熊吉	福田村			那賀郡下神野村役場	野村勉	新谷戸長	小壺（印）	野村戸長	下神野村役場	仲繁之助
福田		下神野村役場					福田岡本惣代	岡本佐太郎	岡本戸長	岡本佐太郎	岡本惣代	岡本惣代	下神野村役場
綴	状	封筒	状	罫紙縦振	状	状	封筒	封筒入状	封筒入罫紙	状	状	状	状

シ-551 -1	シ-428 -②	シ-737	シ-703	シ-665	シ-564	シ-403	シ-399	シ-374	シ-351	シ-349	シ-348	シ-319	シ-315
証 (衛生委員給料費村負擔額金領収につき) *「戸長役場」用箋	〔明治十三年達に照準し差出されたく別表返付につき〕 *全文朱筆	覚 (南畑村11人の者に村役人付添い拙宅へ詰めるよう申付)	〔陸軍徴兵暑名札写〕 *2通、福田村 澤種楠、前田村 仲繁之助	〔金穀のことで郡庁より尋問の答弁に注意を申上げる書状〕	〔且来村奥田為右衛門住居地につき〕	〔別紙告示書揭示依頼につき〕 *別紙なし	〔別紙営業の票を交付し店頭へ貼付するよう依頼状〕 *別紙なし	〔印形安井村にあるため明朝迄猶予を願う書状〕	〔封筒一括〕 *4通	〔陸軍懸り投票札〕 *27通	〔人別金額書上〕 *裏にシ-342の下書きあり	〔封筒〕 *上書「火急」、反故紙	〔兵員補助方法につき別紙依頼したい旨の書状〕 *シ-303が別紙カ
日 (明治) 16年8月14	日 (明治) 16年2月5												
神野市場村初六ヶ村戸長役場 (印:野村) 村始メ六ヶ村連合戸長役場章	那賀郡役所衛生係 (印)			学 (河野学一郎カ)		役場		河野安作歌代同圭三郎	野村勉、那賀郡下神野村役場			那賀郡下神野村役場	野村
福田村戸長役場	福田村戸長役場			岡本		福田総代		戸長役場	郎ほか 大字福田惣代岡本佐太			郎 大字福田惣代岡本佐太	岡本
罫紙	状	状	状	罫紙	状	状	状	状	封筒	状	罫紙	封筒	状

サ-196	サ-475	サ-128	シ-391	サ-56	サ-86	シ-406 -①	シ-555	サ-53	サ-47	シ-515	シ-471	シ-551 -15	シ-551 -7
〔学校新築につき臨席を頼む書状〕	撞鐘販売願 (旧神宮寺梵鐘を学校費充備のため販却につき) * 同文四紙あり、朱筆にて「明治七年六月二十四日出ス」	〔細野組絵図〕 * 境界線は鉛筆、人数は朱筆で東西南北に開業医までの里数を記載	〔牛疫再発につき速やかに獣医を招き取計うよう依頼状〕	〔告諭書1部送付につき〕	〔天然痘罹患者三名あるとの風説につき照会〕	〔本年種痘児何名程か取調べの照会状〕	〔藤吾郎当人診察のうえ断書差出しにつき回答〕	明治廿七年春季種痘児取調表 * 氏名等未記入	〔春季種痘するものを取調べ送付依頼〕 * 朱筆あり	〔種痘につき医師河野氏へ出頭するよう通知依頼〕	〔種痘したい者を取調べ当役場へ提出につき〕	記 (衛生委員給料確受につき) * 「戸長役場」用箋	証 (上半季種痘日当領収につき)
日 (明治) 10年8月3	明治7年6月25日		9月18日午前	8月31日	3月7日	3月5日	1月29日	明治27年	明治27年2月13日	日 (明治) 26年3月2	明治26年1月28日	明治17年1月12日	日 (明治) 16年8月23
(市場) 河野	第三大区十一小区神野組戸長惣 代田中喜兵衛(印)同大区同村戸 区同組総代福田村戸長岡本隆政		下神野村役場	下神野村役場	戸長役場	下神野村役場	郡医河野秀貞	大字福田	下神野村役場 (印)	下神野村役場	下神野村役場 (印)	神野市場村初六ヶ村戸長 役場 (印)	種痘医河野秀貞 (印)
岡本	和歌山県令神山郡廉		岡本委員	衛生委員岡本佐太郎	福田村用係り岡本佐太郎	福田惣代岡本佐太郎	福田村御役場		大字福田惣代	惣代岡本佐太郎	福田惣代	福田村戸長役場	福田村御役場
封筒入状	罫紙綴	状	状	状	状	状	封筒入状	罫紙	状	状	状	罫紙	状

シ-233	シ-237	シ-244	サ-355	シ-464 ①	シ-539	ウ-257	サ-65	ウ-271	ウ-277	ウ-247	サ-448	ウ-245	ウ-239
記(修業免状21枚ほか代金領収につき)	領収証(26年正月分落掌につき)	領収証(8月~12月分俸給領収につき) *5通	[授業料ほか領収証一括] *印刷物、朱印あり	[学事巡視につき河野小学校へ出頭の照会] *志富田九等属、市場・永谷・津川・大角・樋下・野中・安井・福田 各戸長役場宛内容あり	[学務委員河野安作歌月給議決につき]	授業生採用二付上申(冷水村木津学校授業生吉田松之助採用致したく) *綴紐切れ	学校買物(杓子茶漬茶碗ほか代金書上)	[岡本平兵衛息子当御野小学へ入校致させたき旨を承知する書状]	小学校教員志願書 *履歴書添付	[当村校務梶川深一件につき具申]	那賀郡福田村学校据置願書	小学校改称願(市場村河野小学分校の名称から福田小学へ志望につき) *下書き	教員雇入御届(本年四月已来和歌山県土族梶川深雇入につき)
26日(明治) 26年旧2月	日 明治26年旧2月3	日 明治25年旧8月28	日~4月26日 明治21年旧3月24	明治17年2月12日	日(明治) 17年旧正月21	明治16年10月7日	22日(明治) 16年旧9月	日(明治) 16年9月4	明治16年7月12日	明治16年5月17日	日(明治) 16年4月19	明治15年12月日	明治15年11月18日
岡田(印)	岡田恒楠(印)	恒楠(印) 福田尋常小学校訓導岡田	①福田小学校(印)、戸長小壺長之助(印)	神野市場村戸長野村勉(印)		福田学校学務委員岡本佐太郎(印)		野村勉	福田村平民本人河野圭三郎(印)保証人馬止清兵衛(印)戸長岡本佐太郎(印)	福田村戸長岡本佐太郎	那賀郡福田村会議員馬止清兵衛、井戸谷惣兵衛、子城孝助ほか8名		福田村戸長岡本佐太郎
岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	福田村戸長岡本佐太郎		那賀郡長松山管吾		岡本佐太郎	和歌山県令神山郡廉	那賀郡書記辻村	和歌山県令松本鼎		那賀郡役所学務係
状	罫紙	状・罫紙	状	封筒入綴	状	罫紙	状	状	罫紙綴	罫紙綴	綴	罫紙	罫紙

サ-1	サ-160 -②	サ-160 -①	サ-140	シ-281	シ-316	シ-279 -3	サ-44	シ-232	シ-657	シ-236	シ-235	シ-30	シ-238
〔就学猶予・免除・督促願〕	証〔学校入用費領収につき〕	証〔1月から7月の教育費領収書〕	証〔9月分新聞代受取につき〕	証〔明治27年旧7月より旧11月まで俸給落掌につき〕 *5通	〔生徒授業料下半季分徴収簿調製につき来駕依頼〕	証〔明治27年旧正月より旧6月まで俸給及び出張費請求書〕 *7通	〔福田尋常小学校訓示を以て指定につき〕 *指定内容は不明	〔領収書綴〕 *16通	記〔小学校教員恩給基金至急納出につき〕	記〔授業3月分領収につき〕	証〔大字福田・教員より支金の分領収につき〕	記〔小学校教員恩給基金送附依頼〕 *封筒は反故紙	領収証〔26年2月分受取につき〕
ほか 明治28年4月30日	明治28年旧1月28日 日、旧6月29日	明治28年1月19日 日、旧7月27日	明治27年9月31日	明治27年旧8月5日 日、旧11月29日	日 (明治) 27年8月25日	明治27年旧2月9日 日、旧7月31日	明治27年2月25日	明治26年	日 (明治) 26年10月22日	明治26年旧4月18日	明治26年4月1日	明治26年3月31日	明治26年旧2月26日
(印) ほか 児童保護者尾上佐兵衛	左京(印) 福田尋常小学校訓導竹田	(印) 下神野収入役松下芳太郎	聞舎(印) 中野上村大字椋木赤松新	左京(印) 福田尋常小学校教員竹田	竹田左京	左京(印) 福田尋常小学校訓導竹田	下神野村役場(印)	角谷峰吉、福田小学校訓導竹田左京(印) ほか	下神野村役場	谷垣内長太郎(印)	助(印) 下神野村収入役芝崎房之	下神野村役場(印)	(印) 福田小学校訓導岡田恒楠
か 下神野村長河野秀貞ほか	岡本学務委員	本佐太郎 大字福田寄付者惣代岡	福田小学校	郎 該校学務委員岡本佐太郎	岡本学務委員	学校委員岡本佐太郎	大字福田岡本惣代	岡本佐太郎、学校世話係谷垣内近三郎ほか	惣代岡本佐太郎	世話人岡本佐太郎	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	岡本佐太郎
紙綴	縦綴	縦綴	状	綴	紙綴	紙綴	状	綴	状	状	状	紙綴	状

シ-322	シ-476	シ-477	サ-165	シ-33	シ-31	サ-193	シ-416	サ-30	サ-127	シ-279 -2	サ-156	シ-51	シ-632
〔旧七月分生徒授業料及び差継ぎ金領収を伝える書状〕	〔小学校教育費教員の領受証へ記名納印の上送付依頼〕	〔学務委員選挙のため嘱託依頼〕 *朱筆による訂正あり	〔別紙教員恩給基金領受につき〕	〔試験当日の非常の待遇に対する礼状〕	〔福田小学校生徒試験場へ小山郡長臨視をお知らせ〕	〔拙家小児共市場学校へ入校のため福田の学籍を除名するよう願う書状〕	〔福田小学校教育費議案編製致したく問合せ状〕 *一年の校費、校費の内訳、教師への月俸等金額、字の支弁の賦課を問合せ	請求書 (学校石油代・消耗品)	弔詞 (故菅谷英吉君の為に建碑式挙行につき)	〔学校入用費につき〕 *7通	〔凱旋軍人歓迎の件は学校文章綴りに保管の成規につき〕	那賀郡役所学第521号 征清記念標建設之件 *こんにやく版、別紙に発起人小山漸の趣意書あり	証 (旧9月から11月訓導俸給領受につき) *〔学務委員ヨリ領受金〕として取替金の書上を合綴
9月6日	8月26日	7月25日	4月19日	3月21日	3月13日	2月11日	2月10日	明治30年8月10日	明治30年8月4日	明治28年頃	明治28年12月20日	明治28年10月5日	明治28年旧9月30日
竹田	芝崎 (印)	野村戸長	芝崎	野村勉	野村戸長		野村勉	下神野村大字福田角谷忠右衛門 (印)	下神野尋常小学校訓導竹田左京	谷垣内近三郎、和歌山新谷栄助、平井文助ほか	竹田訓導 (印)	那賀郡役所	福田村学校訓導竹田左京 (印)
岡本	岡本	大字福田岡本惣代	岡本惣代	岡本	岡本学校世話掛		岡本佐太郎	下神野役場御中		岡本、川口徳之助、原	岡本助役	各小学校訓導	学務委員谷垣内近三郎
状	状	状	状	状	状	状	状	綴	状	綴	罫紙	状	罫紙綴

シ-239	シ-234	シ-110	サ-160	サ-152	ウ-259	ウ-258	シ-260	シ-309	シ-445	シ-199	シ-565	サ-142	シ-73
学校雑費控(かや・縄・竹他代金)	26年旧2月2日学校試験費(酒・鶏ほか代金)	書換(請証は役場にて調印差出につき) *封筒は反故紙、裏面に「下神野村役場」朱印、二仲に赤痢についての伝達あり	[学校入用金につき] *折込一括	覚(親睦会取替金・先月分恩給金ほか差引勘定につき)	履歴(吉田松之助) *ウ-257と関連	授業生採用につき上申(雛型)	(生徒授業料差引勘定、教員恩給基金、勅語奉置所新調費につき) *書状2通と記(尋常小学校入用品書上)	(暴風雨にて学校舎破損につき検視くださるべく照会)	(現任訓導教授法につき伺う書状)	計算目録(予借分差引御渡分・新聞代価請取分) *「徴兵参事員選挙人名大字福田」を折込	記(教科書代金落手ほか勘定につき)	(小学校教員恩給基金領収につき)	(訓導が押印した領収証と恩給基金を至急送付するよう依頼状)
							旧28日	旧13日	10日	旧11月3日	11月23日	10月3日	10月1日
		竹田		竹田	吉田松之助		竹田	学校訓導	竹田(印)	竹田左京(印)	梶川(印)	下神野村役場(印:野村)	下神野村役場
		大字ふく田岡本惣代		岡本	那賀郡長松山管吾		岡本	岡本・谷垣内両学務委員	岡本	岡本佐太郎	岡本	岡本惣代	惣代岡本佐太郎
状	状	封筒入状	綴	状	状	状	郵便紙	封筒入状	郵便紙	綴	状	状	状

シ-572	シ-543	シ-542	サ-364	サ-370	シ-377	シ-339	シ-335	シ-330	シ-308	シ-254
御届(和歌山県令第17号取消及執行中止を大阪控訴院へ出訴につき)	委任状之事(和歌山県令第17号取消及執行中止を出訴につき) *調月村津田立一・中島村津村紀陵を以て総代人と定め	〔お望みの人演説につき来臨を願う書状〕	〔同志会発起人会協議のため曲谷旅舎油惣方へ光来を願う書状〕	〔那賀郡長中西君を招待し懇親会の発起人会を開くので出席依頼状〕 *ガリ版	〔罫紙・インキ代ほか書付〕	〔届書が誤筆か確認し役場へ持参するか伺う書状〕	〔当村の学校が志賀野学校の授業料と違うため尋ねる書状〕	〔当字の毛付休業は何日頃の見込か伺う書状〕	①来候叙(別紙のとおり食後学校まで来臨願い) ②〔学校の事につき谷垣内委員へも来訪するよう願う書状〕	旧9月分生徒授業料収入原簿写 *借金を返すべきところ都合によりしばらく借用を承知くだされたい旨の書付あり
明治21年3月	明治21年3月	明治21年2月23日	日(明治) 21年2月14	明治21年1月9日					今日	
左衛門(印) 房右衛門(印) 田尻久之丞(印) 福田村岡本茂	那賀郡議会議員撰挙人梶谷利右衛門(印) 岡本佐太郎(印) 福田村岡本茂	宮本	吉村博	中尾利平、赤松平助、榎伊右衛門、久保田利兵衛、岩橋儀四郎、松嶋友藏、堀深吉村博、山田章、柳瀬喜七郎、岩橋孫右衛門、岡本佐太郎、西田(孫右・抹消)宗平	竹田	井戸谷ヨリ	竹田	①竹田②学一郎	世話係学校(印)竹田	
		福田村岡本	岡本佐太郎		岡本	岡本佐太郎	岡本	①岡本②竹田先生、谷垣内近三郎	岡本佐太郎	
罫紙縦帳	罫紙縦帳	状	状	状	状	罫紙	罫紙	罫紙	封筒入状	封紙入状

サ-372	サ-369	シ-67	シ-444	サ-388	サ-206	サ-121	シ-192	シ-338	サ-43	シ-468	シ-93	サ-334	シ-517
〔本日遅刻につき参集の人によるしく伝えてくださるよう書状〕	〔今回の懇親会は一先ず見合せられたい旨の書状〕 *封筒破損大	〔国会議員選挙権有するもの取調べ通知願ひ〕	〔衆議院議員臨時選挙の入場券配布につき書状〕	〔今回当選の旨同志会事務所より通知につき書状〕	〔弊村有権者73名の内55、6名は我党に賛成し一層尽力を頼む書状〕	衆議院議員選挙投票所入場券 *印刷物	〔改選期の候補は確定し懇親会開設を知らせる書状〕	〔県会議員選挙人名原簿調製につき〕	〔衆議院議員選挙投票所入場券送付につき書状〕	〔衆議院議員選挙人名原簿調製につき〕	〔中西光三郎千田軍之助ほか送別の宴会の案内状〕 *印刷物、封筒は反故紙を利用、上書に「立憲自由党、至急返報開葉」	〔衆議院議員選挙につき〕 *こんにやく版、発起人 中西光三郎、千田軍之助、田端健三、曾和震十郎、津村紀陵、西口新兵衛	〔吾党運動につき参集くだされたく案内状〕 *こんにやく版
2月24日	2月22日	2月18日	2月17日	2月4日	明治31年3月11日	明治31年3月7日	日 (明治) 31年2月17日	明治27年9月9日	日 (明治) 27年2月17日	明治26年3月26日	明治23年11月20日 投函	日 (明治) 23年6月3日	明治22年2月9日
同志会員堀深	曲谷同志会一統ノ喜	田渕晋	下神野村大字野中野村勉	田渕晋	本郡小倉村湯川嘉左衛門	和歌山県那賀郡下神野村衆議院議員選挙投票所管理下神野村長河野秀貞(印)	堀深	下神野村役場(印)	下神野村役場(印)	下神野村役場(印)	田渕晋	岩出村大字清水那賀大同俱樂部創立事務所	発起人千田軍之助、田渕晋、津村紀陵、田端健三、西口新兵衛、津田信衛
岡本	岡本、河野、井ノ上、道浦、其他同志諸君	岡本佐太郎	大字福田岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本叔父	岡本佐太郎	岡本	郎 大字福田惣代岡本佐太郎	岡本惣代	大字福田惣代	岡本佐太郎、角谷忠兵衛	河野学一郎(親安作歌開封)、岡本佐太郎	岡本佐太郎
状	封筒入状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封筒入状	封筒入状	封筒入状

シ-771	シ-770	シ-363	シ-354	サ-70	シ-574	シ-310	サ-386	シ-302	サ-359	シ-364	サ-205	シ-590
〔県会議員撰挙投票封筒〕 *7通、未使用	和歌山県会議員撰挙投票用紙 *封筒上書「県会議員撰挙投票 撰挙人 福田村 岡本茂左衛門」	県会議員撰挙権ヲ有スル人員表(福田村24人の姓名・年齢書上)	和歌山県会議員撰挙投票用紙 *7通、未記入	〔県会議員撰挙投票封筒〕 *未使用	〔紀伊地方の景況も聞かないため同志の勢いをたずねる書状〕	〔県会議員選挙人名原簿調整につき依頼〕	〔別紙の通り同志会より申しきたりにつき回送〕 *別紙なし	〔後刻落合大臣が貴軒へ投票持参を知らせる書状〕	〔照会書書き損じのため返却くだされたく書状〕	〔壮士派結党式24日に行う見込みの旨書状〕	〔岡本君諸衆は棄権せず投票するよう書状〕	〔中谷の補欠議員撰集を取消し更に撰挙すべき旨県令につき〕 *シ-543と関連
					10月26日	9月14日	4月5日	4日1日	3月23日	3月22日	3月13日	2月27日前2時
	岡本茂左衛門(印)				岡本三郎	福田惣代岡本佐太郎	田淵	竹田	同志会事務処(印)	同志会事務所	田淵晋、中尾利平、吉村博、山田章	動本事務所
					岡本佐太郎	下神野村役場、和歌山県知事沖守固	岡本	岡本	岡本佐太郎、河野三郎(マ)	岡本佐太郎、河野圭三郎	岡本佐太郎、角谷忠右衛門、有権者御中	岡本佐太郎、井ノ上、岡本三郎
封筒	封筒入状	罫紙	状	封筒	状	罫紙	状	状	状	状	封筒入状	状

15 釜瀧村

カ-16	カ-15	カ-14	カ-13	カ-7	カ-6	カ-12	カ-11	カ-10-3	カ-10-2	カ-10-1	カ-5
志賀野松瀬村風呂垣内調らへ筋 *風呂垣内の由緒、松瀬村川筋水利等	志賀野釜瀧村金剛寺従今年輪番所二相成候二付年中諸捌向村方一同請合一札	卯之年徳盛帳	志賀野釜瀧村帳面扣 *釜瀧村庄屋役に関する覚、借用証文等の写し、日記	志賀野釜瀧村庄や勤飯米覚帳 *帳尻に「平方惣代源内、庄方惣代喜左衛門、庄屋岡本忠太夫」	志賀野釜瀧村庄や代打工数飯覚帳	池川涌関井手路帳	志賀野釜瀧村御済状之写し（薬師堂御用銀につき平方座方出入り一件）	〔高野登り・庄屋給銀につき勘定書上げ〕	〔弁才天修堂筋につき〕	志賀野釜瀧村帳面控 *引継文書・五人組親・座方・平方・小棟方・小夫の名前記載あり	志賀野釜瀧村庄や代打工数飯覚帳 *忠太夫・新次郎・忠左衛門・市左衛門らによる寄合や帳書・高野登りの記録
文政3辰4月	日 文政3辰年4月25	文政3年辰2月日	日 文政3年辰正月吉	文政3辰正月日	文政3辰正月吉日	文政2年卯10月日	文政2年卯9月日			日 文政2歳卯8月吉	文政2卯8月8日
	野庄福田村岡本忠太夫(印)	(志賀野庄釜瀧村)年寄喜左衛門、庄屋岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	志賀野釜瀧村役人喜左衛門、庄屋岡本忠太夫				岡本忠太夫	岡本忠太夫
	御総分様御役人中	成慶院様御代官				御惣分様御役人中					
豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	横帳	横帳	豎帳	豎帳	状	状	豎帳	横帳

カ-34	カ-33	カ-29	カ-28	カ-27	イ-1024-2	イ-1024-1	カ-26	カ-24	カ-23	カ-20	カ-19	カ-8	カ-17
金剛寺堂勘定帳	金剛寺堂勘定帳	金剛寺堂勘定帳	金剛寺堂勘定帳 *表紙「岡本氏控」	金剛寺堂勘定帳 *裏表紙「岡本氏控」	(安養寺は西名草郡排取村智足院総持寺本山にて) (イ-1024)	奉伺口上(安養寺開帳につき志賀野庄釜瀧村薬師出開帳の風聞についてお尋ね) *端裏書「文政十亥年三月十日伺 志賀野釜瀧村金剛寺筋」	金剛寺堂勘定牒	志賀野組釜瀧村金剛寺堂勘定帳 *表紙「岡本氏」	申之暮金剛寺堂勘定帳 *表紙「岡本氏扣」	未之暮金剛寺堂勘定帳 *表紙「岡本氏扣」	午之暮金剛寺堂勘定帳	釜滝堂勘定帳控	池川涌関井手路帳
天保3壬辰歳12月	日 天保2辛卯歳12月	日 文政13庚寅年10月	日 文政12丑年12月19	19日 文政11戊子年12月		日 (文政10年) 3月10	19日 文政9丙戌年12月	19日 文政8乙酉年12月	日 文政7申歳極月19	日 文政6未年12月19	日 文政5午年極月19	文政3辰年極月	文政3年辰4月日
岡本新治郎(印) 惣代角蔵(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	岡本新次郎(印) 惣代久七(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	岡本新次郎(印) 惣代徳三郎(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	志賀野庄釜瀧村惣代平助(印) 寄喜左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 岡本新次郎(印) 金剛寺(印)	岡本新次郎(印) 左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 金剛寺(印)		岡本忠太夫、金剛寺	岡本忠太夫(印) 左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 金剛寺(印)	平方惣代源内(印) 座方惣代喜左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 金剛寺(印)	平方惣代徳三郎(印) 座方惣代条助(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	平方惣代平助(印) 座方惣代喜左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	平方惣代紋右衛門(印) 座方惣代年寄喜左衛門(印) 庄屋善右衛門(印) 寄喜左衛門(印) 金剛寺(印)	平方惣代源内(印) 庄方惣代喜左衛門(印) 庄屋岡本忠太夫(印)	志賀野釜瀧村役人喜左衛門(印) 庄屋岡本忠太夫(印)
興山寺様御役者長寿院	興山寺様御役者長寿院	興山寺様御役者長寿院	興山寺様御役者珠宝院	興山寺様御役者龍花院		興山寺御役人持宝院	興山寺様御役者持宝院	興山寺様御役者持宝院	興山寺様御役人遮那院	興山寺様御役人遮那院			御総分様御役人中
豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	状	状	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	横帳	豎帳

イ-831	イ-819	イ-820	イ-880	コ-3	イ-881	イ-700	イ-884	イ-1000	イ-895	ウ-639	イ-267	イ-266	カ-35
〔金剛寺交替の儀約束の日間違故村方で調べるよう達〕 *封紙上書「総分役人中性院 五月五日出釜瀧村金剛寺住職清付日限調立節」	〔釜瀧村年寄・庄方惣代・村平方惣代役儀につき召連れるよう書状〕	〔未時より赤松院において集議につき其元詰るよう書状〕 *端裏書「四月七日釜瀧村筋」	〔釜瀧村金剛寺護摩堂天井普請につき木拵えるよう達〕	〔釜瀧村一件駈合につき和濟整えるよう達する書状〕	〔釜瀧村金剛寺護摩堂建立につき惣代召連れ登山するよう書状〕 *封紙上書「二月七日出御状釜瀧村御拝借筋十日登り十二日下向」	〔愚院下向につき市左衛門掃部兩人召連御入来なられるよう申付〕	〔釜瀧村金剛寺拝借年賦支分を上納すべくよう書状〕	覚（護摩堂本尊厨子他早々普請の筈につき）	覚（釜瀧村金剛寺につき吟味）	おぼへ（勘定致し米・手形を請取られたきにつき）	奉御窺申上口上書（釜瀧村金剛寺護摩堂修復のため出銀願）	奉御窺申上口上書（釜瀧村金剛寺護摩堂修復のため出銀願） *イ267と同内容	金剛寺堂勘定帳
5月5日	4月8日	4月7日	4月5日	3月5日	2月7日	正月27日	亥2月	未10月21日	卯8月	寅霜月10日	天保5午年11月日	天保5午年10月日	天保4癸巳年12月日
中性院	惣分役者中性院	中性院	惣分役者中性院	龍華院代持宝院	惣分役者中性院	釜瀧村輪番役所	銀奉行中性院			釜瀧金剛寺納所	岡本新二郎	岡本新次郎	惣代角藏(印)年寄喜左衛門(印)庄屋善右衛門(印)岡本新治郎(印)金剛寺(印)
釜瀧村兼帯庄屋岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本新次郎			岡本忠太夫	興山寺様御役人三学院	興山寺様御役人三学院	興山寺様御役者長寿院
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	堅帳	堅帳	堅帳

イ-1081	イ-1017	イ-804	イ-883	イ-1001	イ-879	イ-673	エ-77	イ-864	イ-872	イ-814	イ-1002	イ-867
〔高野山天野や治兵衛子当村月ノ瀬の橋より落ち流死につき〕 *端裏書「釜瀧筋」	預り申銀子之事（銀三貫目当寺護摩堂普請要用につき）	〔釜瀧村金剛寺附頼母子掛銀と明年分鳥目につき通達〕	〔釜瀧村善右衛門へ庄屋役仰付けにつき諸帳面類引渡すよう差紙〕 *金剛寺借財筋と普請方等は是迄通岡本忠太夫へ申付け	〔護摩堂普請用銀に取替の銀子入用につき返済するよう書状〕 *上部破損	〔志賀野釜瀧村善右衛門と惣代1人当御役所へ罷り出るよう差紙〕 *イ-879から886はこより一括	注文覚（護摩壇他代金および護摩壇の漆塗値段の控）	〔先達への御来訪の礼状〕 *別紙副啓に釜瀧村へ引き移りの件	〔安井村嘉蔵を召連れ今日中に来臨するよう願う書状〕	〔釜瀧村金剛寺交代につき米柴等頼む書状〕	〔釜瀧村金剛寺輪番職下向につき人足10人登るよう達〕	〔護摩堂入用材木等別紙にてお知らせする書状〕 *上部破損、別紙なし	〔釜瀧金剛寺より希釈院帰山につき書状〕
		12月3日	11月11日	11月7日	11月5日	10月24日	8月5日	6月15日	5月27日	（5月27日）	5月14日	5月5日
	世話人清左衛門、庄屋善右衛門、年寄喜左衛門、村惣代為右衛門、金剛寺	興山寺役者中性院	総分役者中性院	阿弥陀院	惣分役者中性院	福田村仲屋清左衛門印	宝瓶院	金剛寺	六町院	総分役人中性院	釜滝金剛寺	金地院
	銀主阿弥陀院	釜瀧村庄屋	志賀野釜瀧村兼帯庄屋岡本忠太夫、村役人中	釜瀧村清兵衛、善右衛門、喜左衛門、常右衛門	岡本忠太夫	釜瀧村金剛寺	岡本忠太夫、新次郎	岡本新次郎	岡本忠太夫	釜瀧村兼帯庄屋岡本忠太夫	福田岡本忠太夫	岡本忠太夫
状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

ス-251	ス-245	シ-3	サ-295	イ-375	イ-274	イ-273	イ-692	イ-787-2	イ-787-1	ス-164	ウ-480	エ-14
〔興山寺役所札〕 *印あり	〔興山寺役所札〕 *印あり、ス-251と同一	〔観智院僧正様へ御随身の僧ほか人数書上〕	〔札〕 *「御用」とあり	〔院号覚〕 *断簡、折紙状	燈籠堂還列記	興山寺の奥院迄行列記	〔年正月八日御目見の儀を組内で申合せ勤めるよう達〕	燈明資料受納事（合金100匹也、但シ神野庄中寄附） *刷り物	〔灯藏勧進の儀につき請取書一紙差送る書状〕	〔土砂加持執行のため登山を依頼する書状〕	覚（金光院において明日加持土砂供養施行ほかにつき）	覚（高祖大師一千年御忌御法事につき御用ほか） *水引にて覚6件とエ-10の書状写しを綴る、固着のため撮影不可部分あり
							12月22日		9月晦日	3月3日	1月6日	（文化12）
			総分役者長寿院				総分役者青龍院	高野山千住院橋真福院法印（朱印）	真福院	龍光院納所	総分役者代青龍院	院 総分掛役人愛染院、延寿
			神野福田村岡本新次郎				神野福田村岡本忠太夫	功徳主取次福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本市左衛門		郎 村々庄屋中、岡本新次
状	状	状	状	状	横半帳	横半帳	封紙包状	状	封紙包状	状	状	綴

イ-310	サ-138	サ-149	シ-259	シ-258	シ-551 -13	ア-147	ア-137	サ-308	ウ-463	ウ-309	イ-722	エ-84	ウ-455
頌標(屋ね瓦一つ建立之事)	証(28年上半年寺掛り落手につき)	請票(下半年分落手につき)	請票(本年下半年賦課金落掌につき)	記(26年7月より12月まで齋米請取につき)	記(2ヶ寺へ掛る宗内費お渡につき) *裏面に旧十二月十五日付で寺納の旨署名・押印「津川阿弥陀寺(印)」あり	靈仏靈宝等御改牒 *瑞應山満福寺、龍燈山神宮寺	靈仏靈宝等御改牒 *瑞應山満福寺、龍燈山神宮寺	〔封紙〕 *サ-309の封紙カ、表書き「請書一 坂本村 喜兵衛様」	おほへ(よろい合羽此ものにお借くださるようにつき)	口上(庄中護摩札のうち小札は野中利兵衛より配るよう願)	覚(金2歩受取につき)	演舌(宗旨のため登山の皆様にもよろしく伝えるようにつき)	覚(勘定書付) *抹消済
8日 安政7庚申年8月	旧7月13日	月17日 (明治) 第27年旧12	第26年旧12月15日	第26年旧11月1日	日 (明治) 17年1月12	文政8乙酉年7月	文政8乙酉年7月		けふ	極月8日	8月16日	8月14日	戌7月
神野福田村愛宕別当延命寺実 代野惣代岡本兵馬、世話人惣 代尻岡次郎、岡本茂左衛門	津川阿弥陀寺(印)	津川阿弥陀寺(印)	津川阿弥陀寺(印)	津川阿弥陀寺(印)	福田村戸長役場(印)	神野組惣代福田村庄屋為 次郎(印)	神野組惣代福田村庄屋為 次郎(印)		神光山	岡本新次郎	高野山小田原畑屋源右衛 門(印)	十輪寺	由兵衛
円福寺法印実乘	福田字岡本佐太郎	福田惣代岡本佐太郎	福田惣代岡本佐太郎	福田惣代	阿弥陀寺	持宝院	持宝院	坂本村喜兵衛	岡本新次郎	神光山	神乃村 延命寺	延命寺	岡本御氏、延命寺
状	状	状	状	状	罫紙	堅帳	堅帳	封紙	状	状	状	状	状

エ-24	サ-155	サ-2	ス-2	シ-514	ウ-216	イ-203	シ-760	ア-162	ウ-185 -2	シ-147	エ-80	ス-185	ス-175
〔孝霊天皇社建築寸法〕 *固着のため撮影不可部分あり	般若寄附金控 *裏に「愛宕投餅雑費控」あり	和歌山県皇典講究分所維持金徴収表 *印刷物	寺入用ノ高払方帳	〔神野庄大角村後任職につき〕 *虫損	奉願口上覚（大角村金剛寺大破につき再建のため寄進の触を流すよう願）	乍恐奉願口上（野中村善福寺と申す寺号を樋下村へ附戻し願）	〔この清書の直しを願う書状〕 *朱にて添削あり	師匠請状之事（慈道房了賢儀拙寺弟子につき） *封紙上書「請状十輪寺」	乍恐奉願口上（福田村観音寺無住につき慈照覚住に住職仰せ付けられたく願） *写し	〔長寿院参府につき津川宇市を江戸へ立連れたく内談〕	〔封紙〕 *2通、エ-79とエ-86の封紙カ	下紙（神野組分円福寺へ納めるよう依頼）	領標（神野寺宝前へ四面器一具寄附受取） *後部破損
酉7月	24日（明治） 28年旧1月	明治18年以降	安政3辰年7月日	8月25日	天保6乙未年3月日	天明7丁未9月25日	神無月29日	文政5壬午5年5月	天保8丁酉年8月	11月18日	5月11日	亥9月4日	元治元甲子2月日
河野氏			岡本兵馬	三学院他出二付代青龍院	金剛寺兼住東光院	譲り主神野庄福田村河野新平、証人同庄岡本忠太夫、譲り請主樋下村惣代安八、同村役人常八、同村庄屋三九八	岡本安太郎	市場村十輪寺（印）	福田村惣代善兵衛印、岡本忠太夫印、愛染院有雅印	円福寺	本寺院内文章〆	円福寺	神野組惣代福田村庄屋田尻伊織、岡本兵馬、世話人鎌瀧村定右衛門
岡本御氏				岡本新次郎	三学院	興山寺様御役人和光院	十輪寺	福田村岡本忠太夫	御惣分役所三学院	岡本兵馬	神野鎌瀧村円福寺	岡本忠太夫	円福寺一世実雅御房
状	状	縦帳	横帳	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙	状	状

キ-4	イ-188	イ-107	イ-106	イ-104
〔先祖由緒書〕 *文書末に「岡本宗内、田尻宗□、河野左近」	御祈所（火災消除のため大般若読誦ほか） *封紙上書「上庄中」、下部破損	万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	万覚日記帳 *固着のため撮影不可部分あり	万覚日記帳 *固着のため撮影不可部分あり
丑正月	日 文化6巳年4月13	日 寛政2年戊正月吉	天明9酉正月吉日	吉日 戊申天明8年正月
河野左近	神野庄中	神野縫殿	神野縫殿允	河野新平
	興山寺様御役人自覚院			
状	封紙包状	横帳	横帳	横帳

17 その他

ス-15	ウ-688	イ-1080	イ-535	イ-399	イ-397	ア-39-2	イ-632
〔大社・小社材木書上〕	〔自力にては御堂建立いたしがたく富興行仕りにつき〕	〔権現勧請につき富興行の口上〕 *下書き	〔開帳筋残銀につき〕	〔楽器割当〕	おほへ（楽器割当）	覚（銭六百文請納につき）	〔般若理趣三昧他法要につき〕
						卯月8日	正月8日正5ツ時より
							金剛寺
						楊柳山宗元寺世話人中 (印)	
竖帳	状	状	状	状	状	状	状

二 筏口銀

イ-7 -2	イ-7 -1	イ-6	イ-5	イ-4	イ-3	イ-2	イ-1	カ-4	ス-68	カ-3	カ-2	イ-61
覚(木三枚代銀につき)	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	御尋ニ付奉申上口上覚(紀州様より材木竹等口銭切手遣しにつき) *控2通あり、封紙上書「上 岡本忠左衛門」	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	竹銀集覚帳 *固着のため撮影不可部分あり
	文化9年申正月日	日 文化8年未正月吉	日 文化7年午正月吉	日 文化6年巳正月吉	日 文化5年辰正月吉	日 文化4年卯正月吉	日 文化3年寅正月吉	日 享和4年子正月吉	享和3亥年5月日	日 享和3年亥正月吉	日 享和2年戌正月吉	日 享和元年酉12月16
	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	神野庄福田村岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	神野庄役人中
井原専藏									御惣分様御役人中			
状	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	封紙包状	横半帳	横半帳	横帳

三 十三神社

オ-12	オ-20	シ-766	シ-18	シ-158	イ-1032	ウ-414	イ-25	イ-24	イ-23-2	イ-23-1	イ-22	イ-21
大明神御上葺造用目録	大明神御上葺造用目録 *表紙「是ハ下書本書庄ノ黒箱ニ納之」	〔国領用材神野川流につき見分の同道を頼む書状〕 *一部破損、後欠	〔竹流につき代銀〕	覚（七步板代銀）	〔利左衛門切木仕りたく口銀錢にて御用捨をお願いする書状〕	覚（板代銀）	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳	〔杉三流代銀〕 *端裏書「小畑 重介」	筏口銀覚帳	筏口銀覚帳 *挟込文書有	筏口銀覚帳
日 明和9辰年9月2	日 元文2丁巳3月10		7月11日	正月28日	卯12月分	日 天保4巳年正月吉	日 天保3辰年正月吉	日 天保2卯年正月吉	日 天保2卯年正月吉	日 天保2卯年正月吉	日 天保2卯年正月吉	日 天保2卯年正月吉
岡本氏	「代水」惣役人中、社家中惣 宮寺、落弥右衛門、別当神 岡本宗内隆重		善次郎	（小畑村より）寺中半次郎	福田 兵次郎	岡本氏	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本氏	岡本氏	岡本氏
			野上新村利右衛門	御役人中	岡本忠太夫	庄中			小畑村重介			
豎帳	豎帳	状	状	状	封紙包状	状	横半帳	横半帳	状	横半帳	横半帳	横半帳

オ-16	ウ-61	イ-262	オ-15	オ-14	オ-21	オ-13	ウ-170	イ-303	オ-23	ウ-169	ウ-110	エ-4	オ-22
上下遷宮記録牒	下遷宮入要覚帳	大水につき宮寺人足諸式覚帳	山上皆造宮上遷宮入用覚帳	十三社大明神御普請入用帳	大明神御上葺造用目録 *オ-20の写し	十三社大明神御普請諸式入用帳	大明神御上葺入用覚帳	覚(明神社の彩色絵具料受納につき)	大明神御上葺造用目録 *表紙「是ハ下書本書ハ庄ノ黒箱ニ納之」	大明神上葺記録帳 *絵師大和国今井谷等嶽	宮寺万覚帳 *寛政11年に焼失した神宮寺の復興カ、固着のため撮影不可部分あり	上之宮屋ね替へ上遷宮下遷宮人足其外入用并大日堂棟祭 *固着のため撮影不可部分あり	大明神御上葺造用目録 *表紙「是ハ下書本書ハ庄ノ黒箱納之」
日 文政7年申2月吉	文政7年申2月日	日 文政4年巳8月9	日 文化10年酉7月23	文化8未極月8日	文化5辰8月日	文化4年卯霜月日	文化4年卯11月日	文化第4年丁卯霜月28日	文化4丁卯年11月16日	日 文化4丁卯11月16	享和元年酉7月日	日 寛政7年卯正月□	17日 安永2癸巳歳3月
定継					神野庄惣役人中、社家中惣代、水落右衛門、別当神宮寺、奉行岡本宗内隆重		岡本控	和州画師谷等嶽(印)	神野庄役人惣代津川村定右衛門、市場村善兵衛、別当神宮寺、奉行岡本忠太夫貞之	神野庄役人中惣代津川貞右衛門(印) 市場善兵衛	岡本忠太夫	神野庄中	神野庄惣役人中、世話人鎌瀧村長左衛門、社家中惣代水落弥右衛門、別当神宮寺、奉行岡本忠太夫貞長
								岡本忠太夫		別当神宮寺、岡本忠太夫貞之			
豎帳	横帳	横帳	横帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	状	豎帳	豎帳	横半帳	横半帳	豎帳

ス-4-10	ス-4-9	ス-4-8	ス-4-7	ス-4-6	ス-4-4	ウ-186	ス-4-1	ウ-157	ウ-162	イ-1009	オ-24	イ-290	オ-17	
大々御神楽勸化帳 *三尾川村	大々御神楽勸帳 (化帳) *鎌瀧村	大々御神楽勸化録 *桂瀬村	大々御神楽勸化帳 *赤木村	大々御神楽勸化帳 *津川村	大々御神楽勸化帳 *福田村	十三社大明神御上葺記録 *上下遷宮之図、棟祭之図あり	預り申銀子之事 *ス-4-11より10まで紙綴り一括、銀3貫目支分は年6分	馬場作り寄進人足帳 *状態不良、マイクロ撮影は一部のみ	〔馬場作人足覚帳〕 *切り紙を紙綴りで束ねている、庄夫銭小入用には壹文も掛けず弁当持参にて寄進 *端裏書「文政十年亥二月四日調らへ」	上井土井諸一跡覚(米、大豆、榎、棕櫚皮他)	大明神上葺記録帳	上々御前上葺諸勘定牒	上之御前上葺大床繕ひ勘定牒	
吉	月	月	日	吉	吉祥	弘化4年丁未極月書	天保14癸卯7月	日	天保5午年8月29日 天保5午年8月22日 日 同日29日迄	文政10年2月4日	文政7歳申8月日	文政7年申4月日	日	
元治元年甲子4月	元治元年甲子年夏4	元治元年甲子夏4	元治元年甲子4月	元治元年甲子4月	元治元年甲子4月	別当神戸吉太夫(朱印)兩神、主水落左太勝(朱印)	庄惣代岡本忠太夫(印)啜人福田村庄屋権次郎(印)取次永谷村庄屋久三郎(印)	役人岡本新次郎	願主神宮寺、岡本新二郎、福田村庄屋井上為二郎、津川庄屋栄二、三尾川庄屋前垣内丹藏、箕六村庄屋カケ		神野庄役人中、世話人津河むら庄屋栄治、安井むら庄屋宇兵衛、別当神宮寺、岡本新治郎貞継		神野組世話人中	
							田中喜兵衛							
豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	状	豎帳	横帳	状	豎帳	横帳	豎帳	

イ-1019	イ-582	ア-3-2	エ-103	ウ-539	ス-247	イ-621	イ-166	キ-24-2	イ-1116	ス-23-2	ス-4-3	ス-23-1	ス-23-5~14
馬場代口先祖之ツク写シ *天正元年から寛政年中に至る名前書付	〔延引につき誤まる書状〕 *前欠	祭礼馬々□□元帳	おほへ(表具代銀)	〔兼ねてよりの屏風につき書状〕	〔無住の野中村神宮寺に拙院法類の内から後住の届があるので頼む書状〕	覚(六寸竹四わ 神宮寺受取用) *抹消済	大々華御神楽奏上記	〔御地御宮彩色を当方へ仰せ渡されるよう依頼する書状〕	覚(画料金箔代金)	明神代日修堂支分集控 *集銀は箕六村庄屋へ預け、外にも岡本預りあり	大々神楽萬打帳	太々銅堂銀請取覚帳(神野庄村別金額書上) *ス-23-11~14まで紙綴り一括、「銀受取相済分」	大々御神楽勸化帳 *安井・永谷・明添・箕六・上ヶ井・市場・南畑・樋下・高畑・大角
			迄 8月16日 9月20日	5月27日	正月10日	亥極月5日	亥正月吉日	戌8月2日	辰6月14日	慶応3卯年2月日	勤 元治元年8月26日	3日吉日 元治元甲子年8月	元治元年甲子夏4月
	龍燈寺	麻生村大庄屋二而	山岸屋彦兵衛(印)・高野山小田原山彦)	谷露邨	光明院	市場村吉兵へ	熊野御師坂本八郎太夫代熊野連満辰(印)	谷氏	谷等嶽(朱印)	庄役人中	神主社人中	庄役人中	別当神戸吉太夫(朱印)、土居房之進(朱印)兩神主水落左太勝(朱印)
	岡本御氏		神野庄神宮寺	岡本忠太夫	岡本兵馬	庄御役人	神野庄役人衆中、旦那衆中	岡本	神宮寺				
状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	横帳	横帳	横帳	豎帳

四 岡本家関係

1 由緒

ス-67	イ-31	ス-106	ス-116 -2	ア-161
許状 (市左衛門苗字帯刀につき)	譲置目録覚 * 固着のため撮影不可部分あり	奉指上一札 (銀子3貫目御拝借につき) * 端裏書「安永七戌年福田村岡本忠太夫拝借手形」、1貫126匁9分9厘は無支、残り1貫873匁1厘の10年賦割前の書上あり	申渡 (免下ケ願の節も一同慎みにつき銀7枚褒賞) * 安永の一揆に対する褒賞	岡本系図由緒書
寛政4壬子年正月	寛政元年酉11月25日	安永7戌戌年11月	安永7戌戌年閏7月	安永6丁酉歳4月5日
衆評	岡本忠太夫	神野福田村岡本忠太夫 (印)	衆評 (印)	神野福田村岡本忠太夫
岡本市左衛門		御惣分様御支配中	高野山行人方寺領紀州那賀郡神野庄福田村地土岡本忠太夫	興山寺役者正泉院 (印)
状	横帳	状	状	堅帳

シ-340	シ-286	シ-305	シ-336	シ-396	シ-210	サ-147
〔宮修繕費は戸数等級割当に定つたことを通知する書状〕 * 寄留籍の者にも本籍の同格の見込みで割当	〔正遷宮式挙行を伝える書状〕	〔氏神修繕の件につき社務所へ出席依頼〕	記 (氏神社内敷小石取除け人足につき)	〔氏神新築一件につき社務所へ出会くださるよう書状〕 * 封筒は反故紙	〔社殿改築一件につき委員会開きたく通牒〕	証 (十三社修繕費残額受取につき)
	旧11月17日	9月15日	9月6日	旧4月11日	4月25日	(明治) 28年1月22日
馬止芳太郎	委員田中平兵衛、柳瀬貞三郎	田中委員	十三神社修繕委員	大西植楠、田中平兵衛	野村	神野市場大西植楠 (印)
惣代岡本	福田字総代	岡本委員	福田岡本惣代	岡本佐太郎	岡本	大字福田惣代岡本佐太郎
状	封筒入状	状	状	状	状	状

ア-105	ス-44	イ-984	キ-8	ス-54	イ-146	イ-281	イ-194	イ-285	イ-197	ア-159	キ-7	イ-170	イ-169
乍恐奉願口上(私弟市左衛門へ地士株御免くだされ両家にて相統つかまつりたく願)	奉差上宗旨証文之事 *控、ス-105の下書きあり	(其元実父忠太夫落命につき銀壹枚お下げにつき) *年号は「万代日並記」から	(岡本家由緒書) *全文振り仮名つき	市左衛門道道市帳 *裏表紙「井上為次郎」	市左衛門出奔ニ付人足夜番覚帳	乍恐奉願口上(借用の始末として私所持の山林を差上げ家督相続願) *イ182参照	乍恐奉願上候口上(借用の始末として私所持の山林を差上げ家督相続願) *下書き	道号之事(岡本忠太夫改めト齋と号す)	乍恐奉願口上(福田村庄屋病気につき退役願) *端裏書「幸左衛門願出ニ付退役願」	岡本由緒書 *控	乍恐奉願口上(病気につき忠太夫次男幸左衛門を養子願) *キ-7・8封紙一括	奉差上宗旨証文之事 *端裏書「古紙」	奉差上宗旨証文之事
子正月	万延元庚申年8月	(天保8年)6月20日	(天保5年以降)	天保4巳7月25日	天保4年6月8日	天保4年巳4月日	天保4巳4月日	文政12己丑年6月吉辰	文政7申歳正月13日	文化5辰年11月	文化5辰年正月	文化3丙寅8月	文化2乙丑8月
岡本忠太夫(印)	神野組福田村岡本兵馬、延命寺	惣分役者代青龍院		村役人中	村役人中	岡本新次郎	岡本新次郎	高野山東光院秀翁(花)	神野福田村惣代藤左衛門、年寄庄助	神野福田村岡本忠太夫	福田村願主岡本市左衛門、本家岡本忠太夫	神野組福田村岡本為之進、延命寺	神野組福田村岡本市左衛門、同庄同村延命寺
興山寺様御役人 和光院	宗旨御改御奉行 南光院	岡本新次郎				御惣分御役人 長寿院	惣分役人 長寿院		興山寺様御役人		自覚院	宗旨改奉行	宗旨改奉行 明慶院
状	状	状	状	横帳	横帳	状	状	状	状	堅帳	封紙包状	状	状

ク-50 -2	ク-50 -1	ク-52	ス-105	キ-3	キ-2	イ-1027	イ-784	イ-182	ア-160	ア-106	シ-498	イ-721	ウ-666
〔那賀郡福井村八幡社等祠掌兼勤申付書〕	〔野中村十三社祠掌申付書〕 *封紙上書「岡本新二郎殿 県庁」	〔第四大区第七小区仮戸長申付書〕 *破損大	奉差上宗旨証文之事 *端裏書「已宗旨認替 岡本兵馬江尻」	就御尋申上候覚（先祖由緒書） *文書末に「田尻宗□」	奉願口上之覚（諸役免除断絶のところ先規の通に仰せ付けられたきにつき） *キ-2より6封紙一括	幸左衛門借用覚（惣合9貫95匁9分4厘）	以書付御届奉申上候（岡本幸左衛門庄屋役のところ国領へ家出につき）	乍恐奉願上口上（借用の始末として私所持の山林を差上げ家督相続願） *下書き	岡本系図由緒書 *「直シ」の付紙あり、ア-161の下書き、固着のため撮影不可部分あり	覚（岡本家定書）	〔拙子方の法号ならびに年号等別紙に認めにつき〕 *享保7年寅10月3日了翁本徹信士俗名岡本庄兵衛、寛永の末正保の始めに誕生	御届（岡本幸左衛門病氣にて御用等も勤めがたきにつき御用捨願） *下書き	口上（御免許状名当につき由緒お尋ね）
明治6年4月28日	明治6年4月28日	辛未9月	明治2己巳年8月								蠟月在日	正月21日	辰9月25日
和歌山県	和歌山県	五條県	神野組福田村岡本兵馬新次郎（印）同村延命寺無住、代市場村十輪寺（印）	岡本宗内	岡本茂右衛門	岡本新次郎			（神野福田村岡本）	岡本忠太夫	岡本勝兵衛	岡本新次郎	神野福田村岡本忠太夫
紀伊国那賀郡野中村十三社祠掌岡本新二郎	岡本新二郎	福田村岡本新二郎	宗門御改御奉行寿命院								岡本忠太夫	興山寺様御役人舎那院	自覚院
状	封筒入状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	堅帳	状	状	状	状

2 家政・年中行事

ウ-573	イ-1059	イ-159	ア-4-2	ア-4-3
乍恐奉願口上(住居建替普請仕りたく御留山の松木につき) *封紙上書「願書下書老通 岡本忠太夫」	奉願口上覚(私妹婢岡本忠左衛門方にて病氣養生仕りたくその間地士勤御用の御免願)	御伊勢参宮善悪之事(参宮運勢書) *慶長4己年の写を明和5年に三尾川村の権喜兵衛が施主となって再写したものの写し	[草取人足名前書付]	[田植に関する日付・品種・場所書付]
文化8未閏2月	文化3年寅3月	文化辛未年閏2月 吉祥日	酉正月28日	寛政元酉年
岡本忠太夫	那賀郡打田村地士千田次郎四郎	願主岡本忠太夫		
興山寺御役人自覚院	鈴木理兵衛			
封紙包状	状	状	状	状

ク-1	シ-483	サ-134	シ-112	キ-42	ク-51-2	ク-51-1	ク-50-3
岡本氏系図	[下神野村助役選挙当選につき] *封筒は反故紙	[下神野村会議員定期改選及補欠選挙掛任命書]	通知書(下神野村学務委員に当選) *「下神野村役場 明治27年9月16日発 第498号」	議定書(岡本隆政病死後入纏れにつき樽料受取)	[別紙につき書状]	[十三社祠堂職務差免申渡書] *封紙上書「岡本新二郎殿 庶務課」	[別紙両通差遣わしにつき書状] *本文請書を差し出すよう追而書きあり
	明治28年5月9日	明治28年3月24日	明治27年9月16日	明治8年亥3月26日	明治6年5月28日	明治6年5月28日	明治6年4月28日
	選挙掛長河野秀貞(印)下神野村長印)	下神野村長代理助役松下千治郎(印)	那賀郡下神野村役場(印)	福田村惣代南忠右衛門(印)谷口忠左衛門(印)角谷忠右衛門(印)	庶務課	和歌山県	県庁
	岡本佐太郎	岡本佐太郎	那賀郡下神野村大字福田 岡本佐太郎	田淵駒之助	岡本新二郎	紀伊国那賀郡野中村十三社祠堂岡本新二郎	岡本新二郎
軸装	封筒入罫紙	罫紙	罫紙	封紙包状	状	封筒入状	状

ア-107	ス-72	シ-55	ス-273	サ-181	ウ-410	ウ-379	ス-17	シ-769	イ-1011	ア-33 -2	イ-148	ウ-177	イ-695
乍恐奉願口上(百姓一揆の節借立にて調らい家普請仕りたきにつき)	乍恐奉願口上(百姓一騎の節借立にて調らひ家普請仕りたきにつき) *ア-107と同文	年当卦(おみくじ) *木版印刷	(運勢書) *刷り物、寅39と寅40の2通	(嘉永5年伊勢暦)	(天保7年丙申略暦)	(市左衛門分大豆高書上) *裏にも書付あり	山里御年玉覚帳(人別・高野山寺院別贈答品書上)	(四国八十八カ所霊場絵図) *刷物、着色	拙者所持之田畑	(小麦・菜種他売渡覚)	家普請祝儀覚帳 *取扱注意	家立万人用覚帳 *ア-33「万代日並記」文化9年7月18日条に記載あり	家普請大人木挽雇手伝人足覚帳
2月	2月12日	1月吉祥日	正月吉日	嘉永4年出	(天保7年)	天保5年6月12日	文政13寅年正月吉日	文政10丁亥夏	文政7申歳正月日	文化9申3月	文化9年申正月日	文化8年未8月日	文化8年未8月15日
岡本忠太夫	岡本忠太夫			伊勢度会郡山田宮崎左近			岡本新次郎	源文連	岡本新次郎		岡本新次郎		
興山寺様御役人自覚院	興山寺御役人自覚院		岡本忠太夫							□□村源助			
状	状	状	状	折本	状	状	豎帳	一舗	状	状	横帳	豎帳	横半帳

シ-439	シ-651	シ-472	シ-673	サ-163	サ-459	ス-274	ス-255	シ-702	シ-700	シ-654	シ-650	シ-649	シ-480
記(本家・土蔵・納屋建具調えにつき)	明治十六年旧曆比較略歴 *3通、朱印「和歌山県下那賀伊都郡神宮粉川分教会所印」、頒曆証印紙あり	請状一札之事 *朱にて加筆あり	〔十五年一月六日午前第九時出頭につき召喚状〕 *印刷物、朱筆「第七千九百廿八号」	〔新聞紙取次ぎの広告〕	印紙界紙売捌控 *朱筆あり、「証券印紙請取之事」を合綴	御神絵(熊野太神宮) *刷り物、2通	〔家紋写〕	弘法大師母公工授戒之図 *刷り物2通、梵字	〔家紋カ〕 *封紙共、紋様の入った布に紙で裏打ち	神武天皇御神像 *刷り物	目録(大麻、柱曆、帳、大剣)	祓都物(紙製人形)	〔まじないカ〕
明治17年2月日	(明治16年)	明治15年 第1月1日	明治14年 12月28日	明治9年 9月	明治6年 6月改								
	頒曆林組長林立守	那賀郡福田村奉公人岩根茂吉、引受人岩根伊之助	大阪裁判所和歌山区裁判所民事課(印)	和歌山県本町式丁目知新堂分舎(印)	岡本隆政			紀州高野山麓万年山慈尊院		平岡庄次郎刊	(印:岸上)		
		福田村岡本茂左衛門	和歌山県那賀郡福田村岡本佐太郎										
状	状	状	状	状	罫紙縦帳	状	状	状	札	状	状	その他	状

シ-701	シ-341	シ-224	シ-205	シ-9	サ-473	サ-268	サ-267	サ-126	サ-327	サ-195	サ-200	サ-109	シ-573
〔弘法大師千五十年忌絵札〕 *刷り物、裏面に御詠歌あり	〔持株種類別名前書上〕 *明治二十七年二月十八日付大阪朝日新聞附録に書込、後欠	〔名刺〕 *印刷	入社申込書（日本赤十字社） *こんにやく版、無記名	盆祝儀（品物・金額・贈答先人名書上） *折紙、裏面「かき出し」として金額・人名書上あり	〔決起文カ〕 *綴じ紐破損	覚（御蔵をく12畳・口6畳につき）	〔作物書付〕 *朱筆	夏蚕飼育日数并ニ給桑回数心得	記（岡惣右衛門分を流覧のうえ受取くだされたきにつき）	〔親属会開催のため出席を願う書状〕	〔親属会を催すにつき光来を掛け合う書状〕 *封筒貼紙「到来指戻り 下神野局集配人 再達ス（朱筆）」	規則摘要 *印刷物	〔年占〕 *刷り物、書込み「当三十五歳西ノ方御用心 岡本佐太郎殿」 （明治）22年旧正月吉日
									閏5月7日	旧閏3月18日	旧閏3月5日	明治27年7月改正	
所 和歌山片岡町高野山出張		和歌山県下那賀郡丸栖村 繭桑商宮崎徳吉	日本赤十字社御中						阪部李之助	坂部半三郎	坂部半三郎、神谷甚八、 根来由之蔵、赤松操吉	社内 内国生命病災保険株式会	岡本佐太郎
札	状	名刺	状	状	豎帳	状	状	状	状	状	封筒入状	状	状

3 冠婚葬祭

イ-1028	イ-1029	シ-722	エ-105	エ-106	イ-682	イ-268-2	イ-268-3	イ-268-1	ア-136	シ-268	ス-163	シ-749
〔縁組は来る26日結納とし当方より5人参上させるので承知くださるよう書状〕 *尚々書に、輿入は来る8月吉日と承知されたい旨あり	〔先方親類の名前記し差上げるのでご相談くださるよう書状〕	〔疱瘡が済めば神御幣を増福院へ戻すよう書状〕 *紫色の品は何によらず無用小豆等も決して無用	〔みつの様のことで出府していただきたく書状〕	〔御息女様貴請につき吉日を決めてくださるよう書状〕	兵馬初節句献立	献立	岡本兵馬はかま着之節(献立)	兵馬袴着岩井帳 (マコ)	嫁取諸式目録覚 *「弥栄野嫁入諸入用帳」共、挟込あり	香箋帳 *貞長、鼠書	覚(衣類諸道具書上)	〔叔母さま一件は本家嘉左衛門へ任す旨の書状〕 *母君様の宿泊は延引を願う
4月21日	4月5日	3月14日	正月晦日	辰6月14日	15日夜から17日朝	15日	11月14日	天保5年11月14日	日 文政5年午11月15日	日 文化3年寅6月24日		
黒山次右衛門	(池田新村) 黒山次右衛門	恵光院内	中嶋八三郎	中嶋八三郎			料理方為蔵、武左衛門、魚方文四郎					
岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫								
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	堅帳	堅帳	横帳	状	状

ア-4 -1	ア-3 -1	ア-2	ア-1
万代日並記	万代日次記	万代日次記 *『和歌山県史』近世史料四に掲載	日并日記
天明9年己酉正月吉日	天明8年戊申正月吉日	天明7年正月吉日	天明6年午4月8日
岡本氏(貞之)	岡本氏(貞之)	岡本氏(俊平)	
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

4 日記

シ-41	エ-87	エ-35	イ-887 -2	イ-887 -1	イ-642	エ-76	エ-75	イ-792
目録(嫁入りにつき) *下書き	〔御香料〕 *中身なし	〔御香料〕 *中身なし	進上(白銀、酒、御着、延紙など品目と進上者名書上) *結納品カ	進上(毛織、真綿、紅裏など品目書上) *結納品カ	〔出産の御岩井〕 <small>(マ)</small>	〔みつの祝儀につき入用など書状〕	〔七左衛門方親類の内一人まかり出るべきところ痛所あることを承知していただきたく書状〕	〔御令女様貰い受けの儀当月21日祝儀調えたく書状〕
						11月23日	7月19日	7月2日
	一バ吉兵衛	佐野屋久「」				八三郎	八三郎	八三郎
						忠太夫	忠太夫	忠太夫
状	封紙	封紙	状	状	状	状	状	状

ア-17 -1	ア-16 -1	ア-15 -1	ア-14	ア-13	ア-12	ア-11 -2	ア-11 -1	ア-10	ア-9	ア-8	ア-7 -1	ア-6 -1	ア-5
万代日並記	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	(白紙)	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり
日 享和2年戊正月吉	日 寛政13年酉正月吉	日 寛政12年申正月吉	日 寛政11年未正月吉	日 寛政10年午正月吉	日 寛政9年巳正月吉		日 寛政8年辰正月吉	吉日 寛政7年乙卯正月	吉日 寛政6年甲寅正月	吉日 寛政5年癸丑正月	日 寛政4歳子正月吉	吉日 寛政3年辛亥正月	吉日 寛政2年庚戌正月
岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)		岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)	岡本氏(定之)
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

ア-48 -1	ア-47 -1	ア-46	ア-45 -1	ア-44 -1	ア-43 -1	ア-42 -1	ア-41 -5	ア-41 -1	ア-40 -1	ア-39 -1	ア-38 -1	ア-37	ア-36 -1
万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	(しおりカ)	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記	万代日並記
	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり		*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり		*「九月廿四日迄書終候」 *挟込あり		*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり
吉日 文政10歳丁亥正月	吉日 文政9歳丙戌正月	吉日 文政8歳乙酉正月	吉日 文政□□ ^(七歳) 甲申正月	日 文政6歳未正月吉	日 文政5歳午正月吉	日 文政4歳巳正月吉		日 文政3年辰正月吉	日 文政2歳卯正月吉	日 文化15歳寅正月吉	日 文化14年丑正月吉	日 文化13年子正月吉	日 文化12年亥正月吉
		岡本	岡本氏	岡本	岡本氏	岡本氏		岡本氏	岡本氏	岡本氏	岡本氏(定之)	岡本氏	(岡本氏)
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

ア-69	ア-68	ア-67 -3	ア-67 -1	ア-66 -2	ア-66 -1	ア-22 -2	ア-22 -1	ア-21	ア-20	ア-65	ア-64 -1	ア-63	ア-62
万代日並記	万代日並記	(下敷用野紙)	万代日並記	(下敷用野紙)	万代日並記	(下敷用野紙)	万代日並記	万代日並記	(万代日並記)	(万代日並記)	万代日並記	万代日並記	万代日並記
*固着のため撮影不可部分あり			*固着のため撮影不可部分あり				*固着のため撮影不可部分あり		*表紙破損	*表紙破損	*固着のため撮影不可部分あり		
吉日 嘉永5壬子年正月	吉日 嘉永4辛亥歳正月		日 嘉永3庚戌正月吉		吉日 嘉永2己酉歳正月		吉日 弘化4丁未歳正月	吉日 弘化3年丙午正月	日 弘化2己未正月吉	天保15辰正月吉日	日 天保14卯年正月吉	祥日 天保13寅年正月吉	日 天保12丑年正月吉
岡本兵馬	岡本兵馬		岡本兵馬		岡本氏		岡本忠太夫	岡本忠太夫			岡本氏	岡本忠太夫	岡本忠太夫
堅帳	堅帳	状	堅帳	状	堅帳	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

ウ-306	ア-25	ア-24	ア-23	ア-76 -2	ア-76 -1	ア-75	ア-74	ア-73	ア-72	ア-71	ア-70
〔万代日並記下書カ〕 *写し	万代日並記	万代日並記	万代日並記	〔十一日、十二日条下書〕	万代日並記 *表紙「閏三月より万延元」、固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記	万代日並記 *固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *表紙「嘉永八卯年々」、固着のため撮影不可部分あり	万代日並記 *11月4日以降地震の記事あり
	吉日 文久3癸亥歳正月	吉日 文久2壬戌年正月	吉日 万延2辛酉年正月		吉日 安政7庚申年正月	吉日 安政6巳年正月吉	吉日 安政5戊年正月吉	吉日 安政4丁巳年正月	吉日 安政3丙辰年正月	吉日 安政2乙卯年正月	吉日 嘉永7寅年正月吉
	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬		岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬
状	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

シ-184	シ-125	サ-254	サ-238	サ-15	サ-12	ク-14	ク-12	キ-16	キ-14 -1	エ-113	エ-91	エ-31	ウ-402
〔和歌書付〕	〔漢詩カ〕	〔和歌詠草〕	〔漢文〕	〔漢詩〕	森田司馬太郎君見訪志喜〔漢詩二編〕	〔後龜山天皇宸翰、楠木正成書状ほか〕 *観心寺・神護寺所蔵文書の印刷物	寒山寺碑 *袋入り、拓本2通	〔漢詩〕	〔和歌懐紙〕 *封紙上書「進呈 岡本忠へ 雲」	俳句 *3通、45句	〔俳句下書き〕	〔俳句下書き〕	〔狂歌書付〕 *六歌仙の和歌が本歌
*下部破損		*朱筆	*後欠		*後欠カ								
							愈樾書	雲峰山人(印)	雲林				
状	状	状	状	状	状	状	一舗	短冊	封紙包状	状	状	状	状

ウ-400	ウ-378	ウ-361	イ-468	イ-352
〔いろは手習い〕	〔手習いカ〕 *上部破損	〔手習い〕 *3通あり	〔手習い〕	〔カタカナ手習い〕
状	状	状	状	状

b 手習い

ス-271	ス-270	シ-779	シ-778	シ-753	シ-736	シ-397	シ-231
詠草 *表紙号の横に「号ハ書ヘカラス実名ヲカクヘシ」	歌詞和 *朱筆あり	〔漢詩下書〕 *21通、朱筆あり	〔漢詩下書〕 *37通、朱筆あり	偏序題曲流の事 *シ-736の解説	書初 *和歌2首	〔戯れ歌〕	〔和歌短冊〕 *約70通、両面記載あり、開披不可
藤斎	岡本兵馬				光章	岡本おとゑ	光章ほか
横和小本	横和小本	状	状	状	状	状	短冊

ス-268	イ-292	ク-2	ク-6	ク-7・ 8	ス-269	イ-308	ス-267
麻疹養生録 全	関流算法史 *固着のため撮影不可部分あり	秘事百撰全	伝書四方之薫全 *挟込文書あり	大日本輿地便覧乾・坤	庚申略縁起 全	捧金九千本掘出候次第	〔法然伝〕 *表紙破損、末尾に南紀有田郡石垣庄正覚寺に逗留した際書写した旨あり
文久2年壬戌6月	嘉永5壬子仲秋白 月吉辰	嘉永元年申10月	天保15甲辰歳冬暢 月日	天保5年甲午5月	文化14丑年5月日	文化5年辰極月8 日	安永6年酉10月
若山初蔵	関末流武井周輔満正示之	河内屋源七郎、伊丹屋善 兵衛	文栄堂前川善兵衛		成我堂経師八左衛門	岡本氏(新次郎筆)	(源空)
豎小帳	豎帳	版本	和本	豎帳	豎小帳	状	横小帳

C 典籍

シ-763	シ-301	カ-36	カ-1	エ-101
〔手習い〕	〔習字〕 *朱筆にて「飛入」、「上等第六」	千字文 *表紙「拾四才ニテ書之」裏表紙「字之誤も無覚束候 賢(花)」	〔手習い手本 めほれつくし〕 *裏表紙はずれかけ、取り扱い注意。	〔手習いカ〕
*2通				
		前大僧正行尊		
状	状	豎帳	折本	状

ス-272	ス-42	シ-708	シ-707	サ-426	イ-293	ア-80	ウ-184	サ-16	ウ-266	サ-112	シ-102	シ-103	ケ-1 ~10
合武表七卷書 *表紙は反故を利用	慶応二酉寅六月十三日早朝合戦之事 *朱筆あり、長州征伐	〔絵入俳風喜多留〕 *見返しに「柳沢植五郎」	太夫早竹虎吉 *絵入本、芳豊画三札之内	拾金貧天下牢獄（備後国御調郡向島東村有森本麻右衛門者）	〔算法書〕 *固着のため撮影不可部分あり、題箋欠	天保世直口説全 *『和歌山県史』近世史料四に掲載	〔後藤又兵衛等合戦記録写〕	耶蘇教国害論 *印刷物	楠左衛門尉誓塚碑 *「慶応紀元冬十月大和森田益撰」裏表紙朱筆にて 〔紀元式千五百四十一年 筆生岡本忠 清軒蔵書〕	〔雑誌3冊〕 *驢尾団子第71・192号、我楽多珍報第113号	一の谷組討の段 *朱筆あり	東京新誌 第105号	春秋左氏伝校本（二）二十
							亥如月15日	明治14年10月御届	6月上旬 （朱筆）明治14稔夏	明治13年3月、明治15年7月	明治12年第9月	明治11年7月	明治4秋三刻
			錦車堂			岡本氏		斉藤吾一郎編	岡本忠（印）	団団社、浮西京絵社	（岡本宮次）		尾張秦鼎先生校賛
横半帳	縦帳	縦帳小	縦帳小	罫紙綴	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	冊子	堅帳	堅帳	和本

6 家計

a 講・頼母子

イ-958-1	イ-958-2	イ-958-3	ア-155	ウ-698-6	イ-211-1	イ-184	ス-148	ウ-594	ス-96	ス-88	ス-85	
覚 (頼母子銀懸不足につき)	通 (手取金内訳) *貼紙あり	通 (手取金内訳) *端裏に「子ノ十一月懸不足亀屋分当六月三日頼母子忠太夫分懸」	頼母子受印筋覚帳	頼母子懸銀之事(友七株につき)	差上申一札之事(福田村佐市頼母子懸銀質物差入につき) *封紙上書「一札 神宮寺隠居」	指入申一札覚(勇助株勝手不如意につき貴殿に頼母子の親請を願うにつき)	頼母子下受之事(喜助頼母子第六番取受につき請判願)	万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	指入申一札之事(喜惣八頼母子取請につき)	譲り渡シ申田地之事 *頼母子懸銀の礼銀として	譲り渡シ申田地之事	
文化14丑5月10日	文化13丙子年11月21日	文化13丙子年11月3日	文化8年未正月吉日	文化7 9月日	享和3癸亥3月晦日	寛政13年酉2月日	寛政3亥年4月日	天明5巳正月10日	天明4年辰11月日	安永9年子正月日	明和4年亥2月日	
持宝院使□□郎兵衛(印)	岡本忠太夫	持宝院納処(印)		岡本忠太夫	神宮寺隠居智嚴(印)	小川庄梅本村恒助(印)	福田村元八(印)	愛宕講中	取記人忠治(印)年寄弥一(印)喜八(印)庄や	了助(印)野市之助(印)口入一助(印)惣五郎(印)庄や弥一(印)岡本忠太夫(印)	口入忠助(印)年寄弥一(印)福田村(印)半太夫(印)河野左近(印)弥助(印)庄や九兵衛(印)岡本忠太夫(印)	樋下村譲り主儀右衛門(印)福田村
岡本忠太夫	持宝院	岡本忠太夫		延命寺	岡本忠左衛門	福田村岡本忠左衛門	岡本市左衛門		市左衛門	市左衛門	愛宕講中	
状	状	状	堅帳	状	封紙包状	状	状	横半帳	状	状	状	

ス-29	ス-20	イ-499	ス-61	ス-173	ウ-218	エ-99	イ-306	ウ-175	ス-98	ス-130	ス-1
愛宕講頼母子証定 虎之巻 *15匁掛、人数40、2・8月24日入札、ス-32と同内容	愛宕講頼母子箱証定 虎之巻 *ス-29・30内の抜書き	借用申銀子之事 (市場村武兵衛頼母子借用につき田畑差入) *下書き	拝借仕御講銀之事 *端裏書「五貫目 年賦 神野福田村」、小前のもの難渋のため	愛宕山頼母子通 *書込みなし	差入申頼母子請合手形之事 *下書き	口書一札之事 (市場村利兵衛頼母子筋につき)	借用申銀子之事 *封紙上書「借用手形延命寺」	福田村光明真言講中 *講親・人数・米預り・献立など	差入申手形之事 (市左衛門頼母子取受のため)	差入申手形之事 (瀧文右衛門頼母子取請の質物)	太子講頼母子証定帳 *挟込文書あり
天保14癸卯霜月	天保14卯霜月日	天保11年庚子霜月	天保11子10月日	天保7申3月	天保7申年3月日	天保5午年11月日	天保4巳年12月	文政10丁亥年10月 吉祥日	文政2年卯9月22日	文化15年寅2月8日	文化14年丑11月日
野釜瀧村金剛寺、連名40人 (印)河野左近(印)田尻次郎 (印)茂左衛門(印)親受岡本忠太夫、 延命寺世話人中(親延命寺 丸春(印)親受岡本忠太夫、 庄屋代門)ほか4名、 庄権次郎(印)田尻次郎	薬師堂箱親岡本忠太夫	本人福田村庄助、受人同 村弥助(奥書)庄屋岡本 忠太夫	神野福田村惣代林兵衛 (印)役人為次郎(印)庄 屋岡本忠太夫(印)	神野福田世話人中	福田村預り主新右衛門、 松瀬村受人豊助、喜市(奥 書)福田村庄屋新二郎	善右衛門、清左衛門、条助、受方 角藏、利兵衛、庄屋代門、 志賀野釜瀧村善右衛門、庄屋代 次郎、清左衛門、一家惣代文兵衛	借主延命寺(印)請人庄 助(印)頼母子親代岡本 新次郎(印)	延命寺、観音寺	角屋仁兵衛(印)下請為 次郎(印)	角屋仁兵衛	親市左衛門、親受岡本忠 太夫
		市場村武兵衛頼母子御 連中	御総分様御講掛り中		小川小野村寺頼母子儀 助	田中喜兵衛、岡本新次 郎	庄屋井上為次郎		岡本幸左衛門	岡本幸左衛門	
豎帳	豎帳	状	状	横半帳	状	状	状	横半帳	状	状	豎帳

ス-145-2	ス-145-1	ス-22	ス-21	ス-43	ス-24	ス-19	ス-145-4	ス-32	ス-31	ス-30
借用申薬師堂頼母子銀子之事 *封紙上書「証文 福田村純助 同村常右衛門」	差入申薬師頼母子銀子之事 *封紙上書「弘化四年第六番江 薬師堂頼母子証文 取主安兵衛 受人惣次」	永栄講勘定帳 *ス-21の下書き	永栄講勘定帳	借用申頼母子銀子之事 *封紙上書「愛宕頼母子 手形 河野氏」	薬師講頼母子証定 *ス-19と加入者名に異同あり	薬師講頼母子証定	薬師堂頼母子証定	愛宕講頼母子証定 虎之巻 *ス-29と同内容	愛宕講頼母子証定 龍之巻 *ス-30と同内容	愛宕講頼母子証定 龍之巻 *15匁掛、人数40、2・8月24日入札、ス-31と同内容
弘化5年戊申2月	弘化4未10月日	弘化4午年2月10日	弘化4午年2月10日	弘化3年丙午2月	弘化3丙午年2月8日	弘化3丙午年2月8日	弘化2巳年極月吉日	天保14癸卯霜月	天保14癸卯霜月	天保14癸卯霜月
本人(印)福田村常右衛門(印)純助 頼母子(印)親市場村左近(印)長屋 頼母子(印)親市場村左近(印)四郎(印)	取主安兵衛(印) 受人惣次(印)	板指指番中	板指指番中	(河野左近(印)受人安兵衛(印)権次郎(印)奥カウ)村役所フクク)	福田村薬師堂世話人中(親)親頼母子(印)田尻次郎(印)人数50人	福田村薬師堂世話人中(親)親頼母子(印)田尻次郎(印)人数50人	福田村薬師堂	延命寺世話人中(親)延命寺(印)親受岡本忠太夫、 茂左衛門(印)ほか4名、 辻権次郎(印)田尻次郎(印)野釜瀧村金剛寺、連名40人	延命寺世話人中(親)延命寺(印)親受岡本忠太夫、 茂左衛門(印)ほか4名、 辻権次郎(印)田尻次郎(印)野釜瀧村金剛寺、連名40人	延命寺世話人中(親)延命寺(印)親受岡本忠太夫、 茂左衛門(印)ほか4名、 辻権次郎(印)田尻次郎(印)野釜瀧村金剛寺、連名40人
中 薬師堂頼母子箱仲間衆	岡本忠太夫			愛宕山頼母子親受衆中						
封紙包状	封紙包状	豎帳	豎帳	封紙包状	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳	豎帳

イ-904 -20	ウ-174	ス-50	ス-49	イ-598	キ-10	ス-238	ス-39	ス-10	ス-145 -3	サ-131	ス-62	ス-41	ス-63
覚(拙院会所頼母子掛銀請取につき)	庄助方積取講式番口預り申銀子之事 *封紙上書「手形一通 岡本」	太々支銅銀之事(銀935匁恩借につき) *封紙上書「証文壱通 鎌瀧村中」	太々銅之事(289匁3ヶ年借用につき) *封紙上書「証文手形一通 桂瀬村中」	覚(貸付銀および白米書上) *但し当申10月より来る午4月まで10年賦年々両度返上	差入申下請之事(講席にて拝借のため質物として畠差人につき) *下部破損	愛宕講作米斗覚帳 *嘉永7年から慶応2年まで記載あり、元治2年後半と慶応2年は抹消	借用申頼母子銀子事	借用申延命寺頼母子懸銀之事 *14番口の懸銀を借用	薬師講頼母子之事 *封紙上書「薬師頼母子手形 村為藏」、端裏書「為藏」	覚(真田久藏分取次ぎ預け金受取につき) *記(43人分集金差引勘定につき)の書付あり	借用申頼母子銀子之事	借用申愛宕講頼母子銀子之事 *封紙上書「差入手形 当村本人 庄助」	拝借仕御講銀子之事 *封紙上書「誓紙一通 市場村伊兵衛」
子3月14日	慶応2寅年4月10日	元治元甲子年霜月日	元治元子之8月日	(万延元4月14日)	安政5午年4月21日	嘉永7寅年10月14日	嘉永3庚戌年2月24日	嘉永2年己酉極月	嘉永2酉年10月8日	嘉永2年閏4月28日	嘉永2乙酉年4月日	嘉永2己酉年2月日	嘉永改元申4月
持宝院納所(印)	二番会取主岡本兵馬(印) 箱物代岡本良兵衛(印) 受人井上八助(印)	鎌瀧村惣代角兵衛(印) 庄屋(印) 政右衛門(印)	桂瀬村惣代惣助(印) 年寄嘉兵衛(印) 庄屋九右衛門(印)	講中	かし主井上八助(印) 下請人伝次郎(印)		本人松瀬村常右衛門(印) 受人福田村房勝(印) 庄屋権次郎(印) カウノ村役所フクタ	本人常右衛門(印) 受人藤藏(印) 奥印 庄屋 権次郎(印) カウノ村役所フクタ	本人為藏(印) 受人安兵衛(印)	福田村岡本	本人周藏養子伊左衛門(印) 受人房助(印)	本人庄助(印) 受人弥助(印) 藤藏(印) 奥印 福田村庄屋 権次郎(印) カウノ村役所フクタ	本人市場村伊兵衛(印) 受人福田村河野左近(印) 奥印 市場村庄屋 宗兵衛(印)
神野岡本忠太夫	親脇衆中	御藏中、庄御役人中	庄役人衆中	延命寺	岡本御氏	愛宕講箱中間中	箱仲間衆中	薬師堂箱親岡本忠太夫	市場村喜三兵衛	愛宕山頼母子親請衆中	愛宕山頼母子親受衆中	岡本忠太夫、新店儀八	岡本忠太夫、新店儀八
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	横帳	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状

ウ-223	シ-672	ウ-231	ウ-176	イ-465	ス-265	ス-219	ス-147	ス-12	ス-9	ス-8	シ-756	シ-755
長寿講仮証定	頼母子掛金受取通 *明治16年旧7月まで	栄礎講証定 *下書き	掛金請取通	口上(積取講会合につき掛銀持参にて出席するよう依頼)	覚(頼母子不足ほか勘定書上)	[差引勘定書付] *金兵衛御講割前などあり	[頼母子掛金・不足金等書付] *12通あり	借用申明神講銀子之事 *封紙上書「手形 福田村 庄助」「田せ七歩 御高大豆式斗之所」、明神講24番口を借用	龍之巻取付	龍之巻掛銀之扣	覚(御講銀人別割付金額) *シ-744と関連	[人別銀書付]
明治15年午9月16日	明治15年6月ヨリ	明治14年第2月	明治7年11月日	(明治3年) 閏10月								
河野秀真、福田村岡本佐太郎	神野市場村頼母子親前中定	講本佐々本源之亟、柳沢	吉田幸助方相続講勘定元 (印)	利兵衛頼母子親請中				福田村本人庄助(印)受 人弥助(印)奥(印)同村 庄屋権次郎(印)抹消				
	福田村 岡本佐太良		岡本隆政	岡本兵馬				明神講御連中				
罫紙豎帳	横半帳	豎帳	袋入横帳	状	状	状	状	封紙包状	横帳	横帳	状	状

シ-352	サ-258	シ-58	シ-213	シ-460	シ-386	シ-376	シ-366	サ-104	シ-195	シ-546	サ-186	サ-409	ウ-232
〔講の二番会掛ケ金を請求する書状〕	口上〔積取講会台につき出席くださるようにつき〕 *刷り物	〔柳沢氏頼母子二番会戻り金を回金するよう依頼状〕 *田淵と野生分の二口	口演〔階楽講第一番会経営につき案内〕 *刷り物	〔坂部氏の頼母子加盟を依頼する書状〕	〔頼母子諸定帳を倅へ渡すよう願う書状〕	〔過日照会した王生講方を先方へ御願くださるよう依頼状〕	〔松瀬村柳沢広君会主式番会戻し方を調金するよう依頼状〕 *シ-352と関連	〔書入証書返却のところ該証紛失につき〕	記〔頼母子残り金受取につき〕	記〔榮礎講頼母子売払い残額受取につき〕	記〔二口勘定につき〕	仮証錠〔榮盛講規約〕 *朱筆にて加筆・訂正あり	仮定書〔坂部方頼母子榮寿講〕 *朱筆あり
旧6月27日	6月	6月7日	4月26日	4月6日	旧3月25日	旧2月25日	14日 (明治)19年旧8月	明治19年旧2月10日	日 (明治)18年5月7日	日 (明治)18年3月30日	日 (明治)16年旧7月12日	明治16年5月	明治15年
従釜瀧村 長谷川□□	利兵衛頼母子親請中	草田	階楽講世話人中	岡本(印)	岡本氏	阪部	長谷川□□	那賀郡福田村予城幸助	木畑むら吉田幸助(印)	那賀郡福田村岡本佐太郎 (印抹消)	岡本氏	講元柳沢広、親受松下惣兵衛、 原頭一郎、岡本佐太郎、堀深、 前田惣左衛門、前田博之助	講主坂部半三郎、親受柳瀬 数右衛門、同苗喜七郎、 山本又次郎ほか7名
福田村岡本佐太郎	岡本兵馬	岡本	岡本佐太郎	木村	柳沢	岡本	岡本佐太郎	梅本村林口幸左衛門、 中田村稲葉儀助、西林 大三郎	福田むら岡本佐太郎	全郡中村中西林助	次兵衛		
状	状	状	状	状	状	状	状	罫紙	状	罫紙	状	罫紙縦帳	縦帳

イ-32	イ-30	イ-29	イ-28	イ-27	イ-26
戌之暮惣勘定覚帳	酉之暮勘定覚帳	午之暮勘定覚帳	巳之暮勘定覚帳	辰之暮勘定帳	卯之暮勘定覚帳
*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり
寛政2年12月9日	寛政元年12月2日	天明6年12月22日	天明5年巳12月20日	天明4年12月2日	天明3年12月日
岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	忠太夫	岡本忠太夫
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

b 勘定帳

サ-328	サ-323	サ-38	シ-544	シ-223	シ-414	サ-351
委任状(拙者病気につき代人を定め英世講を委託)	那賀郡箕六村前田嘉兵衛頼母子会席旧九月廿三日人員割宛五名年忝席ノ積り	共融講々則	〔栄寿講・栄盛講につき出席を依頼する書状〕	口演(階楽講第式番会経営につき案内)	口演(曲谷吉田幸助階楽講四番会経営につき案内)	〔柳沢広殿会頼母子戻し金につき〕
				*刷り物	*刷り物	
			旧10月25日	10月日	10月7日	9月29日
和歌山県紀伊国那賀郡長谷谷 田中三郎	平助、岩橋孫右衛門、講元受赤松田湖、赤松平吉、世話人出納方世話人谷口兵助ほか13名	阪部半三郎	岡本	階楽講世話人中	階楽講世話人中	長谷川(印)
				岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本
状	状	野紙縦帳	状	状	状	状

イ-50	イ-76	イ-75	イ-74	イ-73	イ-72	イ-71	イ-70	イ-69	イ-68 -2	イ-68 -1	イ-48	イ-47	イ-46
未の七月勘定覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	午之極月勘定帳	午之七月勘定帳	巳之暮勘定覚帳	巳之七月勘定覚帳	辰之暮勘定覚帳	辰之七月勘定覚帳	卯之暮勘定覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	卯之七月勘定覚帳	覚(勘定違いにつき)	寅之暮勘定覚帳	亥之暮勘定覚帳(酒や) *固着のため撮影不可部分あり	亥之暮万勘定覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	戌之暮勘定覚帳 *固着のため撮影不可部分あり
文政6年	文政5年	文政5年	文政4年極月日	文政4年	文政3年極月日	文政3年	文政2年極月日	文政2年		文政元年極月日	享和3年	享和3年12月日	享和2年12月日
	岡本忠太夫	岡本忠太夫		岡本氏	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫		岡本忠太夫	市左衛門	岡本市左衛門	岡本金之助
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	横帳	横帳

イ-60	イ-59	イ-58	イ-57	イ-56	イ-55	イ-54 -2	イ-54 -1	イ-53	イ-52 -3	イ-52 -2	イ-52 -1	イ-51	イ-49
子之極月勘定帳	子之七月勘定帳	亥之極月勘定帳	亥之七月勘定帳	戌之極月勘定帳	戌の七月勘定帳	覚(とうふ・頼母子筋代銀不足につき)	酉の極月勘定帳	酉の七月勘定帳	覚(米代銀請取)	(銭高書上)	申の極月勘定帳	申之七月勘定帳	未之極月勘定帳
*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*54-1に括り付け	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*52-1に括り付け	*52-1に括り付け	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり
文政11年	文政11年	文政10年12月日	文政10年	文政9年極月日	文政9年	酉12月大晦日	文政8年12月日	文政8年7月日			文政7年極月日	文政7年7月日	文政6年極月日
岡本氏	岡本氏			岡本氏	岡本氏	勇二郎		岡本氏		勇二郎	岡本氏	岡本氏	岡本氏
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	状	状	横帳	横帳	横帳

ス-55	イ-698	イ-697 -2	イ-697 -1	ア-121	ウ-102	ウ-100	イ-149	イ-103	イ-102	イ-101	イ-100	イ-99	イ-98
幸左衛門諸借銀覚牒	若山千代野銀覚帳	覚(利分・木綿代おふさ分ほか代銀書上)	若山名取氏借筋覚帳	興山寺様御冥加上帳 *岡本忠太夫・河野左近・岡本幸左衛門・田尻平左衛門の地士4名	辰之暮金銀銭出入覚日記 *状態不良、撮影は一部のみ	銀取替并預帳 *開披不可のため撮影は表紙・裏表紙のみ	丑之暮取替覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	亥之極月勘定帳	亥之七月勘定帳	戌之極月勘定帳	戌之七月勘定帳	申の極月勘定覚帳	申之七月勘定帳
日 文政8年酉3月8	文化11戌年		文化11戌年	文化6年巳11月日	合 寛政8年12月12日	日 寛政6甲寅正月吉	寛政5年12月28日	天保10年	天保10年	天保9年	天保9年	天保7年	天保7年
			岡本忠太夫、同おもん	神野庄福田村	忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎	岡本氏
				興山寺様御役人中									
横帳	横半帳	状	横半帳	堅帳	横半帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

ウ-106	ウ-105	ウ-103	ウ-101	ウ-99	ウ-98
万覚帳 *ウ-107とは別内容	万覚帳	大福帳 *開披不可のため撮影は表紙・裏表紙のみ	万覚銀借帳 *状態不良、撮影は一部のみ	万覚帳 *状態不良	万覚帳 *ウ98〜ウ138は一括、固着のため撮影不可部分あり
日	日	日	日	日	日
寛政11年未正月吉	寛政10年午正月吉	寛政8年辰正月吉	寛政7年卯正月吉	寛政5年丑正月吉	寛政4年子正月吉
岡本金之助	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫
横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳

c 万覚帳など

シ-636	サ-424	イ-137	サ-32	シ-669	ス-186	サ-173
炭売揚帳	払方(庄より廻文持ほか代銀につき)	〔金銀差引勘定帳〕	〔払方・夫銭不足・租税4期上納ほか勘定帳〕 *朱筆あり	万手控(櫛売払値段、道作り人数他)	〔金銀出入帳〕 *借用・通筋・頼母子ほか	金銀出入萬帳
			(明治)19年頃	明治8年亥10月	日 元治元歳子霜月4	日 嘉永6癸丑2月18
				岡本姓		岡本良之助
横帳	横帳	横帳	罫紙横帳	小横帳	横帳	横半帳

ウ-136	ウ-135	ウ-134	ウ-133	ウ-132	ウ-131	ウ-130	ウ-129	ウ-128	ウ-127	ウ-126	ウ-125-2	ウ-125-1	ウ-124
大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	〔かし筋銀書付〕	大福帳	大福帳
日 文政6歳未正月吉	日 文政5歳午正月吉	日 文政4歳巳正月吉	日 文政3歳辰正月吉	日 文政2歳卯正月吉	日 文化15歳寅正月吉	日 文化14年丑正月吉	日 文化14年丑正月吉	日 文化13年子正月吉	日 文化12年亥正月吉	日 文化11年戌正月吉		日 文化10年酉正月吉	日 文化9年申正月吉
岡本	岡本忠太夫	岡本氏	岡本氏	岡本氏	岡本忠太夫	岡本幸左衛門	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫		岡本氏	岡本氏
横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	状	横半帳	横半帳

ウ-71 -3	ウ-71 -2	ウ-71 -1	ウ-70	ウ-69	ウ-68 -3	ウ-68 -2	ウ-68 -1	ウ-67	ウ-66	ウ-65	ウ-64	ウ-63	ウ-62
覚 (稲かり数)	おぼへ (勘定書付)	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	〔差引勘定書付〕	〔稲束覚〕	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳
				* 固着のため撮影不可部分あり		* 裏にも書付あり	* 綴紐切れ				* 固着のため撮影不可部分あり		
		日 天保10亥年正月吉	日 天保9戌年正月吉	祥日 天保8酉年正月吉			日 天保7申年正月吉	祥日 天保6未年正月吉	日 天保5午年正月吉	祥日 天保4巳歳正月吉	祥日 天保2卯年正月吉	祥日 文政13年寅正月吉	祥日 文政12年丑正月吉
		岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本新次郎			岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本氏	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎
状	状	横帳	横帳	横帳	状	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

ウ-80	ウ-79	ウ-78	ウ-77	ウ-75 -4~6	ウ-75 -3	ウ-75 -2	ウ-75 -1	ウ-76	ウ-74	ウ-73 -3	ウ-73 -2	ウ-73 -1	ウ-72
金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳	金銀銭出入万覚帳	〔断簡〕	〔代金書付〕	〔麦高書付〕	金銀銭出入万覚帳	金銀銭出入万覚帳	金銀出入万覚帳	〔稻刈数覚カ〕	〔32匁かしにつき〕	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳
*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*こより部分に括り付け	*こより部分に括り付け		*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり			*固着のため撮影不可部分あり	*固着のため撮影不可部分あり
弘化5 戊申歳正月 吉日	弘化4 丁未年正月 吉祥日	弘化3 丙午年正月 吉祥日	弘化2 巳年正月吉 祥日				天保15 辰年正月吉 祥日	天保14 卯年正月吉 日	天保13 寅年正月吉 祥日			天保12 丑年正月吉 日	天保11 子年正月吉 祥日
岡本兵馬	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫				岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫			岡本忠太夫	岡本忠太夫
横帳	横帳	横帳	横帳	状	状	状	横帳	横帳	横帳	状	状	横帳	横帳

ウ-87 -1	ウ-86	ウ-85	ウ-84	ウ-83 -1	ウ-82 -7	ウ-82 -6	ウ-82 -5	ウ-82 -4	ウ-82 -3	ウ-82 -2	ウ-82 -1	ウ-81 -2	ウ-81 -1
金銀万出入覚牒	金銀万出入覚牒 *固着のため撮影不可部分あり	金銀万出入覚牒 *固着のため撮影不可部分あり	金銀万出入覚牒 *固着のため撮影不可部分あり	金銀出入万覚帳	〔かり銀書付〕	〔差引勘定不足につき〕	〔喜助分銀書付〕	〔米・大豆差引勘定過納につき〕	〔錢書付〕 *頼母子関係カ	〔米高書付〕	金銀出入万覚帳	〔麦高書付〕	金銀出入万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり
安政2卯年正月吉 祥日	嘉永7寅年正月吉 祥日	嘉永6丑年正月吉 祥日	嘉永5壬子正月吉 祥日	嘉永4辛亥歳正月 吉祥日							嘉永3庚戌正月吉 日		嘉永2己酉年正月 吉日
岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬							岡本兵馬		岡本兵馬
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	状	状	状	状	状	横帳	状	横帳

d 勘定書

7-32 -2	ウ-97	ウ-96	ウ-95	ウ-94	ウ-93	ウ-92	ウ-91 -2	ウ-91 -1	ウ-90	ウ-89	ウ-88	ウ-87 -2
覚(酒代金につき)	金銀出入万覚帳 *表紙「改慶応元年」	金銀出入万覚帳 *表紙「二日今元治元年」、固着のため撮影不可部分あり	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳 *綴紐切れ、鼠害あり	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	〔罫紙〕	金銀出入万覚帳	金銀出入万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	金銀出入万覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	金銀万出入覚牒 *固着のため撮影不可部分あり	覚(今年分給銀書付)
25日 (文化8年)未7月	吉日 元治2乙丑年正月	吉日 文久4甲子年正月	吉日 文久3癸亥歳正月	吉日 文久2壬戌年正月	吉日 万延2辛酉年正月	吉祥日 安政7庚申年正月		吉祥日 安政6己未年正月	吉祥日 安政5戊午年正月	吉祥日 安政4丁巳年正月	吉祥日 安政3丙辰年正月	
岡本	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬		岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	
酒屋久兵衛												
状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	横帳	横帳	状

シ-6	ス-253	イ-551	イ-450	イ-544	イ-543	イ-448	ス-146-4	ス-146-3	ス-146-1	ス-146-2	ウ-502	ウ-422	イ-956
覚 (地黄丸ほか代銀受取差引勘定につき)	覚 (支分元高・馬壱疋ほか代金)	覚 (紺地布につき)	覚 (かんざし代)	覚 (こん直し代銀)	覚 (はさみ・かま直し代)	覚 (勘定書上)	(井上・岡本・惣太郎分受取につき) *2通あり	覚 (村方出しほか差引勘定)	(勘定書付) *3通あり	庄左衛門家材諸道具附立扣	覚 (差引勘定後帳面引合せにつき)	(金銭書上覚)	請取申年賦金銀之事
卯極前	丑閏5月14日	子12月	子10月 ^念 日	子7月日	子7月	子7月29日				日 元治2丑年3月23	嘉永5年極月9日	天保9酉年	日 文政元寅年極月19
玉屋又兵衛		こんや武兵衛	九品寺村坂部半次郎	武田屋権次郎	市はかしや	新店儀八		鎌瀧庄や		同人親類中			銀奉行舎那院(印)
岡本忠太夫		ふく田岡本	合田屋利兵衛 ^念	岡本忠太夫	福田村忠太夫	岡本忠太夫							岡本忠太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	横帳	状	状	状

ウ-504	イ-656	シ-98	シ-20	シ-19	シ-5	シ-4	シ-2	ウ-427	イ-667	イ-589	イ-626	イ-647	イ-485
覚 (代銀につき)	覚 (酒代銀につき)	覚 (傘・しよかさとうほか代金受取につき)	覚 (着物代銀につき)	覚 (代銀につき)	覚 (酢・びん付・さとうほか代銀受取差引勘定につき)	覚 (酒・麴他代金につき)	覚 (からかさ・さとう・ちゃん等代金受取につき)	覚 (代銀につき)	覚 (羽織・小紋生地代銀につき)	覚 (まん十代ほか代銀書上)	覚 (残り・わり銀高書上)	覚 (いも代ほか差引勘定書上)	覚 (生地・仕立賃代銀)
辰7月	辰盆前	卯極月	う12月	卯極月分	卯極月	卯極月	卯極月	卯12月	う12月	卯極月	う大晦日 ^(卯)	卯12月24日	卯極月18日
一ばかじや	かもや藤次良	やすだや円蔵	直引屋周助	うおや利右衛門	勘右衛門	橘屋善兵衛	やまだや	動木□兵衛	溝口こん屋利介	ノ ^(カ) 三郎	指純		ぶらくり丁山形屋儀助 (印)
福田 忠太夫	岡本御氏	福田村岡本忠太夫	岡本	岡本	岡本	岡本	をか本忠太夫	岡本氏	福田村岡本御氏	岡本	岡本御氏		岡本兵馬
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

*抹消済

ウ-517	サ-282	サ-281	シ-525	シ-523	シ-518	ウ-322	イ-526	ウ-459	ウ-451	ウ-450	ウ-449	ウ-448	ウ-446
おほへ（弥兵衛かし、市場村ほか勘定につき）	覚（盆前・盆後差引勘定につき）	〔代銀勘定につき〕 *5通	覚（魚代銀につき）	覚（ずきん・綿入仕立ほか代銀につき）	覚（代銀書上） *シ-518から527まで折込一括	覚（日別銀書上）	覚（上油直段、鍬、仏とうばほか代銀につき） *6枚綴り、抹消済のものあり	覚（酒ほか代銀）	覚（代銀・取替金勘定）	覚（酒代ほか勘定）	覚（かま・なたほか代銀）	覚（染代ほか勘定）	覚（勘定書上）
未5月日	未正月5日	未正月ほか	午12月日	午極月	午極月日	午7月	午7月	巳極月	巳12月日	巳12月	巳12月	巳極月	ミ12月
岡本	指尾	イづ忠ほか	とめや利右衛門	針嘉蔵	新右衛門	湯川	かじ栄吉ほか	さかや平吉	新店儀八	安蔵	かじ屋庄兵へ	動木越屋善右衛門	市は酒や
庄助	岡本御氏	岡本氏	福田岡本御氏	岡本新次郎		岡本御氏	福田忠太夫	岡本御氏	岡本兵馬	岡本	福田 忠太夫	福田 岡本氏	神野福田村岡本忠太夫
状	状	綴	状	状	状	状	綴	状	状	状	状	状	状

シ-582	シ-577 ~580	シ-576	シ-586	サ-28	シ-660	シ-540	シ-551 -4	シ-675	サ-344	サ-440	シ-561	サ-385	サ-108
〔松瀬村分明治20年度地方税地租割第二期領収につき〕 *印刷物	〔福田村分明治20年度地租領収につき〕 *印刷物	〔福田村分明治21年度第一期畑宅山地租領収につき〕 *印刷物	領収証(新聞代) *印刷物、7月~11月分まで4通	証(金銭領受につき)	覚(47銭7厘受取につき)	〔恩地鶴吉ほか割受取につき〕	記(地方税地租割の内受取につき)	記(新聞代受取につき) *5・6月分の2通	覚 <small>(除簡)</small> しうろなゑ代ほか勘定済につき)	〔新聞購読くださったたく葉書〕 *印刷	記(春慶椅子三脚代価受取につき)	記(なべふた・釘代ほか受取につき)	記(昼飯ほか代金受取につき) *印刷物
明治21年10月27日	明治21年10月18日	明治21年8月24日	明治21年8月~11月	日(明治)18年2月14日	明治18年2月1日	(明治17年頃)	明治17年7月21日	明治17年5月30日、6月30日	20日(明治)17年旧2月	明治16年12月3日	明治16年4月29日	日(明治)16年正月10日	明治13年6月1日
筆生中西善之丞(印)	戸長小壺長之助(印)	戸長小壺長之助(印)	那賀郡動木村吉村藏助(印)	河野	谷口		戸長植田半七郎(印)	中野上村大字椋木赤松新聞舎(印)	村与七(拇印)	和歌山八番町二番地奎文社	(印)若山表橋北詰角萬指物仕入所鎌田佐太郎		日高郡龍神上御殿事龍神良之助(印)
福田村岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本忠	岡本	岡本佐太郎		岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本	那賀福田村戸長役場	那賀郡福田村岡本佐太郎		上
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	葉書	状	状	状

ウ-386	ウ-338	シ-479	ウ-304	イ-456	シ-475	シ-478	キ-20	サ-120	サ-119	サ-125	サ-122	サ-123	サ-124
覚(次兵衛差引勘定に付不足)	おほへ(安左衛門残金につき)	記(中飯・煙草ほか代金受取につき)	覚(直段働き代銀)	覚(人參、麩ほか代銀)	記(包丁、鋸かま・なた他代金請取につき) *抹消済み	記(くわさき・鍬ほか代金受取につき)	証(金受取につき)	[明治31年度村税ほか領収書一括] *3通折込一括、朱筆にて金額訂正	[明治30年度村税ほか領収書一括] *6通	[明治30年度1期分地租につき] *朱筆にて訂正あり	令書(明治30年度前半期分地方税戸数割税領収書) *印刷物	[明治30年度3期分田租につき] *印刷物	[明治29年度戸数割税につき領収書一括] *2通折込一括
3月19日	3月19日	2月21日	2月9日	2月6日	午12月	午7月	明治31年10月24日	明治31年4月28日	明治30年10月28日	明治30年9月15日	明治30年5月29日	明治30年1月1日	明治29年5月27日
		紀の鉄(印)	竹屋惣兵衛		志賀のかじや	志賀のかじや	大字福田新家竹松(印)	那賀郡下神野村収入役坂中宗右衛門(印)	那賀郡下神野村収入役松下芳太郎(印)	(納入告知書)那賀郡下神野村長河野秀貞(印)領収証書)収入役松下芳太郎	那賀郡下神野村収入役松下芳太郎(印)	(納入告知書)那賀郡下神野村長河野秀貞(印)領収証書)収入役松下芳太郎	下神野村収入役松下芳太郎(印)
		上	豊屋治太郎		福田岡本佐太郎	福田岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本茂左衛門	岡本佐太郎	岡本佐太郎	澤浅松
状	状	状	状	状	状	状	状	状	綴	状	状	状	状

サ-257	エ-97	シ-12	イ-343	サ-194	ウ-551	ウ-479	ウ-461	イ-525	イ-505	ウ-466	イ-483	シ-530	サ-289
注文書覚(壁塗りにつき縄・人足代金)	覚(仕立賃他代金につき)	覚(柿・わら数量書上)	覚(大豆受取申候)	記(浄釘百本ほか代金につき)	覚(手拭三ツほか代銀)	覚(酒代勘定)	覚(酒ほか代銀)	覚(ろうそく代・薪他代につき)	覚(銃三丁ほか代銀)	覚(人足賃金につき)	覚(油代銀勘定)	記(筆・上草子ほか代金につき)	覚(上半紙ほか代銀につき)
8月24日	8月18日	8月17日	8月3日	旧7月日	7月暮出し	7月	7月	7月前	7月日	7月13日	7月12日	7月6日	7月4日
	円鏡 <small>の</small>	中助、豊屋為藏	平野屋金三郎(印)	角野店	こんや次助		さかや平吉	米平	いづ兵衛	大工伝次郎	油清	(印)那賀郡福田村角谷忠右衛門)	(印)神 いづ忠 復)
			神野吉兵衛	岡本佐太郎	岡本御氏		伊兵衛	岡本	岡本氏	岡本氏	岡本氏	岡本	岡本御氏
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

*抹消済み

シ-44	シ-43	シ-42	シ-23	シ-22	シ-21	シ-15	シ-8	サ-367	サ-348	サ-343	サ-291	サ-288	サ-278
覚(代銀書上)	覚(紬壹反ほか代銀につき)	〔勘定書付〕	〔酒代ほか差引勘定書付〕	〔勘定書付〕	覚(数量・代銀書上)	〔荷物代銀につき〕	おほへ(勘定書付)	記(17年度の計算につき)	記(酒肴代銀受取につき)	覚(米代ほか差引勘定)	覚(いたやき・かさどりほか品名数量書付)	〔代銀書上げ〕	覚(半紙一丈ほか代銀につき)
				*下書き	*後欠	*両面書付あり							
新店儀八	直引屋庄助	岡本氏								平右衛門			イづ忠
岡本氏新治郎	岡本									岡本		岡本	岡本氏
状	状	状	状	状	状	状	状	状	罫紙	状	状	状	状

ス-217	ス-177 -1	ス-45	シ-774	シ-750	シ-705	シ-527	シ-521	シ-519	シ-504	シ-495	シ-440	シ-413	シ-251
〔金銭出入書上〕	〔差引勘定書付〕	覚(嘉七分受取につき)	〔金額書付〕	覚(人別銀額書付)	〔正味金額書付〕	〔勘定書付〕	覚(人しん・かふらほか代銀につき)	覚(払い代銀勘定につき)	覚(かけ金・つるべほか代金につき)	記(金子書付)	覚(半紙・ろうそくほか代金)	〔めん20ほか代金書付〕	記(布施札代ほか差引勘定につき)
*両面書込		*折紙										*抹消	
							武四郎		良助		角谷		
							岡本		岡本新治郎				
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	罫紙	状	状	状

ス-275 -3	ス-264	ス-262	ス-250	ス-236	ス-223	ス-221	ス-220	ス-218
〔勘定書上ほか〕 *43通	覚(筒代差引勘定)	覚(鉄砲二丁代金受取)	覚(製茶買請につき)	覚(大小札合わせて3貫315匁につき)	〔銀勘定書付〕 *「讓渡申田地之事」の反故	覚(札・金勘定につき)	〔辰年代金差引につき〕	覚(代銀書付につき)
(いろいろあり)			若山本人福寿園					
(いろいろあり)		手平をりべ	岡本					
状	状	状	状	状	状	状	状	状

五 高野隊関係

ス-257	ス-158	サ-162	ク-10
〔明くる14日北越へ御供につき発足を知らせる書状〕	〔出役の沙汰があるまで恭順謹慎心得ちがいないようにつき〕 *写し	〔兵部卿宮守衛として扶持宛につき〕 *2人扶持宛の口達と北越従軍のものに1人扶持加増の賞状の写し	扣(仁和寺宮様御守衛名前書上、定) *帳末に薩藩大久保市蔵の上書写あり
□月13日 (6セ)	辰11日	(慶應4戊辰4月、 明治元戊辰12月)	慶応4戊辰年2月 日
(御室二而)寅吉	印 仁和寺宮書役久富遠江介 (マ)	総分衆評印	岡隆重
岡本兵馬	高野山興山寺領民中	湯浅加一郎隊士各通	
状	状	状	横半帳

サ-332	サ-103	サ-423	サ-468	サ-413	サ-470	サ-465	サ-453	サ-452	サ-446	サ-417	ク-9	ス-252
記(旧卒軍隊五十五名より哀願上京の際費用につき)	後見御届(畠山植治幼年にて分家柳沢広を後見人とさだめるにつき) *末尾に朱筆にて承認の旨あり、サ-144と関連	郷士諸費(認工、紙代ほか代金につき)	神野組中郷士共世代給録御調らへ寺務所々五條県出シ之扣 *表紙「但し旧寺領中一統於郷士連名帳付添」	御尋ニ付御届書上候(仁和寺宮様御守衛につき)	御届書(仁和寺宮様御守衛につき)野手長子善兵衛、次男豊三郎履歴) *同文のもの合綴	上(仁和寺宮様御守衛植田半七郎履歴)	上(仁和寺宮様御守衛弟安次郎履歴)	上(仁和寺宮様御守衛悖恒三郎履歴)	上(仁和寺宮様御守衛悖平左衛門履歴)	(仁和寺宮様御守衛川野順平履歴)	岡本由諸書 五条県江差出扣 *「御尋ニ付書上」、「御届書」、「奉歎願口上」、「御尋ニ付書上」、「奉歎願書上」を合綴	乍恐奉願上口上(金35兩程拝借願) *北越に御供し現在は御所詰、桜井庄兵衛カ
日	明治22年旧2月7日	明治18年12月	明治7年5月15日	明治4辛未年5月3日	明治4辛未年2月	明治4辛未年正月	明治4辛未年正月	明治4辛未年正月	明治4辛未年正月	明治4辛未年正月	明治3午7月2日	明治2巳6月日
	上京委員湯浅嘉一郎(印)	那賀郡松瀬村平民戸主畠山植治、市場村親戚松山、福田村親戚本佐太郎、松瀬村後見人柳沢広	岡本新二郎	岡本茂左衛門(印)【奥印】 庄屋円二郎(印)	紀州那賀郡神野組津河村郷士野手定右衛門(印)【奥印】 印「津河村庄屋宗兵衛」	神野組赤木村地土植田半七郎(印)【奥印】 兵衛(印)【奥印】 庄屋善	神野組福田村拾式世田尻次郎(奥印)神野組福田村庄屋次郎(印)年寄伝次郎(印)	左衛門(印)【奥印】 太兵衛(印)【奥印】 庄屋伊	神野組市場村地土坂上伊庄屋政右衛門(印)【奥印】 西山利右衛門(印)【奥印】 庄屋	神野組鎌瀧村地土二代目屋文兵衛(印)【奥印】 川野順平(印)【奥印】 紀州那賀郡神野組箕六村	神野組福田村郷士岡本新二郎隆政	三尾川村庄兵衛、親類房吉
	神野小川志賀野惣代岡本佐太郎	戸長堀深		五條県庁御役所	五條県御役所	五條県庁御役人中	五條県庁御役人	五條県庁御役人中	五條県庁御役人中	五條県御役所	五條県庁御役人	旧御総分様兵隊御掛り中
状	紙	綴	縦帳	縦帳	綴	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	綴	縦綴	状

シ-208	シ-678	シ-218	サ-358	サ-333	シ-584	サ-226	サ-222	サ-234	シ-206	シ-202	シ-201	シ-105
〔請願書の附属書類が出来次第持参することを伝える書状〕	〔湯浅君より別紙のごとく照会につき出頭を願う書状〕 *別紙シ-218カ	〔旧我隊士より請願件につき和歌山市匠町保田宿迄出張くだされたく書状〕	〔拝借した旧高野隊請願書を返却につき書状〕*一部は謄写し差上	記(金19円受取くだされたきにつき)	〔旧隊のことで相賀久茂君も諸君へ面談致したく書状〕	〔刀一振りお登しく下さるよう書状〕 *サ-222の中身カ、省内にて月に二両も頂戴	〔封筒〕 *中身なし、裏「兵部省五番小隊二而」	〔徴兵人数差出につき書状〕	〔復縁併に復族願除名につき書状〕 *毛原の平方(不明)・大谷の兩人征清総督送別の為隊士惣代として出発	〔請願運動費金申請のため此者へ御投与くださりたい旨の書状〕	〔復縁および復族願に東京へ出発と同時に広島表小松宮殿下のもとへ赴くべき旨の書状〕	戦功御賞与之儀ニ付請願 *北越戦争従軍の「証明書」・「行政官感状之写シ」と「大和国十津川郷士動援出兵ノ際鎮察使正親町殿 高野隊士へ賞状ノ写シ」あり
4月25日	4月22日	4月20日夕投函	3月30日	3月8日	2月9日	2月朔日	2月朔日	午12月18日	(明治28年)	(明治)28年4月12日 日正午出	(明治28年)3月21日	明治25年月日
丸ノ内九番丁湯浅	野村 宮本氏	(湯浅加一郎カ)	湯川平二郎	大西依	名出氏	忠造	同忠造	磯七郎右衛門	湯浅加一郎	(和歌市九番町)湯浅加一郎(印)	湯浅加一郎	元御親兵旧兵部卿宮御旗本隊 高野郷士五拾五名総代和歌山 県紀伊国那賀郡麻生津村大字 麻生津湯浅加一郎、伊都郡見 好村大字教良寺西村平兵衛
匠町保井方岡本	福田岡本佐太郎	宮本勇、岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本	岡本	福田岡兵馬	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎、宮本勇	
封筒入状	状	罫紙	封筒入状	状	状	状	封筒	状	封筒入罫紙	封筒入状	封筒入罫紙	罫紙綴

サ-272	ス-168	ス-208	ウ-564	ス-234-2	ス-234-1	ス-234	ス-231	ウ-307	ス-235	ウ-403	サ-241	サ-271	サ-264
〔京都の寒さ誠にきびしく調練正足拵えたく書状〕 *岡本氏へ借用をお願いし身内からも頼むよう	〔京都に着き入用のため金札10両拝借を願う書状〕 *毎日調練のため着替えを拵えるため	〔御舎弟26日に御室屯所着27日に兵部省入省を知らせる書状〕 *封筒上書「神野福田村 岡本兵馬様 無事 早々 柳沢広」十一月二日認メ 従処兵部省	〔扶持方の書付握らずては除隊致す訳に参らず旨承る書状〕	〔鉄砲・銅らん共岡本氏上京につき請取置くださるよう書状〕	〔私病気につき全快次第上京するので用捨を願う書状〕	【書状一括】 *未開封文書を開封	〔京師出兵取締方より15日迄に京着するよう書状〕	〔周易経だけ暫時貸借願上たきにつき〕	〔相賀様高松様へよろしく伝えるよう書状〕	〔河野惣領ほか都合5人上京御守衛につき差紙〕	〔郷士由緒書お調べにつき書状〕 *破損	〔交代届けかたがた登山のところ腹痛につき書状〕 *善宝院にて柳沢様に面会	〔郷士無代給祿の有無至急取調べを願う書状〕
11月23日	11月12日	11月2日認メ	10月20日認	10月15日	10月15日		10月11日	神無月2日	9月8日	7月26日	7月3日	5月19日	5月1日
定助	同忠造	兵部省ニて柳沢広	忠造	大澤時太郎	大澤時太郎	小川梅本村大澤時太郎	高松左一郎	岡本忠蔵	河野正兵衛	総分役者妙観院 ^(九)	岡本兵馬	忠三	寺務所役人田中哲助
御内	岡本	神野福田村岡本兵馬	御尊家	相賀五左衛門	御室御附属中	衛門 京都御室内 相賀五左	岡本兵馬	岡本御氏兵馬、宮本ノ氏、畠山ノ氏	岡本兵馬	福田村岡本兵馬	正堤院	岡本	岡本新二郎
状	状	封筒入状	状	状	状	封紙	状	状	状	状	状	状	状

イ-228	ク-22	ク-28	ク-30	イ-251	ス-127	ス-119	ス-100	イ-248	ス-125	ス-87	ス-121	イ-230	ク-18	
譲り渡し申田地山林之事 *端裏書「古証文市は善兵衛」	譲り渡し申山林之事	譲り渡し申山林之事	譲り渡し申山林之事	譲り渡し申畑ケ之事	譲り渡し申田地之事	譲り渡し申田地之事	譲り渡し申田地之事 *挟込文書あり	譲り渡し申畑之事	譲り渡し申田地之事 *挟込文書あり	譲り渡し申田地之事	譲渡申西田株諸一跡之事 *封紙上書「西田株諸跡証文」、常楽院、弥右衛門、茂兵衛頼母子三口含む	譲り渡し申田地之事 *端裏書「門およし」	譲り渡し申山林之事	
明和8年卯霜月日	明和8年卯7月日	明和7年寅12月日	明和7年寅7月日	明和6年丑12月日	明和6年丑3月日	明和3年戌2月日	宝暦14年申4月日	宝暦13年末12月日	宝暦12年午極月日	宝暦12年午2月日	宝暦9年卯12月	宝暦9年卯3月日	宝暦8年寅9月	
岡本忠太夫(印) 福田村(印) 吉右衛門(印) 年寄七兵衛(印) 庄屋市左衛門(印) 河野市之助(印)	門(印) 主林太夫(印) 年寄藤八(印) 忠五郎(印) 岡本忠太夫(印)	市八(印) 主久七(印) 年寄多右衛門(印) 義左衛門(印) 岡本忠太夫(印) 庄や	市八(印) 主勘四郎(印) 年寄多右衛門(印) 儀左衛門(印) 庄や	五郎(印) 主周次(印) 儀左衛門(印) 岡本忠太夫(印) 庄や 河野市之助(印)	夫(印) 主左衛門(印) 年寄為八(印) 庄や 河野市之助(印) 岡本忠太夫(印)	本(印) 主庄右衛門(印) 年寄茂兵衛(印) 庄や 河野左近(印) 利兵衛(印) 岡本忠太夫(印)	岡(印) 主庄右衛門(印) 年寄忠左衛門(印) 庄や 河野左近(印) 孫助(印) 岡本忠太夫(印)	吉(印) 主周次(印) 年寄喜七(印) 庄や 河野左近(印) 兵衛(印) 岡本忠太夫(印)	岡(印) 主半太夫(印) 喜兵衛(印) 庄や 河野左近(印) 文吉(印) 喜八(印) 庄や 河野左近(印) 兵衛(印) 岡本忠太夫(印)	本(印) 主神宮寺(印) 喜八(印) 庄や 河野左近(印) 文吉(印) 喜八(印) 庄や 河野左近(印) 兵衛(印) 岡本忠太夫(印)	夫(印) 主孫右衛門(印) 年寄了助(印) 庄や 河野左近(印) 伊右衛門(印) 岡本忠太夫(印)	岡(印) 主弥兵衛(印) 年寄了助(印) 庄や 河野左近(印) 伊右衛門(印) 岡本忠太夫(印)	夫(印) 主孫右衛門(印) 年寄茂兵衛(印) 庄や 河野左近(印) 善門(印) 岡本忠太夫(印)	譲り主孫右衛門(印) 年寄茂兵衛(印) 庄や 河野左近(印) 善門(印) 岡本忠太夫(印)
市場村善兵衛	庄屋市左衛門	忠左衛門	岡本忠太夫	房藏 源内	本満房	市左衛門	為八	源内弥一郎	為八	安八	安八	門およし	安八	
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	

ス-109	ス-92	イ-242	イ-185	ク-34	ス-73	イ-223	イ-232	イ-244	イ-235	ス-118	サ-67	ク-29	イ-200	
譲り渡し申畑之事	譲り渡し申畑山林之事 *封紙上書「畑譲証文 福田村甚助」、(印)部分破り取り	譲り渡し申田地之事	譲り渡し申田地之事 *端裏書「万之助」	譲り渡し申城山之事 *下部破損、城地無高所	譲り渡し申田地之事 *端裏書「たうり田 半左衛門」	譲り渡し申畑山林之事 *固着のため撮影不可部分あり	譲り渡し申田地之事 *端裏書「古證文 神宮寺」	譲り渡し申畑ケ之事 *端裏書「清蔵やしき」	譲渡シ申田地之事	譲り渡し申畑ケ之事	譲り渡し申山林田地之事 *封紙上書「池谷山林田地証文 松瀬村弥七」、後欠の文書1通同封	譲り渡し申山林之事	譲り渡し申家やしき畑之事 *端裏書「市左衛門」	
文化3年寅12月日	享和3年亥12月日	享和3年亥2月日	享和2年戌11月日	寛政9年巳12月日	寛政5年丑正月日	寛政2年3月	寛政元年12月日	天明7年未霜月日	天明7年未2月	天明6年午3月日	天明6年午3月日	天明5年巳12月日	天明4年辰11月日	
市一忠福 郎右衛門(印)藤田村年寄多市松瀬村口入 (印)岡本忠太夫(印)河野修理(印)														
松瀬村弥七	甚助	志賀野庄松瀬村弥七	万之助	岡本忠太夫	岡本半左衛門	□	神宮寺	岡本市市左衛門	市左衛門	市左衛門	松瀬村弥七	市左衛門	市左衛門	
状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	

キ-35	キ-61	キ-21	サ-14	キ-40	キ-53	シ-436	キ-43	キ-19	ク-49	ク-42	イ-198	イ-899-2	イ-899-1
契約書（所有の地を売渡しにつき）	土地売渡証書	土地及建物売渡証 * 標題の「及建物」は朱筆にて後補	地所売買地券書換願	土地売渡証書 * 「官許」用紙	売渡申田地之事	地所売買地券書換願 * 2通あり	土地売渡証書 * 「官許」用紙	土地売渡証書 * 「官許」用紙	土地売渡証書 * 封紙上書「土地売渡し証 那賀郡松瀬村 坂佐右衛門」、 「和歌山県那賀郡松瀬村外十一ヶ村戸長役場」印あり	〔田地山譲り証文〕 * 開披不可、標題等は封紙上書から	譲り渡し申田地之事 * 固着のため撮影不可部分あり、封紙上書「田地証文中伊勢講中」	覚（山代銀の内御渡しにつき）	買請一札（杉山1カ所代銀2貫目）
明治32年7月17日	明治32年7月2日	明治20年3月20日	明治20年3月3日	明治20年3月3日	明治18年3月22日	明治17年	明治17年4月24日	明治17年1月14日	明治16年3月24日			8月7日	未8月
地所売主尾上市松（印）	売主尾上市松（印）	福田村売渡人南忠左衛門 （印）証人岡本茂左衛門	那賀郡福田村売渡人別所 字左衛門、買受人岡本佐 太郎	売渡人別所字左衛門（印） 証人南忠右衛門（印）	桂瀬村売渡人坂佐右衛門 （印）証人柳沢広（印）	那賀郡福田村売渡人中栄 三郎、買受人大野乙五郎 戸長岡本佐太郎	岡本平兵衛（印）（奥書）証人 長代理筆生井上為次郎（印）	売渡人小林武八（印）証人 長代理筆下生井上為次郎（印）	売渡人那賀郡松瀬村坂佐 右衛門（印）証人柳沢広 （印）（奥書）戸長堀深（印）	田尻平左衛門	□ □	有田三川繁右衛門	有田三川繁右衛門（印）
買主岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本平兵衛	那賀郡長尾玉仲児	岡本佐太郎	買主岡本佐太郎	那賀郡長松山管吾	岡本佐太郎	岡本佐太郎	同郡福田村岡本佐太郎		□ □	神野福田村岡本忠左衛 門	岡本忠左衛門
罫紙	罫紙縦帳	状	罫紙	罫紙	状	罫紙	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状

七 貸借

イ-317	イ-316	イ-315	ウ-200	ス-64	エ-82	イ-1021	ウ-698-7	イ-830	ク-16	シ-456	キ-55	キ-25
借用申明神御供米之事	借用申明神御供米之事	日御供祠堂之事 (祠堂米借用)	借用申銀子之事	借用申銀子之事	証文 (①借用申手形之事 ②借用申銀子之事) *封紙上書「証文 福田村」	借用申銀子之事 *封紙上書「証文 野上溝口村 円助」	預り申銀子之事	(金錢貸借につき) *前欠	本銀返し証文之事 (田畑立家只今名寄帳名替につき) *2紙目欠カ、差出庄屋増右衛門(印) 肝煎五兵衛(印) 伝四郎宛(奥書) 野上組大庄屋 山本喜兵衛(印) (郡奉行衆(申達) 藤村助右衛門手代前田藤兵衛(印) (代官所之障無之)	(地所一件入札につき買受の確証を聞き、もし入札払等であれば見合せるよう書状)	売渡証書	売渡証書
弘化3年午極月	弘化3年午極月	弘化3年午極月27日	天保7申極月日	天保7申年11月日	日②①天保4年巳12月天保3年辰11月	文化11年戌4月日	文化7年午8月日	寛政9年巳12月日	寛延2年巳2月		昭和7年2月3日	昭和7年2月1日
永谷村庄屋久三郎(印) 惣代喜三郎(印)	高畑村庄屋由右衛門(印) 惣代儀兵衛(印) 文左衛門	上井村庄屋平藏(印) 同村惣代由介(印) 萬藏	福田村惣代儀兵衛(印) 庄屋岡本新次郎(印)	神野福田村借用主源四郎(印) 庄屋岡本新次郎(印)	①借り主神野福田村惣代源四郎(印) 取次左五郎(印) 市左衛門(印) 受人重左衛門(印) ②借主市左衛門(印)	野上溝口村借主円助(印)	福田村預主岡本忠太夫	上井村利兵衛、同村役人大之助(印)	本人那賀郡野上新村元右衛門(印) 請人惣五郎(印) 庄屋増右衛門(印) 肝煎利八(印) 御藏庄や幾右衛門(印)	和か山高橋	売主谷口民之助(印) 代和歌山地方裁判所(印) 書人松下千之助(印)	下野村大字福田谷口民之助(印) 証人弓倉常吉
庄中御役人中	庄中御役人中	庄御役人衆中	永谷村田中喜兵衛	藏本奥田久藏	①藏本奥田久藏 ②藏本庄助	神野福田村岡本幸左衛門	藏下永谷村庄や喜兵衛	岡本忠太夫	新村伝四郎	福田村岡本	買主岡本勉	岡本佐太郎
状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	豎帳	状

イ-714 -2	イ-714 -1	ス-69	ウ-30	イ-219	イ-325	イ-324	イ-318	イ-134	イ-323	イ-322	イ-321	イ-320	イ-319
庄残り銀預り(1貫274匁3分預りにつき)	借用申銀子之事 *封紙上書「上延命寺」	太々銅銀之事(銀250目借用につき) *封紙上書「手形一通 三尾川村庄屋」	神野組野中村調らへ帳(人別借銀額)	〔封紙〕 *中身なし、封紙上書「小川西福井祠堂拝借」	〔封紙〕 *イ-324の封紙、封紙上書「御供米証文」	借用申明神御供米之事 *端裏書「米菖石 福田村庄屋」	借用申明神御供米之事	拝借筋当座留帳	借用申明神御供米之事	借用申明神御供米之事	借用申明神御供米之事	借用申明神御供米之事	明神御供米之事
亥極月16日	寛政7卯12月日	元治元年甲子8月日	弘化5申年3月日			弘化4年丁未極月	弘化4年極月	弘化3丙午年	弘化3午年極月	弘化3午年極月	弘化3午年極月	弘化3午年極月	弘化3丙午年極月
岡本忠太夫	借り主福田村延命寺、受人神宮寺(印)	三尾川村惣代善次(印)年寄正祐(印)庄屋貞祐(印)	岡本忠太夫			福田村庄屋権次郎(印)	箕六村庄屋才次郎(印)借用主貞蔵(印)	野中村	南畑村庄屋儀右衛門(印)惣代嘉重郎(印)	南畑村本人儀右衛門(印)請人宇兵衛	梅本村庄屋弥兵衛(印)惣代九右衛門(印)	津川村庄屋伝蔵(印)惣代清兵衛(印)	野中村借用主庄屋岡本忠太夫、幸左衛門(印)年寄新右衛門(印)利右衛門
庄中役人中	蔵本岡本忠太夫	庄役人御衆中	御惣分様御役人中			御役人中	御役人中		庄中御役人中	庄中御役人中	庄中御役人中	庄中御役人中	庄中御役人中
状	封紙包状	封紙包状	豎帳	封紙	封紙	状	状	横帳	状	状	状	状	状

ウ-208	イ-187	ス-83	ウ-207	イ-208	イ-201	イ-301	イ-151	ウ-206	イ-1052	ウ-205	ス-279	ウ-593-2	ク-17
借用申銀子之事	借用申銀子之事	本銀返シ屋敷請文之事 *屋敷は貴志小野村の内	借用申銀子之事	借用申銀子之事	借用申銀子之事	借用申銀子之事 *固着のため撮影不可部分あり	借銀筋附立覚帳 *固着のため撮影不可部分あり	借用申銀子之事 *端裏書「一之助」	借用申銀子之事 *端裏書「幸助」	借用申銀子之事 *字ナ城山を質物とする	一札覚(田尻名跡恭安へ譲り戻し銀子500目請取につき) *固着のため撮影不可部分あり	おほへ(元支判賃共早々直納あるようにつき)	借用申修堂銀之事
寛政元年酉12月日	天明8年正月吉日	天明6年午極月日	天明6年午12月日	天明3年卯12月日	天明元年丑12月日	安永9年子12月日	安永9年子正月17日	安永5年申12月	安永5年申12月	安永4年未12月日	安永3年午「」	12月14日	慶応4戊辰正月日
借り主恒右衛門(印)年寄物 多市(印)庄や弥一郎(印)	田尻□□(花)	小野村本人武右衛門(印) 年寄源八(印)庄屋藤三郎(印)	借り主庄右衛門(印)年寄秀八(印)庄や弥一郎(印)	借り主惣助(印)庄や弥一郎(印)	借り主了助(印)年寄嘉右衛門(印)藤五郎(印)庄や弥一郎(印)	借り主利七(印)年寄弁内(印)庄や弥一郎(印)惣五郎(印)	河野一之助	借り主河野一之助(印)年寄喜八(印)善兵衛(印)半太夫(印)庄や市左衛門(印)	借り主幸助(印)年寄喜八(印)善兵衛(印)半太夫(印)庄や市左衛門(印)	借り主河野一之助(印)口入了助(印)年寄弥市(印)庄や市左衛門(印)	河野市□□(印)証人了助(印)	院代官所 (赤松カ)	本人半左衛門(印)受人栄次郎(印)平兵衛(印)
岡本忠太夫	藏本友七	神野庄福田村おかね	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	忠太夫		岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村庄屋所	愛宕修堂方岡本御氏
状	状	状	状	状	状	状	横帳	状	状	状	状	状	封紙包状

ウ-197	イ-207	ウ-697	ウ-196	ウ-195	イ-206	イ-176	ウ-571	ウ-104	ク-40	ウ-194	ウ-193	イ-1053	イ-689
借用申銀子之事 *端裏書「仙治 古」 <small>(寛永)</small>	借用申銀子之事 *端裏「ねんび新藏」	指入申一札之事(銀子借用証文) *封紙上書「手形 壹通名取氏」	借用申銀子之事 *封紙上書「借用証文 河修理 古」 <small>(寛永)</small>	借用申銀子之事	借用申銀子之事 *端裏書「勇助」	借用申銀子之事	(御切米の内浮米差入銀子借用致したきにつき)	銀借附預覚帳 *状態不良、撮影は一部のみ	借用申銀子之事 *端裏書「供七」	借用申銀子之事 *端裏書「喜太夫」	借用申銀子之事 *端裏書「円藏」	一札(手形は私方にて紛失につき戻り手形) *固着のため撮影不可部分あり	預申銀子之事 *端裏書「祇園 祇園」
文化3年寅12月日	文化3年寅12月日	文化2年丑10月	文化2年丑正月日	文化元年子12月日	享和3年亥12月日	寛政12申年	寛政9年巳	寛政9年巳正月吉日	寛政7年卯12月日	寛政7年卯12月日	寛政7年卯12月日	寛政7年6月日	寛政7年卯4月日
借主仙治(印)年寄多市(印) 弥市右衛門(印) 藤左衛門(印) 庄や弥市郎(印)	借主新藏(印)年寄多市(印) 衛門(印) 弥右衛門(印) 庄や弥一郎(印) 藤左	溝口円助(印) 岡本市左衛門(印) 祇園元碩(印)	借用主河野修理(印)	野上溝口村勇助(印) 野福田村受人佐兵衛(印) 証神 人溝口村受込兵藏(印)	借り主勇助(印)年寄弥 惣次(印) 善右衛門(印) 庄や弥一郎(印)	福田村忠太夫		岡本忠太夫	借り主供七(印)年寄秀 八(印) 庄右衛門(印) 庄や弥一郎(印)	借り主喜太夫(印)年寄 秀八(印) 庄右衛門(印) 庄や弥一郎(印)	借り主円藏(印)年寄秀 八(印) 庄右衛門(印) 庄や弥一郎(印)	久藏(印)	岡本忠太夫(印)
岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	実相院納所(印)【奥書】 実相院(印)	河野縫殿左近事		岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	延命寺	祇園甚五郎
状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	横半帳	状	状	状	状	状

ス-7	ス-108-1	ス-129	イ-1004	ク-21	ス-97	イ-705	ク-45	ク-41	ウ-586-3	ウ-586-1	キ-9	ク-20	ウ-586-2
本証文紛失ニ付かり証文之事 *封紙上書「かり証文」	借用申銀子之事 *ス-108-1・2・3を挟込、林兵衛の(印)部分のみ破り取り	借用申金子之事 *挟込文書(元金利息のうち受取、午11月23日)あり	借用申金之事	奉差入一札之事(金子返済延引願)	借用申手形之事 *「巳十一月切」、西田山1ヶ所を質物として差入	借用申銀子之事 *金五両を8月25日に追加で借入	帰り手形之事 *下部破損、覚(貸借の800目の金銀銭内訳につき)を巻込み	借用申銀子之事	借用一札之事	借用申銀子之事 *封紙上書「預り証文 福田村岡本見せ酒屋彦兵衛」、固着のため撮影不可部分あり	借用申銀子之事	借用申銀子之事 *端裏書「卯年 平左衛門江」	預り申銀子之事
天保8酉2月日	天保7申年11月日	天保4巳年9月日	文政10丁亥年8月	文政4年巳11月	文政3辰年極月日	文化13年8月日	文化8年未6月日	文化7年午12月日	文化6年巳極月日	文化6年巳極月日	文化5年辰12月日	文化4年卯12月日	文化4年卯11月日
永谷村預主はれ(印)世話人伝蔵、 福田村年寄次郎(印)実右衛門(印)裏 徳之助(印)庄屋岡本新次郎(印)河野左近(印)	新次郎(印)庄屋岡本	神野福田村本人勘右衛門(印) 口入又二郎(印)請入岡本新次郎(印) 郎(印)庄屋岡本為次郎(印)	神野組福田村岡本新次郎(印)	永谷村本人武兵衛、受人利兵衛、村惣代(記載なし)庄屋熊八	借り主幸左衛門(印)請人仁兵衛(印)庄屋伝蔵	借り主清左衛門、同条介	手形主岡本忠太夫、年寄為次郎、和□、庄屋久蔵	借り主田尻平左衛門、年寄円次(印)喜七(印)佐右衛門(印)庄屋久蔵(印)	岡本忠太夫(印)	借主岡本忠太夫(印)	借主田尻平左衛門(印)年寄惣兵衛(印)庄や弥市郎(印) 清兵衛(印)清左衛門(印)年寄吉次郎(印)庄や弥市郎(印)	借主田尻平左衛門(印)年寄惣兵衛(印)庄や弥市郎(印)	福田村岡本見せ酒屋彦兵衛(印)受人岡本忠太夫
市場村喜惣兵衛	安井村健次郎	柳沢李之助	恵光院様御納所	岡本忠太夫	小川福井村幸左衛門	佐右衛門	田尻平左衛門	岡本忠太夫	永谷村田中喜兵衛	永谷村田中喜兵衛	岡本忠太夫	岡本忠太夫	永谷村蔵本由左衛門
封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

ス-143 -12	ス-282	ス-143 -10	ス-143 -11	ス-143 -9	ス-143 -7	ス-194	ス-5	イ-326	ス-143 -6	ウ-567	ス-108 -2	ウ-201	イ-192
借用申銀子之事 *裏に「神野 神宮寺」	〔昨冬貸した米の代銀を持参するよう書状〕 *閏八月十五日迄	借用申銀子之事	借用申銀子之事 *12月16日庄内割銀を以て返済	借用申銀子之事 *銀子不調の節は津川村役米・庄出夫錢銀にて勘定	借用申銀子之事	金七拾兩あらみや借り *人別金額と質所の高・場所・面積	借用申頼母子銀子之事 *封紙上書「差入手形 当村本人庄助」	〔封紙〕 *上書「弘化四年未十二月日 供米手形 来申十月限り 神野寺仁兵衛」	借用申金子之事	借用申手形之事	差入申一札之事（音蔵返済いたさずのところ扱により取替の書付を差入） *（印）部分破り取り	借用申銀子之事	御恩借申御米之事
文久2戊午年12月日	日 （文久2年）8月26	文久2年酉正月日 （マ）	万延2年酉3月	万延元申12月27日	改 嘉永2酉3月6日	（嘉永元9月改）	日 弘化5戊申年2月	弘化4年未12月日	天保13寅極月日	天保9戊午年11月	天保9戊午年3月日	天保8酉年12月日	日 天保8酉年6月28
借主神野庄神宮寺（印） 受人佐々村善兵衛（印）	長福院役人	野中借主神宮寺（印） 請人芳三郎（印） 村	借用主神野庄神宮寺（印） 人下佐々村善兵衛（印） 同庄野中村庄屋才次郎（印） （奥印）受	借主神宮寺（印）	借主神宮寺（印） 門田村 受人惣太郎（印）		本人ふくた村庄助（印） 河野左近（印） 権次郎（印） （奥印） （印） 村役所フクタ		借主神宮寺（印）	福田村借用主新蔵（印） 庄屋岡本忠太夫（印）	福田村本人音蔵（印） 人林兵衛（印） 請	借主新蔵（印） （印） 年寄定右衛門（印） 受人半蔵	借用主庄助（印） 蔵（印） 林兵衛（印） 請人為
御蔵本佐々村田測定右 衛門	岡本兵馬	南畑村嘉十郎	田測定右衛門	御蔵本利兵衛	樋下邑喜蔵		愛宕山頼母子親受衆中		樋下村西 喜蔵	奥田久兵衛	安井村健次郎	岡本忠太夫	郎 米預り役人衆岡本新次
状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙	状	状	状	状	状

ス-151 -2	イ-1078	ウ-318	ウ-581	ウ-456	シ-762	イ-513	シ-731	ウ-359	イ-782	ス-243	ウ-82 -8	ウ-616	イ-862
覚（諸費用勘定につき）	状 〔ちよの殿大わづらひ致され大物入につき拝借金延引を願う書〕	〔当月中に元支相違なく返済するよう申入れ〕	覚（延享元年より金銀出入し奉行所にて取上げにつき）	口上（米1ヶ程御拝借願）	〔金子今日迄引延し失礼を申上げ銀壱封を持送る書状〕 *他見御無用	覚（銀子借用証）	述上（此月中銭30目ほど恩借願い） *裏面にも書込みあり	覚（支代礎に請取）	借用銭之事 *変色あり	〔預け置いている米を支分2割で誰にても貸し付けるよう書状〕	おぼへ（市場喜惣兵衛へ10月切かし銀につき）	〔銭1駄桂瀬村毘沙門寺へくださるよう頼む書状〕	〔愚院方大借につき御相談申入たく銀主方一統・貴家に登山願う書状〕 *尚々書にて利右衛門と常八へ伝えるよう依頼
10月29日	10月28日	10月15日	9月	9月21日	9月3日	7月10日	5月朔日	閏4月15日	4月日	卯月18日	4月5日	3月11日	2月20日
さし純	浅田龍一	安養院納処		神光山神職	岡本兵馬	田中喜兵衛	神光山納所	上井庄屋平蔵（印）	尾張利右衛門（印）	金光院納処		院役人 （桂瀬村毘沙門寺）大聖	小田原報恩院納所
岡本	岡本忠太夫	福田村岡本兵馬		岡本氏	中川清次郎	岡本御氏	岡本兵馬	岡本氏忠太夫	福田村岡本新治郎	岡本兵馬		福田村岡本忠太夫	神野福田村岡本忠左衛門、神野樋下村利右衛門、同村常八
状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状

シ-745	サ-236	シ-59	イ-536	ス-143 -14	ウ-485	ウ-395	ス-151 -1	シ-724	イ-419	イ-840	イ-882	イ-497	ス-156
覚（南畑村儀右衛門筋拝借銀差引勘定につき） *講・惣分拝借銀上納銀高、袖に「岡本氏へ扣ニ渡ス」	〔元利金書上〕	〔市場出店へ返済の利足金借入につき書状〕 *裏面に岡本から阪部宛の同日付利金の半金を送金するよう書付あり	おほへ（判賃・未進銀差引勘定につき長兵衛へ貸銀高）	借用申銀子之事	〔金10両の借用を願う書状〕	口上（金子借用申上につき）	〔銀123匁9分受取につき〕	覚（南畑村儀右衛門親類割付筋年賦無支分納借致したきにつき）	〔お貸拝借の筋を猶予していただくよう取扱いを願う書状〕	〔銀子につき延引願〕	〔金子10両当年は入用につき返金するよう書状〕	〔市場村にて400匁の請印につき松下方へ頼むよう執成しを願う書状〕	〔祠堂筋を返済するので請判を切る旨書状〕
閏月12日	極月27日	12月26日	極月25日	12月18日	12月17日	極月17日	12月15日	12月14日	極月5日	極月4日	11月23日	11月23日	霜月4日
	永谷田中分	阪部李之助		借主神宮寺（印） 請人芳三郎（印）	岡本新次郎	遠井村藤吉	田尻（印）	総分役人河野寛藏	河野氏	直七	中性院	東光院	愛染院
	福田岡本	岡本		嘉十郎	田中喜兵衛	岡本忠太夫	岡本	岡本忠太夫		岡本忠左衛門	岡本新次郎	河野左近、岡本新次郎、 田中喜兵衛	岡本兵馬
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

キ-14 -2	ウ-227	キ-56	サ-454	サ-456	キ-31	キ-51	ク-48	ク-39	キ-62	ス-108 -3	シ-734	イ-217	ウ-497
借用申金子之事 *「無印紙証書用紙和歌山県管下」	貸金催促之願	借用申金子証文之事	証文之事(建家書入借用証雛型)	在中(建屋書入証文別紙のとおり貸借につき) *別紙はサ-454カ	借用申金子之事 *端裏書「広助」	借用仕錢之事 *端裏書「広助」	借用申銀子之事 *封紙上書「証文(別筆)明治五十一月廿九日酉三月切元壹貫匁 太助 受純介」	借用申銀子之事	借用申銀子之事 *封紙上書「三ノ匁筋借用証文 広助」	差入申一札之事(音蔵の借用銀は扱により書付戻しく下さる ようにつき)	不納覚(興山寺講銀拝借につき)	預り申銀子之事	口上(ぜに借用願につき)
明治9年1月日	明治8年4月4日	明治7年6月日		明治6年8月	明治6年7月29日	明治6年6月日	明治5年申11月29日	明治3年11月	明治2巳年12月28日	年号月日		年号月日	25日
借用人木村純助(印)	借用人土居吉兵衛(印)	第三大区十一小区福田村平 民岡本みつ枝(印)第三大区 十小区九品寺村坂部半三郎	樋下村上垣内嘉右衛門 (印)受人親類惣代南利右 衛門(印)	和歌山県令北島秀朝	借用主田淵広助(印)請 人井上為二郎(印)	借用主田淵広助(印)受 人井上為二郎(印)	借用主太助(印)請人純 助(印)	本人伊之助(印)受人忠 右衛門(印)	借主廣助(印)受人小川郡 西福井村惣之右衛門(印)	代誰印、請人誰印 本人福田村音蔵、親類惣 代誰印、請人誰印	本人栄蔵	預り主勘右衛門、請人忠 左衛門	酒や□店々
岡本佐太郎	小区長榊新之助	金主同庄岡本隆政			岡本氏	岡本御氏	岡本御氏	蔵本岡本氏	岡本氏	何村誰蔵		李之進	岡本
罫紙	罫紙縦綴	状	状	状	罫紙	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状

ウ-233	ア-164	シ-551-2	キ-58	キ-41	ウ-294	キ-47	キ-28	ウ-295	キ-27	キ-23	キ-33	シ-27	シ-637
貸金催促之訴状 *写し、和歌山治安裁判所判事補宛委任状の写し含む	月賦金証券	地所書入質証文之事 *印刷物、朱筆にて「明治十七年三月四日消印ス」とあり印抹消済み	借入金証券	借入金証券	約定書(貸金のうち30円は来る18日に相違なく渡すにつき) *下書き	借地約定証券	月賦金証券之事	代人御願(貸金催促は勧解お願い申上げたきにつき)	定約証券(貸金催促の訴え手料) *【奥書】明治12年3月3日付、司法勲17等出仕佐々木亮閣(印)	借入金証券之事 *「証券界紙」	借入金証券	議定書一札之事(証文目録紛失につき議定書差上)	田書入借入金証券之事
明治15年1月23日	明治14年旧8月24日	明治13年12月29日	明治13年第2月	明治13年第2月21日	明治12年3月14日	明治12年第1月	明治12年第1月	明治11年5月	明治11年5月9日	明治11年第1月	明治10年6月日	明治10年6月24日	明治10年1月
福田村平民岡本佐太郎、 族原告西田耕	善六(印)伊賀郡福田村借用主岩根	借主那賀郡福田村大平金兵衛 (印)全村証人井上為次郎(印) (奥印)戸長新谷政左衛門(印)	借用人小林武八(印)	借用人真国利助(印)請 人山本孫右衛門(印)		借地人岩本喜六(印)	第三大区十一小区福田村借用人 中西市兵衛(印)引受人中西芳 兵衛(印)仲裁人岩本善六(印)	岡本佐太郎	第一大区二小区元寺町壺 丁目奇子松下嘉助(印)	第三大区十二小区養津呂 村借用人小西桂次郎(印) 請人浦市左衛門(印)	第三ノ十一小区市場村本人松下嘉 助(印)証人坂上芳助(印)但し 表札三近松下相記シ在之候也(印)	三尾川村森庄兵衛(印)	第三大区九小区満屋村借用人 湯川弥七郎(印)引受人湯川正三 郎(抹消)加判人湯浅源次
助 福田村平民被告河合太	岡本御氏	安井村芝崎弥左衛門	岡本佐太郎	岡本御氏		岡本佐太郎	岡本佐太郎		第三大区十一小区福田 村岡本佐太郎	岡本佐太郎		岡本佐太郎	湯川専右衛門
豎帳	状	状	状	状	状	状	状	罫紙	罫紙	罫紙	罫紙	状	状

キ-63	サ-212	シ-417	サ-136	シ-220	シ-203	キ-38	シ-227	キ-46	キ-59	キ-17	キ-37	キ-50	サ-365
金額借用証書	〔本年旧9月30日迄金員10円か15円貸し与えてくださるよう書状〕	創業総会議決ノ要領 *4通、印刷物	証(金員拝借につき)	〔預けている金子を他へ預けたい旨の書状〕	記(27年度前半期利子金受取につき)	返済証書	旧公証御取消願(地所書入借用のところ元利共返済につき) *挟み込み文書あり	預り証(金20円預りにつき)	借用金証券	宅地借用証	宅地借用証 *上部破損	月賦借用金証書	〔買入価金追送すべきところ延滞し海怨を願う書状〕
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
明治31年旧7月3	明治30年旧6月29	明治30年2月8日	(明治)28年10月2	(明治)27年旧7月8日	(明治27)7月13日	明治26年11月17日	明治26年6月	明治25年旧7月7	明治25年旧正月25	明治25年正月25日	明治25年1月10日	明治23年旧10月20	(明治)21年5月16
負債主田中定松(印)証 人平畑留吉(印)	池田賢吉	株式会社野上興業銀行創 立事務所	竹田左京(印)	阪部奎之助	畠山(印)	吉野安太郎(印)	志賀野村大字松瀬不債主 柳沢広下神野村大字福 田債主河野安作歌	岡本平兵衛(印)	北谷岩吉(印)同かつの(爪 印)	大字福田北谷岩吉(印) 同カツノ(爪印カ)	本人山畑伊之助(印)受 人馬止清兵衛(印)	池田峯蔵(印)受人土取 治兵衛(印)北谷岩松(印)	阪部奎之助
岡本佐太郎	岡本佐太郎	竹田左京、岡本タカエ、 岡本クマエ、中谷槌之丞	岡本	岡本佐太郎	岡本	岡本佐太郎	和歌山区裁判所動木出 張所	畑山槌治	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本
豎帳	封筒入状	状	状	状	状	状	罫紙・状	状	状	状	状	罫紙	罫紙

シ-332	シ-499	シ-373	サ-387	シ-668	シ-452	シ-497	サ-189	キ-36	キ-52	キ-32	キ-39	キ-34	キ-54
〔金子を取換え置くよう依頼状〕	〔森田幸之助金借につき損毛のうえ塗ながしを乞う書状〕 *封筒の日付は6月19日	〔金子困難につき預かり証と引替を願う書状〕	〔大坂へ出立につき小遣い3円程拝借を願う書状〕	〔幸之助借用筋の延日を願う書状〕	〔愚父安作歌と貴兄の借入金につき意見を仰ぐ書状〕	〔別紙証券の金円不都合にて猶予を願う書状〕 *別紙なし	〔先年借入金は返上の約束につき書状〕	敷地賃与契約証書 *破損あり	借用証	敷地借用契約証 *同文二通あり	金子借用証	借入金証書	貸家借用証
8月1日	6月9日	5月2日	旧4月21日	旧4月8日	4月18日	4月8日	第2月10日	明治「」	明治33年11月5日	明治33年旧8月	明治31年	明治31年旧12月日	明治31年旧11月
竹田	神野市場村河野秀貞	顯一郎	柳沢広	門 かし井ノ口村中西兵左衛	河野圭三郎	市場村ヨリ松下嘉助、坂上芳助	河野秀貞	「」岡本佐太郎	海草郡仁義村大字引尾手平彰(印)	借受人北谷岩吉(印)保証人井戸谷惣兵衛(印)	北浦音吉(印)	神野福田借主田中定楠(印)同ヤスノ(印)同村福田保証人前田千之助(印)	借用人北浦音次郎(印)正人仲千之助(印)
岡本	福田邨岡本	岡本	岡本御氏	福田村岡本	岡本佐太郎	福田村岡本佐太郎	岡本佐太郎	北谷岩吉	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	金主岡本佐太郎	
状	封筒入状	状	状	状	罫紙	状	状	罫紙	罫紙	状	罫紙	状	罫紙

ス-167	シ-639	シ-560	シ-520	シ-69	サ-382	サ-363	ク-53	キ-60	キ-26	エ-39	ウ-689	ウ-593 -1	ウ-588
〔金銭貸借書付〕	田畑質入借用金証書之事（雛型） *朱筆あり	〔前金急に遣し差上げたくお頼み〕	〔借用金につき書付〕	〔明日にても金子すぐにお廻し下されたく願う書状〕	〔兵左衛門分元利とも勘定書付〕 *折紙	〔借用の件は財政困難につき猶予を願う書状〕 *封筒裏「此状愛宕山へ御出席ノ心得ニテ昨朝相認メ為持候處御出席無之持帰り」	〔封紙〕 *2通あり	〔封紙〕 *封紙上書「借用手形」	〔封紙〕 *封紙上書「月賦証文」通入、裏面に月賦金額の書付あり	覚〔11月分元利共勘定書上〕	覚（元利金差引勘定書付）	〔差引勘定につき〕	覚（出入奉行所にて取上の儀につき） *固着のため撮影不可部分あり、ウ-581と同文
	年号月日												
	何之大工何郡何村借人 何之誰証人何之誰 何大区戸長何之誰					和歌山区北ノ新地下六軒 町河野圭三郎		藤吉兵衛	岩居伊之助			福田村	
	何之誰					岡本佐太郎							
状	状	状	状	状	状	封筒入封紙	封紙	封紙	封紙	状	状	封紙包状	状

ス-260	ス-239	イ-941	ウ-638	ア-53 -3
〔御用の儀につき16日登山するよう達する書状〕	〔此の差紙着き次第役所へくるよう達〕	〔加藤直之進跡取縮につき登山給いたく達する書状〕	〔当月25日9ツ時に役所へ詰めるよう達〕	〔急用ニ付飛脚のものから用件を聞くよう書状〕
正月15日	正月14日	正月14日	正月9日	正月2日8ツ時認
総分役所	総分役者妙観院	明王院納所	惣分役者珠寶院	長寿院
岡本兵馬、柳沢李之佐	福田村岡本兵馬	岡本新次郎	神野組福田村岡本新次郎	岡本新次郎
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

八 書状

ス-254	ス-213 -④	ス-210	ス-201	ス-195	ス-187	ス-184 -2	ス-184 -1
覚 (割賦金差引勘定につき)	覚 (寺院村別金額差引勘定)	覚 (御恩借筋の返金額人名書上)	おほへ (年賦銀返済筋人別金額書上)	〔借用筋割賦銀控〕	不足筋 (人別残銀書付)	おほへ (当年返納筋来る四月迄延引願につき村別金額書上)	おほへ (高野山五ヶ院控銀につき)
		*2通		*ス-196の下書き			
状	状	状	状	横帳	状	状	状

ス-155	イ-927	イ-464	イ-795	イ-1045	ウ-664-2	ウ-664-1	イ-980	イ-845	イ-712	イ-811-2	イ-811-1	イ-1106	イ-678
〔御用につき役所へ詰めるよう差紙〕	〔御用の儀につき来る29日5ツ時当役所へ罷り出るよう達〕	〔梅本村長尾政次郎筋につき同道にて近日の内に登山するよう達〕	〔釜瀧村金剛寺筋につき其元病気であれば新次郎にても当役所へ詰めるよう達〕	〔御巡見筋につき学侶方役人と出会示談のため登山すべく書状〕	〔尤其元自身が詰めるよう尚々書〕	差紙〔御用につき5日5ツ時まで詰めるよう達〕	〔岡本市左衛門義につき登山するよう書状〕 *拙者方へ引受世話していたが列席中・諸役人は勤めかねると思召し	〔貴院にいる岡本忠太夫へ昼飯後早々罷り出るよう達〕	〔4月17日東照宮様御神忌につき興山寺へ詰めるよう達〕	追而〔志賀野釜瀧寺筋参詣致したく自身登山給いたきにつき〕	〔来ル25日印形懐申し詰めるよう達〕 *1・2同封、封紙上書「差紙」神野福田村岡本忠太夫殿「総分役者中性院 辰ノ二月廿日津川志賀野釜瀧筋御用廿四日登り」	差紙〔山林藪等の儀につき組惣代の者此方へ詰めるようにつき〕 *封紙のみ撮影、福田村岡本忠太夫、津川・大角・市場村の庄屋4人	〔御用につき来る2月5日迄に詰めるよう書状〕
4月28日	4月25日	4月11日	4月6日	4月1日		3月26日	2月28日認	2月25日	2月25日	2月20日出	2月20日	2月19日	正月26日
総分役者妙観院	惣分役者三学院		惣分役者持宝院	総分役者青龍院		惣分役人自覚院	北川頼母	興山寺役人	興山寺役者明慶院		総分役者中性院	興山寺役人自覚院	惣分役人自覚院
岡本兵馬	岡本新次郎		岡本忠太夫	岡本忠太夫		福田村岡本忠太夫	岡本忠左衛門	成慶院御役僧	福田村岡本幸左衛門		福田村岡本忠太夫	神野組庄屋中	岡本忠太夫
状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

イ-1042	イ-813	ウ-684	イ-757	イ-771	イ-760	イ-801	シ-388	イ-885	エ-110	イ-971	イ-1094	イ-853	イ-518
差紙(津川村より結衆相手取り願書差出につき当御役所へ詰めるよう) *神野庄中惣代2人のうちの1人として	〔志賀野釜瀧村一件につき其方自身印形所持にて詰めるよう書状〕	〔御用につき当25日に衆評へ詰めるよう書状〕 *河野左近、岡本忠八、庄屋、年寄、要助親の5名	〔御用の儀につき当役所へ其元名代を壱人つかわすよう書状〕	〔来る24日其元又は親兩人の内登山するよう達〕	覚(8月5日当御役所へまかり出るよう書状) *尚々書に「庄屋役の他に年寄・肝煎といった役人が何村に何人いるか調べて遣わすこと」	〔御用の儀につき八月五日此方へ罷り出るよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔最勝院様より御用のため一兩日の内に登山するよう差紙〕	〔志賀野東野村と西野村差纏につき登山するよう書状〕	〔達することがあるので明くる11日9ツ時まで南御役所へくるよう書状〕	差紙(当21日奥院御廟上棟につき上下用意し詰めるよう達)	差紙(来ル29日に詰めるよう)	〔先年差構或は追放等申渡し者の名代と村役人当役所へ詰めるよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	覚(①国絵図改めにつき庄屋年寄の内一人登山するよう回文 ②番附帳再調子のため望月氏案内するよう回文)
9月5日	8月23日	8月22日	7月23日	7月22日	7月21日	7月18日	6月25日	6月25日	6月10日	6月7日	5月25日	5月22日	①5月6日②5月4日
龍華院	興山寺役人中性院	惣分役人源光院	惣分役人舎那院	成慶院代官	総分役人舎那院	惣分役者中性院	興山寺役人覚成院	中性院	持宝院	興山寺役人覚成院	惣分役人和光院	惣分役者長寿院	惣分役所青龍院
岡本新次郎	岡本忠太夫	神野福田村庄屋	福田村岡本新次郎	岡本新治郎	神野組庄屋中	福田村 岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本忠左衛門	岡本忠太夫	岡本新次郎	
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状

イ-1090	ス-189	ス-150	サ-75	シ-664	ス-161	ス-152	イ-769	イ-854-3	イ-854-2	イ-854-1	ウ-633	イ-506	イ-926
〔岡本忠太夫あて差紙〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔印形持参のうえ呼出す書状〕	〔差紙到着次第登山するよう書状〕 *興山寺より格別の儀はなくとも吟味が難しいため	〔又三郎・磯のを大角村金剛寺へ召連れるよう達〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔御用につき来る25日4ツ時当役所へ罷り出るよう達する書状〕	〔用事につき一兩日中に登山するよう書状〕 *端裏書「福田村」	〔用事につき両人の内一人登山するよう差紙〕 *虫損	〔御用の儀につき来霜月4日自身登山すべくよう書状〕	〔極月十八日夫料登り〕	差紙（銘々印形所持致し此方へ詰め、市場村十輪寺病氣であれば籠にてでも自身詰めるよう書状）	〔用事につき霜月五日五ツ時迄二此方へ詰めるよう差紙〕 *イ-854-1-3まで一括	〔岡本市左衛門は此書状が着次第差越すよう達〕	口演（急御用につき本王院へくるよう書状）	〔御用の儀につき当月25日5時迄に詰めるよう差紙〕 *別紙にて差紙をそれぞれへ達するよう書付
	12月朔日	12月朔日	11月23日	11月11日	11月8日	10月29日	10月26日		10月19日	10月19日	10月9日	9月20日	9月15日
	惣分役人 和光院	松瀬村三太夫	総分役人 保田右近	惣分役者 三学院	惣分役人 正泉院	惣分役人 舎那院	惣分役者 自覚院		興山寺役人 自覚院	興山寺役人 自覚院	正中院	修理方役所（印）	興山寺役人 自覚院
	神野福田村市左衛門	市左衛門	福田村庄屋	岡本新次郎	福田村庄屋市左衛門	岡本忠太夫、市左衛門	岡本忠太夫		神野庄十七ヶ村庄屋中、同庄村々在住寺院中	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本兵馬	神野福田村岡本忠太夫
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

イ-703	イ-938	イ-1113	サ-80	サ-107	イ-1098	イ-925	イ-920	イ-1084	ウ-630-1	イ-1018	イ-962-2	イ-962-1	ウ-528
〔下拙方の下女の儀につき善吉へとくと御尋ねくださるよう書状〕	〔ねんぴ薬師堂にいる老僧の義につき書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔日高郡藪浦小竹八幡宮神の小竹但馬守の祈祷を受けるよう勧めの書状〕 *封紙のみ撮影	口述（胸痛治す薬法「木香調気散」配合および飲用方法）	〔改暦の御吉慶年甫の祝詞申上げた書状〕 *端裏「岡本様」	〔市場・福田両村共十年用捨年銀起高につき聞き札すよう頼む書状〕 *封紙のみ撮影	〔甥惣次郎病気に付私方にて養生のため神宮寺様へ御礼を述べる書状〕	〔村々割付日限の通り揃え尚又別紙小川組へ廻達するよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり、別紙なし	〔此二品甚だ鹿末成るものだが受納下さるよう御見舞状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔大勢参上したことに對する礼状〕	〔おなみ事縁組願十日に済んだことを知らせる書状〕 *端裏書「岡本忠左衛門様 笠長庵」	指入申一札之事（貴様御子息様四人之衆へ手習御世話仕候につき）	〔下拙弟浅之丞手習修行に参りたきにつき宜しく頼む書状〕 *固着のため撮影不可部分あり、イ-962-1・2封紙一括、封紙上書「若山ヨリ」	〔先刻の引合につき書状〕 *抹消済
2月24日	2月朔日	正月晦日	正月12日	正月3日、（封紙） 未正月11日出	閏月26日	10月16日	9月28日	8月21日	8月9日	卯月13日	亥閏正月	亥正月27日	申極月
（九品寺村々）坂部藤次郎	清水村清水寺	弥右衛門	東光院	（和州今井町々）谷霞郵法 橋英通（花）	持宝院	松平善左衛門	地方奉行善明院	実相院納所	亀井善之右衛門	笠長庵	請人徳右衛門（印） 善右衛門（印） 同断	湯川甚平	田尻（印）
岡本忠太夫	高野福田 岡本忠太夫	忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	福田村岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門	岡本忠左衛門
封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状

イ-716	イ-824	イ-527	ウ-614 -3	イ-796	イ-893	イ-1092	イ-739	イ-751	シ-144	イ-896	イ-901	ウ-620	シ-742
〔御仏前へ御備くださるべくまずは暑中お見舞い〕	〔松瀬村久蔵に福田村半右衛門伴弥兵衛貫受度由にて内々に頼む書状〕	〔母様病気を御兄弟様・貴家までお知らせする書状〕	〔三谷涌堰洪水にて破損のところ初穂として白宝壺対披露につき御礼状〕	〔御前より三幅対貴家へ拝領仰せ付けにつき自身登山するよう書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔先頃おみやげ下さり御見舞申し述べる書状〕	〔別冊名前の人の印形を取り差登すよう書状〕 *別冊なし	〔円満院様も帰山されたのでご承知になるよう書状〕	〔円満院様は只今江戸表にいらっしやり帰山の程もわからない旨伝える書状〕	〔人の義は顔面にもこれなきか尋ねたく追啓〕 *前後欠	〔恵投の品を早速賞味したことを知らせる書状〕	〔御内談申したく松瀬村迄御来賀下さるよう書状〕	〔今西の宿元へ銭を預け置くのでよろしく頼む書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔三谷根来氏へ延引してくれるよう掛合を願う書状〕
7月6日	6月20日	6月朔日	5月23日	5月20日	5月19日	4月25日	4月25日	4月13日	4月11日	4月11日	4月朔日	3月9日	閏2月11日
釜瀧金剛寺	金光院下代宝城院	坂村新兵衛	大聖院役人	加藤直之進	石倉伊右衛門	興福院	亀井善之右衛門	亀井善之右衛門	中人三浦寿仙	〔正徳院〕	木下宇右衛門	大聖院役人	専右衛門
岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太輔	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	〔岡本忠太夫〕	岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫
状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状

ウ-698-5	イ-747-2	イ-747-1	イ-789	ウ-519	ウ-698-4-2	ウ-698-4-1	サ-171	ウ-596	イ-754	キ-24-1	エ-64	ウ-606	ウ-491
〔先の件は済んだので安心するよう伝える書状〕	追記（宝積院様御帰山につき）	〔実相院後住宝厳院様の儀と安養院様江戸表において病死につきお知らせする書状〕	〔先達て申し置いた事につきこの方へ呼び戻し養育致すことを知らせる書状〕	〔当村陣家出火につき書状〕 *表書「上」	〔便があれば羽織地を登すよう頼む追書〕	〔預り置き羽織と私頼母殿方へ引越を知らせる書状〕 *尚々書で喜市のことは取り上げないことを伝える	〔麻生津にて興行の振鬨は大角村金剛寺と同様につき書状〕	〔田尻親子には最早対面したくない旨を伝える書状〕	〔興山寺火災につき見舞は沙汰するまで差し控えるよう申入れ〕	〔御隠居様病死の由にてお悔みの書状〕	〔新村藤藏に聞合せ宜しく取り扱うよう願う書状〕	〔市左衛門興山寺役人に召出されても衣類大小等ないため金十両其元世話致すよう書状〕	〔中元の品に対するお礼状〕
10月10日		10月7日	10月2日	9月23日		8月28日	8月25日	8月9日	8月7日	8月2日	7月22日	7月15日	7月11日
市左衛門		亀井善之右衛門	恵光院納所	左馬之助		同性市左衛門	東光院	村松八太夫	惣分役人自覚院	橋 （従和州今井町）谷霞郵法	赤松柳藏	実相院内	金剛寺
伯父義		岡本忠太夫	岡本忠太夫	忠太夫		本家忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫
封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

エ-85	イ-691	シ-765	ウ-375	イ-738	サ-76	シ-721	ウ-578	シ-494 -②	シ-494 -①	シ-494	シ-758	サ-78	イ-617
〔加藤直之進病氣よろしからずにつき書状〕	〔酒屋に養子につき教馬様へお咄もうしあげる旨の書状〕 *当月11日四谷麹町で出火し紀州様御屋敷松平佐渡守様御屋敷丸焼、私義江戸中大体残らず見物し5・6月頃に帰国の様子	〔入来の節と私参上の時のお礼状〕 *後欠	〔悴は一向むつかしいので取り成していただくよう頼む書状〕	〔封紙〕 *中身欠、「用事」とあり	〔出家する童子があればお世話を願う書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔三年季勤め盛物差送りにつき書状〕	〔見舞に対する礼状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔利介一宿させるため宿屋方へ差向くだされたく願う書状〕 *裏貼紙「別紙一通河野様江何卒乍御面倒様御届被下度奉願上候」、固着のため撮影不可部分あり	〔屏風一枚出来につき代人利介を付添え送る旨の書状〕 *端裏書「岡本様」	〔封紙一括〕 *（長押屏風一枚添）	〔今日出勤するところ用があるためよろしく伝えていただくよう書状〕	〔貸遣わす金額につきたずねる書状〕	〔神前祭具勧誘につき通達の際には配慮を願う書状〕
認	亥3月20日認メ				12月16日	12月2日	霜月28日	11月14日	午11月15日		11月7日	11月5日	10月11日
長寿院	千田市左衛門	御総分御役人岡本忠太夫	権二郎	興山寺 □□□□善之右衛門 <small>(役人魚井)</small>	東光院	新店儀(八)	恵光院	谷 □□ <small>(宮部)</small>	谷霞邨	従和州今井町谷法橋	岡本忠太夫	延寿院	熊野本宮御師坂本八郎太夫名代丸山□□太夫
岡本新次郎	岡本新次郎		岡本忠太夫	神野福田村岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	岡本忠太夫	神野庄岡本	岡本忠太夫	紀州神野庄 岡本忠太夫	大家八左衛門	岡本忠太夫	岡本忠太夫
状	状	状	状	封紙	封紙包状	状	封紙包状	状	状	封紙	状	状	状

ア-49 -3	エ-28	ウ-537	エ-114	ウ-520	イ-937	エ-102	エ-10	イ-701	ウ-510	ウ-486	ウ-640	イ-593	イ-852
〔悴初節句に茶づけさし上たいので来臨するよう書状〕 *表書「岡本阿三君 河野より 貴下」	口演（無心御願いのところ早速お返事につき礼状）	〔婿入につき隠居様へ相伴に出てもらおうよう頼む書状〕	〔御閑居所普請につき見舞状〕	〔年始の御礼を述べる書状〕	〔来ル十五六日頃根来寺梅の最中に光臨致す書状〕	〔封紙〕 *中身なし	〔奥院宝前への立花貴家へ献備の由一同大悦につき書状〕	〔和助一件につき内分御咄申入れたく書状〕	〔神野組郷宿は向後当院へ入来の旨書状〕	口上（風邪にて参上致しがたくお断りにつき）	〔米上銀間違いの毒につき御見舞に参ることを伝える書状〕	口演（引盃十枚拝借仕りたきにつき） *表書「岡本新次郎様 金剛寺」	〔加藤直之進養生叶わず病死を知らせる書状〕 *虫損大
4月20日	卯月13日	3月19日	3月8日	2月15日	2月12日	2月8日	2月3日	2月朔日	正月19日認置	正月12日	正月8日	正月6日	正月3日
左近より	中田武助	松木八蔵	黒山庄助	若山 盛龍	根来寺本坊	興山寺役人	愛染院	釜瀧村金剛寺より	善宝院納所	梅本村柳左衛門	赤木村富蔵	金剛寺	興山寺役者長寿院
御家中 岡本大人、新次郎、掃部、	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	神野福田村岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎
状	状	状	状	状	状	封紙	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状

イ-719	ウ-538	ウ-413	エ-47	エ-74	イ-825	シ-191	イ-702	シ-522	イ-670	イ-552	サ-79	イ-871	イ-720
〔先達よりの村方願をよろしく願う旨書状〕	〔谷先生帰国につき書状〕	〔文右衛門悴藤吉について知らせを願う書状〕	〔面上お咄し申上げたく入来するか推参するか尋ねる書状〕	〔寺役済次第参上するので在宿するよう書状〕	〔氷豆腐少々御届を願ひ御尊父様へもよろしく伝えるよう書状〕	〔来臨くださったことに対する礼状〕	〔九月神事の節出勤なられるならみつの様へ伝言くださるよう書状〕	覚〔赤松院納所より証文入封状落手につき〕	〔寺中人がいないため来駕くださるよう願う書状〕	〔名取の儀を掛合してくださるよう願う書状〕	〔御尊父様の仏参お悔みを差上げるべきところ失敬につき書状〕	〔真桑瓜白瓜預り差上につき書状〕	〔今日出会の筈につき書状〕
極月15日	12月9日	12月7日	11月25日	11月20日	11月15日	10月25日	10月25日	10月10日	8月6日	8月6日	8月2日	7月12日	7月7日
玉泉寺	松木八藏	小才か村広木屋三太夫	保田右近	東光院	塩見勝藏	神谷常助 (従九品寺村) 上田□藏、	黒山庄助	金剛寺	市左衛門	松木大助、松木実本	鈴木利右衛門	正覚院納所	市左衛門
岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎、田中喜兵衛	岡本新次郎	岡本新次郎、同茂左衛門	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎	岡本新次郎、岡本茂左衛門	岡本新次郎	岡本真次郎	岡本新次郎
封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状

サ-237	ウ-332	サ-229	イ-443	シ-177	サ-93	サ-246	サ-240	シ-727	ウ-312	ス-240	サ-231	シ-738	サ-249
〔過日推参のところ御馳走につきお礼状〕	〔市中御触れにて金札引替相場につき書状〕	〔男子出産を伝える書状〕	〔金相場下落につき入手くださるよう書状〕 *破損あり	〔家内へ御礼すべきところ失敬を詫びる書状〕 *下書き	〔登山は明日に極めたことを申上げる書状〕	〔法眼様遠行を知らせる書状〕	〔縁結につき拙宅へお出でくださるよう書状〕	〔上巳の節に慶賀を述べる書状〕 *前欠	〔出家なりたての子供と餅恵投につき書状〕 *袖に「凡十六名程 凡二十五六 諸方頭取井部安次郎」	〔光寿院主より貴家へ預けた衣類をいの者へ渡すよう書状〕	〔御上も変わり宜しきよう取り計らいを願う書状〕 *下部欠損あり	〔送状の表請取につき〕 *両面書込みあり、下書きカ	〔病気全快次第伺いたき旨の書状〕
6月25日認	6月朔日	5月29日	5月6日	5月3日	3月24日	3月14日	3月5日	3月3日	3月2日	2月18日	壬申正月6日		
武井信次郎	(わか山) ○八店幸助	定右衛門	はかた屋月次郎 ^(カ)	岡本兵馬	岡本兵馬	恵光院法類中	□□	河野左近	□槌	福蔵院	高畑村武西太兵衛	岡本新次郎	高畑武西太兵衛
岡本兵馬	岡本兵馬	兵馬	岡本兵馬	湯川儀左衛門	田尻	岡本兵馬	兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	岡本兵馬	福田村岡本新治郎	新谷儀兵衛	福田村岡本新次郎
封筒入状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

シ-369	シ-61	サ-29	サ-89	シ-356	シ-182	シ-123	シ-733	シ-181	シ-165	シ-179	エ-12-1	イ-718-1	イ-718-2
〔朝日新聞の直通便順路につき書状〕	〔面談を要するため当衛迄出張するよう書状〕	〔美品恵投のお礼と法廷召喚起のため出頭につき書状〕	〔取り捨てになった願出につき書状〕	〔地券認め替え調印の上送ってくださいさるよう書状〕	御免（先頃は御紙送下されありがたく頂戴につき） *裏面にも書込あり、下書き	〔家内無事を知らせ失礼を詫びる書状〕 *後欠、下書き、両面に書込み	〔入来を願う書状〕 *下書き	〔毎に御状くださいされ有りがたい旨の書状〕 *下部破損、裏面にも書込あり	〔帰山は来春迄延引なつたことを知らせる書状〕	〔詩作本を永々有りがたい旨の書状〕 *裏面にも書込みあり	〔みつの様勘定書付羽山より差越につき書状〕 *封紙上書〔岡本掃部様 要用 中嶋八三郎〕	〔在府院主様始隨身滞りなく加寿いたした旨書状〕 *裏に追啓	〔貴生様重歳目出度く在府院主始隨身別条なく加寿仕りにつき書状〕
日 （明治） 19年9月10	日 （明治） 17年6月14	明治16年以降	明治16年7月22日	日 （明治） 16年5月18			□月18日	11月25日	神無月21日	文月24日	11月14日	正月5日	正月1日
小壺長之助	坂上弥太郎	河野圭三郎	湯川	湯川文太郎	保太郎	保太郎	岡本保太郎	岡本保太郎	文章房	保太郎	八三郎	山本右門	森田源左衛門
岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本	岡本	岡本	長寿院	長寿院	神光山御納所	長寿院	岡本保太郎	光太郎	掃部	岡本掃部	岡本掃部
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状

サ- 91	シ- 666	シ- 214	シ- 230	シ- 215	シ- 647	シ- 467	サ- 393	シ- 370 -③	シ- 370 -②	シ- 370 -①	シ- 370	シ- 536	シ- 535
〔ご挨拶のところ有田まで診察を伝えていただきたく書状〕 *封筒反故紙(貴族院座席表)	〔大日本生命保険会社被保険人募集中を知らせる書状〕	〔光恩寺御住職につき概略を伝える書状〕	〔封筒〕 *2通あり、中身なし	〔名古屋の兵員悉皆招集し広島へ出発を知らせる書状〕	〔公判開庭中終に有罪となり入監を見舞う書状〕 *前後欠、裏面書込みあり	〔娘の引越期日を知らせる書状〕 *シ-412と関連	〔除隊後の就職に採用くだされたく書状〕 *封筒裏「和歌山市京橋南詰 南方よね方止宿 若林久信 十月五日投函」	〔安藤・柳沢氏と談判の概略を知らせる書状〕	〔本日奈古氏が参るので相談のうえ朝井氏と片付けを願う書状〕 *朱筆あり	〔畠山テルエ氏事件につき奈古氏出張を柳沢へ照会するよう報告せる書状〕	【封筒一括】 *至急要書	〔お礼を述べる書状〕	〔岩出へ出調の心得にて私宅へ来臨くださるよう賞状〕
□8年11月27日 (明治28年)	日 (明治28年) 9月26日	明治27年11月6日	明治27年9月5日	明治27年9月3日	明治26年7月30日	日 (明治26年) 4月10日	日 (明治22年) 10月4日	12月31日	12月29日	12月29日	日 (明治21年) 12月29日 日発	日 (明治) 21年8月18日	日 (明治) 21年1月12日
河野秀貞	東野上村佐々田潤晋	小倉村満屋湯川嘉左衛門	西牟婁郡日置村正光寺小住秋田忍、那賀郡下神野村役場 田岡本惣代	和歌山市本町四丁目原顕一郎	湯川文太郎	(和歌山本町内) 原顕一郎	旧大阪鎮台輜重兵伍長橋本茂養子改名若林久信	岡本	丸ノ内八番丁ニ於テ原顕一郎	朝井甚之進	和歌山県下本町四丁目原顕一郎	有田郡金屋分所ニテ角野惣兵衛	堀深
岡本助役	那賀郡下神野村福田岡本佐太郎	本郡下神野村福田岡本佐太郎	岡本本惣代	岡本佐太郎	「」	岡本	新谷佐兵衛	原顕一郎	岡本、柳沢	岡本	本県下那賀郡河野福田村 岡本佐太郎	岡本	岡本佐太郎
封筒入状	封筒入状	封筒入状	封筒	封筒入状	状	封筒入状	封筒入状	状	状	罫紙	封筒	状	状

シ-408	シ-299	シ-699	シ-288	サ-197	サ-208	サ-219	サ-217	サ-218	サ-210	サ-220	サ-201	サ-214	サ-395
〔留守中よろしく頼む旨のはがき〕	〔桑港へ安着し坂部両親へ礼状を頼む葉書〕 *封筒と葉書は別カ封筒裏「在米国桑港フィルモア街 式千百四拾式番於而 阪部四郎拜 拾月拾五日」	〔年賀状〕 *「高野山参詣順路」の路線図あり	〔年賀状〕	〔九品寺の西野万左衛門衣類の点につき通知状〕	〔吉田孝助謝りにつき書状〕	〔封筒〕 *中身サ-208カ	〔お申し越しの品物は難しいため勘弁を願う書状〕	〔母ならびに舎弟への世話などに礼を述べる書状〕 *封筒裏「阪部四郎 兵庫西仲町 井上米穀店 井上忠兵衛方」	〔返事じきにくれたく書状〕 *端裏「岡本様」	〔老母死去につき仏参くだされたく通知状〕	〔当守備地を出発し内地屯営に帰郷する命令がくだったことを伝える書状〕	〔黒江町柳川平兵衛氏弟妻死去につき出館の案内状〕 *封筒に「紀州海草郡仁義村字引尾船橋樋三郎」の朱印あり	〔封筒〕 *中身なし
日 (明治) 38年8月16	明治37年11月14日	明治36年12月31日	明治35年1月1日	日 (明治) 31年5月2	月5日 (明治) 31年旧閏3	4日 明治31年旧閏3月	8日 (明治31年) 旧3月	明治31年3月27日	日 (明治) 30年12月3	24日 (明治) 30年旧11月	日 (明治) 30年10月4	日 (本紙) 旧10月9日、 (封筒) 30年10月3 日午前6時発	日投函 (明治) 30年5月3
藤原	バカベルスダノカンツリ 湯川亀之助ヨリ	(印) 高野山恵光院	在米国ワキオミンク洲ス ユイドワター寺北音楠	海草郡東山東村黒谷平松 常吉	平松	常吉 海草郡東山東村黒谷平松	衛門 本郡小倉村満や湯川嘉左	阪部四郎	みやゑ	黒山治左衛門	台湾雲林守備歩兵第四連隊 第二大隊第六中隊東雷楠	柳川平兵衛代舟橋	和歌山市本町四丁目二而 畠山槌治
田岡本佐太郎、忠子	那賀郡下神野村大字福 田 岡本佐太郎様方へ	当県那賀郡下神野村 岡本佐太郎	和歌山県那賀郡下神野 村字福田岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	那賀郡下神野村大字福 田岡本佐太郎
葉書	封筒入葉書	葉書	葉書	封筒入状	状	封筒	封筒入状	封筒入状	封筒入状	状	封筒入状	封筒入状	封筒

サ-392	シ-459	シ-89	シ-474	サ-187	サ-396	サ-338	シ-537	サ-255	シ-698	シ-697	シ-410	シ-409	シ-407
〔このほどお嘶の件につき平松宅まで来車もしくはは兄君宅へ伺う旨の書状〕 *端裏書「使者エハ委細ヲ申サヌ要願イ」	〔正三郎分の公納額面相違につき尋ねる書状〕	二(株配当金につき父の代り一書につき) *シ-459の二啓部分カ	〔20日以後お出でくだされたい旨書状〕	〔この一品他より到来し拝覧に懸けたく書状〕	〔封筒〕 *中身なし	〔廻達の新聞転送のところ不在につき謝罪状〕	〔新年を賀し碁に誘う書状〕 *「訴訟用」箋	〔封筒〕 *中身なし	〔年賀状〕	〔先般来のお礼を述べるはがき〕	〔恭賀新年〕	〔悴同道にて海水浴に出て本日帰宅を伝えるはがき〕	〔解隊帰郷は来年の事と予察につき陳謝の旨はがき〕 *軍事郵便葉書、消印・検閲印有
旧正月6日	1月27日	1月27日	正月17日	1月17日	1月10日	正月4日	正月3日	1月3日	1月1日	日 (明治) 40年10月5日	日 (明治) 40年1月元	日 (明治) 39年8月12日	日 (明治) 38年11月26日
阪部	湯川		原頭一郎	秋田忍	動木村吉村博	河野	河野	本山二而堀深	三 大坂市東区北渡辺町原寿	東野上村田溯晋	湯川嘉左衛門	田中村打田藤原	網吉 出征第四師団衛生隊塩谷
岡本	岡本		福田村おか本	岡本	那賀郡福田村岡本佐太郎	岡本	岡本	神野福田村岡本朋君	和歌山県那賀郡神野大 学福田 岡本佐太郎	那賀郡下神野村福田 岡本佐太郎	那賀郡下神野村福田岡 本佐太郎	那賀郡下神野村大字福田 岡本佐太郎様内岡本忠子	和歌山県那賀郡下神野 村岡本佐太郎
状	状	状	封筒入状	状	封筒	状	罨紙	封筒	葉書	葉書	葉書	葉書	葉書

シ-193	サ-391	シ-85	サ-384	サ-191	シ-670	シ-325	シ-552 -2	シ-552 -1	シ-569	シ-194	シ-412	シ-87	サ-346
〔宮えが口中の疾気にかかり治療を受けていることを知らせる書状〕	〔入団以来の職務の概要と不在中の家事を頼む書状〕 *山県有朋閣下・野戦砲兵監柴野芳広閣下も来団	〔親儀死去につき出棺の日時を知らせる書状〕	〔山桃壺かご呈上につき書状〕	〔試験が好結果であったことを知らせる書状〕 *上部破損	〔貴兄の入来を願う書状〕	〔夜逃逸して京地に来り済生学校に入門した旨を知らせる書状〕	おみくじ *印刷物2通、書込あり	〔ご息女病気につき鬮をひき差上げる旨の書状〕	〔恩借の和歌山日々新聞返納しお礼状〕 *全文朱筆	〔新聞延着につき本日の分より毎日送るよう願う書状〕 *朱にて抹消	〔私娘縁組引越の節随行人を貴君に願う書状〕	〔学分分別紙書面参りにつき書状〕 *別紙なし	〔下女おみつが帰られたことを知らせる書状〕
旧6月24日	6月24日	旧5月13日	閏5月14日	5月	5月11日	5月10日夜認		旧4月3日	4月18日	4月15日	4月5日夜	旧3月15日	旧3月9日
李之助	柳沢	(従満屋村) 湯川平次郎	李之助	岡本三郎	湯川平次郎	岡圭三郎		秋田忍	市場在野村		原顕一郎	河野安作歌	阪部李之助
岡本	岡本	岡本佐太郎	兄君	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本		岡本盟兄閣下	岡本		岡本	岡本佐太郎	岡本佐太郎
罫紙	状	状	状	状	封筒入状	状	状	状	封筒入状	状	状	状	封筒入状

サ-381	サ-216	サ-198	シ-306	シ-591	シ-533	サ-389	シ-581	シ-95	サ-192	シ-532	サ-4	サ-188	シ-545
〔相飯の際種々八珍の美味を頂戴しお礼状〕	〔御令嬢様御注文の縮緬を買調え差遣したことを知らせる書状〕 *封筒裏「在和歌山市本四二而 寒貧書生」	〔山本が拘留以来出訴が中絶になったことを伝える書状〕	〔訪問の礼と景況を申上げる書状〕	〔松下氏危篤の容体につき子息初近親舎弟等へ心得るよう書状〕	〔別封の書状を畠山へ届けるよう依頼状〕	〔曲谷で聞く勸農会へ来会下されたく書状〕	〔家内全快見舞として蒸し飯黒大豆送ってほしい旨書状〕	〔病勢自然消滅の由伝聞し喜悦申上げる書状〕	〔好雨の祝いを兼併せて近頃のご機嫌を伺う書状〕	〔愚弟三郎の寓所を知らせる書状〕 *東京本郷真砂町四番地 古沢サタ方 岡本三郎、済生学舎に入学も転校の由	懐ヲ延べ併せて請願スル所アリ (学費貸与願い)	〔繁華の地方へ転校せんことを存念につき書状〕	〔みやえ全快・みやじは疾気重きことを知らせる書状〕
9月18日	9月13日	9月7日	旧8月6日	8月21日	8月21日	8月11日	旧7月2日	7月26日	7月19日	7月14日	7月8日	7月4日	旧6月29日
秋田忍	和歌山二而畠山槌治	西田	秋田忍	和歌山本町四丁目原頭一郎(印)	原頭一郎	山田一郎、田淵晋	阪部奎之助	野村勉	ハタケヤマ認ム	南裕久太郎	片山芳五郎	湯川(印)	奎之助
岡本	岡本	岡本	岡本	松瀬村ニテ畠山	岡本	岡本佐太郎	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本大君
状	封筒入状	状	状	封筒入状	罫紙	罫紙	罫紙	状	状	状	罫紙	状	罫紙

サ-274	シ-589	サ-380	サ-336	シ-566	サ-397	サ-204	ウ-272	シ-111	シ-293	シ-457	シ-481	シ-283	サ-202
〔封筒〕	〔悴の面倒を依頼申上げ柳沢氏へ周旋の程を願う書状〕	〔料理の品拝受につきお礼状〕	〔上京以来無音を詫び大阪朝日新聞の半額を清ぐことを願う書状〕	〔村議会欠席と立憲政新聞の取寄を頼む書状〕	〔封筒〕	〔我隊も2月25、6日中に台湾へ出発することを知らせる書状〕	〔よしが厄介になりそのうえ腹痛等発し心配と厚配に感謝する書状〕	〔弁護士保証金につき事情を説明する書状〕	〔散薬三日分一日三包づつ用いるよう書状〕	〔本日お見舞いすべきところ三日分散薬差上る旨書状〕	〔老母病につき来車下されたく書状〕 *封筒上書「畠山様」、同内容で畠山宛もあり	〔氏神例祭につき新宅畠山両氏とお越しくださるよう書状〕	〔田中氏より申し受け次第お答える旨の書状〕
*中身なし					*中身なし								
11月23日	11月10日	10月30日	10月29日	10月27日	10月27日発	10月23日	10月21日	10月16日	旧9月8日	旧9月初日	第9月30日	9月27日	9月27日
岡本忠造	田淵駒之助	原頭一郎	新中通1丁目高山久之助 方角谷熊吉	河野圭三郎	湯川平次郎	仲より	湯川	湯川常五郎	森川儀右衛門	森川儀右衛門	原頭一郎	実父	松下芳太郎
市場村椿山弥兵衛	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本兄	岡本大兄	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎	岡本佐太郎
状	状	罫紙	状	状	封筒	状	状	状	罫紙	罫紙	封筒入罫紙	罫紙	封筒入状

シ-401	シ-378	シ-360	シ-329	シ-320	シ-28	シ-334	シ-458	サ-209	シ-355	シ-38	シ-485	シ-68	サ-400
〔新聞を一葉貫い支那戦開を伝える書状〕	〔封筒〕 *中身なし	〔自作の拙詩借覧の旨書状〕	〔若山へ出発訣別のため面会する積りの旨書状〕	〔息女退校につき将来品行上のためお尋ねする書状〕	〔貴殿取寄の転訳の分拝借したい旨の書状〕	〔柴目玉川智城方へ河野学一郎先生・哲兄お越しくださるよう書状〕 *楊梅採りのため	〔和歌山行につき代価の出金を願う書状〕	〔銀行へ出勤しその後将来の前後策を考える旨の書状〕 *ペン書	〔雑誌7冊取寄せ分配達達の旨書状〕 *購読仲間5名で回覧	〔地租改正につき丈量中の間お供を断る書状〕	〔小生に抵抗する貴女姉君を誠めくだされたく書状〕	〔県会傍聴は来る28日に御繰合御出県下されたい旨の書状〕	〔美学なり法学なり研究の志気勃然と起るにつき書状〕
						旧27日	19日	14日	12月18日	旧11月25日	11月□日	11月26日	11月24日
	赤松平助、松嶋友蔵、坂部半三郎	秋田忍	和歌山市御坊裏門鷲ノ森南ノ丁河野圭三郎	竹田	河野	竹田	野川	畠山不肖	小壺	船橋	竹田	晋	片山
岡本	福田村岡本佐太郎		岡本	岡本	岡本老公	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本
状	封筒	状	野紙	状	状	野紙	状	野紙	状	状	野紙	状	野紙

シ-175	サ-167	シ-196	ス-176	ウ-634	シ-146	エ-44	シ-567	サ-326	シ-502	イ-567	シ-593	サ-371	シ-493
〔私方隠居当年十三回忌森物受納くだされたたく書状〕 (マ)	〔幸便に託し安否を伺う書状〕 *サ-166とのりはずれカ	〔伯父様気の毒につき御用向などあれば厭慮なく申付けるよう書状〕 *表書「岡本様へ」乍御手数別紙拙者宿許へ御送り被下度候御願申上候 榎治令	口演(干鯛は国谷屋か酒安迄差送りにつき) *虫損	〔若山行の節受け合いの御用ができなかったことに対する一札〕	口演(御子息様病気ながら見舞をせず用捨くだされたきにつき)	〔三昧法則四書一部など高野山へ登してくださいさるよう依頼状〕	〔家根葺きはいつにても参る旨書状〕	〔榎治様勉強修業はご家族が承諾しているか伺う書状〕	〔御子息様病死につき見舞状〕 *畠山榎治より知らせ、固着のため撮影不可部分あり	〔封紙〕 *中身なし	〔足病につき見舞状〕	〔長屋普請の竣工なれば迎來くだされたい旨の書状〕	〔賤業執心と聞き改心をこう書状〕 *鉛筆書
7月3日	7月1日	6月24日	林鐘9日	6月2日	5月12日	5月雨朔日	旧4月2日	4月29日	4月27日	4月24日	4月13日	4月9日	4月1日
黒山	長橋欽兵衛	畠山榎治より	定右衛門	泉興内祭七	岡本	文章房	下佐々色や治右衛門	原頭一郎	庄助令	木作村彦右衛門	由五郎	湯川平	
岡本	岡本	岡本伯母	岡本御氏	岡本御氏	新店儀八	円福寺	岡本御氏	畠山御家内	岡本	湯川嘉十郎	岡本	岡本	
状	状	状	状	状	状	封紙包状	封筒入状	状	状	状	野紙	状	野紙

シ-285	シ-70	シ-587	イ-492	ウ-630 -2	イ-477	サ-66	イ-709	ウ-408	イ-842	イ-600	ス-171	ウ-313	シ-547
〔お母様死去の節参上できず詫び状〕	〔承った事件は其後程能く落着き安心した旨の書状〕	〔新宅へ献金を願う書状〕 *端裏書「他見御無用」、兄に対し妻より依頼する所	〔請合の値段をお知らせする書状〕	〔送家并寺子株はよろしき筋があることを伝える書状〕	〔薬料、銀壺封につき拝眉の時御礼申し上げる書状〕	〔主人が不帰の客となったことを知らせる書状〕	〔代銀拝借と薬種方入用の節は御用仰せ付けられるよう願う書状〕 *借用の覚も併記	〔薬代受取につき書状〕	〔残らずありがたく受納につき御礼状〕	〔旬の品々をいただいたことと兵馬様がおいでくださったことに対する礼状〕	〔中元の礼と月山軸一見を承知し使いへ持たせた旨書状〕	〔封紙〕 *中身なし	〔下人は神野で調ったことを知らせる書状〕
8月29日	8月18日	8月6日	8月5日	8月2日	7月	7月27日	7月21日	7月13日	孟秋13日	7月8日	7月6日	7月5日	7月4日
定右衛門	片山		青屋治兵衛、夫新蔵	横田立道		湯川平	薬屋幸助		河野含寿(印)		湯川	高づ	
岡本	岡本		岡本御氏	亀井善兵衛	岡本氏	岡本	岡本御主人	岡本大君	岡本御氏		岡本仁	ふく田岡本御氏	
状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙	状

ウ-409	シ-759	イ-859	イ-501	ウ-323	シ-72	サ-337	サ-322	イ-923	イ-495	イ-488	サ-362	イ-581	シ-174
〔小餅・銀を祝儀として差上げにつき書状〕	〔小畑村普請で入用のため八重車を貸していただくよう願う書状〕	〔下向の節不快にて全快したか尋ねる書状〕	〔入銀筋は延引におよびにつき書状〕 *端裏書「二十目六分七厘 内八匁三分四厘」	〔過日留主御見舞いし御品沢山頂戴につき御礼状〕	〔小倉光恩寺へ転住の決心も病気のため他出叶わずにつき書状〕	〔詩文の書籍借覧し自分の拙い文章を奉呈する旨の書状〕	〔たかゝ殿不快につきほか書状〕	〔此者へ賃銭渡し今晚壹宿させていただくよう申し入れる書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔明日登山の積りだったが失敬することを伝える書状〕	〔鉄砲の儀につき相談申上げたい旨の書状〕	〔柿と美茶をいただいた礼と干瓢少々くだされたい旨の書状〕	〔安兵衛を下拙宅へ帰らせることを知らせる書状〕 *破損	口述（祝儀として札四枚と外に花をも遣わされるとの内談につき）
12月22日	極月4日	12月朔日	仲冬初雪夜 ^②	霜月11日癸	10月31日	10月29日	10月26日	10月24日	10月3日	9月26日	9月23日	9月23日	9月13日
三郎右衛門	河野	善宝院納所	河臨川	定右衛門	秋田忍	湯川	湯川平	持宝院納所	柳沢	定右衛門	湯川	岡本より	
神野岡本	岡本	岡本氏	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	半左衛門	岡本	津河むら嘉兵衛、ふく田むら龜之助	岡本	喜蔵、十次郎	
状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状

ウ-396	ウ-358	イ-1099	イ-1026	イ-965	イ-948 -4	イ-835	イ-586	イ-573	イ-511	イ-498	イ-461	イ-453	イ-425
〔先方と拙宅へ入来していただくよう頼む書状〕 *抹消	〔封紙〕 *中身欠、ウ-355の包紙カ	〔書状カ〕 *固着のため撮影不可部分あり	別啓（五人のものへ伝言と金子進上くださった御礼） *前欠	〔書状〕 *固着のため撮影不可部分あり	〔土用御見舞を申上げる院号につき〕 *「亀井善之右衛門宿高野年房二御座候」とあり	〔封紙ほか〕 *4通あり、人名・金子の書付	〔新次郎様が若山へお越しの際はおいでくださるようお願い書状〕	〔一筆なりともお返事くだされたく書状〕 *下書きカ、女筆	〔組内店々調子を伺う尚々書〕 *前欠	〔代銀老反につきいか程かお知らせくだされば持参する旨の書状下書〕	追啓（高野ご案内については万端勘考の上返書くださったきにつき）	〔今般亦々下向につきご理解を求める書状〕	〔私無事に勤めたことを知らせる書状〕 *後欠
	大田院代官						（長屋内）						
	福田村庄屋						（御おば）		太兵衛				
状	封紙	状	状	状	状	封紙	状	状	状	状	状	状	状

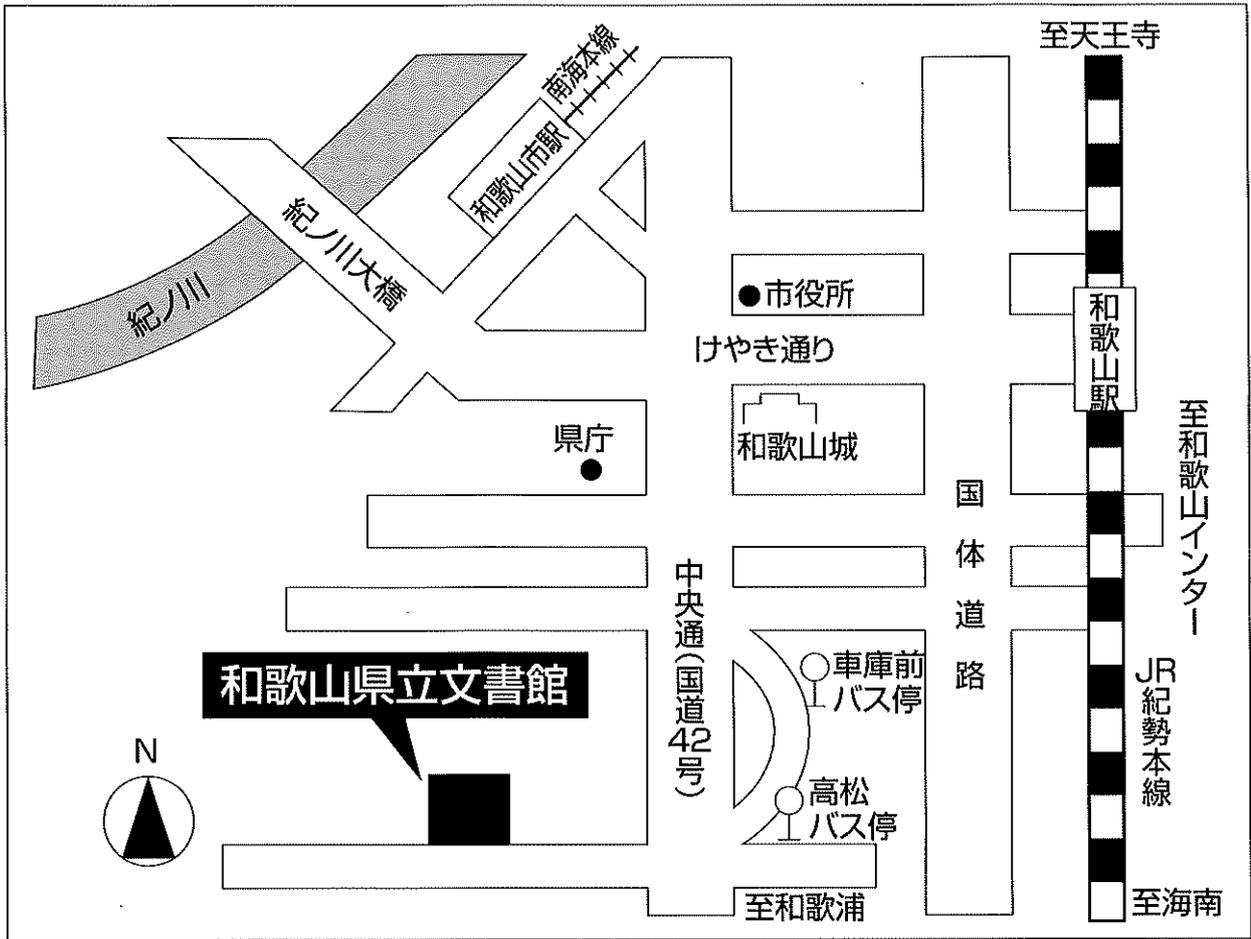
サ-225	サ-211	サ-190	サ-166	サ-106	サ-101	サ-57	サ-54	エ-92	エ-86	エ-56	ウ-560	ウ-536	ウ-412
〔大坂西高津町より天王寺之町へ引越につき〕	〔本町6丁目の高橋に行くので金を送ってくださいさるよう書状〕 *誤字や書直し多い、子供の筆跡	〔大井氏より懇親会へ誘引も多忙につき書状〕	〔書状断簡〕 *サ-167へ続くカ	口上(貴公様屏風講を調えるよう願う書状) *法隆寺・信貴山の開帳は3月節日前に到来を待つ	〔封筒〕 *中身なし	〔他言を禁じる替え歌につき書状〕	〔封筒〕 *中身なし、反古紙を再利用	〔2月15日に出した状は16日届きにつき〕	〔この紙面円福寺へ届けてくださるよう岡本氏へ依頼状〕	〔屏風の儀につき谷氏へ御礼申し上げるよう頼む書状〕 *後部欠、下書き	〔家内ともにお礼を述べる書状〕	〔当月27日登山につき書状〕 *下書き	述上(差し懸りの用事も出来たためお知らせにつき) *表書「岡本様 兵部拜」
				谷氏	福田村岡本忠				本大院二而文章		□ □		河野通茂
				岡本	郎 那賀郡満屋村湯川平次				成慶院御内森半店		岡本御氏、御本人		岡本、御役人
状	状	状	状	状	封筒	状	封筒	状	状	状	状	状	状

シ-148	シ-145	シ-134	シ-132	シ-131	シ-130	シ-122	シ-121	シ-81	シ-77	シ-13	サ-375	サ-361	サ-263
〔御家内中様へよろしく伝えるよう尚々書〕 *前欠	〔貴院様御機嫌よく在着を喜び家内無事を知らせる書状〕 *シ-132の下書き	〔御高免くだされたく書状〕 *下書き、シ-159と関連、固着のため撮影不可部分あり	〔貴院様御機嫌よく在着を喜び家内無事を知らせる書状〕 *固着のため撮影不可部分あり、後欠	〔幸便をもって啓上奉りにつき〕 *書損じ	〔相談申上げたく入来を願う書状〕 *下書き	〔茂左衛門方へ来臨くださるよう書状〕 *後欠カ、下書き	〔今夕方より茂左衛門方へ来臨くださるよう願う書状〕 *後欠、下書き	〔金子落掌と改名を知らせる書状〕 *後欠	〔厄介になった札と帰宅の際坂辺氏へ推参し其許一件協議につき書状〕 *虫損	〔佐吉古手買請したく金子無心したところそのままのため宜しく願うにつき〕 *下書き	〔表具代価は拜顔の際支弁致す旨の書状〕	〔山田等の3人が来なければ貴宅へ立ち寄る旨の書状〕 *破損あり	〔申し聞きの品差贈りにつき書状〕
									〔 〕		岡本	市場 岡本三郎	船橋
									〔 〕		湯川	ふく田むら岡本	岡本
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	罫紙	状	状

イ-349	イ-339	イ-338	イ-337	イ-335	イ-332	イ-330	シ-228
[断簡]	大阪朝日新聞附録 掌中便覧 *印刷物、議員資格・人数、各種税金・手数料など						
							明治26年1月5日
							大阪朝日新聞社紙型鉛版 印刷植字方松田幾之助
状	状	状	状	状	状	状	状

九 その他

ス-280	ス-249	シ-777	シ-752	シ-751
[上洛の節日別米并飯料につき書状]	追書 (大小拵え出来につき定吉殿御越し願)	[封紙]	[年賀状カ]	[書状下書き]
*虫損甚大		*中身なし		*和歌四首下書きあり
惣分役者光明院				
神野組村々庄屋中		上		
封紙包状	状	封紙	状	状



〈利用案内〉

- ・古文書の一般利用は、原本保護のため、写真版またはマイクロフィルムとします。
- ・一般利用に供している資料は、写真版から複写できます(有料)。
- ・どうしても原本の閲覧が必要な場合には特別閲覧制度があります。
- ・事前に、文書館所定の用紙に申請の目的など必要事項を記入し、捺印のうえ申請してください。
- ・利用の際に資料破損のおそれがある場合など特別閲覧できないことがあります。

所在地

〒六四一—〇〇五一 和歌山市西高松一—七—三八

きのくに志学館内 (TEL073—436—9540)

開館時間

火曜日～金曜日 午前10時～午後6時

土・日曜日・祝日及び振替休日 午前10時～午後5時

休館日

月曜日(祝日又は振替休日と重なるときは、その後の平日)

年末年始 12月29日～1月3日

館内整理日

1月 4日(月曜日の時は5日)

2月～12月 第2木曜日(祝日と重なるときは、その翌日)

特別整理期間 10日間(年1回)

交通

JR和歌山駅・南海電鉄和歌山市駅よりバスで20分

和歌山バス高松バス停下車徒歩3分

収蔵史料目録13 紀美野町福田 岡本家文書目録

平成二十六年三月三十一日

編集 和歌山県立文書館

発行 和歌山県

印刷 株式会社ウイング

